

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-287634

(43)Date of publication of application : 27.10.1998

(51)Int.Cl.

C07C233/18  
C07C235/80  
C07C259/06  
C07C325/00  
C07D277/44  
C07D277/82  
C07D403/12  
C07D417/12  
C07D417/14  
C07D521/00  
// A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425  
A61K 31/425

(21)Application number : 09-110527

(71)Applicant : OTSUKA PHARMACEUT CO LTD

(22)Date of filing : 11.04.1997

(72)Inventor : MORI TOYOKI  
TOMINAGA MICHIAKI  
TAFUSA FUJIO  
EI KAZUYOSHI  
NAKAYA KENJI  
TAKEMURA ISAO  
SHINOHARA YUICHI  
TANADA YOSHIHISA  
YAMAUCHI TAKAHITO  
KITANO KAZUYOSHI

(54) BENZENE DERIVATIVES

(57)Abstract:

$R^3$   
I (R<sup>3</sup>)<sub>2</sub>

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide benzene derivatives useful for pharmaceuticals.

SOLUTION: The compounds are expressed in formula I [R1 is a 5 to 6 membered unsaturated heterocyclic residue, etc.; R2 is a group of formula II (m is an integer of 1 to 3; R8 is H, a halogen, etc.); R3 is H, a lower alkyl, etc.; R4 is H, a lower alkyl, etc., R5 is a lower alkenyl, etc., substituted with lower alkoxy lower alkoxyamino carbonyl, etc.], for example, 2-{4-[2-benzoyl-2-(1,2,4-triazole-1-yl)-1-methylthioethyl]benzoylamino}-benzothiazole. This compound is obtained, for example, by carrying out a reaction of the compound of formula III and IV at least in same mole, in the presence or absence of a basic compound (sodium metal, etc.), in a proper solvent (water, etc.), normally at -80 to 150°C for 0.5-50 hours. This compound is administered to be a daily dose of 0.6 to 50 mg/kg.

---

#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-287634

(43) 公開日 平成10年(1998)10月27日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

C 0 7 C 233/18

C 0 7 C 233/18

235/80

235/80

259/06

259/06

325/00

325/00

C 0 7 D 277/44

C 0 7 D 277/44

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 359 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平9-110527

(22) 出願日

平成9年(1997)4月11日

(71) 出願人 000206956

大塚製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2丁目9番地

(72) 発明者 森 豊樹

徳島県鳴門市撫養町北浜宮の西101番地8

(72) 発明者 富永 道明

徳島県板野郡上板町高橋310番地の6

(72) 発明者 田房 不二男

徳島県板野郡北島町新喜来字下平1番地の65

(72) 発明者 詠 和良

徳島県板野郡北島町鯛浜字西ノ須51番地94

(74) 代理人 弁理士 三枝 英二 (外4名)

最終頁に続く

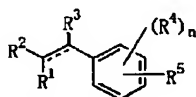
(54) 【発明の名称】 ベンゼン誘導体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、プロテインキナーゼC阻害剤として有用なベンゼン誘導体を提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明のベンゼン誘導体は、一般式

【化1】

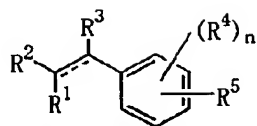


[式中 R<sup>1</sup>は、窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基等を示す。R<sup>2</sup>は置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基等を示す。R<sup>3</sup>は水素原子；低級アルキル基等を示す。nは1～3の整数を示す。n個のR<sup>4</sup>は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基等を示す。]で表される。

【特許請求の範囲】

【請求項1】一般式

【化1】



【式中R<sup>1</sup>は、窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）；シアノ基；カルボキシ基置換低級アルキル基；カルボキシ基；低級アルコキシカルボニル基；水素原子；低級アルカノイル基；ピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基；ベンゾイル基；又は基—CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>（R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；シアノ置換低級アルキル基；又は置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を示す。また、R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～6員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環上には低級アルキル基が置換していてもよい。）を示す。R<sup>2</sup>は基

【化2】



（mは1～3の整数を示す。m個のR<sup>8</sup>は同一又は異なって、水素原子；ハロゲン原子；シアノ基；カルボキシ基；低級アルコキシカルボニル基；低級アルコキシ低級アルコキシ基；置換基として低級アルカノイル基、低級アルキル基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基なる群より選ばれる基を有することのあるアミノ基；ニトロ基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシ基；低級アルコキシ基；低級アルケニルオキシ基；水酸基；低級アルカノイルオキシ基；低級アルコキシカルボニル低級アルコキシ基；カルボキシ低級アルコキシ基；低級アルコキシ低級アルコキシカルボニル基；低級アルキル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノカルボニル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基；低級アルコキシ低級アルコキシ低級アルキル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノカルボニル低級アルキル基；水酸基置換低級アルキル基；水酸基置換低級アルコキシ基；置換基として低級アルキル基を有することのある1, 3-ジオキサソラニル低級アルコキシ基；オキ

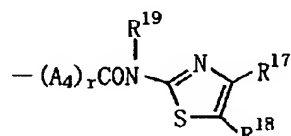
シラニル低級アルコキシ基又は基—O—A—NR<sup>9</sup>R<sup>10</sup>

（Aは置換基として水酸基を有することのある低級アルキレン基を示す。R<sup>9</sup>及びR<sup>10</sup>は同一又は異なって、水素原子又は低級アルキル基を示す。また、R<sup>9</sup>及びR<sup>10</sup>は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～6員の飽和複素環を形成してもよい。）；置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基；ピリジルカルボニル基；置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基；置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基；ベンゾイルオキシ低級アルカノイル基；フェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基；チエニルカルボニル基；カルボキシ基；低級アルコキシカルボニル基；置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基；又は基—CO—(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>—NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup>（R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；低級アルコキシカルボニル基；フェニル環上に置換基として低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基及び水酸基なる群より選ばれる基を有することのあるフェニル基；又はピリジル基を示す。A<sub>1</sub>は低級アルキレン基を示す。pは0又は1を示す。）を示す。R<sup>3</sup>は水素原子；低級アルキル基；低級アルキルチオ基；フェニルチオ基；置換基としてカルボキシ基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ基なる群より選ばれる基を有する低級アルキルチオ基；水酸基置換低級アルキルチオ基；シクロアルキルチオ基；低級アルカノイルチオ基；又はシアノ基を示す。nは1～3の整数を示す。n個のR<sup>4</sup>は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；低級アルコキシ基；水酸基置換低級アルキル基；又は基—A<sub>2</sub>—NR<sup>13</sup>R<sup>14</sup>（A<sub>2</sub>は低級アルキレン基又は低級アルキレニルオキシ基を示す。R<sup>13</sup>及びR<sup>14</sup>は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基；又はピリジニル低級アルキル基を示す。また、R<sup>13</sup>及びR<sup>14</sup>は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～7員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環には低級アルキル基及び基—(A<sub>3</sub>)<sub>q</sub>NR<sup>15</sup>R<sup>16</sup>（A<sub>3</sub>は低級アルキレン基を示す。R<sup>15</sup>及びR<sup>16</sup>は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；又はフェニル基を示す。また、R<sup>15</sup>及びR<sup>16</sup>は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介

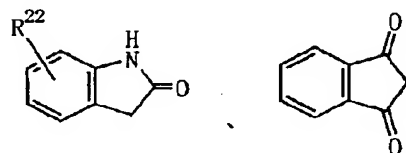


し又は介することなく互いに結合して5～6員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環には低級アルキル基が置換していてもよい。qは0又は1を示す。)なる群より選ばれる基を有していてもよい。)を示す。R<sup>5</sup>は低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基; 水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基; ビリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基; ビリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基; フェニルチオウレイドカルボニル基; ビリジルチオウレイドカルボニル基; 低級アルキルチオウレイドカルボニル基; ビリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基; ビリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基; ビラジルアミノカルボニル低級アルコキシ基; 基

【化3】



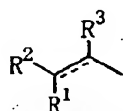
(A<sub>4</sub>は置換基として水酸基を有することのある低級アルキレン基; 低級アルケニレン基; 又は基-Z-A<sub>5</sub>- (Zは酸素原子又は基-NR<sup>21</sup>- (R<sup>21</sup>は水素原子又は低級アルキル基を示す。)を示す。A<sub>5</sub>は低級アルキレ



(R<sup>22</sup>は水素原子又は1, 2, 4-トリアゾリル低級アルコキシ基を示す。R<sup>23</sup>は水素原子又は低級アルキル基を示す。)を形成してもよい。

側鎖

【化7】



において、点線を含む炭素間結合は一重結合又は二重結合を示す。]で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、新規なベンゼン誘導体に関する。

【0002】

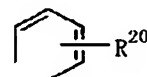
【発明が解決しようとする課題】本発明は、医薬品として有用な新規ベンゼン誘導体を提供することを課題とする。

【0003】

【課題を解決するための手段】本発明のベンゼン誘導体

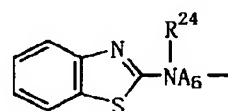
ン基を示す。)を示す。rは0又は1を示す。R<sup>17</sup>及びR<sup>18</sup>は水素原子、低級アルキル基又はフェニル基を示す。R<sup>19</sup>は、水素原子又は低級アルキル基を示す。また、R<sup>17</sup>及びR<sup>18</sup>は一緒になって基

【化4】



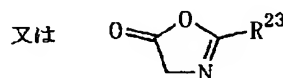
を形成してもよい。ここでR<sup>20</sup>は水素原子; 低級アルキル基; ハロゲン原子; 低級アルコキシ基又は置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を示す。) ; 基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記に同じ。) ; 又は基

【化5】



(A<sub>6</sub>は低級アルケニレン基を示す。R<sup>24</sup>は水素原子又は低級アルコキシカルボニル基を示す。)を示す。また、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は一緒になって基

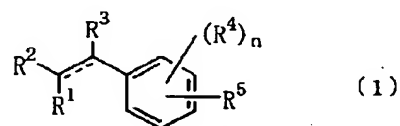
【化6】



は、文献未記載の新規化合物であって、下記一般式(1)で表される。

【0004】

【化8】



【0005】[式中R<sup>1</sup>は、窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基

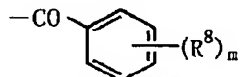
(該複素環上には、C<sub>1</sub>～C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。) ; シアノ基; カルボキシ基置換低級アルキル基; カルボキシ基; 低級アルコキシカルボニル基; 水素原子; 低級アルカノイル基; ビペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるビペリジニルカルボニル基; ベンゾイル基; 又は基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は同一又は異なって、水素原子; 低級アルキル基; シアノ置換低級アルキル基; 又は置換基と

して低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を示す。また、 $R^6$ 及び $R^7$ は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～6員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環上には低級アルキル基が置換していてもよい。)を示す。

【0006】 $R^2$ は基

【0007】

【化9】



【0008】(mは1～3の整数を示す。m個の $R^8$ は同一又は異なって、水素原子；ハロゲン原子；シアノ基；カルボキシ基；低級アルコキシカルボニル基；低級アルコキシ低級アルコキシ基；置換基として低級アルカノイル基、低級アルキル基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基なる群より選ばれる基を有することのあるアミノ基；ニトロ基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシ基；低級アルコキシ基；低級アルケニルオキシ基；水酸基；低級アルカノイルオキシ基；低級アルコキシカルボニル低級アルコキシ基；カルボキシ低級アルコキシ基；低級アルコキシ低級アルコキシカルボニル基；低級アルキル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノカルボニル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基；低級アルコキシ低級アルコキシ低級アルキル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノカルボニル低級アルキル基；水酸基置換低級アルキル基；水酸基置換低級アルコキシ基；置換基として低級アルキル基を有することのある1, 3-ジオキサソラニル低級アルコキシ基；オキシラニル低級アルコキシ基又は基- $O-A-NR^9R^{10}$  (Aは置換基として水酸基を有することのある低級アルキレン基を示す。 $R^9$ 及び $R^{10}$ は同一又は異なって、水素原子又は低級アルキル基を示す。また、 $R^9$ 及び $R^{10}$ は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～6員の飽和複素環を形成してもよい。))；置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基；ピリジルカルボニル基；置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基；置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基；ベンゾイルオキシ低級アルカノイル基；フェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基；チエニルカルボニル基；カルボキシ基；低級アルコキシカルボニル基；置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフ

エニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基；又は基- $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；低級アルコキシカルボニル基；フェニル環上に置換基として低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基及び水酸基なる群より選ばれる基を有することのあるフェニル基；又はピリジル基を示す。 $A_1$ は低級アルキレン基を示す。 $p$ は0又は1を示す。)を示す。

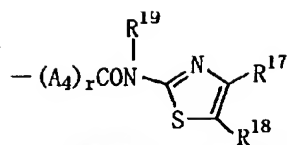
【0009】 $R^3$ は水素原子；低級アルキル基；低級アルキルチオ基；フェニルチオ基；置換基としてカルボキシ基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ基なる群より選ばれる基を有する低級アルキルチオ基；水酸基置換低級アルキルチオ基；シクロアルキルチオ基；低級アルカノイルチオ基；又はシアノ基を示す。

【0010】nは1～3の整数を示す。n個の $R^4$ は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；低級アルコキシ基；水酸基置換低級アルキル基；又は基- $A_2-NR^{13}R^{14}$  ( $A_2$ は低級アルキレン基又は低級アルケニルオキシ基を示す。 $R^{13}$ 及び $R^{14}$ は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基；又はピリジル低級アルキル基を示す。また、 $R^{13}$ 及び $R^{14}$ は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～7員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環には低級アルキル基及び基- $(A_3)_q-NR^{15}R^{16}$  ( $A_3$ は低級アルキレン基を示す。 $R^{15}$ 及び $R^{16}$ は同一又は異なって、水素原子；低級アルキル基；又はフェニル基を示す。また、 $R^{15}$ 及び $R^{16}$ は結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して5～6員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環には低級アルキル基が置換していてもよい。 $q$ は0又は1を示す。)なる群より選ばれる基を有していてもよい。)を示す。

【0011】 $R^5$ は低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基；水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基；ピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基；ピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基；フェニルチオウレイドカルボニル基；ピリジルチオウレイドカルボニル基；低級アルキルチオウレイドカルボニル基；ピリミジリアルアミノカルボニル低級アルコキシ基；ピリジリアルカルボニル低級アルコキシ基；ピラジリアルカルボニル低級アルコキシ基；基

【0012】

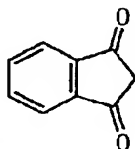
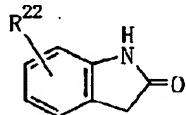
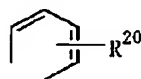
【化10】



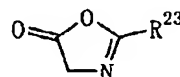
【0013】(A<sub>4</sub>は置換基として水酸基を有することのある低級アルキレン基；低級アルケニレン基；又は基-Z-A<sub>5</sub>- (Zは酸素原子又は基-NR<sup>21</sup>- (R<sup>21</sup>は水素原子又は低級アルキル基を示す。)を示す。A<sub>5</sub>は低級アルキレン基を示す。)を示す。rは0又は1を示す。R<sup>17</sup>及びR<sup>18</sup>は水素原子、低級アルキル基又はフェニル基を示す。R<sup>19</sup>は、水素原子又は低級アルキル基を示す。また、R<sup>17</sup>及びR<sup>18</sup>は一緒になって基

【0014】

【化11】



又は

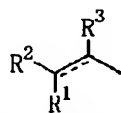


【0020】(R<sup>22</sup>は水素原子又は1, 2, 4-トリアゾリル低級アルコキシ基を示す。R<sup>23</sup>は水素原子又は低級アルキル基を示す。)を形成してもよい。

【0021】側鎖

【0022】

【化14】



【0023】において、点線を含む炭素間結合は一重結合又は二重結合を示す。] 上記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体は、プロティンキナーゼC (PKC、C a<sup>2+</sup>/リン脂質依存性セリン/トレオニン蛋白質リン酸化酵素) 阻害作用を有しており、プロティンキナーゼC阻害剤として有用である。

【0024】本発明化合物を有効成分とするプロティンキナーゼC阻害剤は、例えば、慢性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス等の自己免疫疾患、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎、心不全、腎不全、肝不全、アレルギー性疾患、膠原病、多発性硬化症、糖尿病、癌、アルツハイマー型痴呆等の各種虚血性疾患等の予防及び治療に有効である。

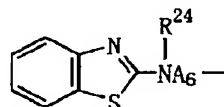
【0025】

【発明の実施の形態】 上記一般式(1)に示される各基はより具体的にはそれぞれ次の通りである。

【0015】を形成してもよい。ここでR<sup>20</sup>は水素原子；低級アルキル基；ハロゲン原子；低級アルコキシ基又は置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を示す。)；基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記に同じ。)；又は基

【0016】

【化12】



【0017】(A<sub>6</sub>は低級アルケニレン基を示す。R<sup>24</sup>は水素原子又は低級アルコシカルボニル基を示す。)を示す。

【0018】また、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は一緒になって基

【0019】

【化13】

【0026】窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員環の不飽和複素環残基としては、例えばピリジル、1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジル、フリル、チエニル、ピロリル、2H-ピロリル、オキサゾリル、イソオキサゾリル、ピラゾリル、1, 3, 4-オキサジアゾリル、1, 3, 4-チアジアゾリル、チアゾリル、イソチアゾリル、フラザニル、ピラニル、ピリダジニル、ピリミジニル、ピラジニル、イミダゾリル、1, 2, 4-トリアゾリル、1, 2, 3-トリアゾリル、1, 3, 4-トリアゾリル、1, 2, 3, 4-テトラゾリル、2-ピロリニル、2-イミダゾリニル、2-ピラゾリニル、3, 4, 5, 6-テトラヒドロ-2H-ピラニル、5, 6-ジヒドロ-2H-ピラニル基等を挙げることができる。

【0027】C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基としては、例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、tert-ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル、ノニル、デシル、ウンデシル、ドデシル基等の炭素数1~12の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0028】置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基としては、例えばアミノメチル、2-アミノエチル、1-アミノエチル、3-アミノプロピル、4-アミノブチル、5-アミノペンチル、6-アミノヘキシル、1, 1-ジメチル-2-アミノエチル、2-メチル-3-アミノプロピル、メチルアミノ

メチル、1-エチルアミノエチル、2-プロピルアミノエチル、3-イソプロピルアミノプロピル、4-ブチルアミノブチル、5-ペンチルアミノペンチル、6-ヘキシルアミノヘキシル、ジメチルアミノメチル、2-ジエチルアミノエチル、2-ジメチルアミノエチル、(N-エチル-N-プロピルアミノ)メチル、2-(N-メチル-N-ヘキシルアミノ)エチル基等の置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1~2個有することのあるアミノ基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0029】シクロアルキル基としては、例えばシクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、シクロヘプチル、シクロオクチル基等の炭素数3~8のシクロアルキル基を挙げることができる。

【0030】 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群より選ばれる基が置換した上記複素環としては、例えば1-メチル-1, 2, 3, 4-テトラゾリル、1-シクロヘキシル-1, 2, 3, 4-テトラゾリル、2-ウンデシルイミダゾリル、2-デシルイミダゾリル、1-エチル-1, 2, 3, 4-テトラゾリル、1-メチルイミダゾリル、1-n-ブチル-1, 2, 3, 4-テトラゾリル、1-n-プロピル-1, 2, 3, 4-テトラゾリル、1-(2-ジエチルアミノエチル)-1, 2, 3, 4-テトラゾリル、2-メチルピリジル、4-シクロペンチル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジル、3-(3-メチルアミノプロピル)フリル、2-エチルチエニル、3-シクロプロピルピロリル、2-(4-エチルアミノブチル)-2H-ピロリル、4-n-プロピルオキサゾリル、5-シクロブチルイソオキサゾリル、2-(5-アミノペンチル)チアゾリル、3-tert-ブチルイソチアゾリル、4-シクロヘプチルフラザニル、3-(6-ジプロピルアミノヘキシル)ピラニル、6-ペンチルピリダジニル、2-シクロオクチルピリミジニル、5-(ジエチルアミノメチル)ピラジニル、2-メチル-1, 3, 4-オキサジアゾリル、5-シクロヘキシル-1, 3, 4-チアジアゾリル、2-(2-ジ-n-ブチルアミノエチル)イミダゾリル、4-ヘキシル-1, 2, 4-トリアゾリル、4-シクロヘキシル-1, 2, 3-トリアゾリル、4-(3-ジペンチルアミノプロピル)-2-ピロリニル、2-メチル-2-イミダゾリニル、1-メチル-1, 2, 4-トリアゾリル、3-シクロプロピル-1, 2, 4-トリアゾリル、5-(2-ジエチルアミノエチル)-1, 2, 4-トリアゾリル、1-(2-ジエチルアミノエチル)-1, 3, 4-トリアゾリル、2-メチル-1, 3, 4-トリアゾリル、5-シクロヘキシル-1, 3, 4-トリアゾリル、2-ノニルピリミジニル、3-デシルピラジニル、3-オクチル-2-ピラゾリニル、4-シクロヘキシル-3, 4, 5, 6-テトラヒド

ロ-2H-ピラニル、4-ヘプチル-5, 6-ジヒドロ-2H-ピラニル、2, 4-ジメチルピリジル、2, 4, 6-トリメチルピリジル、1-(2-ジエチルアミノエチル)-3-メチル-1, 2, 4-トリアゾリル、4-(2-ジエチルアミノエチル)-2-メチルピリミジニル基等の $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1~2個有することのあるアミノを有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基及び炭素数3~8のシクロアルキル基なる群より選ばれる基が1~3個置換した上記複素環を挙げることができる。

【0031】カルボキシ置換低級アルキル基としては、例えばカルボキシメチル、2-カルボキシエチル、1-カルボキシエチル、3-カルボキシプロピル、4-カルボキシブチル、5-カルボキシペンチル、6-カルボキシヘキシル、1, 1-ジメチル-2-カルボキシエチル、2-メチル-3-カルボキシプロピル基等のアルキル部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基であるカルボキシアルキル基を挙げることができる。

【0032】低級アルコキシカルボニル基としては、例えばメトキシカルボニル、エトキシカルボニル、プロポキシカルボニル、イソプロポキシカルボニル、ブトキシカルボニル、tert-ブトキシカルボニル、ペンチルオキシカルボニル、ヘキシルオキシカルボニル基等のアルコキシ部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコキシカルボニル基を挙げることができる。

【0033】低級アルカノイル基としては、例えばホルミル、アセチル、プロピオニル、ブチリル、イソブチリル、ペンタノイル、tert-ブチルカルボニル、ヘキサノイル基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルカノイル基が挙げられる。

【0034】ピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基としては、例えばピペリジニルカルボニル、1-メチルピペリジニルカルボニル、1-エチルピペリジニルカルボニル、3-メチル-1-エチルピペリジニルカルボニル、3-メチル-1-n-プロピルピペリジニルカルボニル、3, 4-ジメチルピペリジニルカルボニル、1-イソプロピル-3-メチルピペリジニルカルボニル、4-メチル-1-イソプロピルピペリジニルカルボニル、1, 4, 5-トリメチルピペリジニルカルボニル、1-tert-ブチルピペリジニルカルボニル、1-ペンチルピペリジニルカルボニル、1-ヘキシルピペリジニルカルボニル基等のピペリジン環上に置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1~3個有することのあるピペリジニルカルボニル基を挙げることができる。

【0035】低級アルキル基としては、例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチ

ル、tert-ブチル、ペンチル、ヘキシル基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0036】シアノ置換低級アルキル基としては、例えばシアノメチル、2-シアノエチル、1-シアノエチル、3-シアノプロピル、2, 3-ジシアノプロピル、4-シアノブチル、5-シアノペンチル、6-シアノヘキシル、1, 1-ジメチル-2-シアノエチル、5, 5, 4-トリシアノペンチル、1-シアノイソプロピル、2-メチル-3-シアノプロピル基等のシアノ基を1~3個有し、アルキル部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基であるシアノアルキル基を挙げることができる。

【0037】R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>、R<sup>9</sup>及びR<sup>10</sup>又はR<sup>15</sup>及びR<sup>16</sup>が結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく形成する5~6員の飽和複素環基としては、例えばピロリジニル、ピペリジニル、ピペラジニル、モルホリノ基等を挙げることができる。

【0038】低級アルキル基が置換した前記複素環としては、例えば4-メチルピペラジニル、3, 4-ジメチルピペラジニル、3-エチルピロリジニル、2-プロピルピロリジニル、1-メチルピロリジニル、3, 4, 5-トリメチルピペリジニル、4-ブチルピペリジニル、3-ペンチルモルホリノ、4-ヘキシルピペラジニル、3-メチル-4-エチルピペラジニル、3-メチル-4-n-プロピルピペラジニル、4-イソプロピル-3-メチルピペラジニル、4-メチル-3-イソプロピルピペラジニル基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基が1~3個置換した上記複素環基を挙げることができる。

【0039】ハロゲン原子としては、例えば弗素原子、塩素原子、臭素原子及び沃素原子が挙げられる。

【0040】低級アルコキシ低級アルコキシ基としては、例えばメトキシメトキシ、3-メトキシプロポキシ、エトキシメトキシ、3-エトキシプロポキシ、4-エトキシブトキシ、5-イソプロポキシペンチルオキシ、6-プロポキシヘキシルオキシ、1, 1-ジメチル-2-ブトキシエトキシ、2-メチル-3-tert-ブトキシプロポキシ、2-ペンチルオキシエトキシ、ヘキシルオキシメトキシ等のアルコキシ部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコキシアルコキシ基を挙げることができる。

【0041】置換基として低級アルカノイル基、低級アルキル基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基なる群より選ばれる基を有することのあるアミノ基としては、例えばアミノ、ホルミルアミノ、アセチルアミノ、プロピオニルアミノ、ブチリルアミノ、イソブチリルアミノ、ペンタノイルアミノ、tert-ブチルカルボニルアミノ、ヘキサノイルアミノ、メチルアミノ、エチルアミノ、プロピルアミ

ノ、イソプロピルアミノ、ブチルアミノ、tert-ブチルアミノ、ペンチルアミノ、ヘキシルアミノ、ジメチルアミノ、ジエチルアミノ、ジプロピルアミノ、ジブチルアミノ、ジペンチルアミノ、ジヘキシルアミノ、N-メチル-N-エチルアミノ、N-エチル-N-プロピルアミノ、N-メチル-N-ブチルアミノ、N-メチル-N-ヘキシルアミノ、N-アセチル-N-メチルアミノ、N-ブチル-N-アセチルアミノ、(2-ジメチルアミノエチル)アミノ、(5-アミノペンチル)アミノ、(3-イソプロピルアミノプロピル)アミノ、N-メチル-N-(2-ジメチルアミノエチル)アミノ、N-アセチル-N-(N-エチル-N-プロピルアミノ)メチルアミノ基等の置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルカノイル基、炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基及び置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1~2個有することのあるアミノ基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基なる群より選ばれる基を1~2個有することのあるアミノ基を挙げることができる。

【0042】置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシ基としては、例えばアミノメトキシ、2-アミノエトキシ、1-アミノエトキシ、3-アミノプロポキシ、4-アミノブトキシ、5-アミノペンチルオキシ、6-アミノヘキシルオキシ、1, 1-ジメチル-2-アミノエトキシ、2-メチル-3-アミノプロポキシ、メチルアミノメトキシ、1-エチルアミノエトキシ、2-プロピルアミノエトキシ、3-イソプロピルアミノプロポキシ、4-イソプロピルアミノブトキシ、4-ブチルアミノブトキシ、4-tert-ブチルアミノブトキシ、5-ペンチルアミノペンチルオキシ、6-ヘキシルアミノヘキシルオキシ、ジメチルアミノメトキシ、2-ジエチルアミノエトキシ、2-ジメチルアミノエトキシ、(N-エチル-N-プロピルアミノ)メトキシ、2-(N-メチル-N-ヘキシルアミノ)エトキシ基等の置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1~2個有することのあるアミノ基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0043】低級アルコキシ基としては、例えばメトキシ、エトキシ、プロポキシ、イソプロポキシ、ブトキシ、tert-ブトキシ、ペンチルオキシ、ヘキシルオキシ基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0044】低級アルケニルオキシ基としては、例えばビニルオキシ、アリルオキシ、2-ブテニルオキシ、3-ブテニルオキシ、1-メチルアリルオキシ、2-ペンテニルオキシ、2-ヘキセニルオキシ、1-プロペニルオキシ基等の炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルケニルオキシ基を挙げることができる。

【0045】低級アルカノイルオキシ基としては、例え

ばアセチルオキシ、プロピオニルオキシ、ブチリルオキシ、イソブチリルオキシ、ペンタノイルオキシ、tert-ブチルカルボニルオキシ、ヘキサノイルオキシ基等の炭素数2～6の直鎖又は分枝鎖状のアルカノイルオキシ基を挙げることができる。

【0046】低級アルコキシカルボニル低級アルコキシ基としては、例えばメトキシカルボニルメトキシ、3-メトキシカルボニルプロポキシ、エトキシカルボニルメトキシ、3-エトキシカルボニルプロポキシ、4-エトキシカルボニルブトキシ、5-イソプロポキシカルボニルペンチルオキシ、6-プロポキシカルボニルヘキシルオキシ、1, 1-ジメチル-2-ブトキシカルボニルエトキシ、2-メチル-3-tert-ブトキシカルボニルプロポキシ、2-ペンチルオキシカルボニルエトキシ、ヘキシルオキシカルボニルメトキシ基等のアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコキシカルボニルアルコキシ基を挙げることができる。

【0047】カルボキシ基低級アルコキシ基としては、例えばカルボキシメトキシ、2-カルボキシエトキシ、1-カルボキシエトキシ、3-カルボキシプロポキシ、4-カルボキシブトキシ、5-カルボキシペンチルオキシ、6-カルボキシヘキシルオキシ、1, 1-ジメチル-2-カルボキシエトキシ、2-メチル-3-カルボキシプロポキシ基等のアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるカルボキシアルコキシ基を挙げることができる。

【0048】低級アルコキシ低級アルコキシカルボニル基としては、例えばメトキシメトキシカルボニル、3-メトキシプロポキシカルボニル、エトキシメトキシカルボニル、3-エトキシプロポキシカルボニル、4-エトキシブトキシカルボニル、5-イソプロポキシペンチルオキシカルボニル、6-プロポキシヘキシルオキシカルボニル、1, 1-ジメチル-2-ブトキシエトキシカルボニル、2-メチル-3-tert-ブトキシプロポキシカルボニル、2-ペンチルオキシエトキシカルボニル、ヘキシルオキシメトキシカルボニル基等のアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコキシアルコキシカルボニル基を挙げることができる。

【0049】置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノカルボニル基としては、例えばアミノカルボニル、メチルアミノカルボニル、エチルアミノカルボニル、プロピルアミノカルボニル、イソプロピルアミノカルボニル、ブチルアミノカルボニル、ペンチルアミノカルボニル、ヘキシルアミノカルボニル、ジメチルアミノカルボニル、(N-エチル-N-プロピルアミノ)カルボニル、(N-メチル-N-ヘキシルアミノ)カルボニル基等の置換基として炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1～2個有することのあるアミノカルボ

ニル基を挙げることができる。

【0050】低級アルコキシ低級アルコキシ低級アルキル基としては、例えばメトキシメトキシメチル、3-(3-メトキシプロポキシ)プロピル、エトキシメトキシメチル、3-(3-エトキシプロポキシ)プロピル、4-(4-エトキシブトキシ)ブチル、5-(5-イソプロポキシペンチルオキシ)ペンチル、6-(6-プロポキシヘキシルオキシ)ヘキシル、1, 1-ジメチル-2-(2-ブトキシエトキシ)エチル、2-メチル-3-(3-tert-ブトキシプロポキシ)プロピル、2-(2-ペンチルオキシエトキシ)エチル、ヘキシルオキシメトキシメチル基等のアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコキシアルコキシ基を有する炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0051】置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノカルボニル低級アルキル基としては、例えばアミノカルボニルメチル、2-アミノカルボニルエチル、1-アミノカルボニルエチル、3-アミノカルボニルプロピル、4-アミノカルボニルブチル、5-アミノカルボニルペンチル、6-アミノカルボニルヘキシル、1, 1-ジメチル-2-アミノカルボニルエチル、2-メチル-3-アミノカルボニルプロピル、メチルアミノカルボニルメチル、1-エチルアミノカルボニルエチル、2-プロピルアミノカルボニルエチル、3-イソプロピルアミノカルボニルプロピル、4-ブチルアミノカルボニルブチル、5-ペンチルアミノカルボニルペンチル、6-ヘキシルアミノカルボニルヘキシル、ジメチルアミノカルボニルメチル、(N-エチル-N-プロピルアミノ)カルボニルメチル、2-(N-メチル-N-ヘキシルアミノ)カルボニルエチル等の置換基として炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1～2個有することのあるアミノカルボニル基を有するアルキル部分の炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0052】水酸基置換低級アルキル基としては、例えばヒドロキシメチル、2-ヒドロキシエチル、1-ヒドロキシエチル、3-ヒドロキシプロピル、2, 3-ジヒドロキシプロピル、4-ヒドロキシブチル、1, 1-ジメチル-2-ヒドロキシエチル、5, 5, 4-トリヒドロキシペンチル、5-ヒドロキシペンチル、6-ヒドロキシヘキシル、1-ヒドロキシイソプロピル、2-メチル-3-ヒドロキシプロピル基等の水酸基を1～3個有する炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0053】水酸基置換低級アルコキシ基としては、例えばヒドロキシメトキシ、2-ヒドロキシエトキシ、1-ヒドロキシエトキシ、3-ヒドロキシプロポキシ、2, 3-ジヒドロキシプロポキシ、4-ヒドロキシブトキシ、1, 1-ジメチル-2-ヒドロキシエトキシ、

5, 5, 4-トリヒドロキシベンチルオキシ、5-ヒドロキシベンチルオキシ、6-ヒドロキシヘキシルオキシ、1-ヒドロキシイソプロポキシ、2-メチル-3-ヒドロキシプロポキシ等の水酸基を1~3個有することのある炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0054】置換基として低級アルキル基を有する1, 3-ジオキソラニル低級アルコキシ基としては、例えば(1, 3-ジオキソラニル)メトキシ、(2, 2-ジメチル-1, 3-ジオキソラニル)メトキシ、2-(1, 3-ジオキソラニル)エトキシ、3-(1, 3-ジオキソラニル)プロポキシ、4-(1, 3-ジオキソラニル)ブトキシ、5-(1, 3-ジオキソラニル)ペンチルオキシ、6-(1, 3-ジオキソラニル)ヘキシルオキシ、1, 1-ジメチル-2-(1, 3-ジオキソラニル)エトキシ、2-メチル-3-(1, 3-ジオキソラニル)プロポキシ、(2-メチル-1, 3-ジオキソラニル)メトキシ、(2, 4-ジメチル-1, 3-ジオキソラニル)メトキシ、(2, 2, 4-トリメチル-1, 3-ジオキソラニル)メトキシ、2-(2-エチル-1, 3-ジオキソラニル)エトキシ、3-(2-ヘキシル-1, 3-ジオキソラニル)プロポキシ等の置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状のアルキル基を1~3個有することがあり、アルコキシ部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基である1, 3-ジオキソラニルアルコキシ基を挙げることができる。

【0055】オキシラニル低級アルコキシ基としては、例えばオキシラニルメトキシ、2-オキシラニルエトキシ、1-オキシラニルエトキシ、3-オキシラニルプロポキシ、4-オキシラニルブトキシ、5-オキシラニルペンチルオキシ、6-オキシラニルヘキシルオキシ、1, 1-ジメチル-2-オキシラニルエトキシ、2-メチル-3-オキシラニルプロポキシ等のオキシラニル基を有する炭素数が1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0056】低級アルキレン基としては、例えばメチレン、エチレン、トリメチレン、2-メチルトリメチレン、2, 2-ジメチルトリメチレン、1-メチルトリメチレン、メチルメチレン、エチルメチレン、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキレン基を挙げることができる。

【0057】置換基として水酸基を有することのある低級アルキレン基としては、例えば前記低級アルキレン基に加え、1-ヒドロキシメチレン、1-ヒドロキシエチレン、1, 2-ジヒドロキシエチレン、2-ヒドロキシトリメチレン、2, 3-ジヒドロキシトリメチレン、1-ヒドロキシ-2-メチルトリメチレン、1-ヒドロキシ-2, 2-ジメチルトリメチレン、1-メチル-2-ヒドロキシトリメチレン、2-ヒドロキシテトラメチレ

ン、3-ヒドロキシペンタメチレン、4-ヒドロキシヘキサメチレン等の置換基として水酸基を1~2個有することのある炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキレン基を挙げることができる。

【0058】置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基としては、例えば3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、1-メチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、1-エチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、8-メチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、8-エチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、3-プロピル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、4-ブチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、5-ペンチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、6-ヘキシル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、7-メチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、1, 8-ジメチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、4, 6, 7-トリメチル-3, 4-ジヒドロ-2-オキシキノリルカルボニル、1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、1-メチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、8-メチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、8-エチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、3-プロピル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、4-ブチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、5-ペンチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、6-ヘキシル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、7-メチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、1, 8-ジメチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル、4, 6, 7-トリメチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル等の置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を1~4個有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を挙げることができる。

【0059】置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基としては、例えば、前記低級アルカノイル基に加えて、2-ヒドロキシアセチル、3-ヒドロキシプロパノイル、2-ヒドロキシプロパノイル、4-ヒドロキシブチリル、5-ヒドロキシペンタノイル、6-ヒドロキシヘキサノイル、2, 2-ジメチル-3-ヒドロキシプロパノイル、2-メチル-3-ヒドロキシプロパノイル、2, 3-ジヒドロキシプロパノイル、5, 5, 4-トリヒドロキシペンタノイル、2-ヒドロキシ

イソブチリル基等の水酸基を1～3個有することのある炭素数2～6の直鎖又は分枝鎖状アルカノイル基を挙げることができる。

【0060】置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基としては、例えばシクロプロピルカルボニル、シクロブチルカルボニル、シクロペンチルカルボニル、シクロヘキシルカルボニル、シクロヘプチルカルボニル、シクロオクチルカルボニル、4-tert-ブトキシカルボニルアミノメチルシクロヘキシルカルボニル、2-(2-メトキシカルボニルアミノエチル)シクロプロピルカルボニル、2-(1-エトキシカルボニルアミノエチル)シクロブチルカルボニル、3-(3-プロポキシカルボニルアミノプロピル)シクロペンチルカルボニル、4-(4-ブトキシカルボニルアミノブチル)シクロヘプチルカルボニル、5-(5-ペンチルオキシカルボニルアミノペンチル)シクロオクチルカルボニル、2-(6-ヘキシルオキシカルボニルアミノヘキシル)シクロヘキシルカルボニル、2, 4-ジ(エトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボニル、2, 4, 6-トリ(メトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボニル、4-アミノメチルシクロヘキシルカルボニル基等の置換基としてアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシであるアルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ置換炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1～3個有することのあるシクロアルキル部分が炭素数3～8のシクロアルキルカルボニル基であるシクロアルキルカルボニル基を挙げることができる。

【0061】ベンゾイルオキシ低級アルカノイル基としては、例えば2-ベンゾイルオキシアセチル、3-ベンゾイルオキシプロパノイル、2-ベンゾイルオキシプロパノイル、4-ベンゾイルオキシブチリル、5-ベンゾイルオキシペンタノイル、6-ベンゾイルオキシヘキサノイル、2, 2-ジメチル-3-ベンゾイルオキシプロパノイル、2-メチル-3-ベンゾイルオキシプロパノイル、2, 3-ジベンゾイルオキシプロパノイル、5, 5, 4-トリベンゾイルオキシペンタノイル、2-ベンゾイルオキシイソブチリル基等のベンゾイルオキシ基を1～3個有することのある炭素数2～6の直鎖又は分枝鎖状アルカノイル基を挙げることができる。

【0062】フェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基としては、例えばフェノキシカルボニル、4-メトキシフェノキシカルボニル、3-メトキシフェノキシカルボニル、2-メトキシフェノキシカルボニル、3-エトキシフェノキシカルボニル、4-プロポキシフェノキシカルボニル、2-ブトキシフェノキシカルボニル、3-ペンチルオキシフェノキシカルボニル、4-ヘキシルオキシフェノキシカルボニル、2, 4-ジメトキシフェノキシカル

ボニル、3, 4, 5-トリメトキシフェノキシカルボニル基等のフェニル環上に置換基として炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を1～3個有することのあるフェノキシカルボニル基を挙げることができる。

【0063】置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基としては、例えば、ピロジニルカルボニル、1-ベンジルオキシカルボニルピロジニルカルボニル、1-tert-ブトキシカルボニルピロジニルカルボニル、1-メトキシカルボニルピロジニルカルボニル、2-エトキシカルボニルピロジニルカルボニル、3-ペンチルオキシカルボニルピロジニルカルボニル、1-ヘキシルオキシカルボニルピロジニルカルボニル、2-(2-フェニルエトキシカルボニル)ピロジニルカルボニル、4-(3-フェニルプロポキシカルボニル)ピロジニルカルボニル、3-(4-フェニルブトキシカルボニル)ピロジニルカルボニル、1-(5-フェニルペンチルオキシカルボニル)ピロジニルカルボニル、1-(6-フェニルヘキシルオキシカルボニル)ピロジニルカルボニル、1, 3-ジメトキシカルボニルピロジニルカルボニル、1, 2, 4-エトキシカルボニルピロジニルカルボニル、1-ベンジルオキシカルボニル-3-メトキシカルボニルピロジニルカルボニル基等の置換基としてアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシであるアルコキシカルボニル基及びアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシであるフェニルアルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を1～3個有することのあるピロリジニルカルボニル基を挙げることができる。

【0064】置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基としては、例えばアミノメトキシカルボニル、2-アミノエトキシカルボニル、1-アミノエトキシカルボニル、3-アミノプロポキシカルボニル、4-アミノブトキシカルボニル、5-アミノペンチルオキシカルボニル、6-アミノヘキシルオキシカルボニル、1, 1-ジメチル-2-アミノエトキシカルボニル、2-メチル-3-アミノプロポキシカルボニル、メチルアミノメトキシカルボニル、1-エチルアミノエトキシカルボニル、2-プロピルアミノエトキシカルボニル、3-イソプロピルアミノプロポキシカルボニル、4-ブチルアミノブトキシカルボニル、5-ペンチルアミノペンチルオキシカルボニル、6-ヘキシルアミノヘキシルオキシカルボニル、ジメチルアミノメトキシカルボニル、(N-エチル-N-プロピルアミノ)メトキシカルボニル、2-(N-メチル-N-ヘキシルアミノ)エトキシカルボニル基等の置換基として炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1～2個有することのあるアミノ基を有するアルコキシ部分が炭素数1～6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシであるア



ルコキシカルボニル基を挙げることができる。

【0065】フェニル環上に置換基として低級アルコキシ基、低級アルコキシ低級アルコキシ基及び水酸基なる群より選ばれる基を有することのあるフェニル基としては、例えばフェニル、3-メトキシメトキシ-4-メトキシフェニル、3-メトキシ-4-ヒドロキシフェニル、4-ヒドロキシフェニル、3-ヒドロキシフェニル、2-ヒドロキシフェニル、3, 4-ジヒドロキシフェニル、2, 4, 5-トリヒドロキシフェニル、2-メトキシフェニル、3-エトキシフェニル、4-プロポキシフェニル、2-ブトキシフェニル、3-ペンチルオキシフェニル、4-ヘキシルオキシフェニル、2, 4-ジメトキシフェニル、3, 4, 5-トリメトキシフェニル、3-メトキシメトキシフェニル、2-(2-エトキシエトキシ)フェニル、4-(3-プロポキシプロポキシ)フェニル、2-(4-ブトキシブトキシ)フェニル、3-(5-ペンチルオキシペンチルオキシ)フェニル、4-(6-ヘキシルオキシヘキシルオキシ)フェニル、2, 3-ジ(メトキシメトキシ)フェニル、3, 4, 5-トリ(メトキシメトキシ)フェニル基等のフェニル環上に置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基、アルコキシ部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコキシアルコキシ基及び水酸基なる群より選ばれる基を1~3個有することのあるフェニル基を挙げることができる。

【0066】低級アルキルチオ基としては、例えばメチルチオ、エチルチオ、プロピルチオ、イソプロピルチオ、ブチルチオ、イソブチルチオ、tert-ブチルチオ、ペンチルチオ、ヘキシルチオ基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキルチオ基を挙げることができる。

【0067】置換基としてカルボキシ基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ基なる群より選ばれる基を有する低級アルキルチオ基としては、例えばカルボキシメチルチオ、2-(ジエチルアミノ)エチルチオ、2-カルボキシエチルチオ、3-カルボキシプロピルチオ、4-カルボキシブチルチオ、5-カルボキシペンチルチオ、6-カルボキシヘキシルチオ、1, 1-ジメチル-2-カルボキシエチルチオ、2-メチル-3-カルボキシプロピルチオ、アミノメチルチオ、1-(メチルアミノ)エチルチオ、4-(エチルアミノ)ブチルチオ、5-(プロピルアミノ)ペンチルチオ、6-(ブチルアミノ)ヘキシルチオ、1, 1-ジメチル-2-(ペンチルアミノ)エチルチオ、2-メチル-3-(ヘキシルアミノ)プロピルチオ、ジエチルアミノメチルチオ、2-(N-メチル-N-エチルアミノ)エチルチオ、3-ジエチルアミノ-1-カルボキシプロピルチオ基等の置換基としてカルボキシ基及び置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を1~2個有することのあるアミノ基なる群より選ばれる基を有する

ことのある炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキルチオ基を挙げることができる。

【0068】水酸基置換低級アルキルチオ基としては、例えばヒドロキシメチルチオ、2-ヒドロキシエチルチオ、1-ヒドロキシエチルチオ、3-ヒドロキシプロピルチオ、4-ヒドロキシブチルチオ、5-ヒドロキシペンチルチオ、6-ヒドロキシヘキシルチオ、1, 1-ジメチル-2-ヒドロキシエチルチオ、2-メチル-3-ヒドロキシプロピルチオ、2, 3-ジヒドロキシプロピルチオ、5, 5, 4-トリヒドロキシペンチルチオ、1-ヒドロキシイソプロピルチオ基等の水酸基を1~3個有することのある炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキルチオ基を挙げることができる。

【0069】シクロアルキルチオ基としては、例えばシクロプロピルチオ、シクロブチルチオ、シクロペンチルチオ、シクロヘキシルチオ、シクロヘプチルチオ、シクロオクチルチオ基等の炭素数3~8のシクロアルキルチオ基を挙げることができる。

【0070】低級アルカノイルチオ基としては、例えばアセチルチオ、プロピオニルチオ、ブチリルチオ、ペンタノイルチオ、ヘキサノイルチオ、tert-ブチリルチオ、イソブチリルチオ基等の炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルカノイルチオ基をあげることができる。

【0071】低級アルキレンオキシ基としては、例えばメチレンオキシ、エチレンオキシ、トリメチレンオキシ、2-メチルトリメチレンオキシ、2, 2-ジメチルトリメチレンオキシ、1-メチルトリメチレンオキシ、メチルメチレンオキシ、エチルメチレンオキシ、テトラメチレンオキシ、ペンタメチレンオキシ、ヘキサメチレンオキシ基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキレンオキシ基を挙げることができる。

【0072】ピリジル低級アルキル基としては、例えば(3-ピリジル)メチル、2-(2-ピリジル)エチル、1-(4-ピリジル)エチル、3-(2-ピリジル)プロピル、4-(3-ピリジル)ブチル、5-(4-ピリジル)ペンチル、6-(2-ピリジル)ヘキシル、1, 1-ジメチル-2-(3-ピリジル)エチル、2-メチル-3-(4-ピリジル)プロピル基等のピリジル基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基を挙げることができる。

【0073】 $R^{13}$ 及び $R^{14}$ が結合する窒素原子と共に、窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく互いに結合して形成する5~7員の飽和複素環基としては、例えばピロリジニル、ピペリジニル、ピペラジニル、モルホリノ、ホモピペラジニル、ホモモルホリノ基等を挙げることができる。

【0074】低級アルキル基及び基-( $A_3$ )<sub>q</sub>NR<sup>15</sup>R<sup>16</sup>なる群より選ばれる基が置換した前記複素環基としては、例えば3-[(4-メチル-1-ピペラジニル)メチル]モルホリノ、2-[(1-ピロリジニル)メチル]

ル] ピロリジニル、2-モルホリノメチルピロリジニル、4-(4-メチル-1-ピペラジニル) ピペリジニル、4-モルホリノピペリジニル、4-(1-ピペリジニル) ピペリジニル、3-[ (1-ピロリジニル) メチル] モルホリノ、2-モルホリノメチルモルホリノ、2-[ (4-メチル-1-ピペラジニル) メチル] モルホリノ、4-ジメチルアミノピペリジニル、4-メチルピペラジニル、2-[ (1-ピロリジニル) メチル] モルホリノ、3、4-ジメチルピペラジニル、4-エチルピペラジニル、4-メチルホモピペラジニル、4-ジメチルアミノピペリジニル、4-ジエチルアミノピペリジニル、4-n-ブチルホモピペラジニル、4-(2-ジメチルアミノエチル) ピペラジニル、3-メチルピペラジニル、2-[ (N-フェニル-N-メチルアミノ) メチル] ピロリジニル、4-(3-ジエチルアミノプロピル) ホモピペラジニル、3、4、5-トリメチルピペラジニル、4-イソプロピルピペラジニル、3、3、4-トリメチルピペラジニル、4、5-ジメチルホモピペラジニル、3-メチル-4-エチルピペラジニル、3-メチル-4-n-プロピルピペラジニル、3-n-プロピル-4-メチルピペラジニル、3-メチル-4-イソプロピルピペラジニル、3-エチル-4-メチルピペラジニル、3-メチル-4-(2-ジエチルアミノエチル) ピペラジニル、3-イソプロピル-4-メチルピペラジニル、4-[ (N-フェニル-N-エチル) アミノ] ピペリジニル、4-(3、4、5-トリメチル-1-ピペラジニル) モルホリノ、4-(3-エチル-4-メチル-1-ピペラジニル) ピペリジニル、3-ジエチルアミノモルホリノ基等の炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基及び基- $(A_3)_qNR^{15}R^{16}$  ( $q$ は0又は1を示す。 $A_3$ は炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキレン基を示す。 $R^{15}$ 及び $R^{16}$ は同一又は異なって水素原子、炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基又はフェニル基を示す。また $R^{15}$ 及び $R^{16}$ は、結合する窒素原子と共に窒素原子もしくは酸素原子を介し又は介することなく5~6員の飽和複素環を形成してもよい。該複素環には置換基として炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルキル基が1~3個置換していてもよい。) なる群より選ばれる基を1~3個有する上記複素環基を挙げることができる。

【0075】低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基としては、例えば2-

(1, 1-ジメチル-1-メトキシメトキシアミノカルボニル) ビニル、2-(メトキシメトキシアミノカルボニル) ビニル、3-[ (3-メトキシプロポキシ) アミノカルボニル] アリル、4-(エトキシメトキシアミノカルボニル) -3-メチル-1-ブテニル、4-[ (3-エトキシプロポキシ) アミノカルボニル] -2-ブテニル、4-[ (4-エトキシブトキシ) アミノカルボニル] -3-ブテニル、3-[ (5-イソプロポキシペン

チルオキシ) アミノカルボニル] -1-メチルアリル、5-[ (6-プロポキシヘキシルオキシ) アミノカルボニル] -2-ペンテニル、6-[ (1, 1-ジメチル-2-ブトキシエトキシ) アミノカルボニル] -2-ヘキセニル、3-[ (2-メチル-3-tert-ブトキシプロポキシ) アミノカルボニル] -1-プロペニル、2-[ (2-ペンチルオキシエトキシ) アミノカルボニル] ビニル、3-(ヘキシルオキシメトキシアミノカルボニル) アリル基等のアルコキシ部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基であるアルコシアルコシアミノカルボニル基を有する炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルケニル基を挙げることができる。

【0076】水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基としては、例えば2-(ヒドロキシアミノカルボニル) ビニル、3-(ヒドロキシアミノカルボニル) アリル、4-(ヒドロキシアミノカルボニル) -3-メチル-1-ブテニル、4-(ヒドロキシアミノカルボニル) -2-ブテニル、4-(ヒドロキシアミノカルボニル) -3-ブテニル、3-(ヒドロキシアミノカルボニル) -1-メチルアリル、5-(ヒドロキシアミノカルボニル) -2-ペンテニル、6-(ヒドロキシアミノカルボニル) -2-ヘキセニル、3-(ヒドロキシアミノカルボニル) -1-プロペニル基等の水酸基置換アミノカルボニル基を有する炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルケニル基を挙げることができる。

【0077】ビリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基としては、例えば2-[ (2-ビリジル) アミノカルボニル] ビニル、3-[ (3-ビリジル) アミノカルボニル] アリル、4-[ (4-ビリジル) アミノカルボニル] -3-メチル-1-ブテニル、4-[ (2-ビリジル) アミノカルボニル] -2-ブテニル、4-[ (3-ビリジル) アミノカルボニル] -3-ブテニル、3-[ (4-ビリジル) アミノカルボニル] -1-メチルアリル、5-[ (2-ビリジル) アミノカルボニル] -2-ペンテニル、6-[ (3-ビリジル) アミノカルボニル] -2-ヘキセニル、3-[ (4-ビリジル) アミノカルボニル] -1-プロペニル基等のビリジル置換アミノカルボニル基を有する炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルケニル基を挙げることができる。

【0078】ピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基としては、例えば2-[ (2-ピリミジル) アミノカルボニル] ビニル、3-[ (4-ピリミジル) アミノカルボニル] アリル、4-[ (5-ピリミジル) アミノカルボニル] -3-メチル-1-ブテニル、4-[ (6-ピリミジル) アミノカルボニル] -2-ブテニル、4-[ (2-ピリミジル) アミノカルボニル] -3-ブテニル、3-[ (4-ピリミジル) アミノカルボニル] -1-メチルアリル、5-[ (5-ピリミジル) アミノカルボニル] -2-ペンテニル、6-[ (6-ピリミジル) アミノカルボニル] -2-ヘキセニル、

3-[(2-ピリミジル)アミノカルボニル]-1-プロペニル基等のピリミジル置換アミノカルボニル基を有する炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルケニル基を挙げることができる。

【0079】低級アルキルチオウレイドカルボニル基としては、例えばメチルチオウレイドカルボニル、エチルチオウレイドカルボニル、プロピルチオウレイドカルボニル、イソプロピルチオウレイドカルボニル、ブチルチオウレイドカルボニル、イソブチルチオウレイドカルボニル、tert-ブチルチオウレイドカルボニル、ペンチルチオウレイドカルボニル、ヘキシルチオウレイドカルボニル基等のアルキル部分が炭素数直鎖又は分枝鎖状アルキル基であるアルキルチオウレイドカルボニル基を挙げることができる。

【0080】ピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基としては、例えば、(2-ピリミジル)アミノカルボニルメトキシ、2-(4-ピリミジル)アミノカルボニルエトキシ、1-(5-ピリミジル)アミノカルボニルエトキシ、3-(2-ピリミジル)アミノカルボニルプロポキシ、4-(6-ピリミジル)アミノカルボニルブトキシ、5-(2-ピリミジル)アミノカルボニルペンチルオキシ、6-(4-ピリミジル)アミノカルボニルヘキシルオキシ、1,1-ジメチル-2-(5-ピリミジル)アミノカルボニルエトキシ、2-メチル-3-(2-ピリミジル)アミノカルボニルプロポキシ等のピリミジルアミノカルボニル基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0081】ピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基としては、例えば、(2-ピリジル)アミノカルボニルメトキシ、2-(3-ピリジル)アミノカルボニルエトキシ、1-(4-ピリジル)アミノカルボニルエトキシ、3-(2-ピリジル)アミノカルボニルプロポキシ、4-(4-ピリジル)アミノカルボニルブトキシ、5-(2-ピリジル)アミノカルボニルペンチルオキシ、6-(3-ピリジル)アミノカルボニルヘキシルオキシ、1,1-ジメチル-2-(4-ピリジル)アミノカルボニルエトキシ、2-メチル-3-(2-ピリジル)アミノカルボニルプロポキシ等のピリジルアミノカルボニル基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0082】ピラジルアミノカルボニル低級アルコキシ基としては、例えば(2-ピラジル)アミノカルボニルメトキシ、2-(3-ピラジル)アミノカルボニルエトキシ、1-(5-ピラジル)アミノカルボニルエトキシ、3-(2-ピラジル)アミノカルボニルプロポキシ、4-(2-ピラジル)アミノカルボニルブトキシ、5-(2-ピラジル)アミノカルボニルペンチルオキシ、6-(3-ピラジル)アミノカルボニルヘキシルオキシ、1,1-ジメチル-2-(3-ピラジル)アミノカルボニルエトキシ、2-メチル-3-(2-ピラジ

ル)アミノカルボニルプロポキシ等のピラジルアミノカルボニル基を有する炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基を挙げることができる。

【0083】低級アルケニレン基としては、例えば、ビニレン、1-プロペニレン、1-メチル-1-プロペニレン、2-メチル-1-プロペニレン、2-プロペニレン、2-ブテニレン、1-ブテニレン、3-ブテニレン、2-ペンテニレン、1-ペンテニレン、3-ペンテニレン、4-ペンテニレン、1,3-ブタジエニレン、1,3-ペンタジエニレン、2-ペンテン-4-イニレン、2-ヘキセニレン、1-ヘキセニレン、5-ヘキセニレン、3-ヘキセニレン、4-ヘキセニレン、3,3-ジメチル-1-プロペニレン、2-エチル-1-プロペニレン、1,3-ヘキサジエニレン、1,4-ヘキサジエニレン、1,3,5-ヘキサトリエニレン等の二重結合を1~3個有する炭素数2~6の直鎖又は分枝鎖状アルケニレン基を挙げることができる。

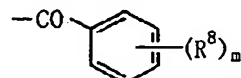
【0084】1,2,4-トリアゾリル置換低級アルコキシ基としては、例えば1,2,4-トリアゾリルメトキシ、2-(1,2,4-トリアゾリル)エトキシ、1-(1,2,4-トリアゾリル)エトキシ、3-(1,2,4-トリアゾリル)プロポキシ、4-(1,2,4-トリアゾリル)ブトキシ、5-(1,2,4-トリアゾリル)ペンチルオキシ、6-(1,2,4-トリアゾリル)ヘキシルオキシ、1,1-ジメチル-2-(1,2,4-トリアゾリル)エトキシ、2-メチル-3-(1,2,4-トリアゾリル)プロポキシ等のアルコキシ部分が炭素数1~6の直鎖又は分枝鎖状アルコキシ基である1,2,4-トリアゾリル置換アルコキシ基を挙げることができる。

【0085】本発明の一般式(1)のベンゼン誘導体には、下記の種々の態様の化合物が包含される。これらの態様においてR<sup>3</sup>及びR<sup>4</sup>は、全て前記一般式(1)における定義と同じである。

【0086】(1)R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれた基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が基

【0087】

【化15】



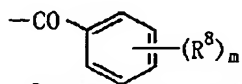
【0088】(R<sup>6</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>6</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0089】(2)R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄

原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0090】

【化16】

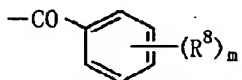


【0091】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0092】(3)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0093】

【化17】



【0094】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0095】(4)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0096】

【化18】

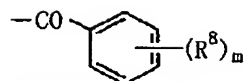


【0097】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0098】(5)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0099】

【化19】

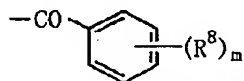


【0100】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0101】(6)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0102】

【化20】



【0103】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0104】(7)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0105】

【化21】

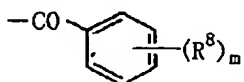


【0106】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0107】(8)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ が基

【0108】

【化22】

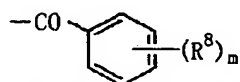


【0109】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0110】(9) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が基

【0111】

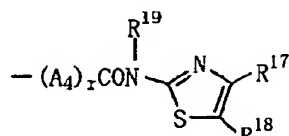
【化23】



【0112】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【0113】

【化24】

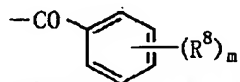


【0114】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0115】(10) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が基

【0116】

【化25】

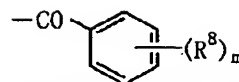


【0117】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0118】(11) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が基

【0119】

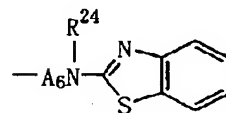
【化26】



【0120】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【0121】

【化27】



【0122】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0123】(12) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシアルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0124】(13) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0125】(14) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0126】(15) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基

(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0127】(16)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0128】(17)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

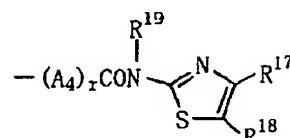
【0129】(18)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0130】(19)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボ

ニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0131】(20)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0132】  
【化28】

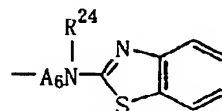


【0133】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0134】(21)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ -COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0135】(22)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0136】  
【化29】



【0137】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【0138】(23)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0139】(24)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0140】(25)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0141】(26)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0142】(27)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0143】(28)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキ

ル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

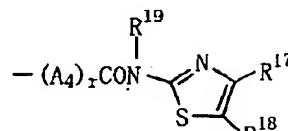
【0144】(29)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0145】(30)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0146】(31)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0147】

【化30】



【0148】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0149】(32)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0150】(33)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫

黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0151】

【化31】



【0152】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0153】(34)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0154】(35)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0155】(36)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0156】(37)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換

していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0157】(38)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0158】(39)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0159】(40)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

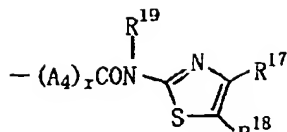
【0160】(41)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0161】(42)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基  
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0162】



【化32】



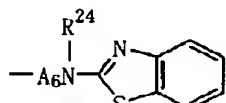
【0163】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0164】(43) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0165】(44) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0166】

【化33】



【0167】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0168】(45) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0169】(46) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基とし

て低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0170】(47) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0171】(48) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0172】(49) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0173】(50) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基で

ある前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

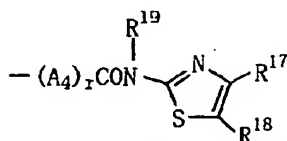
【0174】(51)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0175】(52)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0176】(53)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0177】

【化34】



【0178】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0179】(54)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アル

ルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0180】(55)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0181】

【化35】



【0182】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0183】(56)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシ基アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0184】(57)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0185】(58)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0186】(59)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0187】(60)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0188】(61)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

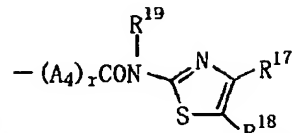
【0189】(62)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0190】(63)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0191】(64)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換

していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0192】  
【化36】

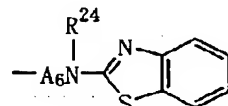


【0193】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式（1）における定義と同じ）である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0194】(65)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基  $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式（1）における定義と同じ）である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0195】(66)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0196】  
【化37】



【0197】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式（1）における定義と同じ）である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0198】(67)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基（該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。）を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式（1）で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0199】(68)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基

(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0200】(69)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0201】(70)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0202】(71)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0203】(72)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0204】(73)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基

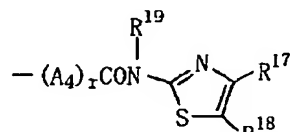
(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0205】(74)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0206】(75)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0207】

【化38】



【0208】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

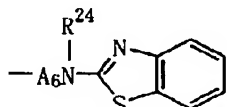
【0209】(76)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0210】(77)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基とし

て低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0211】

【化39】



【0212】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0213】(78)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0214】(79)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0215】(80)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0216】(81)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0217】(82)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0218】(83)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

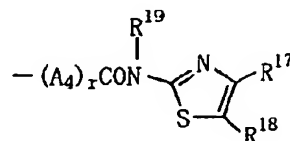
【0219】(84)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0220】(85)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0221】(86)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0222】

【化40】



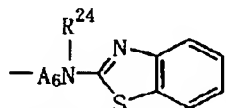
【0223】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0224】(87) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0225】(88) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0226】

【化41】



【0227】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0228】(89) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0229】(90) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0230】(91) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキ

ル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0231】(92) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0232】(93) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0233】(94) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0234】(95) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

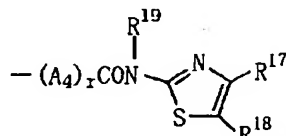
【0235】(96) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0236】(97) R<sup>1</sup>が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基

(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【0237】

【化42】



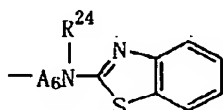
【0238】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0239】(98)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0240】(99)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【0241】

【化43】



【0242】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0243】(100)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0244】(101)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は

硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基

(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0245】(102)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0246】(103)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0247】(104)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0248】(105)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0249】(106)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカル

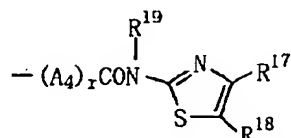


ボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0250】(107)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0251】(108)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0252】  
【化44】

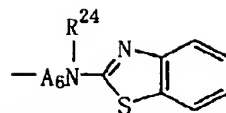


【0253】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0254】(109)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0255】(110)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0256】  
【化45】



【0257】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0258】(111)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0259】(112)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0260】(113)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0261】(114)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換ア



ミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0262】(115)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0263】(116)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0264】(117)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

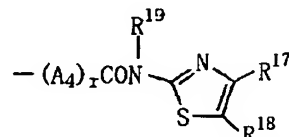
【0265】(118)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアルミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0266】(119)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキ

ル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0267】

【化46】



【0268】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0269】(120)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_rCOOH$ ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0270】(121)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0271】

【化47】



【0272】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0273】(122)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換

していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0274】(123)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0275】(124)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0276】(125)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0277】(126)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0278】(127)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換

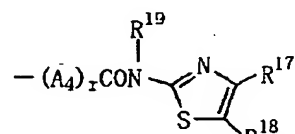
していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0279】(128)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0280】(129)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0281】(130)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0282】  
【化48】



【0283】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

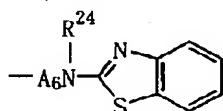
【0284】(131)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカル

ボニル基を示し、 $R^5$ が基— $(A_4)_xCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0285】(132)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0286】

【化49】



【0287】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0288】(133)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0289】(134)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0290】(135)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0291】(136)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0292】(137)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0293】(138)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

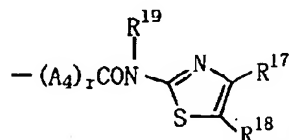
【0294】(139)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0295】(140)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0296】(141)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0297】

【化50】



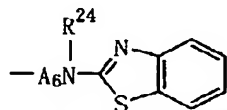
【0298】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0299】(142)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0300】(143)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0301】

【化51】



【0302】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0303】(144)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換

していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $_p$ - NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0304】(145)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $_p$ - NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0305】(146)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $_p$ - NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0306】(147)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $_p$ - NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0307】(148)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $_p$ - NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0308】(149)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1～4個有する5～6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1\sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキ

ル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基 $-CO-$  ( $A_1$ )<sub>p</sub>、 $-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

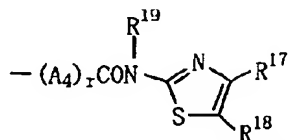
【0309】(150)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基 $-CO-$  ( $A_1$ )<sub>p</sub>、 $-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0310】(151)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基 $-CO-$  ( $A_1$ )<sub>p</sub>、 $-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0311】(152)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基 $-CO-$  ( $A_1$ )<sub>p</sub>、 $-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0312】

【化52】



【0313】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

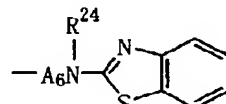
【0314】(153)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基 $-CO-$  ( $A_1$ )<sub>p</sub>

$-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基 $-COOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0315】(154)  $R^1$ が窒素原子、酸素原子又は硫黄原子を1~4個有する5~6員の不飽和複素環残基(該複素環上には、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル基、置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルキル基及びシクロアルキル基なる群から選ばれる基が置換していてもよい。)を示し、 $R^2$ が基 $-CO-$  ( $A_1$ )<sub>p</sub>、 $-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0316】

【化53】

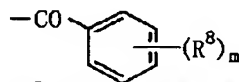


【0317】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0318】(155)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基

【0319】

【化54】



【0320】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0321】(156)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基

【0322】

【化55】

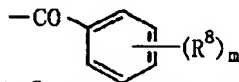


【0323】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0324】(157)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基

【0325】

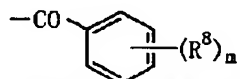
【化56】



【0326】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカル

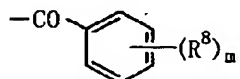
ボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0327】(158)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0328】  
【化57】



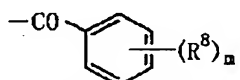
【0329】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0330】(159)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0331】  
【化58】



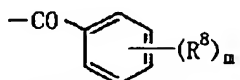
【0332】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0333】(160)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0334】  
【化59】



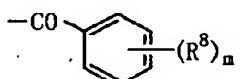
【0335】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0336】(161)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0337】  
【化60】



【0338】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

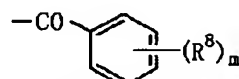
【0339】(162)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0340】  
【化61】



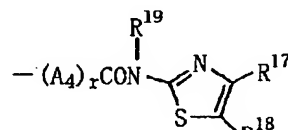
【0341】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル

ル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0342】(163)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0343】  
【化62】

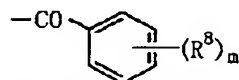


【0344】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基  
【0345】  
【化63】



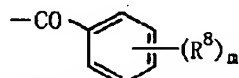
【0346】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0347】(164)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0348】  
【化64】

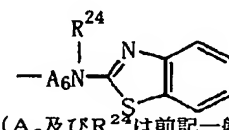


【0349】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基  $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0350】(165)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基  
【0351】  
【化65】



【0352】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基  
【0353】  
【化66】



【0354】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0355】(166)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ば

れる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0356】(167) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0357】(168) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0358】(169) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0359】(170) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0360】(171) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0361】(172) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

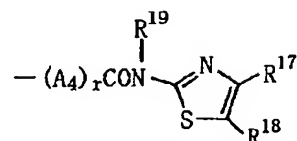
【0362】(173) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0363】(174) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒド

ロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0364】

【化67】



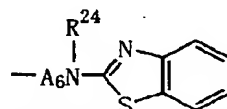
【0365】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0366】(175) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0367】(176) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0368】

【化68】



【0369】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0370】(177) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0371】(178) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0372】(179) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0373】(180) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0374】(181) R<sup>1</sup>がシアノ基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイ

ドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0375】(182)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

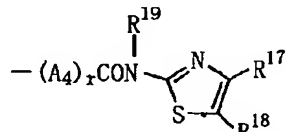
【0376】(183)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0377】(184)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0378】(185)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0379】

【化69】



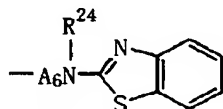
【0380】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0381】(186)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0382】(187)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0383】

【化70】



【0384】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0385】(188)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0386】(189)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級

アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0387】(190)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0388】(191)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0389】(192)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0390】(193)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

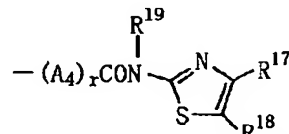
【0391】(194)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0392】(195)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0393】(196)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0394】

【化71】



【0395】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

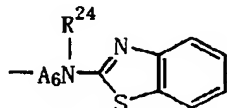
【0396】(197)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。



【0397】(198)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0398】

【化72】



【0399】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0400】(199)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0401】(200)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0402】(201)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0403】(202)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0404】(203)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0405】(204)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0406】(205)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置

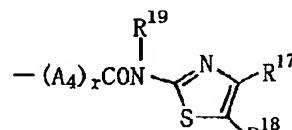
換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0407】(206)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0408】(207)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0409】

【化73】



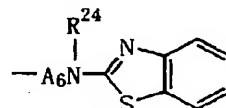
【0410】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0411】(208)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0412】(209)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0413】

【化74】



【0414】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0415】(210)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0416】(211)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0417】(212)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0418】(213)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0419】(214)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0420】(215)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

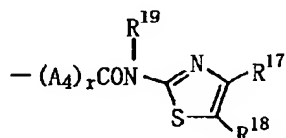
【0421】(216)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0422】(217)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0423】(218)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0424】

【化75】



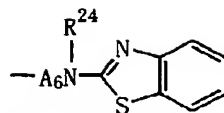
【0425】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0426】(219)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0427】(220)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0428】

【化76】



【0429】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0430】(221)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0431】(222)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0432】(223)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0433】(224)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0434】(225)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0435】(226)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

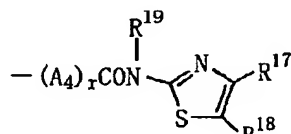
【0436】(227)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0437】(228)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0438】(229)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0439】

【化77】



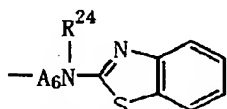
【0440】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0441】(230)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0442】(231)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0443】

【化78】



【0444】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0445】(232)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0446】(233)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0447】(234)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0448】(235)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0449】(236)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイ

ドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0450】(237)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

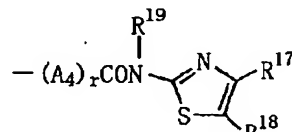
【0451】(238)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0452】(239)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0453】(240)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0454】

【化79】



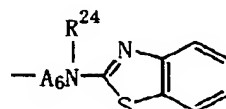
【0455】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0456】(241)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0457】(242)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0458】

【化80】



【0459】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0460】(243)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0461】(244)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0462】(245)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0463】(246)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0464】(247)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0465】(248)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

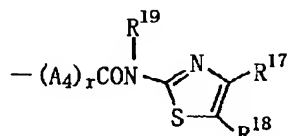
【0466】(249)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0467】(250)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0468】(251)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【0469】

【化81】



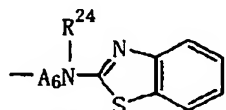
【0470】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0471】(252)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0472】(253)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【0473】

【化82】



【0474】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【0475】(254)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0476】(255)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0477】(256)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0478】(257)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0479】(258)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0480】(259)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

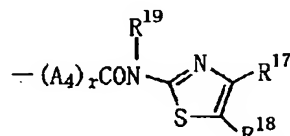
【0481】(260)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0482】(261)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0483】(262)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0484】

【化83】



【0485】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

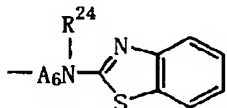
【0486】(263)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘

導体又はその塩。

【0487】(264)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0488】

【化84】



【0489】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0490】(265)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0491】(266)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0492】(267)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0493】(268)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0494】(269)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0495】(270)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が

ピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

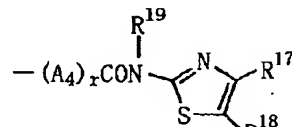
【0496】(271)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0497】(272)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0498】(273)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0499】

【化85】



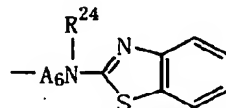
【0500】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0501】(274)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0502】(275)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0503】

【化86】



【0504】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0505】(276)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0506】(277)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0507】(278)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0508】(279)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0509】(280)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0510】(281)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

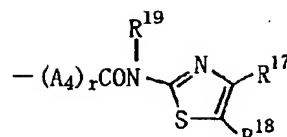
【0511】(282)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0512】(283)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0513】(284)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0514】

【化87】



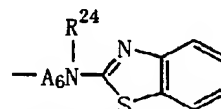
【0515】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0516】(285)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0517】(286)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0518】

【化88】



【0519】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0520】(287)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0521】(288)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0522】(289)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0523】(290)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0524】(291)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイド

カルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0525】(292)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

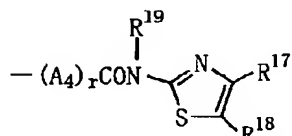
【0526】(293)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0527】(294)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0528】(295)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0529】

【化89】



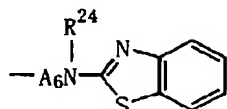
【0530】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0531】(296)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_r \text{COOH}$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0532】(297)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0533】

【化90】



【0534】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0535】(298)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0536】(299)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0537】(300)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0538】(301)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0539】(302)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0540】(303)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0541】(304)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0542】(305)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0543】(306)  $R^1$ がシアノ基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11} \text{R}^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0544】

【化91】



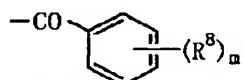


【0570】 ( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0571】 (316)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基

【0572】

【化100】

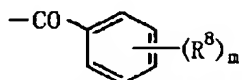


【0573】 ( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0574】 (317)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基

【0575】

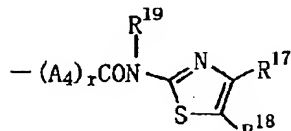
【化101】



【0576】 ( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0577】

【化102】

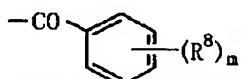


【0578】 ( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0579】 (318)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基

【0580】

【化103】

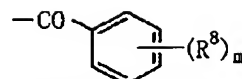


【0581】 ( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基  $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0582】 (319)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基

【0583】

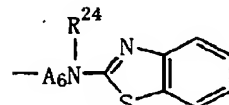
【化104】



【0584】 ( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0585】

【化105】



【0586】 ( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0587】 (320)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0588】 (321)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0589】 (322)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0590】 (323)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0591】 (324)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0592】 (325)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表さ

れるベンゼン誘導体又はその塩。

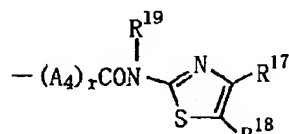
【0593】(326)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0594】(327)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0595】(328)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0596】

【化106】



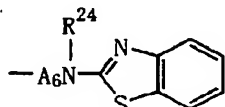
【0597】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0598】(329)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0599】(330)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0600】

【化107】



【0601】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0602】(331)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基

である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0603】(332)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0604】(333)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0605】(334)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0606】(335)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0607】(336)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

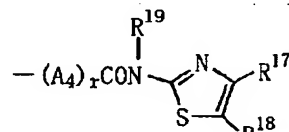
【0608】(337)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0609】(338)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0610】(339)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0611】

【化108】



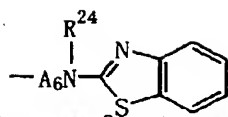
【0612】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0613】(340)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0614】(341)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0615】

【化109】



【0616】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0617】(342) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0618】(343) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0619】(344) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0620】(345) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0621】(346) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0622】(347) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0623】(348) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

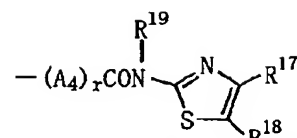
【0624】(349) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0625】(350) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノ

イル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0626】

【化110】



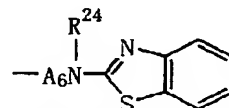
【0627】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0628】(351) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0629】(352) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0630】

【化111】



【0631】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0632】(353) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0633】(354) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0634】(355) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0635】(356) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシク

ロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0636】(357)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0637】(358)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

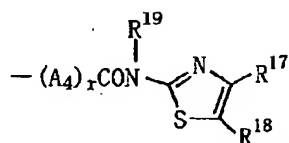
【0638】(359)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0639】(360)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0640】(361)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0641】

【化112】



【0642】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

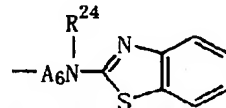
【0643】(362)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )  $r$  C OOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0644】(363)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有するこ

とのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0645】

【化113】



【0646】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0647】(364)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0648】(365)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0649】(366)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0650】(367)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0651】(368)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0652】(369)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

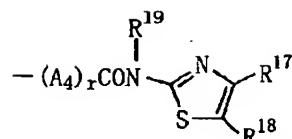
【0653】(370)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0654】(371)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0655】(372)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0656】

【化114】



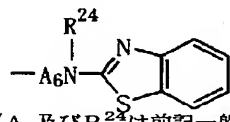
【0657】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0658】(373) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0659】(374) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0660】

【化115】



【0661】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0662】(375) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0663】(376) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0664】(377) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0665】(378) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその

の塩。

【0666】(379) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0667】(380) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

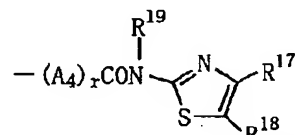
【0668】(381) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0669】(382) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0670】(383) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0671】

【化116】



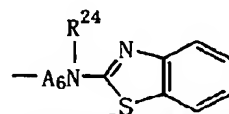
【0672】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0673】(384) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0674】(385) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0675】

【化117】



【0676】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)におけ

る定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0677】(386)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0678】(387)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0679】(388)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0680】(389)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0681】(390)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0682】(391)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

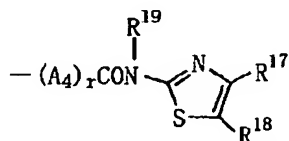
【0683】(392)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0684】(393)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0685】(394)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0686】

【化118】



【0687】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

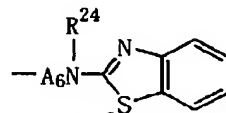
【0688】(395)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )  $r$  C OOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と

同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0689】(396)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0690】

【化119】



【0691】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0692】(397)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0693】(398)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0694】(399)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0695】(400)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0696】(401)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0697】(402)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

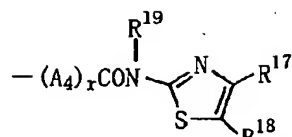
【0698】(403)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0699】(404)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0700】(405)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【0701】

【化120】



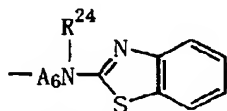
【0702】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0703】(406) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0704】(407) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0705】

【化121】



【0706】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0707】(408) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0708】(409) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0709】(410) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0710】(411) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0711】(412) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0712】(413) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0713】(414) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>

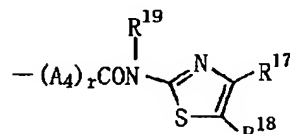
が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0714】(415) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0715】(416) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0716】

【化122】



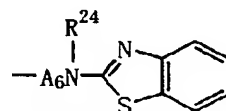
【0717】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0718】(417) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0719】(418) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0720】

【化123】



【0721】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0722】(419) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれた基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0723】(420) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれた基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0724】(421) R<sup>1</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>2</sup>

が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0725】(422)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0726】(423)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0727】(424)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

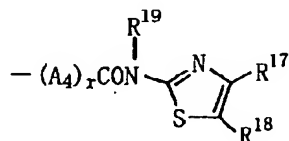
【0728】(425)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0729】(426)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0730】(427)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0731】

【化124】



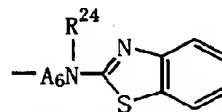
【0732】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0733】(428)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>x</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0734】(429)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0735】

【化125】



【0736】( $A_6$ 及び $R^{23}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0737】(430)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0738】(431)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0739】(432)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0740】(433)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0741】(434)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。



【0742】(435)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

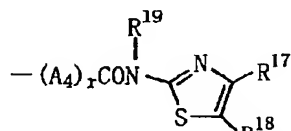
【0743】(436)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0744】(437)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0745】(438)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0746】

【化126】



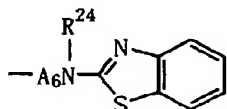
【0747】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0748】(439)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0749】(440)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0750】

【化127】



【0751】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0752】(441)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基で

ある前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0753】(442)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0754】(443)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリ置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0755】(444)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジリ置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0756】(445)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0757】(446)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

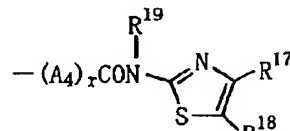
【0758】(447)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0759】(448)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0760】(449)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0761】

【化128】



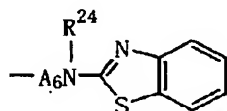
【0762】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0763】(450)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基— $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0764】(451)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0765】

【化129】



【0766】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0767】(452)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0768】(453)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0769】(454)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0770】(455)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0771】(456)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0772】(457)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

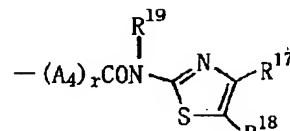
【0773】(458)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0774】(459)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0775】(460)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0776】

【化130】



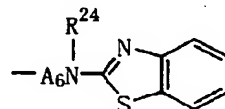
【0777】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0778】(461)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基— $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0779】(462)  $R^1$ がカルボキシ基を示し、 $R^2$ が基— $CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【0780】

【化131】

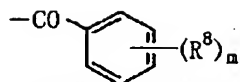


【0781】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0782】(463)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基

【0783】

【化132】

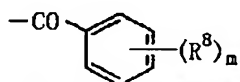


【0784】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0785】(464) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0786】

【化133】



【0787】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0788】(465) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0789】

【化134】



【0790】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0791】(466) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0792】

【化135】

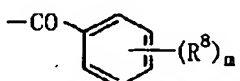


【0793】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0794】(467) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0795】

【化136】



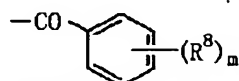
【0796】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカ

ルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0797】(468) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0798】

【化137】

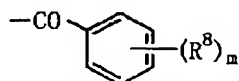


【0799】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0800】(469) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0801】

【化138】

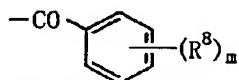


【0802】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0803】(470) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0804】

【化139】



【0805】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0806】(471) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0807】

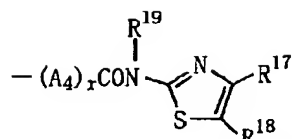
【化140】



【0808】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【0809】

【化141】

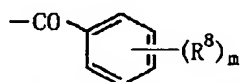


【0810】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0811】(472) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0812】

【化142】

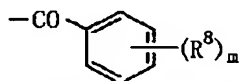


【0813】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0814】(473) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【0815】

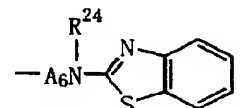
【化143】



【0816】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【0817】

【化144】



【0818】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0819】(474) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0820】(475) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アル

ケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0821】(476) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0822】(477) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0823】(478) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0824】(479) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

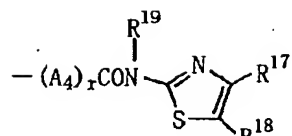
【0825】(480) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0826】(481) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0827】(482) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0828】

【化145】



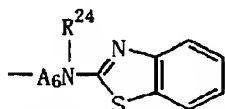
【0829】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0830】(483) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0831】(484) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0832】

【化146】



【0833】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0834】(485) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0835】(486) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0836】(487) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0837】(488) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0838】(489) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0839】(490) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

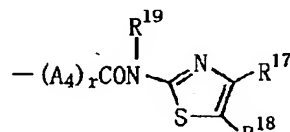
【0840】(491) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0841】(492) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0842】(493) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0843】

【化147】



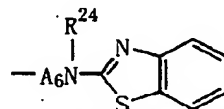
【0844】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0845】(494) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0846】(495) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0847】

【化148】



【0848】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0849】(496) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコ

キシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0850】(497)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0851】(498)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0852】(499)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0853】(500)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0854】(501)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

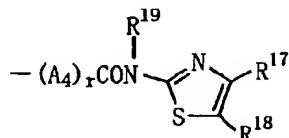
【0855】(502)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0856】(503)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0857】(504)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0858】

【化149】



【0859】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式

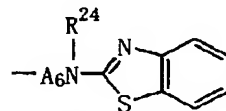
(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0860】(505)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0861】(506)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【0862】

【化150】



【0863】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0864】(507)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0865】(508)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0866】(509)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0867】(510)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0868】(511)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を

有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0869】(512)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

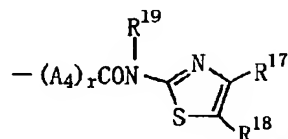
【0870】(513)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0871】(514)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0872】(515)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0873】

【化151】



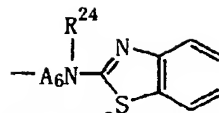
【0874】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0875】(516)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0876】(517)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0877】

【化152】



【0878】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0879】(518)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0880】(519)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0881】(520)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0882】(521)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0883】(522)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0884】(523)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0885】(524)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

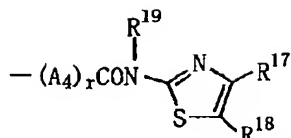
【0886】(525)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0887】(526)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノ

イル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0888】

【化153】



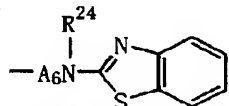
【0889】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0890】(527) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0891】(528) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>6</sup>が基

【0892】

【化154】



【0893】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0894】(529) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0895】(530) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0896】(531) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0897】(532) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置

換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0898】(533) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0899】(534) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

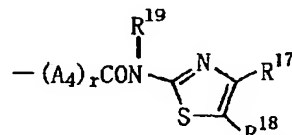
【0900】(535) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0901】(536) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0902】(537) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>6</sup>が基

【0903】

【化155】



【0904】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

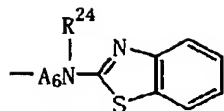
【0905】(538) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0906】(539) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基



【0907】

【化156】



【0908】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0909】(540) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0910】(541) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0911】(542) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0912】(543) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0913】(544) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0914】(545) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

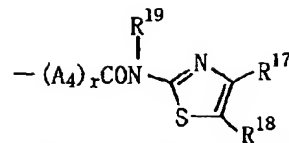
【0915】(546) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0916】(547) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0917】(548) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0918】

【化157】



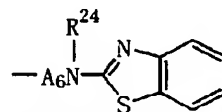
【0919】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0920】(549) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0921】(550) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0922】

【化158】



【0923】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0924】(551) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0925】(552) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0926】(553) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0927】(554) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0928】(555) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0929】(556) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級ア

ルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

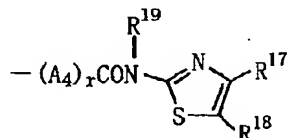
【0930】(557) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0931】(558) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0932】(559) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0933】

【化159】



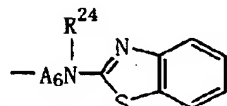
【0934】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0935】(560) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0936】(561) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0937】

【化160】



【0938】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0939】(562) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0940】(563) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0941】(564) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級ア

ルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0942】(565) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0943】(566) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0944】(567) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

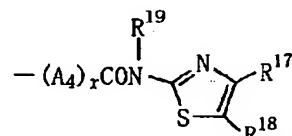
【0945】(568) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0946】(569) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0947】(570) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0948】

【化161】



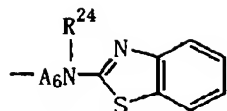
【0949】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0950】(571) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0951】(572) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0952】

【化162】



【0953】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0954】(573) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0955】(574) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0956】(575) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0957】(576) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0958】(577) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0959】(578) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導

体又はその塩。

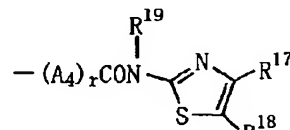
【0960】(579) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0961】(580) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0962】(581) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0963】

【化163】



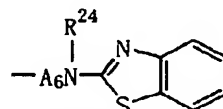
【0964】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0965】(582) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0966】(583) R<sup>1</sup>がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【0967】

【化164】



【0968】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【0969】(584)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0970】(585)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0971】(586)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0972】(587)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0973】(588)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0974】(589)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0975】(590)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

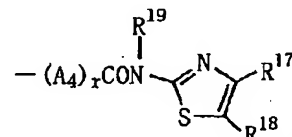
【0976】(591)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0977】(592)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級ア

ルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0978】

【化165】



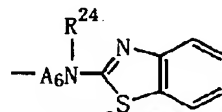
【0979】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0980】(593)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0981】(594)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0982】

【化166】



【0983】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0984】(595)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0985】(596)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0986】(597)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0987】(598)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0988】(599)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0989】(600)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

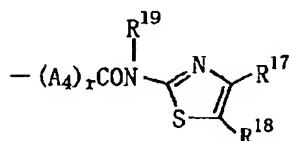
【0990】(601)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0991】(602)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0992】(603)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【0993】

【化167】



【0994】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0995】(604)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0996】(605)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R$

$^5$ が基

【0997】

【化168】



【0998】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【0999】(606)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1000】(607)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1001】(608)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1002】(609)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1003】(610)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1004】(611)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1005】(612)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ )<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレ

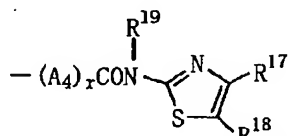
イドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1006】(613)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基 $-CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1007】(614)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基 $-CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1008】

【化169】



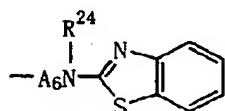
【1009】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1010】(615)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基 $-CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1011】(616)  $R^1$ がカルボキシ基置換低級アルキル基を示し、 $R^2$ が基 $-CO-(A_1)_p-NR^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1012】

【化170】

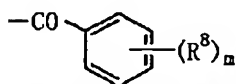


【1013】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1014】(617)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1015】

【化171】



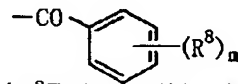
【1016】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)におけ

る定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1017】(618)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1018】

【化172】

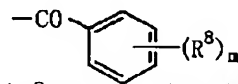


【1019】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1020】(619)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1021】

【化173】

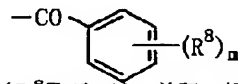


【1022】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1023】(620)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1024】

【化174】

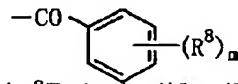


【1025】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1026】(621)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1027】

【化175】

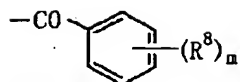


【1028】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1029】(622)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1030】

【化176】



【1031】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1032】(623) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1033】

【化177】

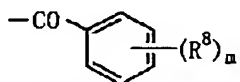


【1034】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1035】(624) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1036】

【化178】



【1037】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアルミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1038】(625) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1039】

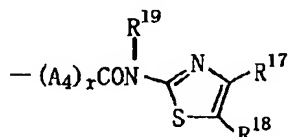
【化179】



【1040】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【1041】

【化180】

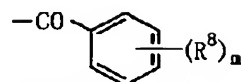


【1042】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1043】(626) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1044】

【化181】

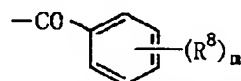


【1045】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1046】(627) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1047】

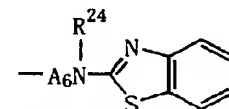
【化182】



【1048】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【1049】

【化183】



【1050】(A<sub>6</sub>及びR<sup>23</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1051】(628) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1052】(629) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1053】(630) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1054】(631)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1055】(632)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1056】(633)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

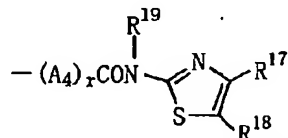
【1057】(634)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1058】(635)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1059】(636)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1060】

【化184】



【1061】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1062】(637)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオ

キソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1063】(638)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1064】

【化185】



【1065】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1066】(639)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1067】(640)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1068】(641)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1069】(642)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1070】(643)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1071】(644)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1072】(645)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般



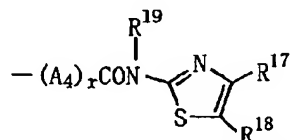
式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1073】(646)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1074】(647)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1075】

【化186】



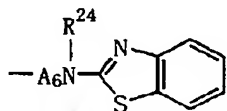
【1076】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1077】(648)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1078】(649)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1079】

【化187】



【1080】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1081】(650)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1082】(651)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1083】(652)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式

(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1084】(653)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1085】(654)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1086】(655)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

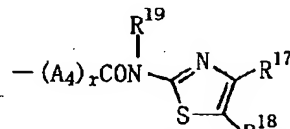
【1087】(656)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1088】(657)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1089】(658)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1090】

【化188】



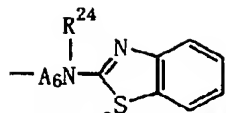
【1091】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1092】(659)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1093】(660)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1094】

【化189】



【1095】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1096】(661) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1097】(662) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1098】(663) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1099】(664) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1100】(665) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1101】(666) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1102】(667) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有す

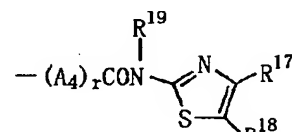
ることのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1103】(668) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1104】(669) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1105】

【化190】



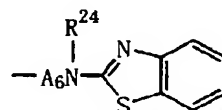
【1106】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1107】(670) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1108】(671) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1109】

【化191】



【1110】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1111】(672) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11112】(673)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11113】(674)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11114】(675)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11115】(676)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11116】(677)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

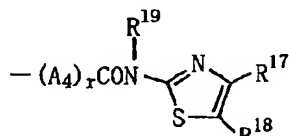
【11117】(678)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11118】(679)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【11119】(680)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1120】

【化192】



【1121】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

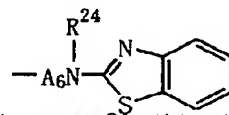
【1122】(681)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル

基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1123】(682)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1124】

【化193】



【1125】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1126】(683)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1127】(684)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1128】(685)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1129】(686)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1130】(687)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1131】(688)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその

塩。

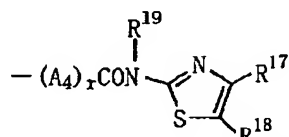
【1132】(689)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1133】(690)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル置換低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1134】(691)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1135】

【化194】



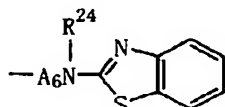
【1136】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1137】(692)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1138】(693)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1139】

【化195】



【1140】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1141】(694)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【1142】(695)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1143】(696)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1144】(697)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1145】(698)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1146】(699)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

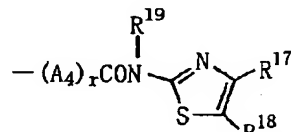
【1147】(700)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1148】(701)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル置換低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1149】(702)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1150】

【化196】



【1151】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1152】(703)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1153】(704)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1154】

【化197】



【1155】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1156】(705)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1157】(706)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1158】(707)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1159】(708)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1160】(709)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1161】(710)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

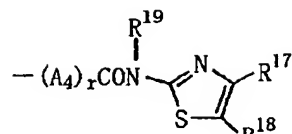
【1162】(711)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1163】(712)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1164】(713)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【1165】

【化198】



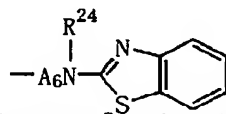
【1166】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1167】(714)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1168】(715)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【1169】

【化199】



【1170】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1171】(716)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1172】(717)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1173】(718)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1174】(719)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1175】(720)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1176】(721)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示

し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

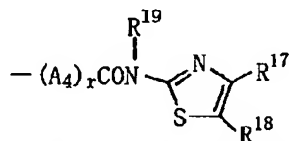
【1177】(722) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1178】(723) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1179】(724) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1180】

【化200】



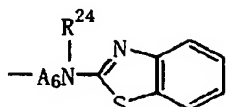
【1181】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1182】(725) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-A<sub>4</sub>-COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1183】(726) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1184】

【化201】



【1185】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1186】(727) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1187】(728) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1188】(729) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1189】(730) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1190】(731) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1191】(732) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1192】(733) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

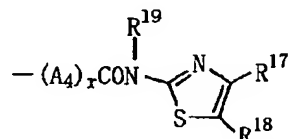
【1193】(734) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1194】(735) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

ニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1195】

【化202】



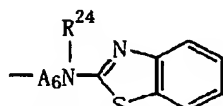
【1196】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1197】(736) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1198】(737) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1199】

【化203】



【1200】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1201】(738) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1202】(739) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1203】(740) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジニル置換アミノカルボニル置換低級アル

ケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1204】(741) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジニル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1205】(742) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1206】(743) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

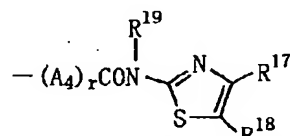
【1207】(744) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1208】(745) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジニルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1209】(746) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1210】

【化204】



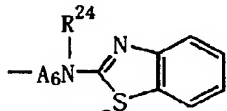
【1211】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1212】(747) R<sup>1</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1213】(748)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1214】

【化205】



【1215】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1216】(749)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1217】(750)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1218】(751)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1219】(752)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1220】(753)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1221】(754)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1222】(755)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が

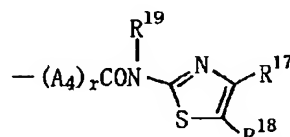
低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1223】(756)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1224】(757)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1225】

【化206】



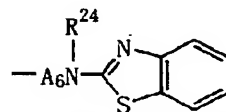
【1226】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1227】(758)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1228】(759)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1229】

【化207】



【1230】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1231】(760)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基—CO—( $A_1$ ) $_p$ —NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1232】(761)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基—CO—( $A_1$ ) $_p$ —NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカル



ボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1233】(762)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1234】(763)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1235】(764)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1236】(765)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

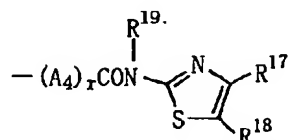
【1237】(766)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1238】(767)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1239】(768)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1240】

【化208】



【1241】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一

般式(1)における定義と同じ)である前記一般式

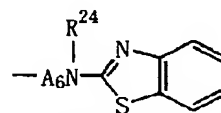
(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1242】(769)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_r\text{COOH}$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1243】(770)  $R^1$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{NR}^{11}R^{12}$  ( $A_1$ 、 $p$ 、 $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1244】

【化209】

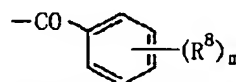


【1245】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1246】(771)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基

【1247】

【化210】

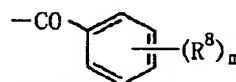


【1248】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1249】(772)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基

【1250】

【化211】

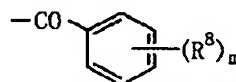


【1251】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1252】(773)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基

【1253】

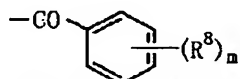
【化212】



【1254】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカル

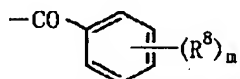
ボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1255】(774)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1256】  
【化213】



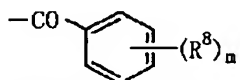
【1257】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1258】(775)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1259】  
【化214】



【1260】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1261】(776)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1262】  
【化215】



【1263】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1264】(777)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1265】  
【化216】



【1266】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

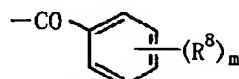
【1267】(778)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1268】  
【化217】



【1269】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニ

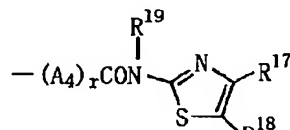
ル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1270】(779)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1271】  
【化218】



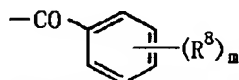
【1272】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1273】  
【化219】



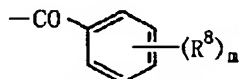
【1274】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1275】(780)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1276】  
【化220】



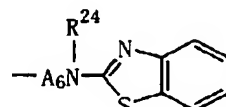
【1277】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1278】(781)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基  
【1279】  
【化221】



【1280】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1281】  
【化222】



【1282】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1283】(782)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ば

れる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1284】(783) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1285】(784) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1286】(785) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1287】(786) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1288】(787) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1289】(788) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

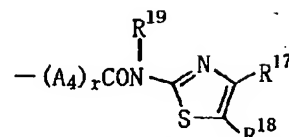
【1290】(789) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1291】(790) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒド

ロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1292】

【化223】



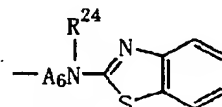
【1293】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1294】(791) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1295】(792) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1296】

【化224】



【1297】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1298】(793) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1299】(794) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1300】(795) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1301】(796) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1302】(797) R<sup>1</sup>が水素原子を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイ

ドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1303】(798)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

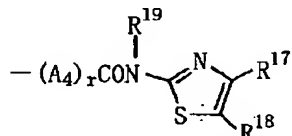
【1304】(799)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1305】(800)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1306】(801)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1307】

【化225】



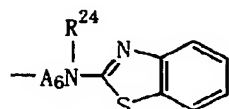
【1308】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1309】(802)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1310】(803)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1311】

【化226】



【1312】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1313】(804)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1314】(805)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級

アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1315】(806)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1316】(807)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1317】(808)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1318】(809)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

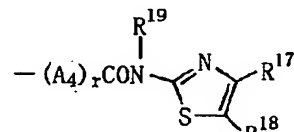
【1319】(810)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1320】(811)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1321】(812)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1322】

【化227】



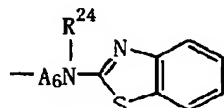
【1323】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1324】(813)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1325】(814)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1326】

【化228】



【1327】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1328】(815)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1329】(816)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1330】(817)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1331】(818)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1332】(819)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1333】(820)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1334】(821)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置

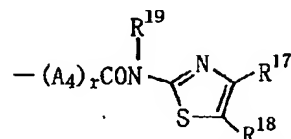
換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1335】(822)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1336】(823)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1337】

【化229】



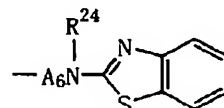
【1338】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1339】(824)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基  $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1340】(825)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1341】

【化230】



【1342】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1343】(826)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1344】(827)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1345】(828)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1346】(829)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1347】(830)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1348】(831)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

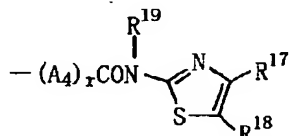
【1349】(832)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1350】(833)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1351】(834)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1352】

【化231】



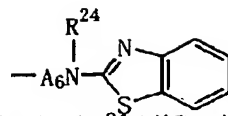
【1353】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1354】(835)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1355】(836)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1356】

【化232】



【1357】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1358】(837)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1359】(838)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1360】(839)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1361】(840)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1362】(841)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1363】(842)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

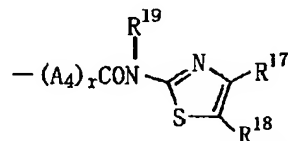
【1364】(843)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1365】(844)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1366】(845)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1367】

【化233】



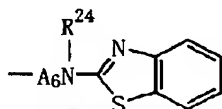
【1368】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1369】(846)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1370】(847)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1371】

【化234】



【1372】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1373】(848)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1374】(849)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1375】(850)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1376】(851)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1377】(852)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイ

ドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1378】(853)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

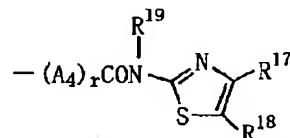
【1379】(854)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1380】(855)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1381】(856)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1382】

【化235】



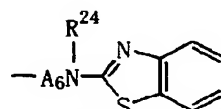
【1383】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1384】(857)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1385】(858)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1386】

【化236】



【1387】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1388】(859)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1389】(860)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1390】(861)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1391】(862)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1392】(863)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1393】(864)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

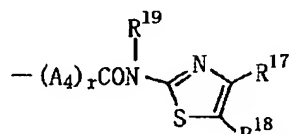
【1394】(865)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1395】(866)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1396】(867)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【1397】

【化237】



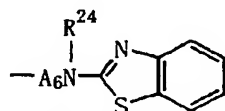
【1398】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1399】(868)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1400】(869)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【1401】

【化238】



【1402】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【1403】(870)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1404】(871)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1405】(872)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1406】(873)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1407】(874)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1408】(875)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

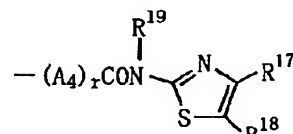
【1409】(876)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1410】(877)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1411】(878)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1412】

【化239】



【1413】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1414】(879)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘

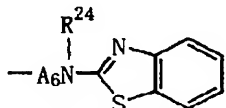


導体又はその塩。

【1415】(880)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1416】

【化240】



【1417】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1418】(881)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1419】(882)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1420】(883)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1421】(884)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1422】(885)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1423】(886)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が

ピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

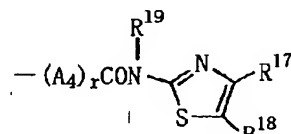
【1424】(887)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1425】(888)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1426】(889)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1427】

【化241】



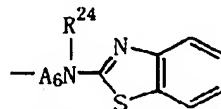
【1428】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1429】(890)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1430】(891)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1431】

【化242】



【1432】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1433】(892)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1434】(893)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1435】(894)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1436】(895)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1437】(896)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1438】(897)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

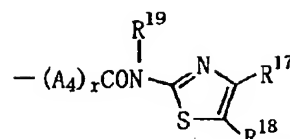
【1439】(898)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1440】(899)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1441】(900)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1442】

【化243】



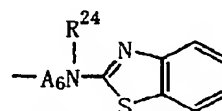
【1443】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1444】(901)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1445】(902)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1446】

【化244】



【1447】( $A_6$ 及び $R^{23}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1448】(903)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1449】(904)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1450】(905)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1451】(906)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1452】(907)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイド

カルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1453】(908)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

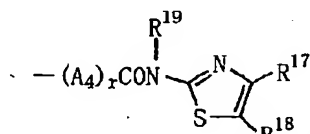
【1454】(909)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1455】(910)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1456】(911)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1457】

【化245】



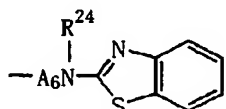
【1458】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1459】(912)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1460】(913)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1461】

【化246】



【1462】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1463】(914)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$

<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシミアノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1464】(915)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1465】(916)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリ置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1466】(917)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジリ置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1467】(918)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1468】(919)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1469】(920)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1470】(921)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1471】(922)  $R^1$ が水素原子を示し、 $R^2$ が基- CO- ( $A_1$ ) $p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R$ <sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1472】

【化247】

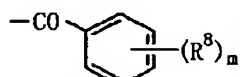


【1498】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1499】(932) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1500】

【化256】

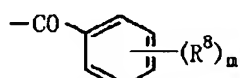


【1501】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1502】(933) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1503】

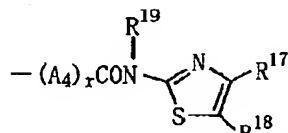
【化257】



【1504】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【1505】

【化258】

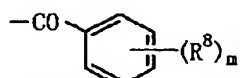


【1506】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1507】(934) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1508】

【化259】

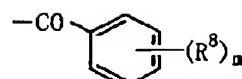


【1509】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1510】(935) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1511】

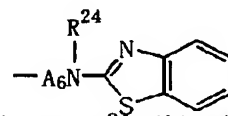
【化260】



【1512】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【1513】

【化261】



【1514】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1515】(936) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1516】(937) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1517】(938) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1518】(939) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1519】(940) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1520】(941) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる

る群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

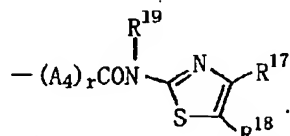
【1521】(942) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1522】(943) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1523】(944) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1524】

【化262】



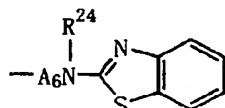
【1525】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1526】(945) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基- (A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1527】(946) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1528】

【化263】



【1529】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1530】(947) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1531】(948) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1532】(949) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1533】(950) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1534】(951) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1535】(952) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

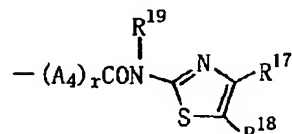
【1536】(953) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1537】(954) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1538】(955) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1539】

【化264】



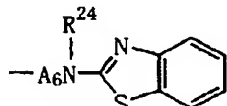
【1540】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1541】(956) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がピリジルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基- (A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1542】(957)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1543】

【化265】



【1544】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1545】(958)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1546】(959)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1547】(960)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1548】(961)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1549】(962)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1550】(963)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1551】(964)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

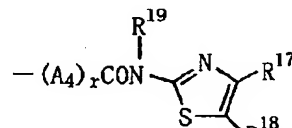
【1552】(965)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表される

ベンゼン誘導体又はその塩。

【1553】(966)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1554】

【化266】



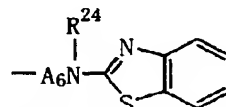
【1555】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1556】(967)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_rCOOH$ ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1557】(968)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1558】

【化267】



【1559】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1560】(969)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1561】(970)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1562】(971)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前

記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1563】(972)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1564】(973)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1565】(974)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1566】(975)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式

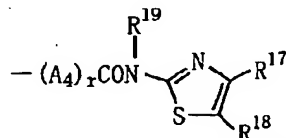
(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1567】(976)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1568】(977)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1569】

【化268】



【1570】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式

(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

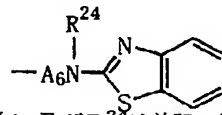
【1571】(978)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1572】(979)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1573】

【化269】



【1574】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1575】(980)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1576】(981)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1577】(982)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1578】(983)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1579】(984)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1580】(985)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1581】(986)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1582】(987)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し

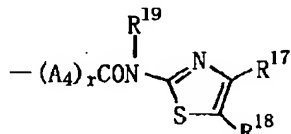


し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1583】(988)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1584】

【化270】



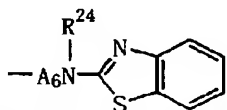
【1585】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1586】(989)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1587】(990)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1588】

【化271】



【1589】( $A_6$ 及び $R^{25}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1590】(991)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1591】(992)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1592】(993)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニ

ル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1593】(994)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1594】(995)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1595】(996)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

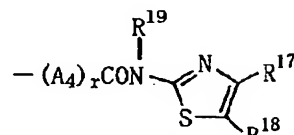
【1596】(997)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1597】(998)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1598】(999)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1599】

【化272】



【1600】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

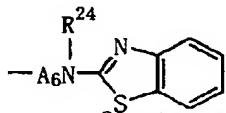
【1601】(1000)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1602】(1001)  $R^1$ が低級アルカノイル基を

示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1603】

【化273】



【1604】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1605】(1002) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1606】(1003) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1607】(1004) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1608】(1005) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1609】(1006) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1610】(1007) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

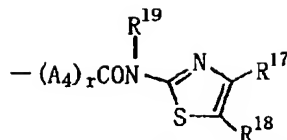
【1611】(1008) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1612】(1009) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1613】(1010) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1614】

【化274】



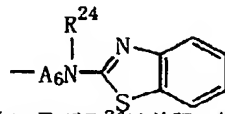
【1615】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1616】(1011) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1617】(1012) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1618】

【化275】



【1619】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1620】(1013) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1621】(1014) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1622】(1015) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1623】(1016) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1624】(1017) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1625】(1018) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1626】(1019) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を

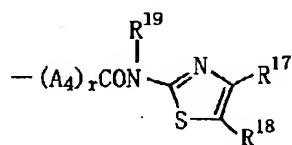
示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1627】(1020)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1628】(1021)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【1629】

【化276】



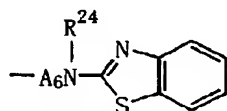
【1630】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1631】(1022)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1632】(1023)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【1633】

【化277】



【1634】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1635】(1024)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1636】(1025)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1637】(1026)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1638】(1027)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1639】(1028)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1640】(1029)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

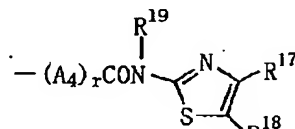
【1641】(1030)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1642】(1031)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1643】(1032)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1644】

【化278】



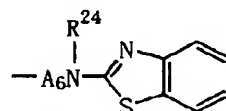
【1645】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1646】(1033)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1647】(1034)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1648】

【化279】



【1649】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【1650】(1035)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1651】(1036)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1652】(1037)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1653】(1038)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1654】(1039)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1655】(1040)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

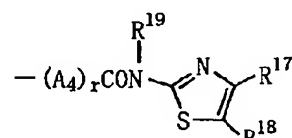
【1656】(1041)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1657】(1042)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1658】(1043)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1659】

【化280】



【1660】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式

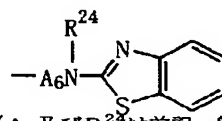
(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1661】(1044)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1662】(1045)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1663】

【化281】



【1664】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1665】(1046)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1666】(1047)  $R^1$ が低級アルカノイル基を

示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1667】(1048)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1668】(1049)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1669】(1050)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1670】(1051)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

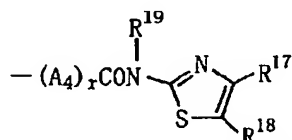
【1671】(1052)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1672】(1053)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1673】(1054)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1674】

【化282】



【1675】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式

(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

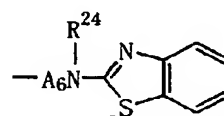
【1676】(1055)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基 - ( $A_4$ )<sub>x</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式

(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1677】(1056)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1678】

【化283】



【1679】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1680】(1057)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1681】(1058)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

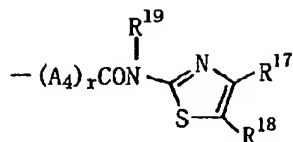
【1682】(1059)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1683】(1060)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1684】(1061)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1685】(1062)  $R^1$ が低級アルカノイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジ





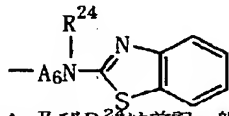
【1705】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1706】(1077) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1707】(1078) R<sup>1</sup>が低級アルカノイル基を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【1708】

【化287】

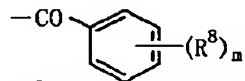


【1709】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1710】(1079) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1711】

【化288】

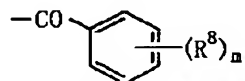


【1712】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1713】(1080) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1714】

【化289】



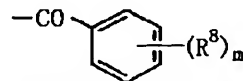
【1715】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表

されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1716】(1081) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1717】

【化290】

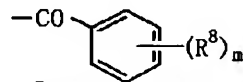


【1718】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1719】(1082) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1720】

【化291】

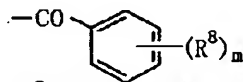


【1721】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1722】(1083) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1723】

【化292】

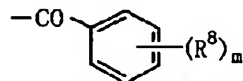


【1724】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1725】(1084) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が基

【1726】

【化293】



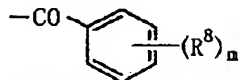
【1727】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1728】(1085) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換

基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1729】

【化294】

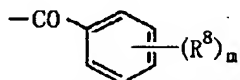


【1730】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1731】(1086)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1732】

【化295】

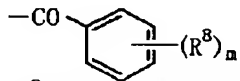


【1733】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1734】(1087)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1735】

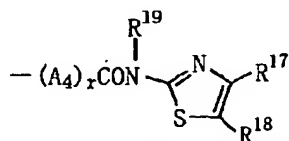
【化296】



【1736】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1737】

【化297】

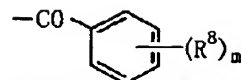


【1738】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1739】(1088)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1740】

【化298】

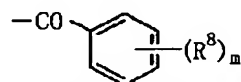


【1741】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1742】(1089)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基

【1743】

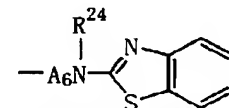
【化299】



【1744】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1745】

【化300】



【1746】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1747】(1090)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1748】(1091)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1749】(1092)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベン



ゼン誘導体又はその塩。

【1750】(1093)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1751】(1094)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1752】(1095)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

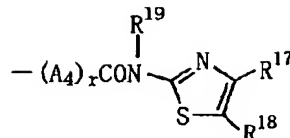
【1753】(1096)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1754】(1097)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1755】(1098)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1756】

【化301】



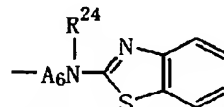
【1757】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1758】(1099)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1759】(1100)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1760】

【化302】



【1761】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1762】(1101)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1763】(1102)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1764】(1103)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1765】(1104)  $R^1$ がピペリジン環上に置換

基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1766】(1105)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1767】(1106)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

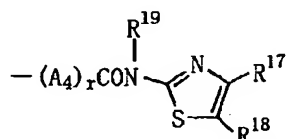
【1768】(1107)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1769】(1108)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1770】(1109)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1771】

【化303】



【1772】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

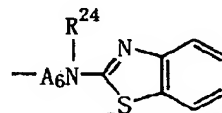
【1773】(1110)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1774】(1111)  $R^1$ がピペリジン環上に置換

基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1775】

【化304】



【1776】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1777】(1112)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1778】(1113)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1779】(1114)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1780】(1115)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1781】(1116)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1782】(1117)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)

で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

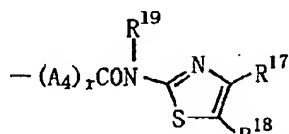
【1783】(1118)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1784】(1119)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1785】(1120)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1786】

【化305】



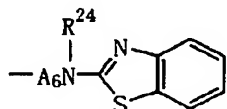
【1787】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1788】(1121)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1789】(1122)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1790】

【化306】



【1791】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1792】(1123)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコ

キシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1793】(1124)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1794】(1125)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1795】(1126)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1796】(1127)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1797】(1128)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1798】(1129)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を

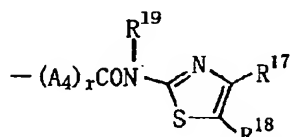
示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1799】(1130) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1800】(1131) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1801】

【化307】



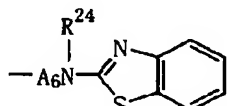
【1802】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1803】(1132) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1804】(1133) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1805】

【化308】



【1806】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1807】(1134) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1808】(1135) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1809】(1136) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1810】(1137) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1811】(1138) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1812】(1139) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1813】(1140) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

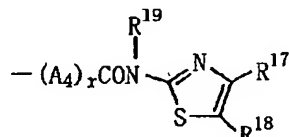
【1814】(1141) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1815】(1142) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

ルカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1816】

【化309】



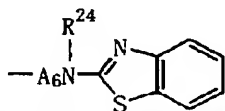
【1817】 ( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1818】 (1143)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基  $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1819】 (1144)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【1820】

【化310】



【1821】 ( $A_6$ 及び $R^{25}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1822】 (1145)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1823】 (1146)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1824】 (1147)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカル

ボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1825】 (1148)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1826】 (1149)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1827】 (1150)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

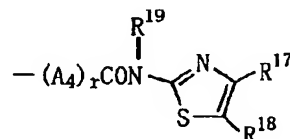
【1828】 (1151)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1829】 (1152)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1830】 (1153)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1831】

【化311】



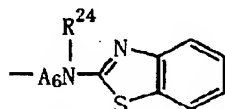
【1832】 ( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1833】 (1154)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1834】 (1155)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1835】

【化312】



【1836】 ( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1837】 (1156)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1838】 (1157)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1839】 (1158)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1840】 (1159)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1841】 (1160)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1842】 (1161)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

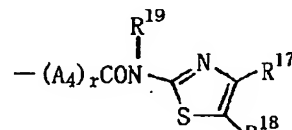
【1843】 (1162)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1844】 (1163)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1845】 (1164)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1846】

【化313】



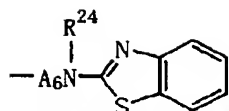
【1847】 ( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1848】 (1165)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1849】 (1166)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ がチエニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1850】

【化314】



【1851】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1852】(1167) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1853】(1168) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1854】(1169) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1855】(1170) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1856】(1171) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1857】(1172) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1858】(1173) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

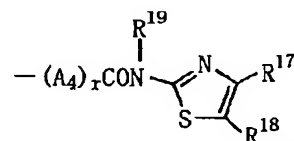
【1859】(1174) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前

記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1860】(1175) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1861】

【化315】



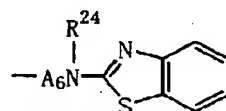
【1862】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1863】(1176) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1864】(1177) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が基

【1865】

【化316】



【1866】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1867】(1178) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1868】(1179) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1869】(1180) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換

低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1870】(1181)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1871】(1182)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1872】(1183)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

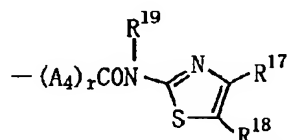
【1873】(1184)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1874】(1185)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1875】(1186)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1876】

【化317】



【1877】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

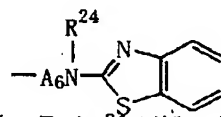
【1878】(1187)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は

前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1879】(1188)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1880】

【化318】



【1881】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1882】(1189)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1883】(1190)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1884】(1191)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1885】(1192)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1886】(1193)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は

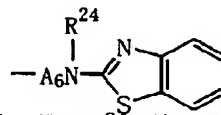




ルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【化 3 2 2】

【1911】  $(A_6$  及び  $R^{24}$  は前記一般式 (1) における定義と同じ) である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩



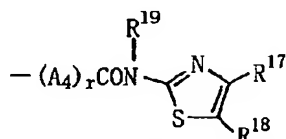
【1912】(1211) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1913】・(1212)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1914】(1213)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1915】(1214) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【化 3 2 1】



【1916】(1215)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1917】(1216) R<sup>1</sup>がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示

ル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示

し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

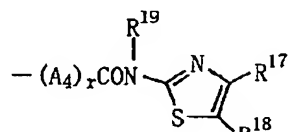
【1918】(1217)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1919】(1218)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1920】(1219)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1921】

【化323】



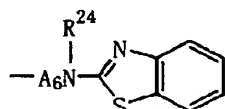
【1922】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1923】(1220)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1924】(1221)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1925】

【化324】



【1926】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)におけ

る定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1927】(1222)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1928】(1223)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1929】(1224)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリ置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1930】(1225)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジリ置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1931】(1226)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1932】(1227)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1933】(1228)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基-CO-( $A_1$ )<sub>p</sub>-N  $R^{11}R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式

(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキ

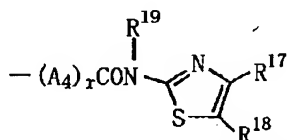
ルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1934】(1229)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{N} R^{11} R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1935】(1230)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{N} R^{11} R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1936】

【化325】



【1937】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式

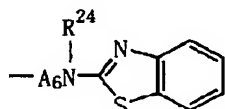
(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1938】(1231)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{N} R^{11} R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_r \text{COOH}$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1939】(1232)  $R^1$ がピペリジン環上に置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^2$ が基 $-\text{CO}- (A_1)_p - \text{N} R^{11} R^{12}$  ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1940】

【化326】

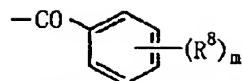


【1941】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1942】(1233)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1943】

【化327】

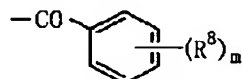


【1944】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1945】(1234)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1946】

【化328】

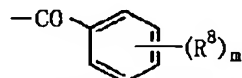


【1947】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1948】(1235)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1949】

【化329】

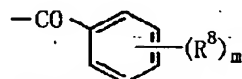


【1950】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1951】(1236)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1952】

【化330】

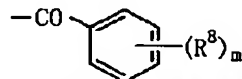


【1953】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジリル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1954】(1237)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1955】

【化331】



【1956】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン

誘導体又はその塩。

【1957】(1238)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1958】

【化332】



【1959】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1960】(1239)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1961】

【化333】



【1962】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1963】(1240)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1964】

【化334】



【1965】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1966】(1241)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1967】

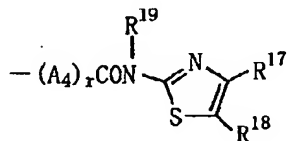
【化335】



【1968】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1969】

【化336】

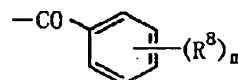


【1970】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1971】(1242)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1972】

【化337】

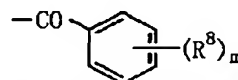


【1973】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1974】(1243)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基

【1975】

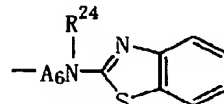
【化338】



【1976】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【1977】

【化339】



【1978】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1979】(1244)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1980】(1245)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1981】(1246)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジ

ル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1982】(1247)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1983】(1248)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1984】(1249)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

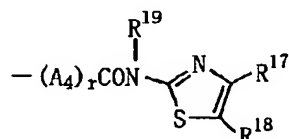
【1985】(1250)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1986】(1251)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1987】(1252)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1988】

【化340】



【1989】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1990】(1253)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テ

トラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1991】(1254)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【1992】

【化341】



【1993】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1994】(1255)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシニアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1995】(1256)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1996】(1257)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1997】(1258)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1998】(1259)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【1999】(1260)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

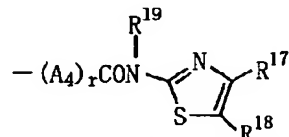
【2000】(1261)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2001】(1262)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2002】(1263)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2003】

【化342】



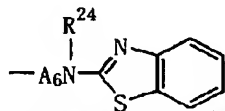
【2004】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2005】(1264)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2006】(1265)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2007】

【化343】



【2008】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2009】(1266)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2010】(1267)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2011】(1268)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2012】(1269)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2013】(1270)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アル

カノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2014】(1271)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

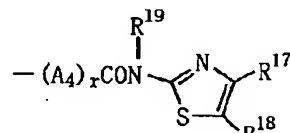
【2015】(1272)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2016】(1273)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2017】(1274)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【2018】

【化344】



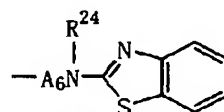
【2019】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2020】(1275)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基—( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2021】(1276)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【2022】

【化345】



【2023】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2024】(1277)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有す

ることのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2025】(1278)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2026】(1279)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2027】(1280)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2028】(1281)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2029】(1282)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2030】(1283)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

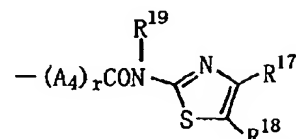
【2031】(1284)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2032】(1285)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのある

シクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2033】

【化346】



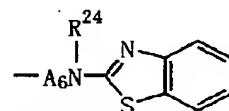
【2034】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2035】(1286)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2036】(1287)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2037】

【化347】



【2038】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2039】(1288)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2040】(1289)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2041】(1290)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2042】(1291)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。



はその塩。

【2043】(1292)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2044】(1293)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

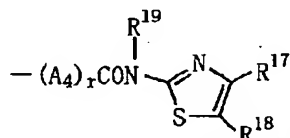
【2045】(1294)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2046】(1295)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2047】(1296)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【2048】

【化348】



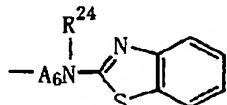
【2049】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2050】(1297)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2051】(1298)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【2052】

【化349】



【2053】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2054】(1299)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$

が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2055】(1300)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2056】(1301)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2057】(1302)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2058】(1303)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2059】(1304)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

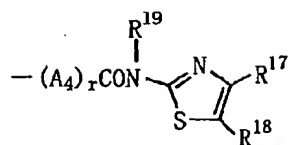
【2060】(1305)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2061】(1306)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2062】(1307)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2063】

【化350】



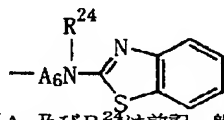
【2064】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2065】(1308) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2066】(1309) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2067】

【化351】



【2068】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2069】(1310) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2070】(1311) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2071】(1312) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2072】(1313) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2073】(1314) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2074】(1315) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオ

ウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

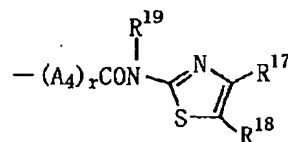
【2075】(1316) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2076】(1317) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2077】(1318) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2078】

【化352】



【2079】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2080】(1319) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基—(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2081】(1320) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2082】

【化353】



【2083】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2084】(1321) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2085】(1322) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2086】(1323) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)

で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2087】(1324)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式

(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2088】(1325)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2089】(1326)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

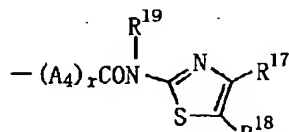
【2090】(1327)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2091】(1328)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2092】(1329)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【2093】

【化354】



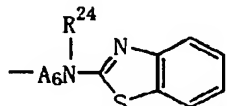
【2094】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2095】(1330)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2096】(1331)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【2097】

【化355】



【2098】( $A_6$ 及び $R^{23}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2099】(1332)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、

$R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2100】(1333)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2101】(1334)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2102】(1335)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2103】(1336)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2104】(1337)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

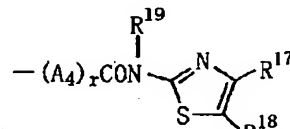
【2105】(1338)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2106】(1339)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2107】(1340)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2108】

【化356】



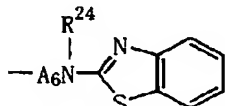
【2109】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2110】(1341)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ ) $_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2111】(1342)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2112】

【化357】



【2113】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2114】(1343)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2115】(1344)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2116】(1345)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2117】(1346)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2118】(1347)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2119】(1348)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前

記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

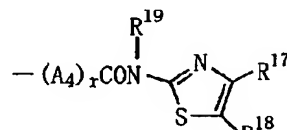
【2120】(1349)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2121】(1350)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2122】(1351)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2123】

【化358】



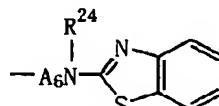
【2124】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2125】(1352)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ ) $r$ COOH( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2126】(1353)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2127】

【化359】



【2128】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベン

ゼン誘導体又はその塩。

【2129】(1354)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2130】(1355)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2131】(1356)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2132】(1357)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2133】(1358)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2134】(1359)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

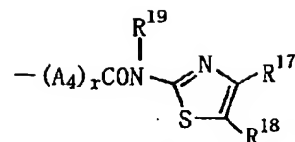
【2135】(1360)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2136】(1361)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2137】(1362)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2138】

【化360】



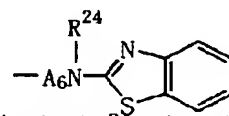
【2139】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2140】(1363)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- ( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2141】(1364)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2142】

【化361】



【2143】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2144】(1365)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2145】(1366)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2146】(1367)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2147】(1368)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2148】(1369)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオ

ウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2149】(1370)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

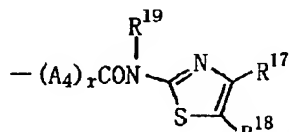
【2150】(1371)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2151】(1372)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2152】(1373)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2153】

【化362】



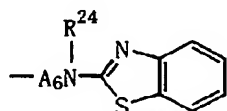
【2154】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2155】(1374)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_r$ COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2156】(1375)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2157】

【化363】



【2158】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2159】(1376)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$

及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2160】(1377)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2161】(1378)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2162】(1379)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2163】(1380)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2164】(1381)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

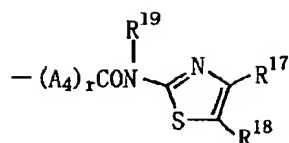
【2165】(1382)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2166】(1383)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2167】(1384)  $R^1$ がベンゾイル基を示し、 $R^2$ が基-CO- $(A_1)_p$ -NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> ( $A_1$ ,  $p$ ,  $R^{11}$ 及び $R^{12}$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【2168】

【化364】



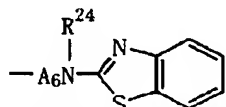
【2169】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2170】(1385) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>, p, R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2171】(1386) R<sup>1</sup>がベンゾイル基を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>, p, R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【2172】

【化365】



【2173】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2174】(1387) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基

【2175】

【化366】



【2176】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2177】(1388) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基

【2178】

【化367】



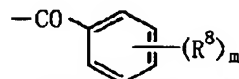
【2179】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)におけ

る定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2180】(1389) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基

【2181】

【化368】

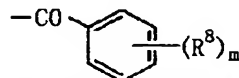


【2182】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2183】(1390) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基

【2184】

【化369】

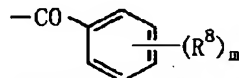


【2185】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2186】(1391) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基

【2187】

【化370】

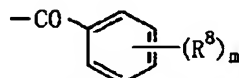


【2188】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2189】(1392) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基

【2190】

【化371】



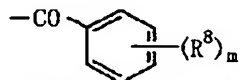
【2191】(R<sup>8</sup>及びmは、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン

誘導体又はその塩。

【2192】(1393)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が基

【2193】

【化372】



【2194】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2195】(1394)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が基

【2196】

【化373】



【2197】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2198】(1395)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が基

【2199】

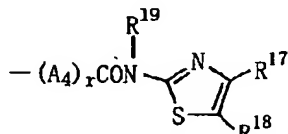
【化374】



【2200】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【2201】

【化375】

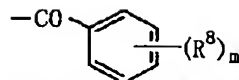


【2202】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2203】(1396)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が基

【2204】

【化376】

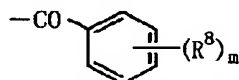


【2205】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基 $-(A_4)_r\text{COOH}$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2206】(1397)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が基

【2207】

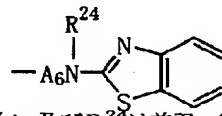
【化377】



【2208】( $R^8$ 及び $m$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^5$ が基

【2209】

【化378】



【2210】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2211】(1398)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2212】(1399)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2213】(1400)  $R^1$ が基 $-\text{CONR}^6\text{R}^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキソ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその



の塩。

【2214】(1401)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2215】(1402)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2216】(1403)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

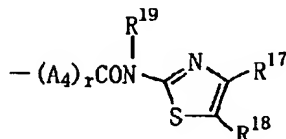
【2217】(1404)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2218】(1405)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2219】(1406)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2220】

【化379】



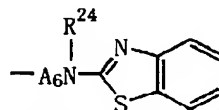
【2221】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2222】(1407)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基- $(A_4)_xCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2223】(1408)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基及びオキシ基なる群より選ばれる基を有することのある1, 2, 3, 4-テトラヒドロキノリルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2224】

【化380】



【2225】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2226】(1409)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2227】(1410)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2228】(1411)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2229】(1412)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2230】(1413)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を

示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2231】(1414)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

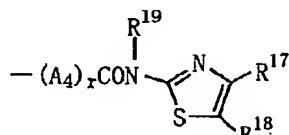
【2232】(1415)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2233】(1416)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2234】(1417)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2235】

【化381】



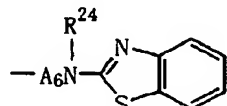
【2236】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2237】(1418)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2238】(1419)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がピリジルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2239】

【化382】



【2240】( $A_6$ 及び $R^{23}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2241】(1420)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$

及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2242】(1421)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2243】(1422)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2244】(1423)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2245】(1424)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2246】(1425)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2247】(1426)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

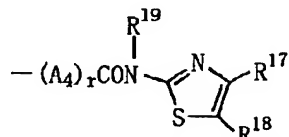
【2248】(1427)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2249】(1428)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を

示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【2250】

【化383】



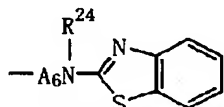
【2251】( $A_4$ ,  $r$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2252】(1429)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2253】(1430)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として水酸基を有することのある低級アルカノイル基を示し、 $R^5$ が基

【2254】

【化384】



【2255】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2256】(1431)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2257】(1432)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2258】(1433)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基

を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2259】(1434)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2260】(1435)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2261】(1436)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

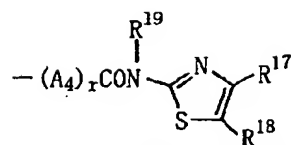
【2262】(1437)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2263】(1438)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2264】(1439)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2265】

【化385】



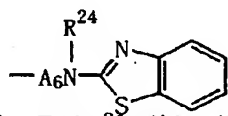
【2266】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2267】(1440) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2268】(1441) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基を有することのあるアミノ低級アルキル基を有することのあるシクロアルキルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-

【2269】

【化386】



【2270】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2271】(1442) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2272】(1443) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2273】(1444) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2274】(1445) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を

示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2275】(1446) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2276】(1447) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

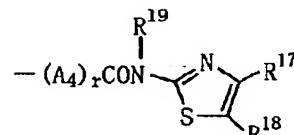
【2277】(1448) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2278】(1449) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2279】(1450) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-

【2280】

【化387】



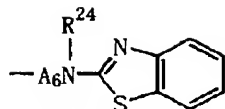
【2281】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2282】(1451) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH(A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2283】(1452) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がベンゾイルオキシ低級アルカノイル基を示し、R<sup>5</sup>が基-

【2284】

【化388】



【2285】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2286】(1453) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2287】(1454) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2288】(1455) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2289】(1456) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2290】(1457) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2291】(1458) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2292】(1459) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>

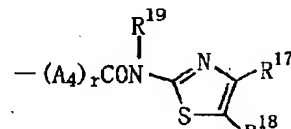
及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2293】(1460) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2294】(1461) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2295】

【化389】



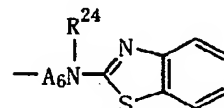
【2296】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2297】(1462) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2298】(1463) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がフェニル環上に置換基として低級アルコキシ基を有することのあるフェノキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2299】

【化390】



【2300】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2301】(1464) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>

及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2302】(1465) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2303】(1466) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2304】(1467) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2305】(1468) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2306】(1469) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

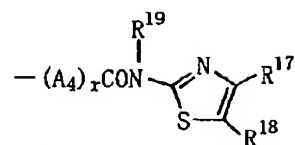
【2307】(1470) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2308】(1471) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2309】(1472) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2310】

【化391】



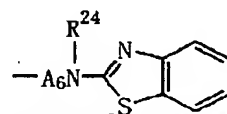
【2311】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2312】(1473) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2313】(1474) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がチエニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2314】

【化392】



【2315】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2316】(1475) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2317】(1476) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2318】(1477) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2319】(1478) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2320】(1479) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>がカルボキシ基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウ

レイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2321】(1480)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

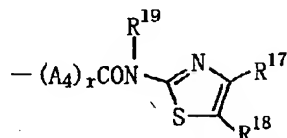
【2322】(1481)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2323】(1482)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2324】(1483)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【2325】

【化393】



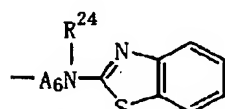
【2326】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2327】(1484)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基-( $A_4$ )<sub>r</sub>COOH ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2328】(1485)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ がカルボキシ基を示し、 $R^5$ が基

【2329】

【化394】



【2330】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2331】(1486)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を

示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2332】(1487)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2333】(1488)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2334】(1489)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2335】(1490)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2336】(1491)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

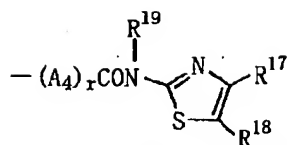
【2337】(1492)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2338】(1493)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2339】(1494)  $R^1$ が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2340】

【化395】



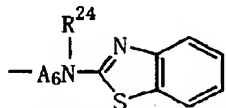
【2341】(A<sub>4</sub>, r, R<sup>17</sup>, R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2342】(1495) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2343】(1496) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2344】

【化396】



【2345】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2346】(1497) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2347】(1498) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2348】(1499) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン

ン誘導体又はその塩。

【2349】(1500) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリミジリル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2350】(1501) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2351】(1502) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2352】(1503) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

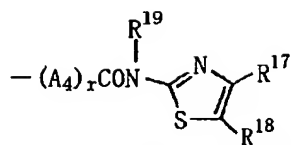
【2353】(1504) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジリルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2354】(1505) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2355】

【化397】





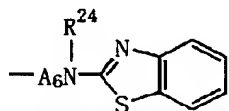
【2356】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2357】(1506) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2358】(1507) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルコキシカルボニル基及びフェニル低級アルコキシカルボニル基なる群より選ばれる基を有することのあるピロリジニルカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2359】

【化398】



【2360】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2361】(1508) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2362】(1509) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2363】(1510) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基

である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2364】(1511) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2365】(1512) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2366】(1513) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

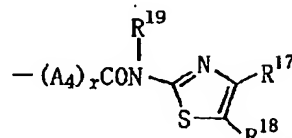
【2367】(1514) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2368】(1515) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2369】(1516) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、R<sup>5</sup>が基

【2370】

【化399】



【2371】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2372】(1517) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を

示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基— $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式

(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2373】(1518)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ低級アルコキシカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2374】

【化400】



【2375】( $A_4$ 及び $R^{24}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2376】(1519)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2377】(1520)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2378】(1521)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2379】(1522)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(i)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2380】(1523)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で

表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2381】(1524)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

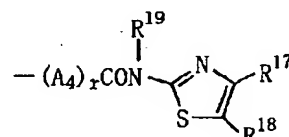
【2382】(1525)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2383】(1526)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2384】(1527)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2385】

【化401】



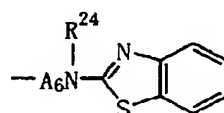
【2386】( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2387】(1528)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基— $(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2388】(1529)  $R^1$ が基— $CONR^6R^7$  ( $R^6$ 及び $R^7$ は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、 $R^2$ が置換基として低級アルキル基を有することのあるピペリジニルカルボニル基を示し、 $R^5$ が基

【2389】

【化402】



【2390】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2391】(1530) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)、R<sup>5</sup>が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2392】(1531) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2393】(1532) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2394】(1533) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2395】(1534) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2396】(1535) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2397】(1536) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と

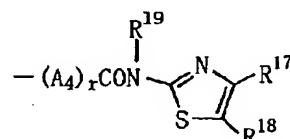
同じ)を示し、R<sup>5</sup>が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2398】(1537) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2399】(1538) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【2400】

【化403】



【2401】(A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>及びR<sup>19</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2402】(1539) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基-(A<sub>4</sub>)<sub>x</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2403】(1540) R<sup>1</sup>が基-CONR<sup>6</sup>R<sup>7</sup> (R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>2</sup>が基-CO-(A<sub>1</sub>)<sub>p</sub>-NR<sup>11</sup>R<sup>12</sup> (A<sub>1</sub>、p、R<sup>11</sup>及びR<sup>12</sup>は、前記一般式(1)における定義と同じ)を示し、R<sup>5</sup>が基

【2404】

【化404】

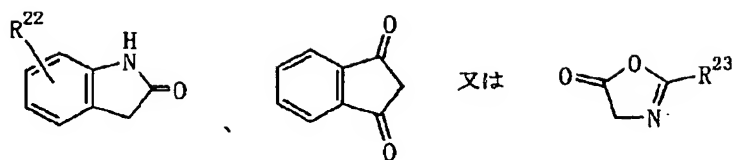


【2405】(A<sub>6</sub>及びR<sup>24</sup>は前記一般式(1)における定義と同じ)である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2406】(1541) R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>が一緒になって基

【2407】

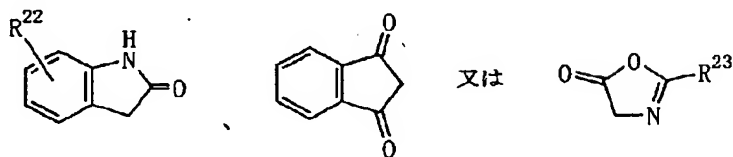
【化405】



【2408】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

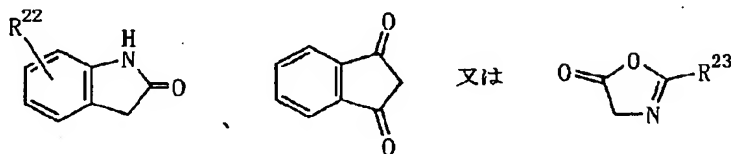
の塩。

【2409】 (1542)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2410】  
【化406】



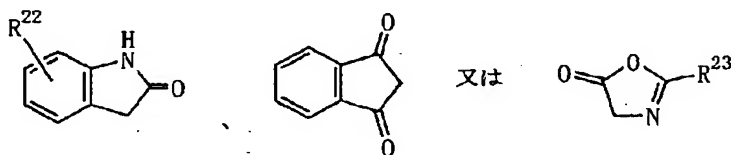
【2411】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ が水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2412】 (1543)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2413】  
【化407】



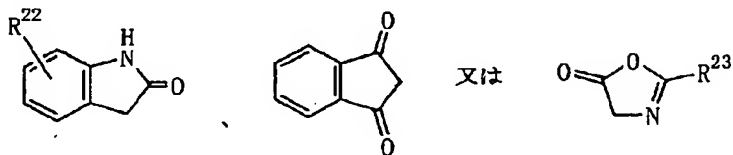
【2414】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ がピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2415】 (1544)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2416】  
【化408】



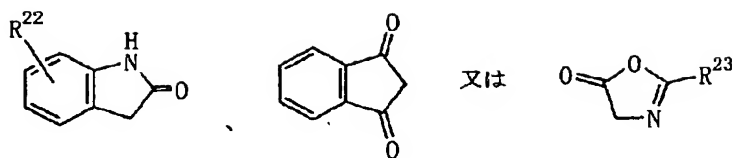
【2417】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ がピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2418】 (1545)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2419】  
【化409】



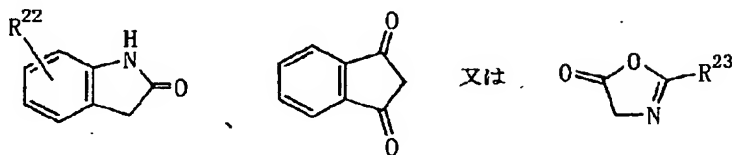
【2420】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ がフェニルチオウレイドカルボニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2421】 (1546)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2422】  
【化410】



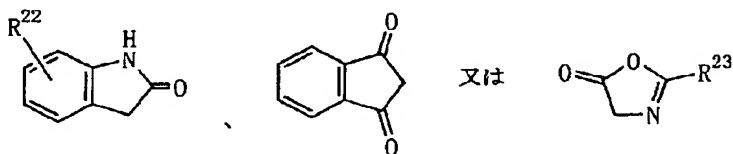
【2423】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ がピリジルチオウレイドカルボニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2424】 (1547)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2425】  
【化411】



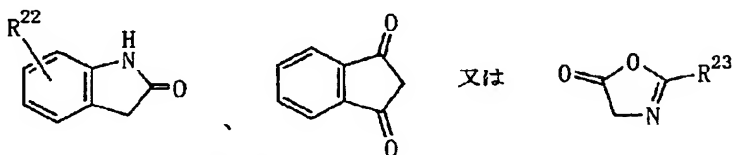
【2426】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ が低級アルキルチオウレイドカルボニル基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2427】 (1548)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2428】  
【化412】



【2429】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ がピリジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2430】 (1549)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2431】  
【化413】



【2432】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ が基

【2433】

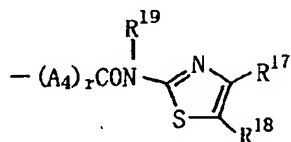
【化414】

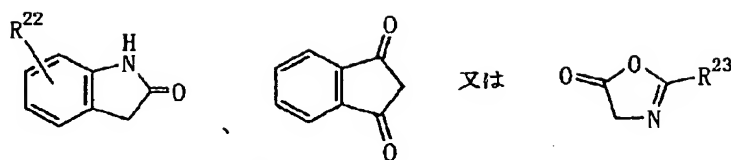
【2434】 ( $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ) である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2435】 (1550)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基

【2436】

【化415】

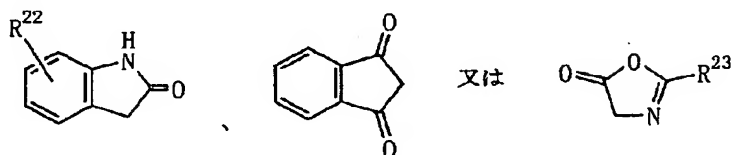




【2437】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ が基  $-(A_4)_rCOOH$  ( $A_4$ 及び $r$ は前記一般式 (1) における定義と同じ) である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体

又はその塩。

【2438】 (1551)  $R^1$ 及び $R^2$ が一緒になって基  
【2439】  
【化416】



【2440】を形成し ( $R^{22}$ 及び $R^{23}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ)、 $R^5$ が基  
【2441】  
【化417】

誘導体又はその塩。

【2449】 (1558)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (45) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2450】 (1559)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (56) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2451】 (1560)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (67) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2452】 (1561)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (78) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

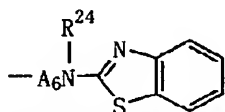
【2453】 (1562)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (89) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2454】 (1563)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (100) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2455】 (1564)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (111) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2456】 (1565)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (122) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2457】 (1566)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (133)



【2442】 ( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記一般式 (1) における定義と同じ) である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2443】 (1552) 2- {4- [2-ベンゾイル-2- (1, 2, 4-トリアゾリル-1-イル) -1-エチルチオエチル] ベンゾイルアミノ} ベンゾチアゾール。

【2444】 (1553) 2- {4- (2, 2-ジアセチルビニル) -2- [3- (4-メチル-1-ピペラジニル) プロピル] フェノキシメチルカルボニルアミノ} ベンゾチアゾール。

【2445】 (1554)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (1) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2446】 (1555)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (12) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2447】 (1556)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (23) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2448】 (1557)  $R^1$ 及び $R^2$ が前記 (34) に同じであり、 $R^5$ がピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式 (1) で表されるベンゼン

【2469】(1578)  $R^1$ が前記(155)に同じであり、 $R^2$ が前記(111)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一

【2482】 (1591)  $R^1$ が前記(30'9)に同じ

【2494】(1603)  $R^1$ が前記(463)に同じであり、 $R^2$ が前記(78)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般

【2507】 (1616)  $R^1$ が前記(617)に同じ



【2519】(1628)  $R^1$ が前記(771)に同じであり、 $R^2$ が前記(45)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般

【2532】(1641)  $R^1$ が前記(925)に同じ

【2544】(1653)  $R^1$ が前記(1079)に同じであり、 $R^2$ が前記(12)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一

【2557】 (1666)  $R^1$ が前記(1233)に同

【2569】(1678)  $R^1$ が前記(1233)に同じであり、 $R^2$ が前記(133)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記

【2582】(1691)  $R^1$ が前記(1387)に同

じであり、 $R^2$ が前記(122)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2583】(1692)  $R^1$ が前記(1387)に同じであり、 $R^2$ が前記(133)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2584】(1693)  $R^1$ が前記(1387)に同じであり、 $R^2$ が前記(144)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2585】(1694)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(1)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2586】(1695)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(12)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2587】(1696)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(23)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2588】(1697)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(34)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2589】(1698)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(45)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2590】(1699)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(56)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2591】(1700)  $R^1$ が前記(1541)に同

じであり、 $R^2$ が前記(67)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2592】(1701)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(78)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2593】(1702)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(89)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2594】(1703)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(100)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2595】(1704)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(111)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2596】(1705)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(122)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2597】(1706)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(133)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

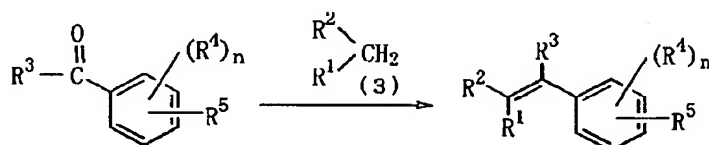
【2598】(1707)  $R^1$ が前記(1541)に同じであり、 $R^2$ が前記(144)に同じであり、 $R^5$ がピリミジルアミノカルボニル低級アルコキシ基である前記一般式(1)で表されるベンゼン誘導体又はその塩。

【2599】本発明化合物は種々の方法により製造することができる。

【2600】

【化418】

反応式-1



【2601】〔式中 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 及び $n$ は前記に同じ。〕

化合物(2)と化合物(3)の反応は、塩基性化合物の存在下又は非存在下、適当な溶媒中で行われる。用いられる塩基性化合物としては、金属ナトリウム、金属カリウム、水素化ナトリウム、ナトリウムアミド、水酸化ナ

トリウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム等の無機塩基、ナトリウムメチラート、ナトリウムエチラート、カリウム $t$ -ブトキシド等の金属アルコラート類、メチルリチウム、 $n$ -ブチルリチウム、フェニルリチウム、リチウムジイソプロピルアミド等のアルキル及びアリールリチウム又はリチ

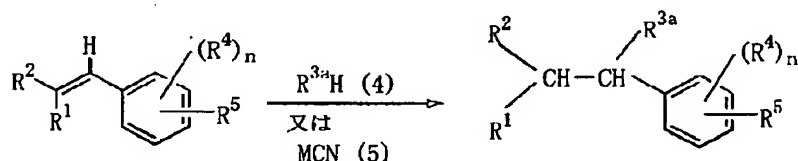
ウムアミド類、ピリジン、ピペリジン、キノリン、トリエチルアミン、N, N-ジメチルアニリン等の有機塩基等を例示できる。溶媒としては、反応に影響を与えないものであればいずれも使用できるが、例えば、水、ジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、モノグライム、ジグライム等のエーテル類、ベンゼン、トルエン、キシレン等の芳香族炭化水素類、クロロホルム、ジクロロメタン、四塩化炭素等のハロゲン化炭化水素類、n-ヘキサン、ヘプタン、シクロヘキサン等の脂肪族炭化水素類、ピリジン、N, N-ジメチルアニリン等のアミン類、酢酸、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N'-ジメチルプロピルウレア、ジメチルスルホキシド、ヘキサメチルリン酸トリアミド等の非プロトン性

極性溶媒、メタノール、エタノール、イソプロパノール類のアルコール類又はこれらの混合溶媒等が挙げられる。反応温度は、通常-80~150℃、好ましくは-80~120℃付近とするのがよく、一般に0.5~50時間程度で反応は終了する。塩基性化合物としてアルキル及びアリールリチウム又はリチウムアミド類、金属アルコラート類を用いるときは、溶媒は無水の溶媒がよい。化合物(3)は、化合物(2)に対して通常少なくとも等モル量、好ましくは等モル~1.5倍モル量使用するのがよい。

【2602】

【化419】

反応式-2



【2603】〔式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、<sup>(1b)</sup>R<sup>5</sup>及びnは前記に同じ。R<sup>3a</sup>は、低級アルキルチオ基、フェニルチオ基、置換基としてカルボキシ基及び置換基として低級アルキル基を有することのあるアミノ基なる群より選ばれる基を有する低級アルキルチオ基、水酸基置換低級アルキルチオ基、シクロアルキルチオ基又は低級アルカノイルチオ基を示す。Mは、ナトリウム、カリウム等のアルカリ金属を示す。〕

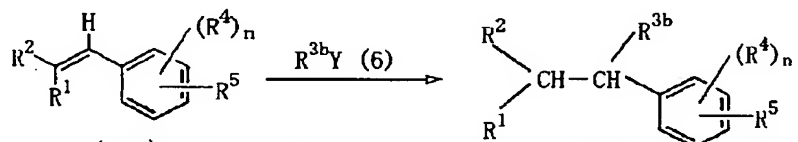
化合物(1b)と化合物(4)又は化合物(5)との反応は、適当な溶媒中で行われる。ここで使用される溶媒

としては、前記反応式-1における化合物(2)と化合物(3)との反応で用いた溶媒をいずれも使用することができる。化合物(4)又は化合物(5)は、化合物(1b)に対して通常少なくとも等モル量、好ましくは等モル~3倍モル量使用するのがよい。該反応は、通常0~150℃、好ましくは0~100℃付近にて行われ、一般に0.5~5時間程度にて終了する。

【2604】

【化420】

反応式-3



【2605】〔式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、<sup>(1b)</sup>R<sup>5</sup>及びnは前記に同じ。R<sup>3b</sup>は、低級アルキル基を示す。Yはリチウム又はMgX(Xはハロゲン原子)を示す。〕

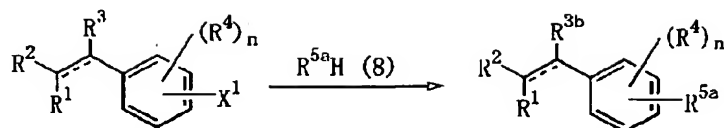
化合物(1b)と化合物(6)との反応は、適当な溶媒中で行われる。溶媒としては、反応に影響を与えないものであればいずれも使用できるが、例えばジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、モノグライム、ジグライム等のエーテル類、ベンゼン、トルエン、キシレン等の芳香族炭化水素類、n-ヘキサン、ヘプタン、シクロヘキサン等の脂肪族炭化水素類、ピリジン、N, N-ジメチルアニリン等のアミン類、N, N-ジメチルホルムアミド、ジメチルスルホキシド、ヘキサメチ

ルリン酸トリアミド等の非プロトン性極性溶媒、メタノール、エタノール、イソプロパノール等のアルコール類等又はこれらの混合溶媒等が挙げられる。化合物(6)は、化合物(1b)に対して通常少なくとも等モル、好ましくは等モル~10倍モル量使用するのがよい。該反応においては、反応系内に沃化銅、沃化ナトリウム、沃化カリウム等の金属ハロゲン化物を添加してもよい。反応温度は、通常-80~150℃、好ましくは-80~120℃付近とするのがよく、一般に0.5~20時間程度で反応は終了する。

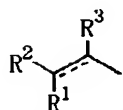
【2606】

【化421】

反応式-4

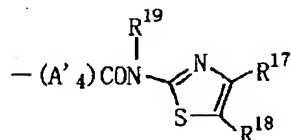


【2607】 〔式中 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $n$ 及び側鎖  
【2608】  
【化422】



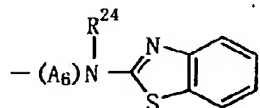
【2609】は前記に同じ。 $R^{5a}$ は、低級アルコキシ低級アルコシアミノカルボニル置換低級アルケニル基、水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基、ピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基、ピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基、

【2610】  
【化423】



【2611】 $A'_4$ は低級アルケニレン基を示す。 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 及び $R^{19}$ は前記に同じ。)又は基

【2612】  
【化424】

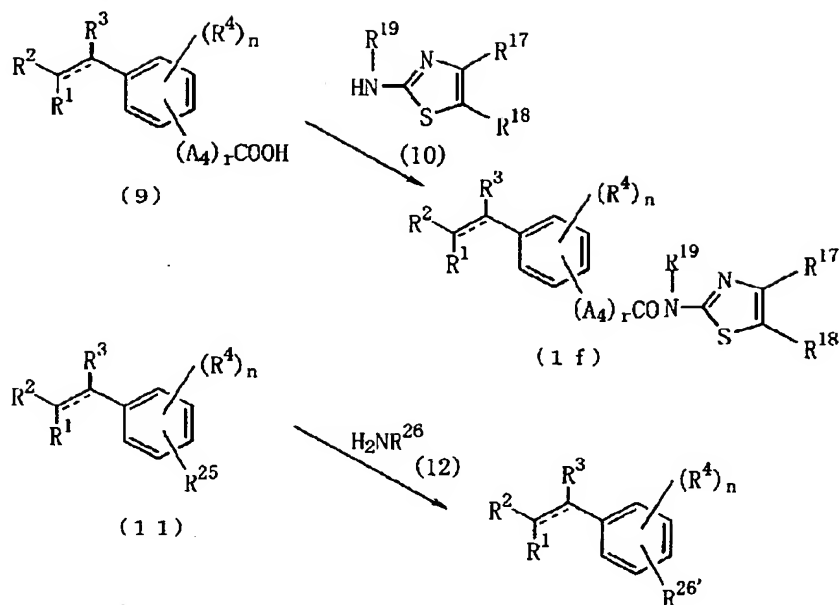


【2613】( $A_6$ 及び $R^{24}$ は前記に同じ。)を示す。 $X^1$ はハロゲン原子を示す。]

化合物(7)と化合物(8)との反応は、塩基性化合物及び触媒の存在下、適当な溶媒中で行われる。ここで使用される触媒としては、塩化パラジウム等のパラジウムハロゲン化物等を例示できる。溶媒としては前記反応式-3における化合物(1b)と化合物(6)との反応で用いた溶媒をいずれも使用することができる。塩基性化合物としては、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム等の無機塩基、ピリジン、ピペリジン、キノリン、トリエチルアミン、N、N-ジメチルアニリン、酢酸ナトリウム等の有機塩基を例示できる。化合物(8)は、化合物(7)に対して通常少なくとも等モル、好ましくは等モル~1.5倍モル量使用するのがよい。また触媒は、化合物(7)に対して通常0.001倍モル~等モル量、好ましくは0.001~0.1倍モル量使用するのがよい。該反応は、通常室温~200℃、好ましくは、室温~150℃付近にて行われ、一般に1~5時間程度にて終了する。

【2614】  
【化425】

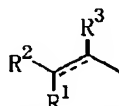
反応式-5



【2615】〔式中 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $n$ 、 $A_4$ 、 $r$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 及び側鎖

【2616】

【化426】



【2617】は前記に同じ。 $R^{25}$ はカルボキシ置換低級アルケニル基又は、カルボキシ置換低級アルコキシ基を示す。 $R^{26}$ は低級アルコキシ低級アルコキシ基、水酸基、ピリジル基、ピリミジル基又はピラジル基を示す。但し、 $R^{25}$ がカルボキシ置換低級アルコキシ基を示すとき、 $R^{26}$ はピリジル基、ピリミジル基又はピラジル基を示すものとする。 $R^{26'}$ は、低級アルコキシ低級アルコキシアミノカルボニル置換低級アルケニル基、水酸基置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基、ピリジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基、ピリミジル置換アミノカルボニル置換低級アルケニル基、ピリジリアミノカルボニル低級アルコキシ基、ピリミジリアミノカルボニル低級アルコキシ基又はピラジリアミノカルボニル低級アルコキシ基を示す。]

反応式-5で示される方法は、一般式(9)又は(11)のカルボン酸と一般式(10)又は(12)のアミンとを、通常のアミド結合生成反応にて反応させる方法である。酸アミド結合生成反応には公知のアミド結合生成反応の条件を容易に適用できる。例えば(イ)混合酸無水物法、即ちカルボン酸(9)又は(11)にアルキ

ルハロ炭酸エステル(14)を反応させて混合酸無水物とし、これにアミン(10)又は(12)を反応させる方法、

(ロ) 活性エステル法、即ちカルボン酸(9)又は(11)を

-

ニトロフェニルエステル、N-ヒドロキシコハク酸イミドエステル、1-ヒドロキシベンゾトリアゾールエステル等の活性エステルとし、これにアミン(10)又は(12)を反応させる方法、(ハ) カルボジイミド法、即ちカルボン酸(9)又は(11)にアミン(10)又は(12)をジシクロヘキシルカルボジイミド、カルボニルジイミダゾール等の活性化剤の存在下に縮合反応させる方法、(ニ) その他の方法、例えばカルボン酸(9)又は(11)を無水酢酸等の脱水剤によりカルボン酸無水物とし、これにアミン(10)又は(12)を反応させる方法、カルボン酸(9)又は(11)と低級アルコールとのエステルにアミン(10)又は(12)を高压高温下に反応させる方法、カルボン酸(9)又は(11)の酸ハロゲン化物、即ちカルボン酸ハライドにアミン(10)又は(12)を反応させる方法等を挙げることができる。

【2618】上記混合酸無水物法(イ)において用いられる混合酸無水物は、通常のショッテン-バウマン反応と同様の反応により得られ、これを通常単離することなくアミン(10)又は(12)と反応させることにより一般式(1f)又は(1g)の本発明化合物が製造される。上記ショッテン-バウマン反応は塩基性化合物の存在下に行われる。用いられる塩基性化合物としては、ショッテン-バウマン反応に慣用の化合物例えばトリエチルアミン、トリメチルアミン、ピリジン、ジメチルアニ

リン、1-メチル-2-ピロリジノン (NMP)、N-メチルモルホリン、1, 5-ジアザビシクロ [4. 3. 0] ノネン-5 (DBN)、1, 8-ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデセン-7 (DBU)、1, 4-ジアザビシクロ [2. 2. 2] オクタン (DABCO) 等の有機塩基、炭酸カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸水素カリウム、炭酸水素ナトリウム等の無機塩基等が挙げられる。該反応は、通常-20~100℃程度、好ましくは-20~50℃程度において行われ、反応時間は5分~10時間程度、好ましくは5分~2時間程度である。得られた混合酸無水物とアミン (10) 又は (12) との反応は通常-20~150℃程度、好ましくは-20~50℃程度において行われ、反応時間は5分~35時間程度、好ましくは5分~30時間程度である。混合酸無水物法は一般に溶媒中塩基性化合物存在下で行われる。用いられる塩基性化合物としては、前記ショットテン-バウマン反応で用いた塩基性化合物がいずれも使用することができる。用いられる溶媒としては混合酸無水物法に慣用の溶媒がいずれも使用可能であり、具体的にはクロロホルム、ジクロロメタン、ジクロロエタン等のハロゲン化炭化水素類、ベンゼン、p-クロロベンゼン、トルエン、キシレン等の芳香族炭化水素類、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン等のエーテル類、酢酸メチル、酢酸エチル等のエステル類、N, N-ジメチルホルムアミド、ジメチルスルホキシド、アセトニトリル、ヘキサメチルリン酸トリアミド等の非プロトン性極性溶媒等又は之等の混合溶媒等が挙げられる。混合酸無水物法において使用されるアルキルハロ炭酸エステルとしては例えばクロロ蟻酸メチル、ブromo蟻酸メチル、クロロ蟻酸エチル、ブromo蟻酸エチル、クロロ蟻酸イソブチル等が挙げられる。該法におけるカルボン酸 (9) 又は (11)、アルキルハロ炭酸エステル及びアミン (10) 又は (12) の使用割合は、通常等モルずつとするのがよいが、カルボン酸 (9) 又は (11) に対してアルキルハロ炭酸エステル及びアミン (10) 又は (12) はそれぞれ1~1.5倍モル量程度の範囲内で使用することができる。

【2619】また前記その他の方法 (二) の内、カルボン酸ハライドにアミン (10) 又は (12) を反応させ

る方法を採用する場合、該反応は塩基性化合物の存在下に、適当な溶媒中で行われる。用いられる塩基性化合物としては、公知のものを広く使用でき、例えば上記ショットテン-バウマン反応に用いられる塩基性化合物の他に、例えば水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウム等を例示できる。また用いられる溶媒としては、例えば上記混合酸無水物法に用いられる溶媒の他に、メタノール、エタノール、プロパノール、ブタノール、3-メトキシ-1-ブタノール、エチルセロソルブ、メチルセロソルブ等のアルコール類、ピリジン、アセトン、水等を例示できる。アミン (10) 又は (12) とカルボン酸ハライドとの使用割合としては、特に限定がなく広い範囲内で適宜選択でき、通常後者に対して前者を少なくとも等モル量程度、好ましくは等モル~5倍モル量程度用いるのがよい。該反応は通常-20~180℃程度、好ましくは-10~150℃程度にて行われ、一般に5分~30時間程度で反応は完結する。

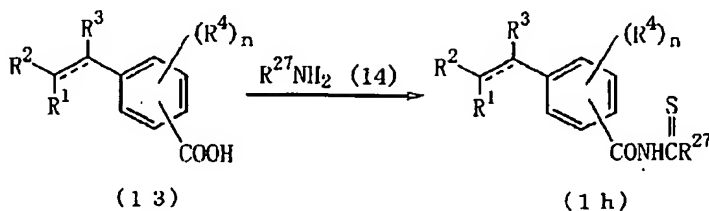
【2620】更に上記反応式-5に示すアミド結合生成反応は、カルボン酸 (9) 又は (11) とアミン (10) 又は (12) とを、フェニルホスフィン-2, 2'-ジチオジピリジン、ジフェニルホスフィニルクロリド、フェニル-N-フェニルホスホラミドクロリド、ジエチルクロロホスフェート、シアノリン酸ジエチル、ジフェニルリン酸アジド、N, N'-ビス (2-オキソ-3-オキサゾリジニル) ホスフィニッククロリド等のリン化合物の縮合剤の存在下に反応させる方法によっても実施できる。

【2621】該反応は、上記カルボン酸ハライドにアミン (10) 又は (12) を反応させる方法で用いられる溶媒及び塩基性化合物の存在下に、通常-20~150℃程度、好ましくは0~100℃程度付近にて行われ、一般に5分~30時間程度にて反応は終了する。縮合剤及びアミン (10) 又は (12) の使用量は、カルボン酸 (9) 又は (11) に対して夫々少なくとも等モル量程度、好ましくは等モル~2倍モル量程度とするのがよい。

【2622】

【化427】

反応式-6

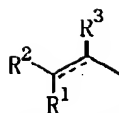


【2623】〔式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、n及び側鎖

【2624】



【化428】



【2625】は前記に同じ。R<sup>27</sup>はフェニル基、ピリジル基又は低級アルキル基を示す。]

化合物(13)を化合物(1h)に導く反応は、適当な溶媒中、化合物(13)をチオシアン酸アンモニウムと反応させた後、ワンポットで引続き化合物(14)と反応させることにより行われる。

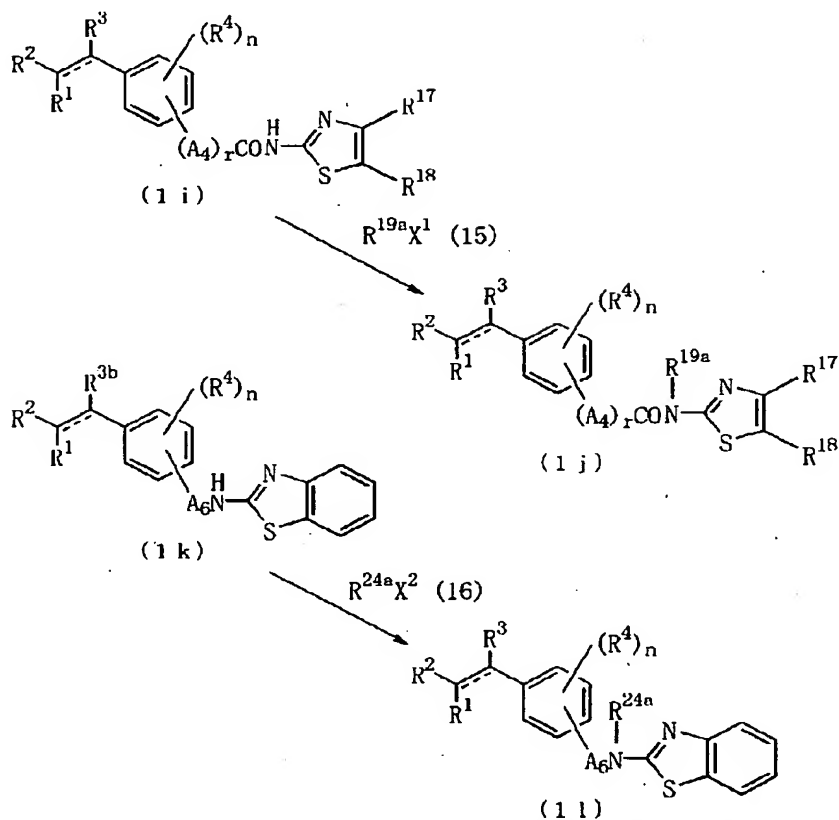
【2626】化合物(13)とチオシアン酸アンモニウムとの反応は、前記反応式-5における化合物(9)と

化合物(10)との反応と同様の条件下に行われる。そのうち(二)のカルボン酸ハライドにアミンを反応させる方法を用いるのが好ましく、その際塩基性化合物の非存在下に反応を行うのがよい。引続く化合物(14)との反応は、チオシアン酸アンモニウムとの反応と同様の溶媒中、通常0~150℃、好ましくは0~100℃付近にて行われ、一般に5分~5時間程度で終了する。化合物(14)の使用量は、化合物(13)に対して通常少なくとも等モル、好ましくは等モル~1.5倍モル量使用するのよい。

【2627】

【化429】

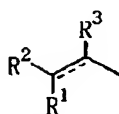
反応式-7



【2628】〔式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、n、A<sub>4</sub>、r、R<sup>17</sup>、R<sup>18</sup>、X<sub>1</sub>、A<sub>6</sub>及び側鎖

【2629】

【化430】



【2630】は前記に同じ。X<sup>2</sup>はハロゲン原子を示

す。R<sup>19a</sup>は低級アルキル基を示す。R<sup>24a</sup>は低級アルコキシカルボニル基を示す。]

化合物(1i)と化合物(15)との反応及び化合物(1k)と化合物(16)との反応は、一般に適当な不活性溶媒中又は無溶媒下、塩基性化合物の存在下又は非存在下にて行われる。用いられる不活性溶媒としては例えばベンゼン、トルエン、キシレン等の芳香族炭化水素類、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジエチレングリコールジメチルエーテル等のエーテ

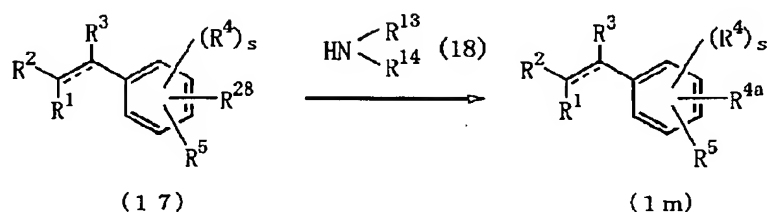
ル類、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化炭化水素類、メタノール、エタノール、イソプロパノール、ブタノール、tert-ブタノール等の低級アルコール類、水、酢酸、酢酸エチル、アセトン、アセトニトリル、ピリジン、ジメチルスルホキシド、ジメチルホルムアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミド又はこれらの混合溶媒等を挙げることができる。また塩基性化合物としては例えば炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウム等の炭酸塩、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム等の金属水酸化物、水素化ナトリウム、カリウム、ナトリウム、ナトリウムアミド、ナトリウムメチラート、ナトリウムエチラート等の金属アルコラート、ピリジン、N-エチルジイソプロピルアミン、ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、1, 5-ジアザビシクロ [4. 3. 0] ノネ

ン-5 (DBN)、1, 8-ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデセン-7 (DBU)、1, 4-ジアザビシクロ [2. 2. 2] オクタン (DABCO) 等の有機塩基等を挙げることができる。化合物 (1 i) 及び化合物 (1 5) 又は化合物 (1 k) 及び化合物 (1 6) の使用割合としては、特に限定がなく広い範囲で適宜選択すればよいが、前者に対して後者を少なくとも等モル量程度、好ましくは等モル～10倍モル量程度用いるのがよい。該反応は通常0～200℃程度、好ましくは0～170℃程度にて行われ、一般に30分～75時間程度で反応は終了する。該反応系内には沃化ナトリウム、沃化カリウム等のアルカリ金属ハロゲン化合物、銅粉等を添加してもよい。

【2631】

【化431】

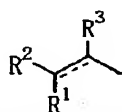
反応式-8



【2632】 [式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>及び側鎖

【2633】

【化432】



【2634】は前記に同じ。R<sup>28</sup>は基-A<sub>2</sub>-X<sup>1</sup> (A<sub>2</sub>

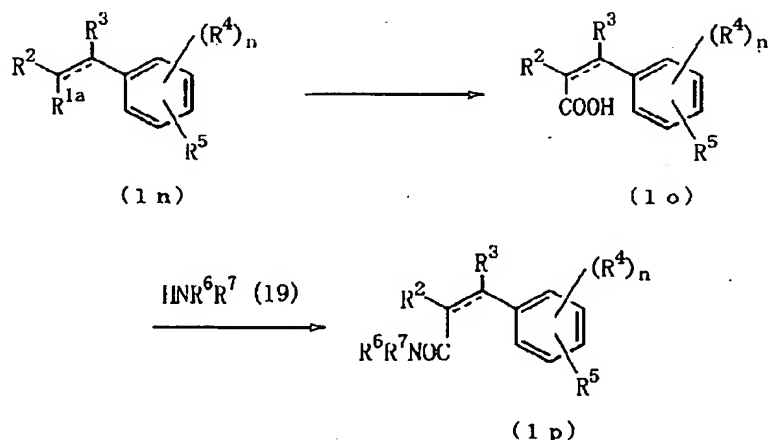
及びX<sup>1</sup>は前記に同じ)を示す。R<sup>4a</sup>は基-A<sub>2</sub>-NR<sup>13</sup>R<sup>14</sup> (A<sub>2</sub>、R<sup>13</sup>及びR<sup>14</sup>は前記に同じ)を示す。sは1又は2を示す。]

化合物 (17) と化合物 (18) との反応は、前記反応式-7における化合物 (1 i) と化合物 (1 5) の反応と同様の条件下に行われる。

【2635】

【化433】

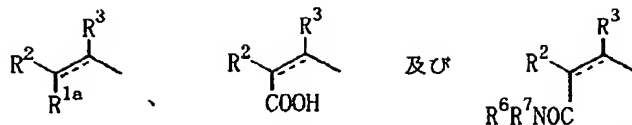
反応式-9



【2636】 [式中R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、n、R<sup>6</sup>、R<sup>7</sup>及び側鎖

【2637】

【化434】



【2638】における点線を含む炭素間結合は前記に同じ。R<sup>1a</sup>は低級アルコキシカルボニル基を示す。]

化合物(1n)を化合物(1o)に導く反応は、適当な溶媒中又は無溶媒中、酸又は塩基性化合物の存在下に実施することができる。用いられる溶媒としては、例えば水、メタノール、エタノール、イソプロパノール等の低級アルコール類、アセトン、メチルエチルケトン等のケトン類、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化炭化水素類、ジオキサン、テトラヒドロフラン、エチレングリコールジメチルエーテル等のエーテル類、酢酸、ギ酸等の脂肪酸類、これらの混合溶媒等を挙げることができる。酸としては、例えば塩酸、硫酸、臭化水素酸等の鉱酸やギ酸、酢酸、トリフルオロ酢酸、

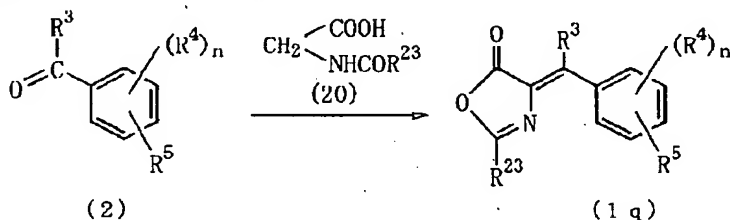
芳香族スルホン酸等の有機酸等を挙げることができ、また塩基性化合物としては、例えば炭酸ナトリウム、炭酸カリウム等の金属炭酸塩や水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化カルシウム、水酸化リチウム等の金属水酸化物等を挙げることができる。該反応は、通常室温～200℃程度、好ましくは室温～150℃程度にて好適に進行し、一般に10分～25時間程度で終了する。

【2639】化合物(1o)と化合物(19)との反応は、前記反応式-5における化合物(9)と化合物(10)との反応と同様の条件下に行われる。

【2640】

【化435】

反応式-10



【2641】【式中R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、R<sup>23</sup>及びnは前記に同じ。】

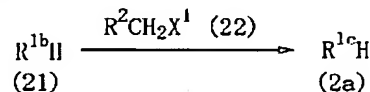
化合物(2)と化合物(20)との反応は、塩基性化合物の存在下、適当な溶媒中にて行われる。ここで使用される塩基性化合物としては、例えば、酢酸ナトリウムに加えて前記反応式-1における化合物(2)と化合物(3)との反応で用いられる塩基性化合物をいずれも使用することができる。使用される溶媒としては、無水酢酸に加えて前記化合物(2)と化合物(3)との反応で用いられる溶媒をいずれも使用可能である。化合物(20)は、化合物(2)に対して通常少なくとも等モル、好ましくは等モル～3倍モル量使用するのがよい。該反応は、通常室温～150℃、好ましくは室温～100℃付近にて行われ、一般に1～5時間程度にて終了する。

【2642】上記各反応式において、出発原料として用いられる化合物(2)、化合物(3)、化合物(9)、化合物(11)、化合物(13)及び化合物(17)は、例えば以下に示す方法で製造される。

【2643】

【化436】

反応式-11



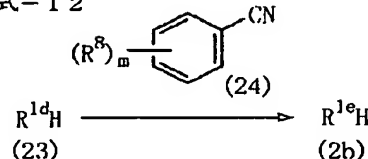
【2644】【式中R<sup>2</sup>及びX<sup>1</sup>は前記に同じ。R<sup>1b</sup>は、複素環中基-NH-を有する前記R<sup>1</sup>の複素環残基を示す。R<sup>1c</sup>は、複素環中基>NCH<sub>2</sub>R<sup>2</sup>(R<sup>2</sup>は前記に同じ)を有する前記R<sup>1</sup>の複素環残基を示す。】

化合物(21)と化合物(22)との反応は、前記反応式-7における化合物(1i)と化合物(15)との反応と同様の条件下に行われる。この反応においては、化合物(21)は、化合物(22)に対して通常少なくとも等モル、好ましくは等モル～3倍モル量使用するのがよい。

【2645】

【化437】

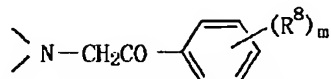
反応式-12



【2646】〔式中 $R^{1d}$ は、複素環中に基 $-N(C H_3)-$ を有する前記 $R^1$ の複素環残基を示す。 $R^{1e}$ は、複素環中基

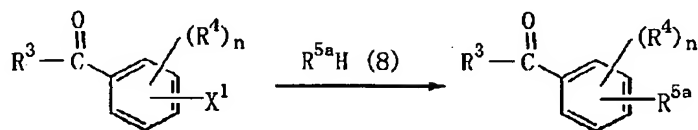
【2647】

【化438】



【2648】( $R^8$ 及び $m$ は前記に同じ。)を有する前

反応式-13



【2650】〔式中 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $n$ 、 $X^1$ 及び $R^{5a}$ は前記に同じ。〕

化合物(25)と化合物(8)との反応は、前記反応式-4における化合物(7)と化合物(8)との反応と同

記 $R^1$ の複素環残基を示す。〕

化合物(23)を化合物(2b)に導く反応は、化合物(23)と化合物(24)とを、前記反応式-1における化合物(2)と化合物(3)との反応と同様の条件下に反応させた後、続いて反応式-9における化合物(1n)を化合物(1o)に導く反応と同様の条件下に処理することにより行われる。

【2649】

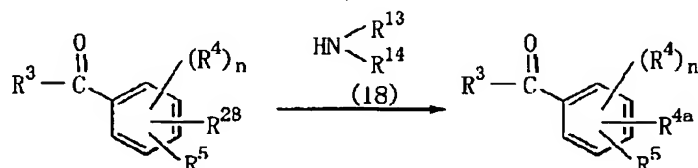
【化439】

様の条件下に行われる。

【2651】

【化440】

反応式-14



(26)

(3b)

【2652】〔式中 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $n$ 、 $R^5$ 、 $R^{13}$ 、 $R^{14}$ 、 $R^{28}$ 及び $R^{4a}$ は前記に同じ。〕

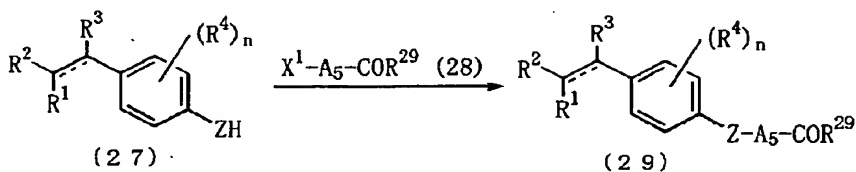
化合物(26)と化合物(18)との反応は、前記反応式-8における化合物(17)と化合物(18)との反

応と同様の条件下に行われる。

【2653】

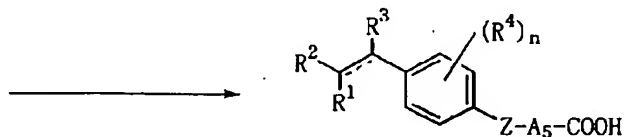
【化441】

反応式-15



(27)

(29)



【2654】〔式中 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $n$ 、 $Z$ 、 $X^1$ 及び $A_5$ は前記に同じ。 $R^{29}$ は水酸基又は低級アルコキ

( $R^{29}$ 基)を示す。〕

化合物(27)と化合物(28)との反応は、一般に適

当な不活性溶媒中又は無溶媒下、塩基性化合物の存在下又は非存在下にて行われる。用いられる不活性溶媒としては、例えばベンゼン、トルエン、キシレン等の芳香族炭化水素類、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジエチルグリコールジメチルエーテル等のエーテル類、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化炭化水素類、メタノール、エタノール、イソプロパノール、ブタノール、tert-ブタノール等の低級アルコール類、水、酢酸、酢酸エチル、アセトン、アセトニトリル、ピリジン、ジメチルスルホキシド、ジメチルホルムアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミド又はこれらの混合溶媒等を挙げることができる。また塩基性化合物としては例えば炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウム等の炭酸塩、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム等の金属水酸化物、水素化ナトリウム、カリウム、ナトリウム、ナトリウムアミド、ナトリウムメチラート等の金属アルコラート、ピリジン、N-エチルジイソプロピルアミン、ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、1, 5-ジアザビシクロ

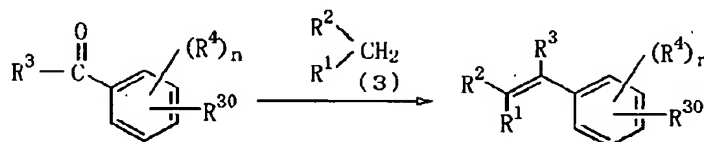
[4. 3. 0] ノネン-5 (DBN)、1, 8-ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデセン-7 (DBU)、1, 4-ジアザビシクロ [2. 2. 2] オクタン (DABCO) 等の有機塩基等を挙げることができる。化合物 (27) と化合物 (28) との使用割合としては、特に限定がなく広い範囲で適宜選択すればよいが、通常前者に対して後者を少なくとも等モル量程度、好ましくは等モル〜10倍モル量程度用いるのがよい。該反応は通常0〜200℃程度、好ましくは0〜170℃程度にて行われ、一般に30分〜75時間程度で反応は終了する。該反応系内には沃化ナトリウム、沃化カリウム等のアルカリ金属ハロゲン化合物、銅粉等を添加してもよい。

【2655】R<sup>29</sup>が低級アルコキシ基を示す化合物 (29) を化合物 (9a) に導く反応は前記反応式-9における化合物 (1n) を化合物 (1o) に導く反応と同様の条件下に行われる。

【2656】

【化442】

反応式-16



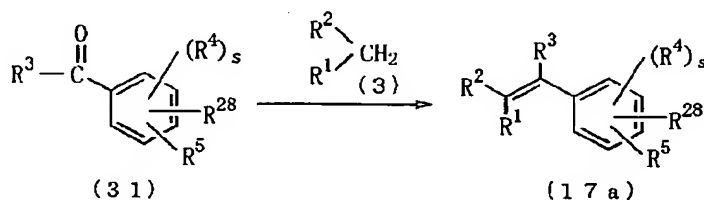
【2657】〔式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>及びnは前記に同じ。R<sup>30</sup>は基-X<sup>1</sup> (X<sup>1</sup>は前記に同じ)、基-(A<sub>4</sub>)<sub>r</sub>COOH (A<sub>4</sub>及びrは前記に同じ)、基-R<sup>25</sup> (R<sup>25</sup>は前記に同じ) 又は基-ZH (Zは前記に同じ) を示す。〕

化合物 (3) と化合物 (30) との反応は、前記反応式-1における化合物 (2) と化合物 (3) の反応と同様の条件下に行われる。

【2658】

【化443】

反応式-17



【2659】〔式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、s、R<sup>5</sup>及びR<sup>28</sup>は前記に同じ。〕

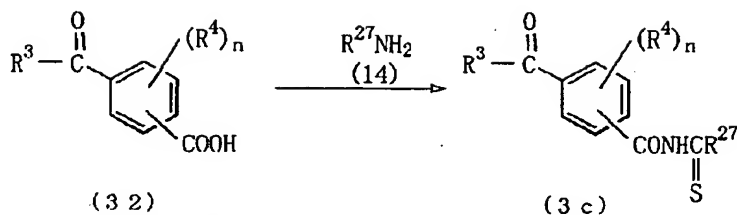
化合物 (3) と化合物 (31) との反応は、前記反応式-1における化合物 (2) と化合物 (3) の反応と同様の条件下に行われる。

の条件下に行われる。

【2660】

【化444】

反応式-18



【2661】〔式中 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 、 $n$ 及び $\text{R}^{27}$ は前記に同じ。〕

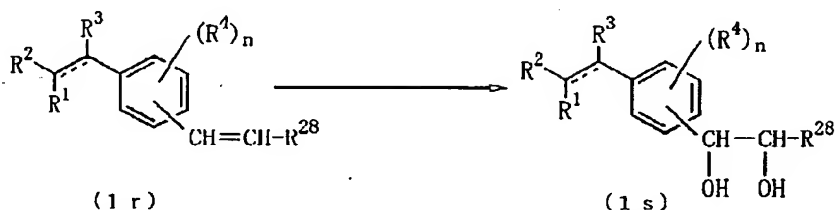
化合物(32)を化合物(3c)に導く反応は、前記反応式-6における化合物(13)を化合物(1h)に導

く反応と同様の条件下に行われる。

【2662】

【化445】

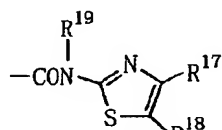
反応式-19



【2663】〔式中 $\text{R}^1$ 、 $\text{R}^2$ 、 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 及び $n$ は前記に同じ。 $\text{R}^{28}$ はカルボキシ基又は基

【2664】

【化446】



【2665】( $\text{R}^{17}$ 、 $\text{R}^{18}$ 及び $\text{R}^{19}$ は前記に同じ)を示す。〕

化合物(1r)を化合物(1s)に導く反応は、適当な溶媒中、酸化剤の存在下に行われる。ここで使用される溶媒としては、前記反応式-7における化合物(1i)と化合物(15)との反応で用いられる溶媒をいずれも使用することができる。酸化剤としては、トリメチルアミンN-オキシド等の低級アルキルアミンN-オキシド類-四酸化オスミウム等を例示できる。酸化剤の使用量としては、低級アルキルアミンN-オキシド類は、化合物(1r)に対して通常5~20倍モル量、好ましくは5~15倍モル量、四酸化オスミウムは触媒量使用するのがよい。該反応は、通常0~100℃、好ましくは0~70℃付近にて好適に進行し、一般に1~75時間程度で終了する。

【2666】本発明の化合物(1)の内、酸性基を有する化合物は、薬理的に許容し得る塩基性化合物と塩を形成し得る。かかる塩基性化合物としては、例えば水酸化

ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化リチウム、水酸化カルシウム等の金属水酸化物、炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム等のアルカリ金属炭酸塩又は重炭酸塩、ナトリウムメチラート、カリウムエチラート等のアルカリ金属アルコラート等を例示することができる。また、本発明の化合物(1)中、塩基性を有する化合物は、通常の薬理的に許容される酸と容易に塩を形成し得る。かかる酸としては、例えば硫酸、硝酸、塩酸、臭化水素酸等の無機酸、酢酸、p-トルエンスルホン酸、エタンスルホン酸、シユウ酸、マレイン酸、フマル酸、クエン酸、コハク酸、安息香酸等の有機酸を例示できる。これらの塩もまた遊離形態の化合物(1)と同様に本発明において有効成分化合物として用いることができる。尚、上記化合物(1)には、立体異性体、光学異性体が包含されるが、これらも同様に有効成分化合物として用いることができる。

【2667】上記各反応式に示される方法により得られる目的とする化合物は、通常分離手段により反応系内より分離され、更に精製することができる。この分離及び精製手段としては、例えば蒸留法、再結晶法、カラムクロマトグラフィー、イオン交換クロマトグラフィー、ゲルクロマトグラフィー、親和クロマトグラフィー、プレパラティブ薄層クロマトグラフィー、溶媒抽出法等を採用できる。

【2668】かくして得られる有効成分化合物は、プロティンキナーゼC阻害剤として有効であり、これら薬剤は、一般的な医薬剤の形態で用いられる。製剤は通常

使用される充填剤、増量剤、結合剤、付湿剤、崩壊剤、表面活性剤、滑沢剤等の希釈剤あるいは賦形剤を用いて調製される。この医薬製剤としては各種の形態が治療目的に応じて選択でき、その代表的なものとして錠剤、丸剤、散剤、液剤、懸濁剤、乳剤、顆粒剤、カプセル剤、坐剤、注射剤（液剤、懸濁剤等）等が挙げられる。錠剤の形態に成形するに際しては、担体としてこの分野で従来よりよく知られている各種のものを広く使用することができる。その例としては、例えば乳糖、白糖、塩化ナトリウム、ブドウ糖、尿素、デンプン、炭酸カルシウム、カオリン、結晶セルロース、ケイ酸等の賦形剤、水、エタノール、プロパノール、単シロップ、ブドウ糖液、デンプン液、ゼラチン溶液、カルボキシメチルセルロース、セラック、メチルセルロース、リン酸カリウム、ポリビニルピロリドン等の結合剤、乾燥デンプン、アルギン酸ナトリウム、カンテン末、ラミナラン末、炭酸水素ナトリウム、炭酸カルシウム、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル類、ラウリル硫酸ナトリウム、ステアリン酸モノグリセリド、デンプン、乳糖等の崩壊剤、白糖、ステアリン、カカオバター、水素添加油等の崩壊抑制剤、第4級アンモニウム塩、ラウリル硫酸ナトリウム等の吸収促進剤、グリセリン、デンプン等の保湿剤、デンプン、乳糖、カオリン、ベントナイト、コロイド状ケイ酸等の吸着剤、精製タルク、ステアリン酸塩、ホウ酸末、ポリエチレングリコール等の滑沢剤等を使用できる。さらに錠剤は必要に応じ通常の剤皮を施した錠剤、例えば糖衣錠、ゼラチン被包錠、腸溶被錠、フィルムコーティング錠あるいは二重錠、多層錠とすることができる。丸剤の形態に成形するに際しては、担体としてこの分野で従来公知のものを広く使用できる。その例としては、例えばブドウ糖、乳糖、デンプン、カカオ脂、硬化植物油、カオリン、タルク等の賦形剤、アラビアゴム末、トラガント末、ゼラチン、エタノール等の結合剤、ラミナラン、カンテン等の崩壊剤等を使用できる。坐剤の形態に成形するに際しては、担体として従来公知のものを広く使用できる。その例としては、例えばポリエチレングリコール、カカオ脂、高級アルコール、高級アルコールのエステル類、ゼラチン、半合成グリセライド等を挙げることができる。カプセル剤は常法に従い通常有効成分化合物を上記で例示した各種の担体と混

#### 製剤例1

2-〔4-〔2-ベンゾイル-2-(1, 2, 4- トリアゾール-1-イル)-1-メチルチオエチル〕 ベンゾイルアミノ〕ベンゾチアゾール	150g
アピセル（商標名、旭化成社製）	40g
コーンスターチ	30g
ステアリン酸マグネシウム	2g
ヒドロキシプロピルメチルセルロース	10g
ポリエチレングリコール-6000	3g
ヒマシ油	40g

合して硬質ゼラチンカプセル、軟質カプセル等に充填して調製される。注射剤として調製される場合、液剤、乳剤及び懸濁剤は殺菌され、且つ血液と等張であるのが好ましく、これらの形態に成形するに際しては、希釈剤としてこの分野において慣用されているものをすべて使用でき、例えば水、エチルアルコール、マクロゴール、プロピレングリコール、エトキシ化イソステアリルアルコール、ポリオキシ化イソステアリルアルコール、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル類等を使用できる。なお、この場合等張性の溶液を調製するに充分な量の食塩、ブドウ糖あるいはグリセリンを医薬製剤中に含有せしめてもよく、また通常の溶解補助剤、緩衝剤、無痛化剤等を添加してもよい。更に必要に応じて着色剤、保存剤、香料、風味剤、甘味剤等や他の医薬品を医薬製剤中に含有させることもできる。

【2669】本発明の医薬製剤中に含有されるべき有効成分化合物の量としては、特に限定されず広範囲から適宜選択されるが、通常製剤組成物中に約1〜70重量%、好ましくは約5〜50重量%とするのがよい。

【2670】本発明の医薬製剤の投与方法は特に制限はなく、各種製剤形態、患者の年齢、性別その他の条件、疾患の程度等に応じた方法で投与される。例えば錠剤、丸剤、液剤、懸濁剤、乳剤、顆粒剤及びカプセル剤の場合には、経口投与される。また注射剤の場合には単独で又はブドウ糖、アミノ酸等の通常の補液と混合して静脈内投与され、更に必要に応じて単独で筋肉内、皮内、皮下もしくは腹腔内投与される。坐剤の場合には直腸内投与される。

【2671】本発明医薬製剤の投与量は、用法、患者の年齢、性別その他の条件、疾患の程度等により適宜選択されるが、通常有効成分化合物の量が、1日当たり体重1kg当たり、約0.6〜50mg程度とするのが良い。また投与単位形態の製剤中には有効成分化合物が約10〜1000mgの範囲で含有されるのが望ましい。

#### 【2672】

【実施例】以下、本発明を更に詳細に説明するため、本発明医薬製剤の製剤例を挙げ、次いで上記有効成分化合物の製造例を実施例として挙げ、更に有効成分化合物の試験例を挙げる。

#### 【2673】

# エタノール

本発明有効成分化合物、アビセル、コーンスターチ及びステアリン酸マグネシウムを混合研磨後、糖衣R10mmのキネで打錠する。得られた錠剤をヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリエチレングリコール-600

## 製剤例2

2- {4- (2, 2-ジアセチルビニル) -2-  
[3- (4-メチル-1-ピペラジニル) プロピル]  
フェノキシメチルカルボニルアミノ} ベンゾイミダゾール  
クエン酸  
ラクトース  
リン酸二カルシウム  
プルロニックF-68  
ラウリル硫酸ナトリウム  
ポリビニルピロリドン  
ポリエチレングリコール (カルボワックス1500)  
ポリエチレングリコール (カルボワックス6000)  
コーンスターチ  
乾燥ステアリン酸ナトリウム  
乾燥ステアリン酸マグネシウム

# エタノール

本発明有効成分化合物、クエン酸、ラクトース、リン酸二カルシウム、プルロニックF-68及びラウリル硫酸ナトリウムを混合する。

【2675】上記混合物をNo. 60スクリーンでふるい、ポリビニルピロリドン、カルボワックス1500及び同6000を含むアルコール性溶液で湿式粒状化する。必要に応じてアルコールを添加して粉末をペースト状塊にする。コーンスターチを添加し、均一な粒子が形成されるまで混合を続ける。混合物をNo. 10スクリーンを通過させ、トレイに入れ、100℃のオーブンで12〜14時間乾燥する。乾燥粒子をNo. 16スクリ

## 製剤例3

2- {4- [2-ベンゾイル-2- (イミダゾール-1-イル)  
ビニル] ベンゾイルアミノ} チアゾール  
ポリエチレングリコール (分子量: 4000)  
塩化ナトリウム  
ポリオキシエチレン-ソルビタンモノオレエート  
メタ重亜硫酸ナトリウム  
メチル-パラベン  
プロピル-パラベン  
注射用蒸留水

上記パラベン類、メタ重亜硫酸ナトリウム及び塩化ナトリウムを攪拌しながら80℃で上記の約半量の蒸留水に溶解させる。得られた溶液を40℃まで冷却し、本発明の有効成分化合物、次いでポリエチレングリコール及びポリオキシエチレンソルビタンモノオレエートを、上記溶液中に溶解させる。次にその溶液に注射用蒸留水を加えて最終の容量に調製し、適当なフィルターペーパーを用いて滅菌濾過することにより滅菌して、注射剤を調製

40g

0、ヒマシ油及びエタノールからなるフィルムコーティング剤で被覆を行ない、フィルムコーティング錠を製造する。

【2674】

150 g  
1.0 g  
33.5 g  
70.0 g  
30.0 g  
15.0 g  
15.0 g  
4.5 g  
45.0 g  
30.0 g  
3.0 g  
3.0 g  
適量

ーンでふるい、乾燥ラウリル硫酸ナトリウム及び乾燥ステアリン酸マグネシウムを加えて混合し、打錠機で所望の形状に圧縮する。

【2676】上記の芯部をワニスで処理し、タルクを散布し、湿気の吸収を防止する。芯部の周囲に下塗り層を被覆する。内服用のために充分な回数のワニス被覆を行なう。錠剤を完全に丸く且つ平滑にするために更に下塗り層及び平滑被覆が適用される。所望の色合が得られるまで着色被覆を行なう。乾燥後、被覆錠剤を磨いて均一な光沢の錠剤にする。

【2677】

5 g  
0.3 g  
0.9 g  
0.4 g  
0.1 g  
0.18 g  
0.02 g  
10.0 ml

する。

【2678】参考例1

(4-メトキシメトキシベンゾイル) メチルプロミド16.6g、1, 2, 4-トリアゾール9g及び炭酸カルシウム9gのアセトニトリル200ml溶液を2時間加熱還流した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、水洗、乾燥後溶媒を留去した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出液: ジクロロメタ



ン：メタノール＝100：1）にて精製して、1-（4-メトキシメトキシベンゾイルメチル）-1, 2, 4-トリアゾール（化合物a）11.6g及び1-（4-メトキシメトキシベンゾイルメチル）-1, 3, 4-トリアゾール（化合物b）2gを得た。

【2679】化合物a：<sup>1</sup>H-NMR（CDCl<sub>3</sub>）δ ppm：3.50（3H, s）、5.27（2H, s）、5.63（2H, s）、7.15（2H, d, J=7Hz）、7.97（2H, d, J=7Hz）、8.01（1H, s）、8.25（1H, s）

化合物b：<sup>1</sup>H-NMR（CDCl<sub>3</sub>）δ ppm：3.50（3H, s）、5.28（2H, s）、5.50（2H, s）、7.16（2H, d, J=7Hz）、7.96（2H, d, J=7Hz）、8.26（2H, s）。

【2680】参考例2

α-ピコリン2.93gの無水テトラヒドロフラン100ml溶液中に内温-30～40℃にて1.6M-n-ブチルリチウム63mlを滴下した。同温にて30分攪拌後ベンズニトリル10.5mlを加え、室温まで昇温した。1時間攪拌後、5%塩酸にて酸性とし、終夜攪拌

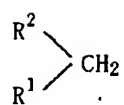
した。反応液を5%水酸化ナトリウムにて塩基性とし、酢酸エチルで抽出し、水洗、乾燥後溶媒を留去した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー（溶出液：ジクロロメタン→ジクロロメタン：メタノール＝100：1）にて精製して、2-（ベンゾイルメチル）ピリジン11.3gを得た。この化合物はエノン型：エタノール型＝2：3の混合物であった。

【2681】<sup>1</sup>H-NMR（CDCl<sub>3</sub>）δ ppm：4.50（2/5×2H, s）、6.08（3/5×1H, s）、6.9-7.75（6H, m）、7.85（3/5×2H, dd, J=7.5Hz, J=2Hz）、8.07（2/5×2H, dd, J=8Hz, J=1.5Hz）、8.30（3/5×1H, d, J=5Hz）、8.57（2/5H, d, J=5Hz）、15.49（2/5×1H, br s）。

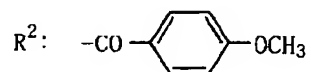
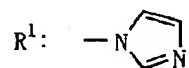
【2682】適当な出発原料を用い、参考例1及び2と同様にして表1～表9に記載の各化合物を得た。

【2683】

【表1】



参考例 3 の化合物

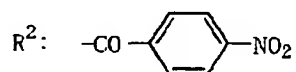
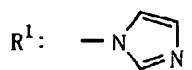


結晶形：淡黄色粉末状

形態：遊離

NMR (1)

参考例 4 の化合物

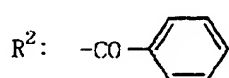
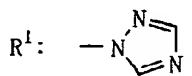


結晶形：淡黄色粉末状

形態：遊離

NMR (2)

参考例 5 の化合物



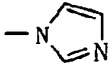
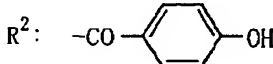
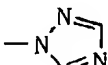
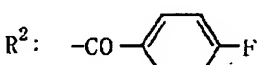
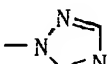
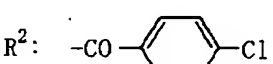
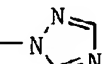
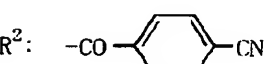
結晶形：淡黄色粒状

形態：遊離

NMR (3)

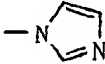
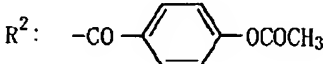
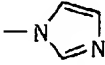
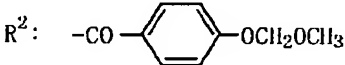
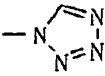
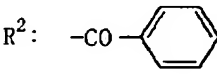
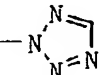
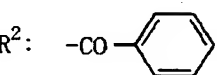
【2684】

【表 2】

参考例 6 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粒状	形態：遊離	NMR (4)
参考例 7 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粉末状	形態：遊離	NMR (5)
参考例 8 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡黄色鱗片状	形態：遊離	NMR (6)
参考例 9 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：黄色粒状	形態：遊離	NMR (7)

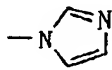
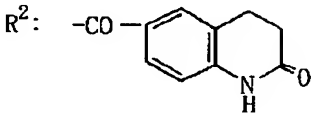
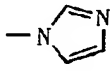
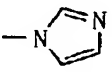
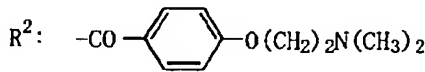
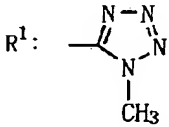
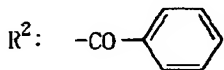
【2685】

【表 3】

参考例 10 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粒状	形態：遊離	NMR (8)
参考例 11 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡黄色粒状	形態：遊離	NMR (9)
参考例 12 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色針状	形態：遊離	NMR (10)
参考例 13 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色針状	形態：遊離	NMR (11)

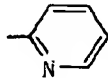
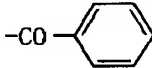
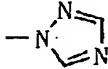
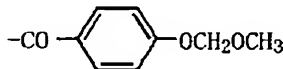
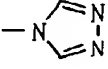
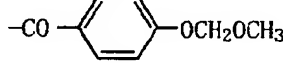
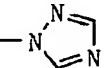
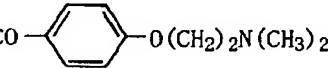
【2686】

【表4】

参考例 1 4 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粉末状	形態：遊離	NMR (1 2)
参考例 1 5 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : $-\text{COC}(\text{CH}_3)_3$	
結晶形：淡黄色油状	形態：遊離	NMR (1 3)
参考例 1 6 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
形態：遊離	NMR (1 4)	
参考例 1 7 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粉末状	形態：遊離	NMR (1 5)

【2687】

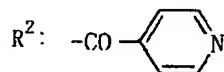
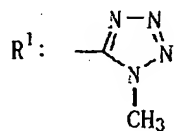
【表5】

参考例 18 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：黄色固体	形態：遊離	NMR (16)
参考例 19 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粉末状	形態：遊離	NMR (17)
参考例 20 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粉末状	形態：遊離	NMR (18)
参考例 21 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡褐色粉末状	形態：遊離	NMR (19)

【2688】

【表6】

参考例 2 2 の化合物

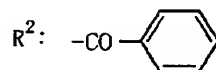
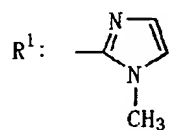


結晶形：淡褐色粉末状

形態：遊離

NMR (20)

参考例 2 3 の化合物

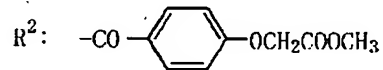
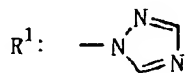


結晶形：淡褐色粉末状

形態：遊離

NMR (21)

参考例 2 4 の化合物

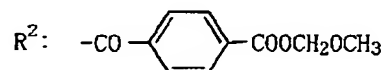
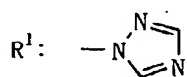


結晶形：白色粉末状

形態：遊離

NMR (22)

参考例 2 5 の化合物



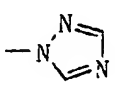
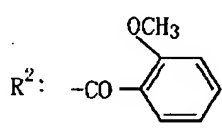
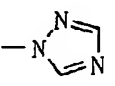
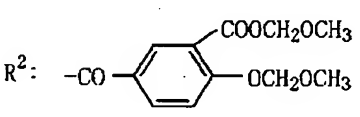
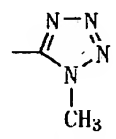
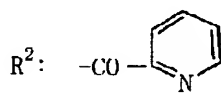
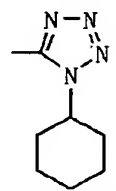
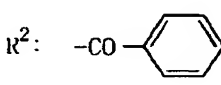
結晶形：白色粉末状

形態：遊離

NMR (23)

【2689】

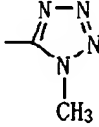
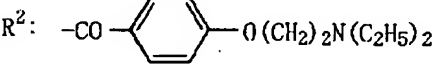
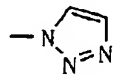
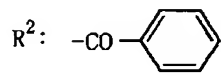
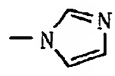
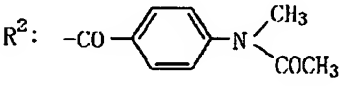
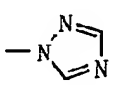
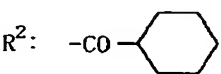
【表7】

参考例 26 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色粉末状	形態：遊離	NMR (24)
参考例 27 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色油状	形態：遊離	NMR (25)
参考例 28 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡褐色油状	形態：遊離	NMR (26)
参考例 29 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡黄色油状	形態：遊離	NMR (27)

【2690】

【表8】

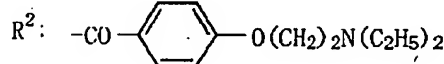
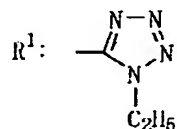


参考例 3 0 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡黄色油状	形態：遊離	NMR (3 2)
参考例 3 1 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：白色固体	形態：遊離	NMR (2 8)
参考例 3 2 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：淡黄色粉末状	形態：遊離	NMR (2 9)
参考例 3 3 の化合物		
$R^1$ : 	$R^2$ : 	
結晶形：無色油状	形態：遊離	NMR (3 0)

【2691】

【表9】

参考例 34 の化合物

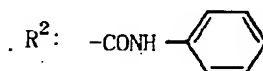
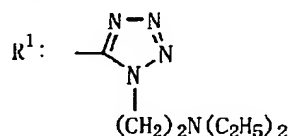


結晶形：暗赤色油状

形態：遊離

NMR (31)

参考例 35 の化合物



形態：遊離

融点：98—99℃

結晶形：白色粉末状

再結晶溶媒：酢酸エチル—n—ヘキサン

【2692】表1～表9に記載の各化合物のNMRスペクトルは、以下の通りである。

【2693】(1)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.90 (3H, s)、5.36 (2H, s)、6.88—7.18 (4H, m)、7.53 (1H, s)、7.88—8.08 (2H, m)。

【2694】(2)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 5.82 (2H, s)、6.95 (1H, s)、7.14 (1H, s)、7.73 (1H, s)、8.21—8.30 (2H, m)、8.35—8.48 (2H, m)。

【2695】(3)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 6.02 (2H, s)、7.54—7.80 (3H, m)、8.00—8.20 (2H, m)、8.54 (1H, s)。

【2696】(4)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 5.62 (2H, s)、6.85—7.10 (3H, m)、7.10 (1H, s)、7.60 (1H, s)、7.85—8.02 (2H, m)、10.57 (1H, br)。

【2697】(5)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 5.99 (2H, s)、7.39—7.54 (2H, m)、8.08—8.24 (2H, m)、8.51 (1H, s)。

【2698】(6)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 5.99 (2H, s)、7.63—7.76 (2H, m)、7.90—8.15 (2H, m)、8.51 (1H, s)。

【2699】(7)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 6.05 (2H, s)、8.00—8.30 (5H, m)、8.51 (1H, s)。

【2700】(8)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 2.31 (3H, s)、5.73 (2H, s)、6.92 (1H, s)、7.11 (1H, s)、7.36 (2H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、7.59 (1H, s)、8.09 (2H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )。

【2701】(9)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.50 (3H, s)、5.26 (2H, s)、5.36 (2H, s)、6.95 (1H, s)、7.08—7.20 (3H, m)、7.51 (1H, s)、7.95—8.08 (2H, m)。

【2702】(10)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 5.99 (2H, s)、7.51—7.66 (2H, m)、7.66—7.80 (1H, m)、7.95—8.10 (2H, m)、8.87 (1H, s)。

【2703】(11)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 6.16 (2H, s)、7.50—7.65 (2H, m)、7.65—7.78 (1H, m)、7.92—8.08 (2H, m)、8.63 (1H, s)。

【2704】(12)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 2.53 (2H, t,  $J=7.0\text{Hz}$ )、3.00 (2H, t,  $J=7.0\text{Hz}$ )、5.78 (2H, s)、7.03 (1H, d,  $J=8.0\text{Hz}$ )、7.21 (1H, s)、7.32 (1H, s)、7.92—8.02 (2H, m)、8.13 (1H, s)、10.57 (1H, s)。

【2705】(13)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.25 (9H, s)、4.91 (2H, s)、6.83 (1H, t,  $J=1.1\text{Hz}$ )、7.07 (1H, s)、7.38 (1H, s)。

【2706】(14)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.35 (6H, s)、2.77 (2H, t,  $J=5.5\text{Hz}$ )、4.15 (2H, t,  $J=5.5\text{Hz}$ )、5.34 (2H, s)、6.97 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、7.03 (1H, s)、7.14 (1H, s)、7.51 (1H, s)、7.94 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )。

【2707】(15)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 4.06 (3H, s)、4.70 (2H, s)、7.45-7.7 (3H, m)、8.05 (2H, d,  $J=7\text{Hz}$ )。

【2708】(16)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 4.50 (2/5 $\times$ 2H, s)、6.08 (3/5 $\times$ 1H, s)、6.9-7.75 (6H, m)、7.85 (3/5 $\times$ 2H, dd,  $J=7.5\text{Hz}$ ,  $J=2\text{Hz}$ )、8.07 (2/5 $\times$ 2H, dd,  $J=8\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、8.30 (3/5 $\times$ 1H, d,  $J=5\text{Hz}$ )、8.57 (2/5 $\times$ 2H, d,  $J=5\text{Hz}$ )、15.49 (2/5 $\times$ 1H, brs)。

【2709】(17)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.50 (3H, s)、5.27 (2H, s)、5.63 (2H, s)、7.14 (2H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、7.96 (2H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、8.01 (2H, s)、8.25 (1H, s)。

【2710】(18)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.50 (3H, s)、5.28 (2H, s)、5.50 (2H, s)、7.16 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、7.96 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、8.26 (2H, s)。

【2711】(19)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.36 (6H, s)、2.78 (2H, t,  $J=5.5\text{Hz}$ )、4.16 (2H, t,  $J=5.5\text{Hz}$ )、5.63 (2H, s)、7.02 (2H, d,  $J=9\text{Hz}$ )、7.96 (2H, d,  $J=9\text{Hz}$ )、8.01 (1H, s)、8.25 (1H, s)。

【2712】(20)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 4.07 (36/100 $\times$ 3H, s)、4.11 (64/100 $\times$ 3H, s)、4.71 (36/100 $\times$ 2H, s)、6.09 (64/100 $\times$ 1H, s)、7.71 (64/100 $\times$ 2H, dd,  $J=4.5\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、7.84 (36/100 $\times$ 2H, dd,  $J=4.5\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、8.75 (64/100 $\times$ 2H, dd,  $J=4.5\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、8.91 (36/100 $\times$ 1H, dd,  $J=4.5\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、11.60 (1H, brs)。

【2713】(21)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.62 (2/30 $\times$ 3H, s)、3.63 (1/3 $\times$ 3H, s)、4.45 (2/30 $\times$ 2H, s)、5.90 (1/3 $\times$ 1H, s)、6.75 (1/3 $\times$ 1H, d,  $J=1\text{Hz}$ )、6.87 (2/3 $\times$ 1H, d,  $J=1\text{Hz}$ )、6.99 (1H, d,  $J=1\text{Hz}$ )、7.35-7.65 (3H, m)、7.82 (1/3 $\times$ 2H, dd,  $J=7.5\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、8.11 (2/3 $\times$ 2H, dd,  $J=7.5\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )。

【2714】(22)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.83 (3H, s)、4.74 (2H, s)、5.62 (2H, s)、7.01 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、7.98 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、8.01 (1H, s)、8.25 (1H, s)。

【2715】(23)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.57 (3H, s)、5.52 (2H, s)、5.77 (2H, s)、7.99 (1H, s)、8.05 (2H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、8.20 (2H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、8.29 (1H, s)。

【2716】(24)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.98 (3H, s)、5.72 (2H, s)、7.05-7.15 (1H, m)、7.26 (1H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、7.59-7.80 (2H, m)、7.99 (1H, s)、8.52 (1H, s)。

【2717】(25)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.54 (3H, s)、3.58 (3H, s)、5.37 (2H, s)、5.50 (2H, s)、5.66 (2H, s)、7.35 (1H, d,  $J=8.8\text{Hz}$ )、8.02 (1H, s)、8.13 (1H, dd,  $J=2.4\text{Hz}$ ,  $J=8.8\text{Hz}$ )、8.25 (1H, s)、8.48 (1H, d,  $J=2.4\text{Hz}$ )。

【2718】(26)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 4.07 (3H, s)、4.95 (2H, s)、7.57 (1H, ddd,  $J=7.5\text{Hz}$ ,  $J=6\text{Hz}$ ,  $J=1.5\text{Hz}$ )、7.91 (1H, dt,  $J=1.5\text{Hz}$ ,  $J=7.5\text{Hz}$ )、8.08 (1H, dt,  $J=7.5\text{Hz}$ ,  $J=1\text{Hz}$ )、8.73 (1H, dm,  $J=6\text{Hz}$ )。

【2719】(27)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.2-2.2 (10H, m)、4.05-5.25 (1H, m)、4.69 (1/2 $\times$ 2H, s)、5.11 (1/2 $\times$ 1H, s)、6.50 (1/2 $\times$ 1H, br)、7.4-8.15 (5H, m)。

【2720】(28)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 6.21 (2H, s)、7.52-7.68 (2H, m)、7.68-7.83 (2H, m)、8.00-8.20 (3H, m)。

【2721】(29)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.93 (3H, s)、3.24 (3H,

s)、5.74 (2H, s)、6.92 (1H, s)、7.12 (1H, s)、7.52-7.67 (3H, m)、8.08 (2H, d, J=8.4 Hz)。

【2722】(30)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.05-1.45 (5H, m)、1.50-1.96 (5H, m)、2.45-2.65 (1H, m)、5.35 (2H, m)、7.96 (1H, s)、8.41 (1H, s)。

【2723】(31)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.08 (6H, t, J=7.1 Hz)、1.58 (3H, t, J=7.3 Hz)、2.65 (4H, q, J=7.1 Hz)、2.90 (2H, t, J=6.2 Hz)、4.13 (2H, t, J=6.2 Hz)、4.34 (2H, q, J=7.3 Hz)、4.62 (2H, s)、6.99 (2H, dt, J=8.9 Hz, J=2.0 Hz)、8.02 (2H, dt, J=8.9 Hz, J=2.0 Hz)。

【2724】(32)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.09 (6H, t, J=7.1 Hz)、2.67 (4H, q, J=7.1 Hz)、2.92 (2H, t, J=6.1 Hz)、4.05 (3H, s)、4.15 (2H, t, J=6.1 Hz)、4.64 (2H, s)、6.99 (2H, d, J=9.0 Hz)、8.01 (2H, d, J=9.0 Hz)。

【2725】参考例36

塩化パラジウム30mgのジメチルホルムアミド5ml懸濁液を窒素雰囲気下に140℃で30分攪拌した。2-ビニルカルボニルメチルベンゾチアゾール2g、p-プロモベンズアルデヒド2ml及び酢酸ナトリウム1.1gを加え、120℃で2時間攪拌した。反応液を水中に注ぎ析出物を濾取した。ジメチルホルムアミドに溶解し濾過後、濾液にメタノールを加え結晶を濾取して、1.8gの4-(2-ベンゾチアゾリル)アミノカルボニルビニルベンズアルデヒドを得た。

【2726】 $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 7.09 (1H, d, J=16.0 Hz)、7.25-7.39 (1H, m)、7.39-7.52 (1H, m)、7.70-7.94 (4H, m)、7.94-8.06 (3H, m)、10.03 (1H, s)、12.70 (1H, s)。

【2727】参考例37

チオシアン酸アンモニウム2.51gのアセトン30ml溶液にp-ホルミルベンゾイルクロリド5gを加え、5分還流した。引続いて2-アミノピリジン2.82g加えると還流が起こり、油浴を用いて更に5分還流した。その後室温にて2時間攪拌し、水120mlを加え不溶物を濾取することにより、4-(2-ピリジル)チオウレイドカルボニルベンズアルデヒド6.98gを得た。

【2728】淡黄色粉末状

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 7.20-7.37 (1H, m)、7.92-8.16 (6H, m)、8.33-8.50 (1H, m)、8.75 (1H, brs)、10.12 (1H, s)、12.00 (1H, brs)、13.15 (1H, brs)。

【2729】参考例38

4-(2-ベンゾチアゾリル)アミノカルボニルビニルベンズアルデヒド5gのテトラヒドロフラン100ml溶液に四酸化オスミウム50mgを加え、更に、トリメチルアミンN-オキシド11.1gの水10ml溶液を加えた。ジメチルホルムアミドを追加することによって溶解し、室温にて3日間攪拌した。水を加え不溶物を除去し、濾液を酢酸エチルにて抽出した。乾燥後、溶媒を除去し、残渣にジエチルエーテルを加えることにより、4-[1,2-ジヒドロキシ-2-(2-ベンゾチアゾリル)アミノカルボニル]エチル]ベンズアルデヒド0.7gを得た。

【2730】灰色粉末状

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 4.42 (1H, dd, J=3 Hz, J=7.5 Hz)、5.14 (1H, dd, J=3 Hz, J=6 Hz)、5.66 (1H, d, J=7.5 Hz)、5.82 (1H, d, J=6 Hz)、7.25-7.5 (2H, m)、7.65 (2H, d, J=8 Hz)、7.75 (1H, d, J=7 Hz)、7.87 (2H, d, J=8 Hz)、7.99 (1H, d, J=7 Hz)、9.98 (1H, s)、11.93 (1H, br)。

【2731】参考例39

3-(3-クロロプロピル)-4-[ (2-ベンゾチアゾリル)アミノカルボニルメトキシ]ベンズアルデヒド1g及び2-モルホリノメチルピロリジン760mgの無水ジメチルホルムアミド30ml溶液を60℃で2時間攪拌した。水を加え、酢酸エチルにて抽出し、水洗、乾燥後溶媒を除去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出液:ジクロロメタン:メタノール=100:1→10:1)にて精製して、3-[3-(2-モルホリノメチルピロリジニル)プロピル]-4-[ (2-ベンゾチアゾリル)アミノカルボニルメトキシ]ベンズアルデヒド0.6gを得た。

【2732】 $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.5-3.4 (15H, m)、2.40 (4H, t, J=4.5 Hz)、3.61 (4H, t, J=4.5 Hz)、4.88 (2H, s)、6.99 (1H, d, J=8.5 Hz)、7.3-7.55 (2H, m)、7.7-7.9 (4H, m)、9.92 (1H, s)。

【2733】参考例40

4-ホルミル桂皮酸10.1gのジクロロメタン100ml懸濁液にジメチルホルムアミド5滴及びオキサリクロリド6mlを氷冷下に加え、終夜攪拌した。この懸濁液を2-アミノベンゾチアゾール8.61g及びトリエ

チルアミン19. 3mlのジクロロメタン100ml懸濁液に氷冷下滴下し、同温にて終夜攪拌した。析出晶を濾取し、水、メタノールの順に洗浄することにより、2-(4-ホルミルシンナモイルアミノ)ベンゾチアゾール3.92gを得た。

【2734】黄色粉末状

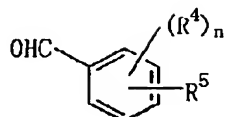
$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 7.09 (1H, d,  $J=16.0\text{Hz}$ )、7.25-7.39 (1H, m)、7.39-7.52 (1H, m)、7.70

-7.94 (4H, m)、7.94-8.06 (3H, m)、10.03 (1H, s)、12.70 (1H, s)。

【2735】適当な出発原料を用い、参考例36及び40と同様にして表10～表25に記載の各化合物を得た。

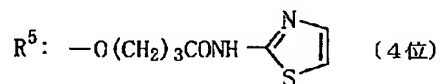
【2736】

【表10】



参考例41の化合物

$R^4$ : H       $n$ : 1



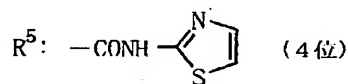
結晶形: 淡黄色粒状

形態: 遊離

NMR (1)

参考例42の化合物

$R^4$ : H       $n$ : 1



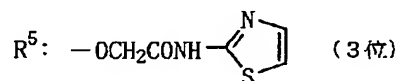
結晶形: 白色粉末状

形態: 遊離

NMR (2)

参考例43の化合物

$R^4$ : H       $n$ : 1



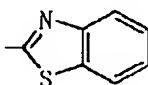

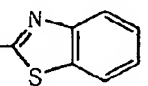

結晶形: 白色粉末状

形態: 遊離

NMR (3)

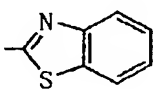
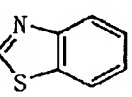
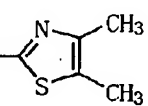
【2737】

【表11】

参考例 4 4 の化合物		
$R^4$ : H $n$ : 1	$R^5$ : $-\text{CH}=\text{CHCONH}-$	 (4 位)
結晶形: 黄色粉末状	形態: 遊離	NMR (4)
参考例 4 5 の化合物		
$R^4$ : H $n$ : 1	$R^5$ : $-(\text{CH}_2)_2\text{CONH}-$	 (4 位)
結晶形: 白色粒状	形態: 遊離	NMR (5)
参考例 4 6 の化合物		
$R^4$ : H $n$ : 1	$R^5$ : $-(\text{CH}_2)_2\text{CONH}-$	 (4 位)
結晶形: 白色粉末状	形態: 遊離	NMR (6)
参考例 4 7 の化合物		
$R^4$ : H $n$ : 1	$R^5$ : $-\text{CH}=\text{CHCONH}-$	 (4 位)
結晶形: 淡黄色粒状	形態: 遊離	NMR (7)

【2738】

【表12】


参考例 48 の化合物		
$R^4$ : H	$n$ : 1	$R^5$ : $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$  (4 位)
結晶形: 黄色粒状	形態: 遊離	NMR (8)
参考例 49 の化合物		
$R^4$ : H	$n$ : 1	$R^5$ : $-\text{CONH}-$  (4 位)
結晶形: 黄色粉末状	形態: 遊離	NMR (9)
参考例 50 の化合物		
$R^4$ : H	$n$ : 1	$R^5$ : $-\text{CH}=\text{CHCONH}-$  (4 位)
結晶形: 黄色粉末状	形態: 遊離	NMR (10)

【2739】

【表13】

参考例 5 1 の化合物

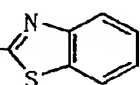
$R^4$ :  $-\text{CH}_3$  (3 位)  $n : 2$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形: 黄色粉末状      形態: 遊離      NMR (1 1)

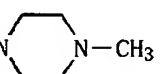
参考例 5 2 の化合物

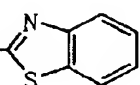
$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形: 白色粉末状      形態: 塩酸塩      NMR (1 2)

参考例 5 3 の化合物

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}-$    $\text{N}-\text{CH}_3$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形: 黄色粉末状      形態: 遊離      NMR (1 3)

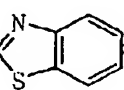
【2740】

【表 1 4】



参考例 5 4 の化合物

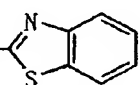
$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}(\text{CH}_3)_2$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形: 黄色粉末状 形態: 遊離 NMR (1 4)

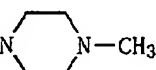
参考例 5 5 の化合物

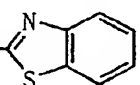
$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形: 褐色粉末状 形態: 塩酸塩 NMR (1 5)

参考例 5 6 の化合物

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_2\text{N}$    $\text{N}-\text{CH}_3$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

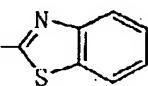
結晶形: 白色粉末状 形態: 2 塩酸塩 NMR (1 6)

【2 7 4 1】

【表 1 5】


参考例 57 の化合物

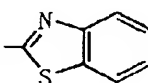
$R^4$ :  $-(CH_2)_3OH$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-OCH_2CONH-$   (4 位)

結晶形: 白色粉末状 形態: 遊離 NMR (17)

参考例 58 の化合物

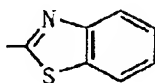
$R^4$ :  $-(CH_2)_3N$    $N-CH_3$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-OCH_2CONH-$   (4 位)

結晶形: 淡黄色粉末状 形態: 遊離 NMR (18)

参考例 59 の化合物

$R^4$ :  $-CH_2N(C_2H_5)_2$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-O(CH_2)_5CONH-$   (4 位)

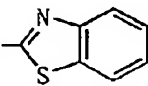
結晶形: 黄色油状 形態: 遊離 NMR (19)

【2742】

【表16】

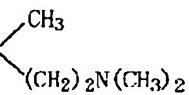
参考例 60 の化合物

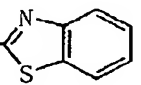
$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_3\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形：黄色不定形 形態：遊離 NMR (20)

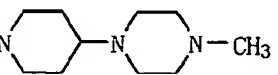
参考例 61 の化合物

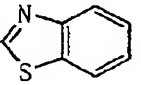
$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N}$   (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形：淡黄色粉末状 形態：2 塩酸塩 NMR (21)

参考例 62 の化合物

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N}$   (3 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4 位)

結晶形：淡黄色粉末状 形態：遊離 NMR (22)

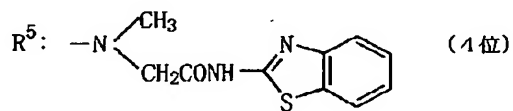
【2743】

【表17】

参考例 6 3 の化合物

$R^4$ : H

$n$ : 1

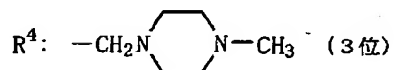


結晶形: 黄色粉末状

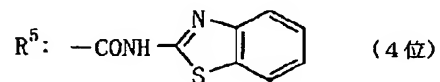
形態: 遊離

NMR (2 3)

参考例 6 4 の化合物



$n$ : 1

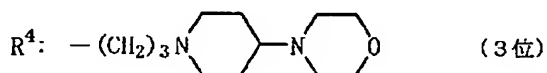


結晶形: 淡黄色粉末状

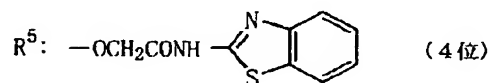
形態: 遊離

NMR (2 4)

参考例 6 5 の化合物



$n$ : 1



結晶形: 黄色粉末状

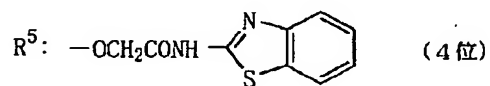
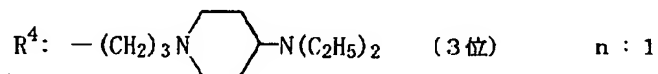
形態: 2 塩酸塩

NMR (2 5)

【2 7 4 4】

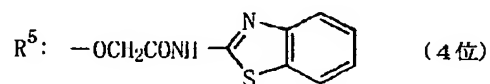
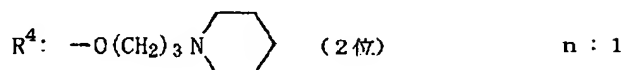
【表 1 8】

参考例 6 6 の化合物



結晶形：黄色粉末状 形態：2 塩酸塩 NMR (2 6)

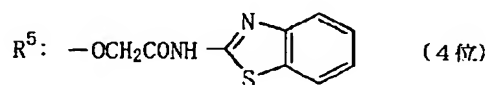
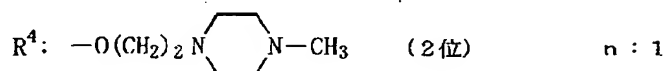
参考例 6 7 の化合物



結晶形：淡黄色粉末状 融点：157—160℃

再結晶溶媒：酢酸エチル—*n*—ヘキサン 形態：遊離

参考例 6 8 の化合物



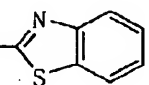
結晶形：淡黄色不定形 形態：遊離 NMR (2 7)

【2745】

【表19】

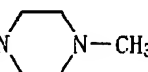
参考例 69 の化合物

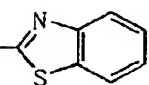
$R^4$ :  $-O(CH_2)_3N(C_2H_5)_2$  (2 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-OCH_2CONH-$   (4 位)

結晶形: 淡黄色不定形 形態: 遊離 NMR (28)

参考例 70 の化合物

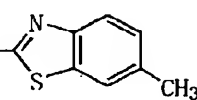
$R^4$ :  $-O(CH_2)_3N$    $N-CH_3$  (2 位)  $n : 1$

$R^5$ :  $-OCH_2CONH-$   (4 位)

結晶形: 淡黄色不定形 形態: 遊離 NMR (29)

参考例 71 の化合物

$R^4$ : H  $n : 1$

$R^5$ :  $-OCH_2CONH-$   (4 位)

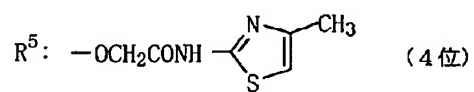
結晶形: 黄色粉末状 形態: 遊離 NMR (30)

【2746】

【表20】

参考例 7 2 の化合物

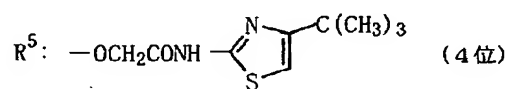
$R^4$ : H                      n : 1



結晶形: 淡褐色粉末状                      形態: 遊離                      NMR (3 1)

参考例 7 3 の化合物

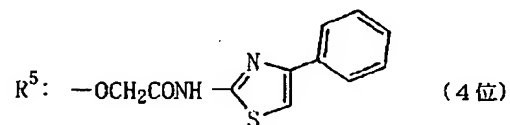
$R^4$ : H                      n : 1



結晶形: 白色粉末状                      形態: 遊離                      NMR (3 2)

参考例 7 4 の化合物

$R^4$ : H                      n : 1

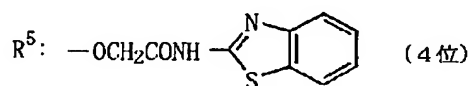
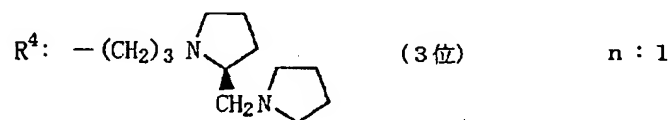


結晶形: 淡黄色粉末状                      形態: 遊離                      NMR (3 3)

【2 7 4 7】

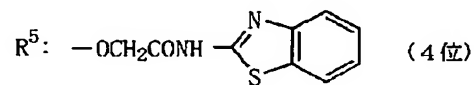
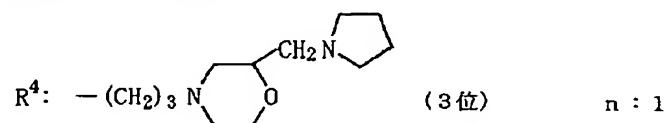
【表 2 1】

参考例 7 5 の化合物



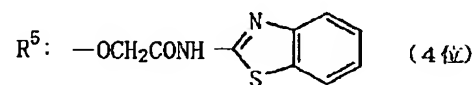
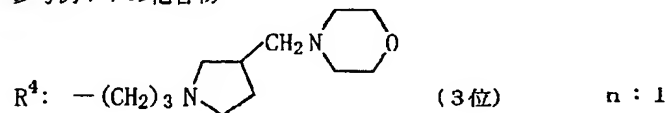
結晶形：淡黄色油状      形態：遊離      NMR (3 4)

参考例 7 6 の化合物



結晶形：黄色不定形      形態：遊離      NMR (3 5)

参考例 7 7 の化合物



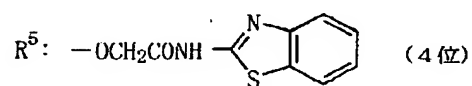
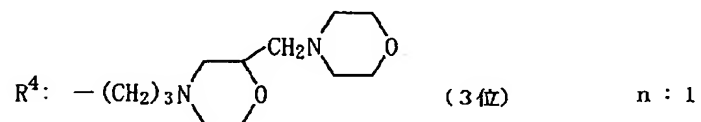
結晶形：黄色不定形      形態：遊離      NMR (3 6)

【2748】

【表 2 2】

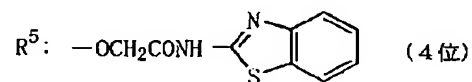
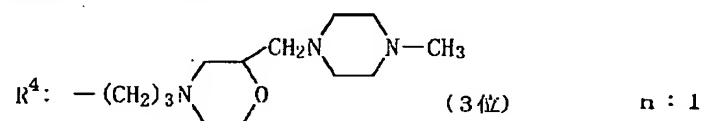


参考例 78 の化合物



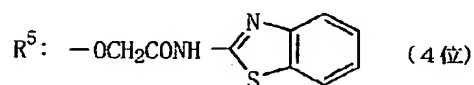
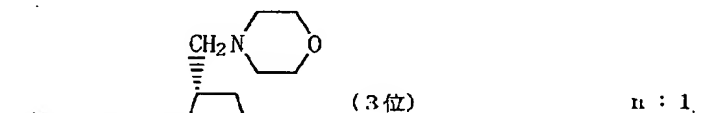
結晶形：黄色不定形      形態：遊離      NMR (37)

参考例 79 の化合物



結晶形：黄色不定形      形態：遊離      NMR (38)

参考例 80 の化合物

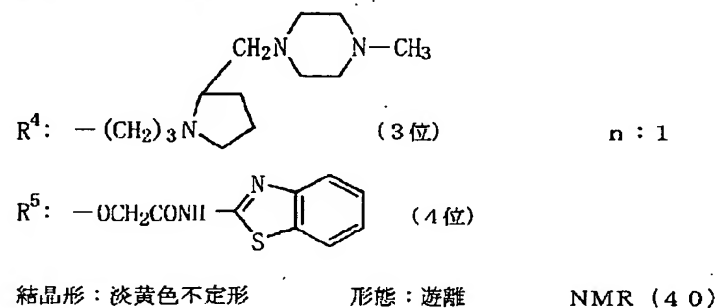


結晶形：淡黄色不定形      形態：遊離      NMR (39)

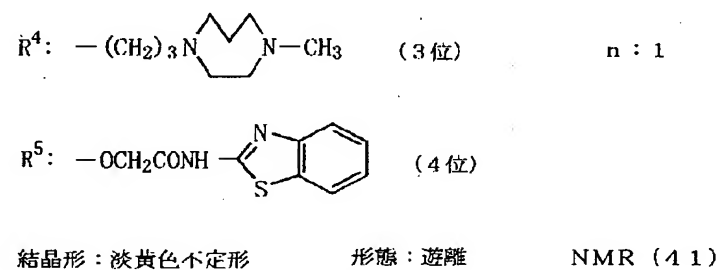
【2749】

【表23】

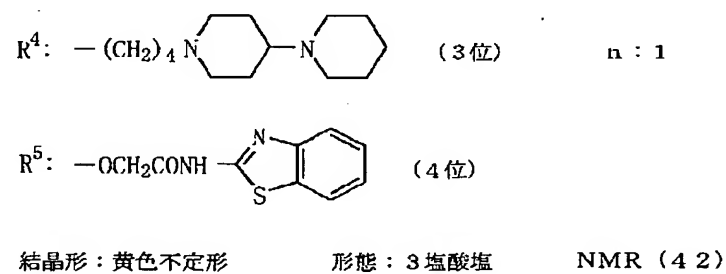
参考例 8 1 の化合物



参考例 8 2 の化合物



参考例 8 3 の化合物

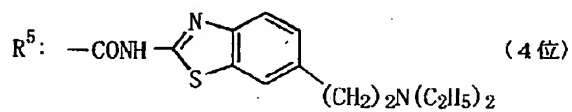


【2750】

【表24】

参考例 8 4 の化合物

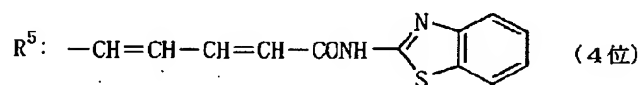
$R^4$ : H  $n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状 形態: 遊離 NMR (4 3)

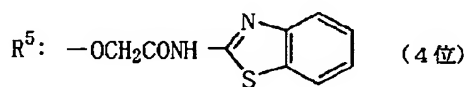
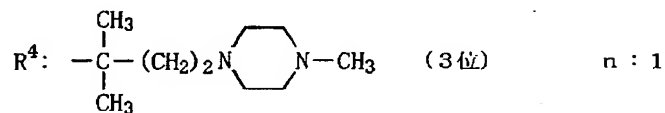
参考例 8 5 の化合物

$R^4$ : H  $n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状 形態: 遊離 NMR (4 4)

参考例 8 6 の化合物

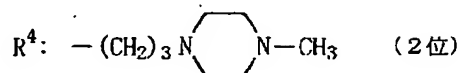


結晶形: 黄色不定形 形態: 遊離 NMR (4 5)

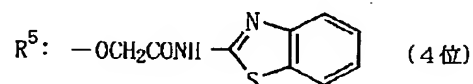
【2751】

【表25】

参考例 87 の化合物



$n: 1$



結晶形: 無色不定形

形態: 遊離

NMR (46)

【2752】表10~表25に記載の各化合物のNMRスペクトルは、以下の通りである。

【2753】(1)  $^1H$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.08 (2H, q,  $J=6.6$  Hz)、2.62 (2H, t,  $J=7.2$  Hz)、4.13 (2H, t,  $J=4.1$  Hz)、7.10 (2H, d,  $J=8.6$  Hz)、7.19 (1H, d,  $J=3.6$  Hz)、7.45 (1H, d,  $J=3.6$  Hz)、7.85 (2H, d,  $J=8.6$  Hz)、9.86 (1H, s)、12.13 (1H, s)。

【2754】(2)  $^1H$ -NMR (CDCl $_3$ )  $\delta$  ppm: 4.26 (2H, s)、7.01 (1H, d,  $J=3.5$  Hz)、7.06 (1H, d,  $J=3.5$  Hz)、8.04 (2H, d,  $J=8$  Hz)、8.19 (2H, d,  $J=8$  Hz)、10.15 (1H, s)。

【2755】(3)  $^1H$ -NMR (CDCl $_3$ )  $\delta$  ppm: 4.81 (2H, s)、7.05 (1H, d,  $J=3.5$  Hz)、7.25-7.35 (2H, m)、7.45-7.65 (2H, m)、7.50 (1H, d,  $J=3.5$  Hz)、10.00 (1H, s)、10.06 (1H, br s)。

【2756】(4)  $^1H$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 7.09 (1H, d,  $J=16.0$  Hz)、7.25-7.39 (1H, m)、7.39-7.52 (1H, m)、7.70-7.94 (4H, m)、7.94-8.06 (3H, m)、10.03 (1H, s)、12.70 (1H, s)。

【2757】(5)  $^1H$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.80 (2H, t,  $J=7.9$  Hz)、3.03 (2H, t,  $J=7.9$  Hz)、7.12-7.25 (1H, m)、7.38-7.55 (3H, m)、7.84 (2H, d,  $J=8.2$  Hz)、9.96 (1H, s)、12.12 (1H, s)。

【2758】(6)  $^1H$ -NMR (CDCl $_3$ )  $\delta$  ppm: 2.78 (2H, t,  $J=7.6$  Hz)、3.09 (2H, t,  $J=7.6$  Hz)、7.12-7.28

(2H, m)、7.28-7.45 (2H, m)、7.60-7.95 (4H, m)、9.94 (1H, s)、11.52 (1H, s)。

【2759】(7)  $^1H$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 7.06 (1H, d,  $J=15.8$  Hz)、7.27 (1H, d,  $J=3.6$  Hz)、7.53 (1H, d,  $J=3.6$  Hz)、7.69-8.10 (5H, m)、10.04 (1H, s)、12.0-13.3 (1H, br)。

【2760】(8)  $^1H$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 5.07 (2H, s)、7.19 (1H, d,  $J=8.7$  Hz)、7.27-7.40 (1H, m)、7.40-7.56 (1H, m)、7.77 (1H, d,  $J=7.5$  Hz)、7.90 (2H, d,  $J=8.8$  Hz)、7.98 (1H, d,  $J=7.1$  Hz)、9.89 (1H, s)、12.3-13.0 (1H, br)。

【2761】(9)  $^1H$ -NMR (CDCl $_3$ )  $\delta$  ppm: 7.3-7.45 (2H, m)、7.6 (1H, m)、7.9 (1H, m)、8.00 (2H, d,  $J=8$  Hz)、8.15 (2H, d,  $J=8$  Hz)、10.11 (1H, br)。

【2762】(10)  $^1H$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.18 (3H, s)、2.26 (3H, s)、6.99 (1H, d,  $J=12.6$  Hz)、7.76 (1H, d,  $J=12.6$  Hz)、7.83 (2H, d,  $J=6.6$  Hz)、7.97 (2H, d,  $J=6.6$  Hz)、10.03 (1H, s)、12.22 (1H, s)。

【2763】(11)  $^1H$ -NMR (CDCl $_3$ )  $\delta$  ppm: 2.38 (6H, s)、4.57 (2H, s)、7.06 (1H, d,  $J=3.6$  Hz)、7.51 (1H, d,  $J=3.6$  Hz)、7.61 (2H, s)、9.92 (1H, s)、10.10 (1H, br s)。

【2764】(12)  $^1H$ -NMR (CDCl $_3$ )  $\delta$  ppm: 1.13 (6H, t,  $J=7.1$  Hz)、2.93

(4H, q,  $J=7.1\text{ Hz}$ )、3.79 (2H, s)、5.01 (2H, s)、7.08 (1H, d,  $J=8.2\text{ Hz}$ )、7.23-7.35 (1H, m)、7.35-7.45 (1H, m)、7.74-7.87 (4H, m)、9.92 (1H, s)、10.71 (1H, s)。

【2765】(13)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.33 (3H, s)、2.42-2.88 (8H, m)、3.71 (2H, s)、4.92 (2H, s)、7.02 (1H, d,  $J=8.2\text{ Hz}$ )、7.27-7.50 (1H, m)、7.50-7.49 (1H, m)、7.67-7.93 (4H, m)、9.93 (1H, s)。

【2766】(14)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.56 (3H, s)、3.74 (2H, s)、7.26-7.40 (1H, m)、7.40-7.52 (1H, m)、7.72-7.95 (3H, m)、7.99 (1H, dd,  $J=1.6\text{ Hz}$ ,  $J=8.0\text{ Hz}$ )、8.35 (1H, d,  $J=8.0\text{ Hz}$ )、10.11 (1H, s)。

【2767】(15)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.29 (6H, t,  $J=7.1\text{ Hz}$ )、2.98-3.48 (8H, m)、5.20 (2H, s)、7.22 (1H, d,  $J=9.0\text{ Hz}$ )、7.35 (1H, t,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、7.49 (1H, t,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、7.80 (1H, d,  $J=7.8\text{ Hz}$ )、7.85-7.98 (2H, m)、8.01 (1H, d,  $J=7.4\text{ Hz}$ )、9.91 (1H, s)、10.36 (1H, br)、12.84 (1H, br)。

【2768】(16)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.86 (3H, s)、3.14-4.00 (12H, m)、5.21 (2H, s)、7.22 (1H, d,  $J=7.8\text{ Hz}$ )、7.35 (1H, t,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、7.49 (1H, t,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、7.78-7.87 (3H, m)、8.01 (1H, d,  $J=8.1\text{ Hz}$ )、9.90 (1H, s)、11.60 (2H, br)、12.75 (1H, br)。

【2769】(17)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.83-2.11 (2H, m)、3.06 (2H, t,  $J=7.3\text{ Hz}$ )、3.85 (2H, t,  $J=5.2\text{ Hz}$ )、4.22 (1H, br)、4.85 (2H, s)、6.98 (1H, d,  $J=8.2\text{ Hz}$ )、7.28-7.41 (1H, m)、7.41-7.49 (1H, m)、7.74-7.86 (4H, m)、9.92 (1H, s)、11.84 (1H, br)。

【2770】(18)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.83-2.06 (2H, m)、2.25 (3H, s)、2.32-2.76 (10H, m)、2.88 (2H, t,  $J=7.7\text{ Hz}$ )、4.87 (2H, s)、6.97 (1H, d,  $J=8.3\text{ Hz}$ )、7.3

0-7.42 (1H, m)、7.42-7.51 (1H, m)、7.72-7.87 (4H, m)、9.94 (1H, s)。

【2771】(19)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.99 (6H, t,  $J=7.1\text{ Hz}$ )、1.40-1.61 (2H, m)、1.70-1.92 (4H, m)、2.43-2.63 (6H, m)、3.56 (2H, s)、3.98 (2H, t,  $J=6.3\text{ Hz}$ )、6.86 (1H, d,  $J=8.5\text{ Hz}$ )、7.28-7.40 (1H, m)、7.40-7.51 (1H, m)、7.70-7.91 (3H, m)、7.95 (1H, d,  $J=2.1\text{ Hz}$ )、9.89 (1H, s)、10.39-13.00 (1H, br)。

【2772】(20)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.97 (6H, t,  $J=7.1\text{ Hz}$ )、2.10-2.40 (2H, m)、2.40-2.68 (6H, m)、3.54 (2H, s)、3.95-4.23 (2H, m)、6.84 (1H, d,  $J=8.5\text{ Hz}$ )、7.20-7.40 (2H, m)、7.58-7.88 (3H, m)、7.90 (1H, d,  $J=2.1\text{ Hz}$ )、9.87 (1H, s)。

(21)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.08-2.26 (2H, m)、2.74-3.02 (1H, m)、3.08-3.66 (6H, m)、5.20 (2H, s)、7.18 (1H, d,  $J=9.6\text{ Hz}$ )、7.34 (1H, t,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、7.49 (1H, d,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、7.72-7.92 (3H, m)、8.01 (1H, d,  $J=7.1\text{ Hz}$ )、9.90 (1H, s)、10.98 (2H, br)。

【2773】(22)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.38-1.76 (2H, m)、1.76-2.13 (6H, m)、2.13-2.70 (14H, m)、2.88 (2H, t,  $J=7.6\text{ Hz}$ )、2.95-3.18 (2H, m)、4.86 (2H, s)、6.97 (1H, d,  $J=8.2\text{ Hz}$ )、7.31-7.42 (1H, m)、7.42-7.57 (1H, m)、7.73-7.87 (4H, m)、9.91 (1H, s)。

【2774】(23)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.25 (3H, s)、4.27 (2H, s)、6.83 (1H, d,  $J=8.9\text{ Hz}$ )、7.30-7.40 (1H, m)、7.40-7.52 (1H, m)、7.70-7.88 (4H, m)、9.62 (1H, br)、9.86 (1H, s)。

【2775】(24)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.42 (3H, s)、2.6-2.9 (8H, m)、3.81 (2H, s)、7.25-7.5 (2H, m)、7.75-7.95 (3H, m)、8.00 (1H, dd,  $J=2\text{ Hz}$ ,  $J=8\text{ Hz}$ )、8.35

(1H, d, J=8Hz)、10.12 (1H, s)、14.5 (1H, br)。

【2776】(25)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.92-2.45 (6H, m)、2.60-3.21 (9H, m)、3.21-3.76 (4H, m)、3.76-4.16 (4H, m)、5.17 (2H, s)、7.15 (1H, d, J=8.8Hz)、7.31 (1H, t, J=6.9Hz)、7.45 (1H, t, J=6.9Hz)、7.68-7.92 (3H, m)、7.99 (1H, d, J=7.0Hz)、9.87 (1H, s)、10.73 (1H, br)、11.78 (1H, br)、12.80 (1H, s)。

【2777】(26)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.28 (6H, t, J=7.1Hz)、2.00-2.38 (6H, m)、2.68-2.90 (2H, m)、2.90-3.25 (8H, m)、3.47-3.83 (3H, m)、5.18 (2H, s)、7.18 (1H, d, J=8.7Hz)、7.34 (1H, t, J=7.7Hz)、7.45 (1H, t, J=7.7Hz)、7.78-7.86 (3H, m)、8.00 (1H, d, J=7.0Hz)、9.90 (1H, s)、10.78 (2H, br)、12.80 (1H, br)。

【2778】(27)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.31 (3H, s)、2.37-2.80 (8H, m)、2.90 (2H, t, J=5.7Hz)、4.19 (2H, t, J=5.7Hz)、4.81 (2H, s)、6.50-6.67 (2H, m)、7.15-7.53 (3H, m)、7.75-7.96 (3H, m)、10.33 (1H, s)。

【2779】(28)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.09 (6H, t, J=7.1Hz)、2.08 (2H, quint, J=6.2Hz)、2.65 (4H, q, J=7.1Hz)、2.73 (2H, t, J=6.2Hz)、4.17 (2H, t, J=6.2Hz)、4.83 (2H, s)、6.50-6.68 (2H, m)、7.12-7.56 (4H, m)、7.76-7.92 (2H, m)、10.35 (1H, s)。

【2780】(29)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.06 (2H, quint, J=6.5Hz)、2.31 (3H, s)、2.32-2.80 (10H, m)、4.11 (2H, t, J=6.5Hz)、4.82 (2H, s)、6.52-6.63 (2H, m)、7.10-7.56 (3H, m)、7.76-7.96 (3H, m)、10.35 (1H, s)。

【2781】(30)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.40 (3H, s)、5.06 (2H, s)、7.15-7.40 (3H, m)、7.65 (1H, d, J=8.4Hz)、7.77 (1H, s)、7.89 (2H, d, J=8.6Hz)、9.88 (1

H, s)、12.61 (1H, s)。

【2782】(31)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.27 (3H, d, J=0.9Hz)、4.98 (2H, s)、6.79 (1H, d, J=1.0Hz)、7.12-7.25 (2H, m)、7.82-7.96 (2H, m)、9.88 (1H, s)、12.0-12.7 (1H, br)。

【2783】(32)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.26 (9H, s)、4.98 (2H, s)、6.78 (1H, s)、7.15 (2H, d, J=8.8Hz)、7.90 (2H, d, J=8.8Hz)、9.88 (1H, s)、12.42 (1H, s)。

【2784】(33)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 5.05 (2H, s)、7.19 (2H, d, J=8.8Hz)、7.25-7.55 (3H, m)、7.67 (1H, s)、7.80-8.02 (4H, m)、9.89 (1H, s)、12.60 (1H, s)。

【2785】(34)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.57-1.84 (7H, m)、1.84-2.05 (3H, m)、2.20 (1H, q, J=8.5Hz)、2.30-2.72 (8H, m)、2.74-3.12 (3H, m)、3.16-3.30 (1H, m)、4.87 (2H, s)、6.97 (1H, d, J=8.3Hz)、7.27-7.41 (1H, m)、7.41-7.53 (1H, m)、7.70-7.93 (4H, m)、9.91 (1H, s)。

【2786】(35)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.67-2.95 (20H, m)、3.55-3.95 (3H, m)、4.90 (2H, s)、6.96 (1H, d, J=8.3Hz)、7.25-7.53 (2H, m)、7.55-7.95 (4H, m)、9.90 (1H, s)。

【2787】(36)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.55-3.80 (23H, m)、4.91 (2H, s)、6.96 (1H, d, J=8.4Hz)、7.25-7.52 (2H, m)、7.65-7.78 (4H, m)、9.88 (1H, s)。

【2788】(37)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.75-2.95 (16H, m)、3.55-3.95 (7H, m)、4.88 (2H, s)、6.95 (1H, d, J=8.3Hz)、7.28-7.55 (2H, m)、7.65-7.95 (4H, m)、9.90 (1H, s)。

【2789】(38)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.75-3.00 (20H, m)、2.27 (3H, s)、3.58-3.98 (3H, m)、4.88 (2H, s)、6.95 (1H, d, J=8.3Hz)、7.30-7.52 (2H, m)、7.65-

7. 90 (4H, m)、9. 89 (1H, s)。

【2790】(39)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1. 5-3. 4 (15H, m)、2. 40 (4H, t,  $J=4. 5\text{Hz}$ )、3. 61 (4H, t,  $J=4. 5\text{Hz}$ )、4. 88 (2H, s)、6. 99 (1H, d,  $J=8. 5\text{Hz}$ )、7. 3-7. 55 (2H, m)、7. 7-7. 9 (4H, m)、9. 92 (1H, s)。

【2791】(40)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1. 5-3. 1 (23H, m)、2. 24 (3H, s)、4. 91 (2H, s)、7. 00 (1H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、7. 3-7. 5 (2H, m)、7. 7-7. 9 (4H, m)、9. 91 (1H, s)。

【2792】(41)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1. 7-2. 0 (4H, m)、2. 33 (3H, s)、2. 5-3. 0 (12H, m)、4. 87 (2H, s)、6. 97 (1H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、7. 3-7. 9 (6H, m)、9. 91 (1H, s)。

【2793】(42)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1. 30-3. 51 (25H, m)、3. 51-3. 75 (2H, m)、5. 16 (2H, s)、7. 09 (1H, d,  $J=8. 9\text{Hz}$ )、7. 27-7. 39 (1H, m)、7. 39-7. 52 (1H, m)、7. 70-7. 84 (3H, m)、7. 98-8. 09 (1H, m)、9. 86 (1H, s)、10. 58-11. 17 (3H, m)。

【2794】(43)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1. 25 (6H, t,  $J=7. 2\text{Hz}$ )、3. 00-3. 50 (5H, m)、7. 42 (1H, dd,  $J=1. 6\text{Hz}$ ,  $J=8. 2\text{Hz}$ )、7. 75 (1H, d,  $J=8. 4\text{Hz}$ )、7. 97 (1H, d,  $J=1. 2\text{Hz}$ )、8. 07 (2H, d,  $J=8. 4\text{Hz}$ )、8. 30 (2H, d,  $J=8. 4\text{Hz}$ )、10. 13 (1H, s)、11. 3-12. 5 (1H, br)。

【2795】(44)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 6. 58 (1H, d,  $J=16. 8\text{Hz}$ )、7. 15-8. 15 (11H, m)、10. 00 (1H, s)、12. 65 (1H, s)。

【2796】(45)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1. 45 (6H, s)、2. 68-3. 01 (2H, m)、2. 77 (3H, s)、3. 21-3. 85 (10H, m)、5. 24 (2H, s)、7. 10 (1H, d,  $J=8. 3\text{Hz}$ )、7. 29-7. 40 (1H, m)、7. 40-7. 52 (1H, m)、7. 74-7. 89 (3H, m)、7. 93-8. 05 (1H, m)、9. 89 (1H, s)、11. 10-13. 0 (3H, m)。

【2797】(46)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1. 86 (2H, quint,  $J=7. 5\text{Hz}$ )、2. 18-2. 63 (10H, m)、2. 30 (3H,

s)、3. 05 (2H, t,  $J=7. 5\text{Hz}$ )、4. 82 (2H, s)、6. 24-7. 01 (2H, m)、7. 10-7. 59 (3H, m)、7. 73-7. 93 (3H, m)、10. 17 (1H, s)。

#### 【2798】実施例1

2- (ベンゾイルメチル) ビリジン250mg、4- [ (2-ベンゾチアゾリル) アミノカルボニル] ベンズアルデヒド300mg、ピペリジン5滴及び酢酸5滴のベンゼン30ml溶液を水を除きながら10時間還流した。酢酸エチルで抽出後、シリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出液; 酢酸エチル: n-ヘキサン=1: 2) にて精製後、酢酸エチル-n-ヘキサンにて再結晶して、2- {4- [2-ベンゾイル-2- (2-ビリジル) ビニル] ベンゾイルアミノ} ベンゾチアゾール0. 3gを得た。

【2799】融点218-258℃

淡黄色粉末状

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 7. 25-8. 1 (17H, m)、8. 49 (1H, d,  $J=5\text{Hz}$ )、12. 83 (1H, br)。

#### 【2800】実施例2

2- {4- [2- (4-メトキシメトキシ-3-メトキシカルボニルベンゾイル) -2- (1, 2, 4-トリアゾール-1-イル) ビニル] ベンゾイルアミノ} ベンゾチアゾール2gのジメチルホルムアミド40ml溶液にエタントール0. 5mlを加え室温で1時間攪拌した。水を加え、白色結晶を濾取し、酢酸エチルに溶かし、乾燥後溶媒を留去した。酢酸エチル-n-ヘキサンより再結晶して、2- {4- [2- (4-メトキシメトキシ-3-メトキシカルボニルベンゾイル) -2- (1, 2, 4-トリアゾール-1-イル) -1-エチルチオエチル] ベンゾイルアミノ} ベンゾチアゾール1. 9gを得た。

【2801】 $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$ : 1. 05-1. 4 (3H, m)、2. 16 (0. 45×2H, q,  $J=7. 5\text{Hz}$ )、2. 43 (0. 55×2H, q,  $J=7. 5\text{Hz}$ )、3. 46 (0. 45×3H, s)、3. 52 (0. 55×3H, s)、3. 92 (0. 45×3H, s)、3. 94 (0. 55×3H, s)、4. 77 (0. 55×1H, d,  $J=11\text{Hz}$ )、4. 88 (0. 45×1H, d,  $J=10\text{Hz}$ )、5. 27 (0. 45×2H, s)、5. 35 (0. 55×2H, s)、6. 31 (0. 45×1H, d,  $J=10\text{Hz}$ )、6. 32 (0. 55×1H, d,  $J=11\text{Hz}$ )、7. 1-8. 6 (13H, m)、10. 83 (1H, br)。

#### 【2802】実施例3

沃化第一銅400mgのテトラヒドロフラン20ml懸濁液にアルゴン雰囲気下-40℃で1. 6M n-ブチルリチウムのn-ヘキサン溶液3. 2mlを5分間で滴

下した。−60℃で2時間攪拌後、2-[4-[2-ベンゾイル-2-(1, 2, 4-トリアゾール-1-イル) ビニル] シンナモイルアミノ] ベンゾチアゾール480mgを加え、2時間攪拌した。室温で終夜攪拌後、飽和塩化アンモニウム水を加え、酢酸エチルで抽出した。水洗、乾燥し溶媒を留去した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー（溶出液；ジクロロメタン：メタノール=100：1→10：1）にて精製後、酢酸エチル-n-ヘキサンより結晶化して、2-[4-[2-ベンゾイル-2-(1, 2, 4-トリアゾール-1-イル) -1-n-ブチルエチル] シンナモイルアミノ] ベンゾチアゾール60mgを得た。

【2803】融点108-111℃

白色粉末状

#### 実施例4

2-[4-(2-ベンゾイル-2-エトキシカルボニルビニル) シンナモイルアミノ] ベンゾチアゾール0.8gのエタノール15ml溶液に5N水酸化ナトリウム水溶液1mlを加え室温にて30分攪拌した。水30mlを加えて不溶物を濾去し、濾液を塩酸にて酸性とした。析出晶を濾取し、メタノール及びジエチルエーテルにて洗浄することにより、2-[4-(2-ベンゾイル-2-カルボキシビニル) シンナモイルアミノ] ベンゾチアゾール0.66gを得た。

【2804】融点252-262℃

黄色粉末状

#### 実施例5

2-[4-(2-ベンゾイル-2-カルボキシビニル) シンナモイルアミノ] ベンゾチアゾール0.25gに塩化チオニル2mlを加えて10分間加熱還流した。塩化チオニルを留去して得られた残渣を、氷冷下、N-メチルピペラジン0.12m及びトリエチルアミン0.23mlのジクロロメタン5ml溶液に加えた。同温にて15分間反応後、反応液を食塩水で洗浄し、硫酸マグネシ

ウムにて乾燥後、溶媒を濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー（溶出液；ジクロロメタン：メタノール=20：1）にて精製後、酢酸エチル-n-ヘキサンより再結晶することにより2-[4-[2-ベンゾイル-2-(4-メチル-1-ピペラジニル) カルボニルビニル] シンナモイルアミノ] ベンゾチアゾール0.05gを得た。

【2805】融点135-138℃

淡黄色粉末状

#### 実施例6

4-[(2-ベンゾチアゾリル) アミノカルボニル] ベンズアルデヒド5g、N-アセチルグリシン2.07g、酢酸ナトリウム1g及び無水酢酸20mlを80℃で3時間加熱攪拌した。メタノール50mlを加え、結晶を濾取し、メタノールにて洗浄後、ジメチルホルムアミド-メタノールより再結晶することにより、2-[4-(2-メチル-5-オキソ-1, 3-オキサゾリル) メチリデンベンゾイルアミノ] ベンゾチアゾール5.37gを得た。

【2806】融点238℃（分解）

黄色粉末状

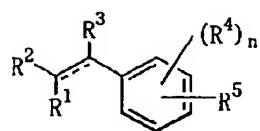
適当な出発原料を用い、実施例1と同様にして以下No. 1~205、207、209、210、216、217、219、220、222、223、229、234、242、246、247、251~253、255、256、258~262及び264~330の化合物を得た。

【2807】適当な出発原料を用い、実施例2又は3と同様にして以下No. 206、208、211~215、218、221、224~228、230~233、235~241、243~245、248~250、254、257及び263の化合物を得た。

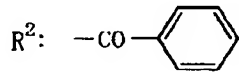
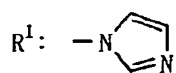
【2808】

【表26】





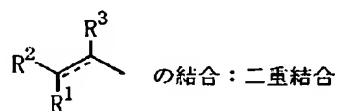
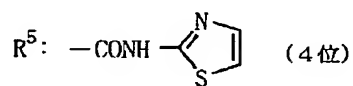
No. 1



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 白色粉末状

融点: 192-194.5℃

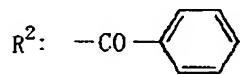
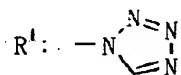
再結晶溶媒: メタノール

形態: 遊離

【2809】

【表27】

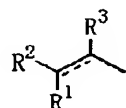
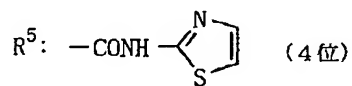
No. 2



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

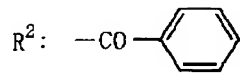
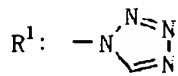
結晶形：黄色粉末状

融点：196-200℃ (分解)

再結晶溶媒：エタノール

形態：遊離

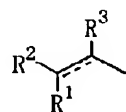
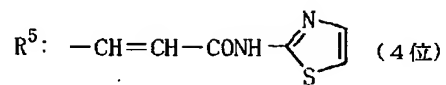
No. 3



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：223-224℃

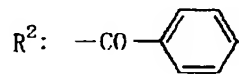
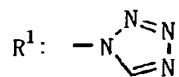
再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

形態：遊離

【2810】

【表28】

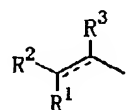
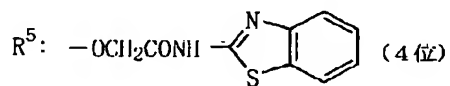
No. 4



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

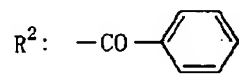
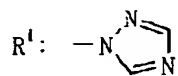
結晶形：淡黄色粉末状

融点：207-208℃

再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

形態：遊離

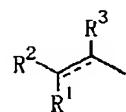
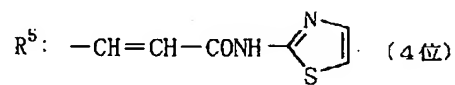
No. 5



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：235-237℃

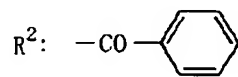
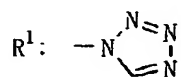
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2811】

【表29】

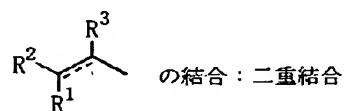
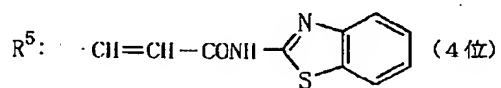
No. 6



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



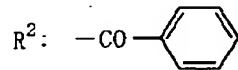
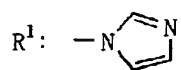
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 217-218℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

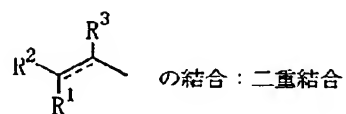
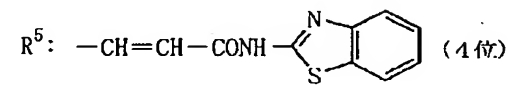
No. 7



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 262-264℃

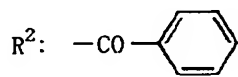
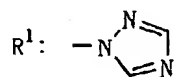
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2812】

【表30】

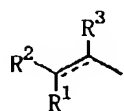
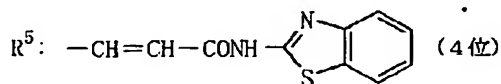
No. 8



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

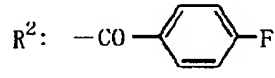
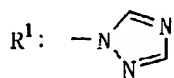
結晶形：淡黄色粉末状

融点：237-238℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

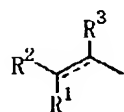
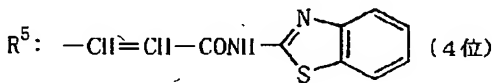
No. 9



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：233-234℃

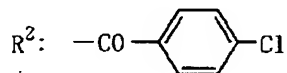
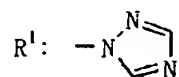
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2813】

【表31】

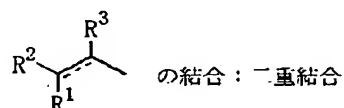
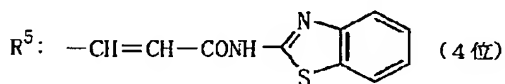
No. 10



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



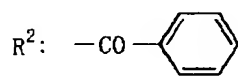
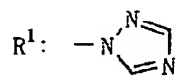
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 233-234℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

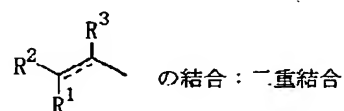
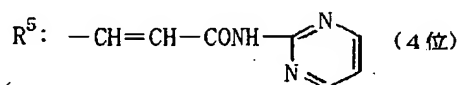
No. 11



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 淡褐色粉末状

融点: 191-194℃

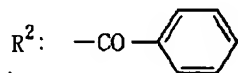
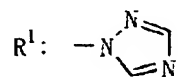
再結晶溶媒: メタノール-ジイソプロピルエーテル

形態: 遊離

【2814】

【表32】

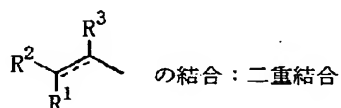
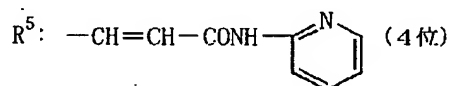
No. 12



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



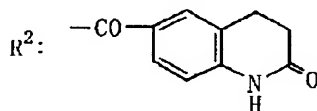
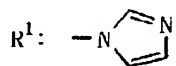
結晶形: 黄色粉末状

融点: 184 ~ 187°C

再結晶溶媒: メタノール

形態: 遊離

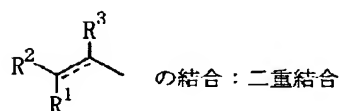
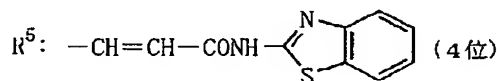
No. 13



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

融点: 298 ~ 300°C

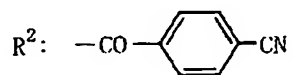
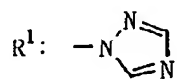
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2815】

【表33】

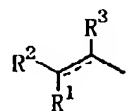
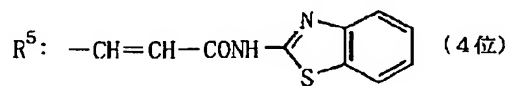
No. 14



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 二重結合

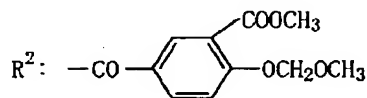
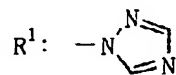
結晶形: 黄色粉末状

融点: 243-244°C

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

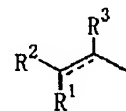
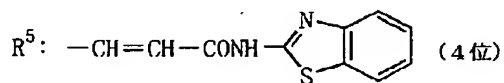
No. 15



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点: 206-208°C

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

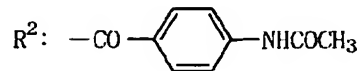
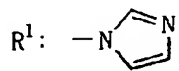
形態: 遊離

【2816】

【表34】



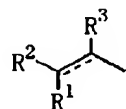
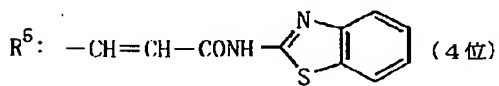
No. 16



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

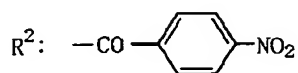
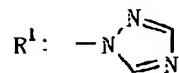
結晶形：淡黄色粉末状

融点：265-267℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

形態：遊離

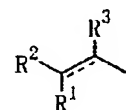
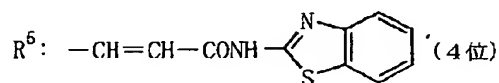
No. 17



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：198-199℃

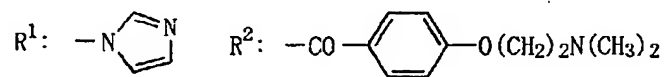
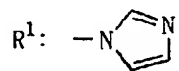
再結晶溶媒：クロロホルム・ジエチルエーテル

形態：遊離

【2817】

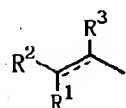
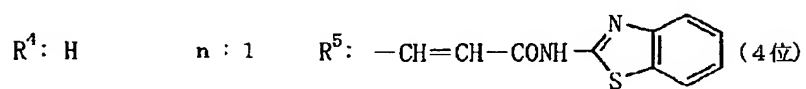
【表35】

No. 18



$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: H$

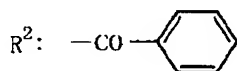
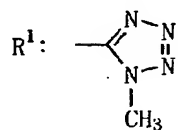
結晶形：黄色粉末状

融点：238.5-240.5℃

再結晶溶媒：エタノール

形態：遊離

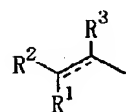
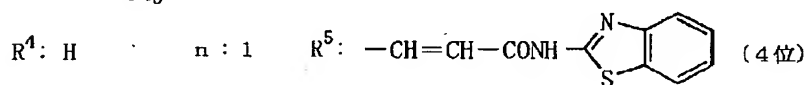
No. 19



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：258-261℃

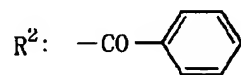
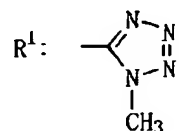
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-エタノール

形態：遊離

【2818】

【表36】

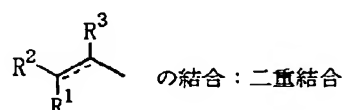
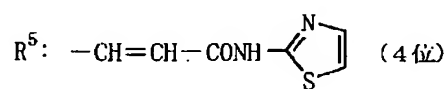
No. 20



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



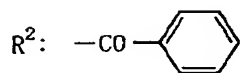
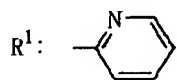
結晶形: 黄色粉末状

融点: 260-261°C

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

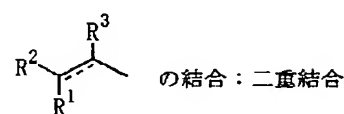
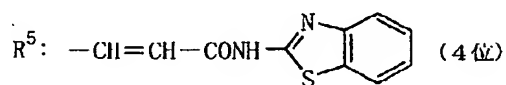
No. 21



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 黄色粉末状

融点: 225-227°C

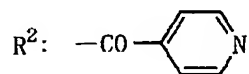
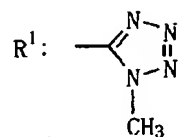
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

【2819】

【表37】

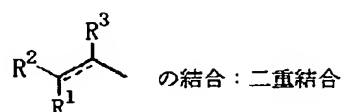
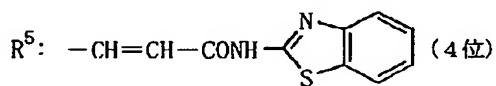
No. 22



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



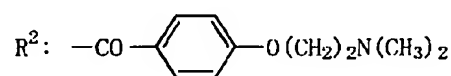
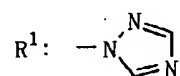
結晶形: 黄色粉末状

融点: 257-258℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

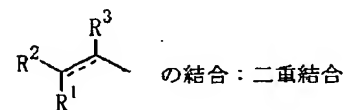
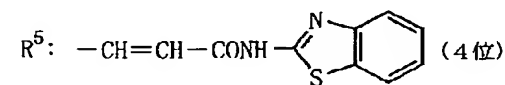
形態: 遊離

No. 23



$R^4: \text{H}$

$n: 1$



$R^3: \text{H}$

結晶形: 黄色粉末状

融点: 115-118℃

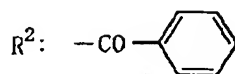
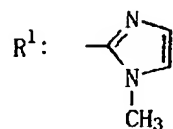
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2820】

【表38】

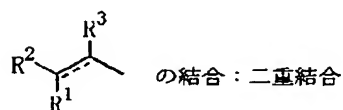
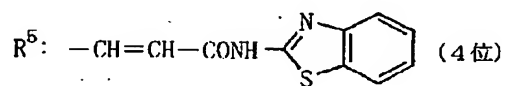
No. 24



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



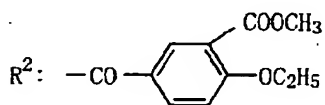
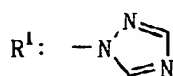
結晶形: 黄色粉末状

融点: 277—280℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド

形態: 遊離

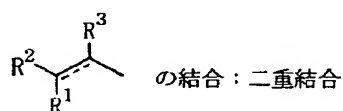
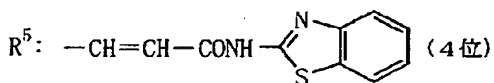
No. 25



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

融点: 228—230℃

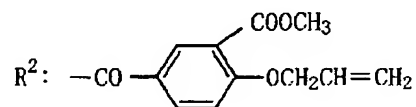
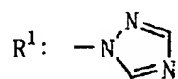
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド—メタノール

形態: 遊離

【2821】

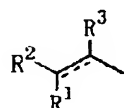
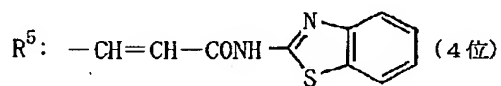
【表39】

No. 26



$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: H$

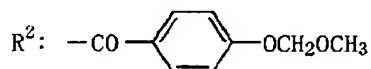
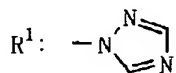
結晶形：黄色粉末状

融点：189-199℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

形態：遊離

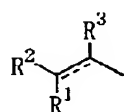
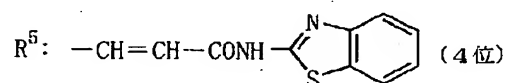
No. 27



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色針状

融点：215-220℃

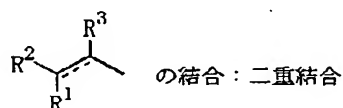
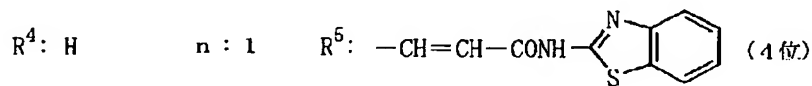
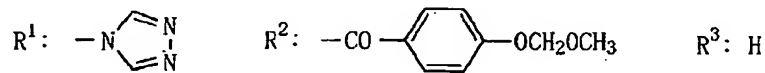
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

形態：遊離

【2822】

【表40】

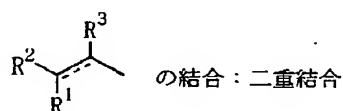
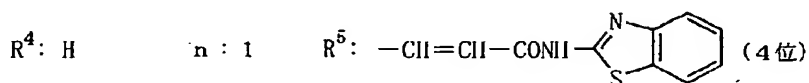
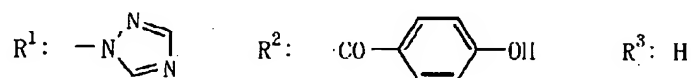
No. 28



結晶形: 黄色粉末状      融点: 258-261℃ (分解)

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール      形態: 遊離

No. 29



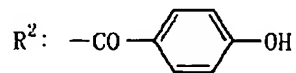
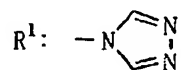
結晶形: 黄色針状      融点: 267-268℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール      形態: 遊離

【2823】

【表41】

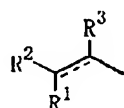
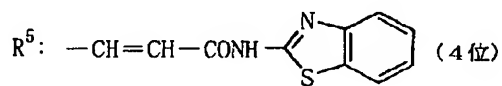
No. 30



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

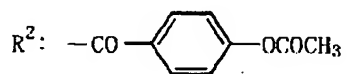
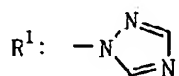
結晶形：黄色粉末状

融点：282-284℃ (分解)

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

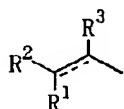
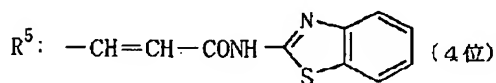
No. 31



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：126-128℃

再結晶溶媒：メタノール

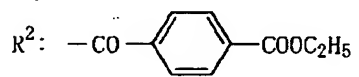
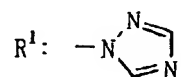
形態：遊離

【2824】

【表42】



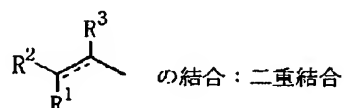
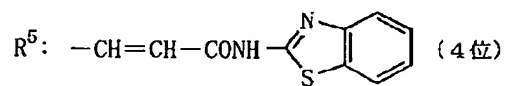
No. 32



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



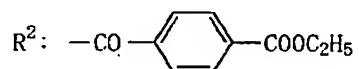
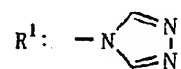
結晶形: 黄色粉末状

融点: 229.5-231℃

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

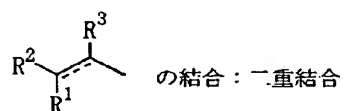
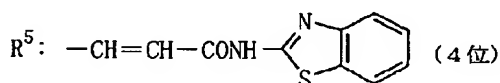
No. 33



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

融点: 305-306.5℃

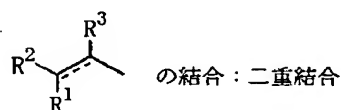
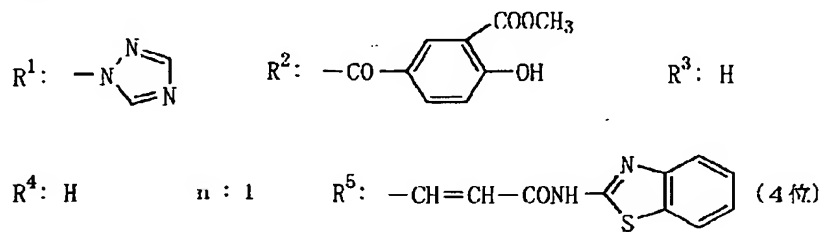
再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2825】

【表43】

No. 34



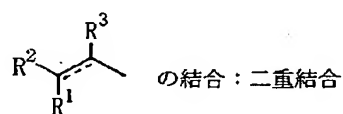
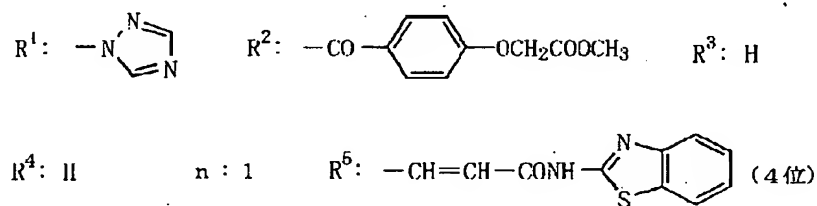
結晶形：淡黄色粉末状

融点：240-241℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

No. 35



結晶形：黄色粉末状

融点：247-249℃

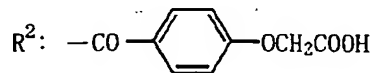
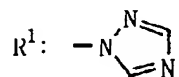
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2826】

【表44】

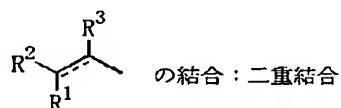
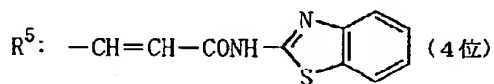
No. 36



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



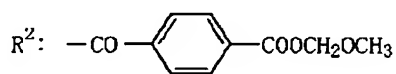
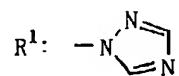
結晶形: 黄色粉末状

融点: 270-272.5°C

再結晶溶媒: メタノール

形態: 遊離

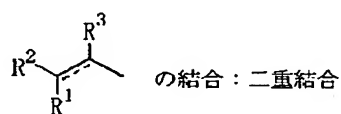
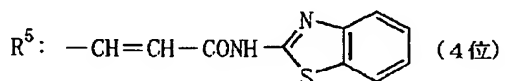
No. 37



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

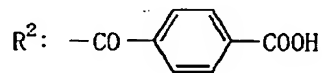
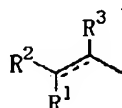
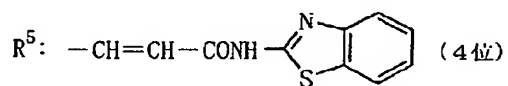
融点: 115.5-116.5°C

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2827】

【表45】


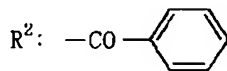
$$R^1: \text{---}N \begin{array}{c} \diagup N \\ \diagdown \end{array}$$

$$R^4: H$$
$$n : 1$$


の結合：二重結合

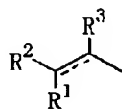
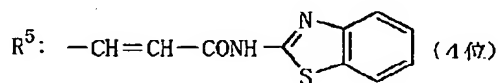
融点：294—296℃

形態：遊離

R<sup>1</sup>:

C1=CN(C1)N(C2=CC=CC=CC2)N
$$R^3: H$$
$$R^4: H$$

m : 1



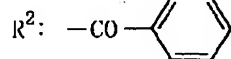
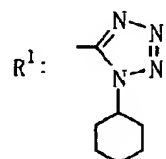
の結合：二重結合

融点：164—167℃

形態：遊離

【表 4 6】

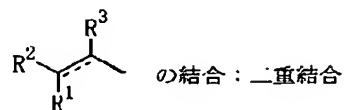
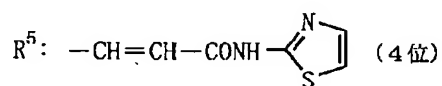
No. 40



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



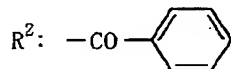
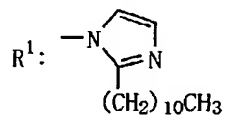
結晶形：黄色粉末状

融点：202.5-205℃

再結晶溶媒：エタノール-水

形態：遊離

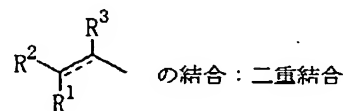
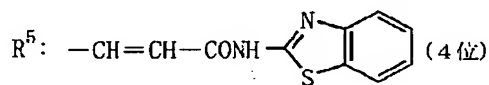
No. 41



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



結晶形：黄色粉末状

融点：164.5-165℃

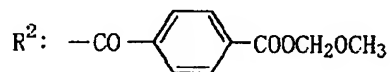
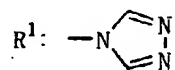
再結晶溶媒：エタノール-ジイソプロピルエーテル

形態：遊離

【2829】

【表47】

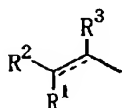
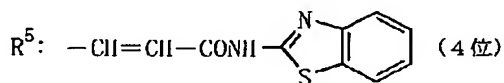
No. 42



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 二重結合

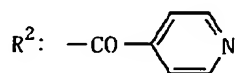
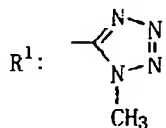
結晶形: 黄色粉末状

融点: 151-152℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド・メタノール

形態: 遊離

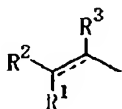
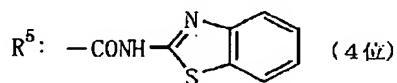
No. 43



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点: 283-286℃

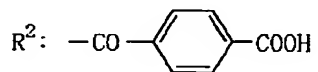
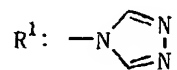
再結晶溶媒: トルエン

形態: 遊離

【2830】

【表48】

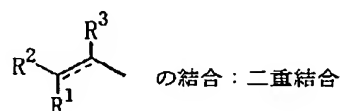
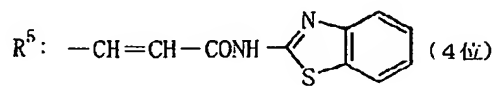
No. 44



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



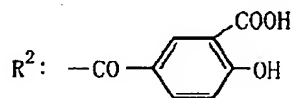
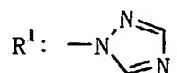
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 308-309℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

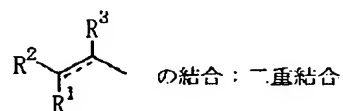
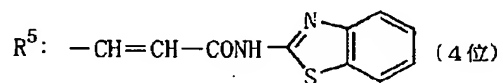
No. 45



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

融点: 272-274℃

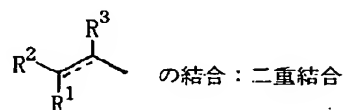
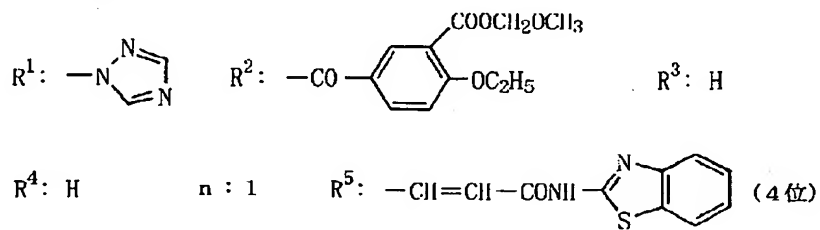
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2831】

【表49】

No. 46



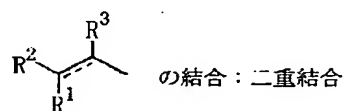
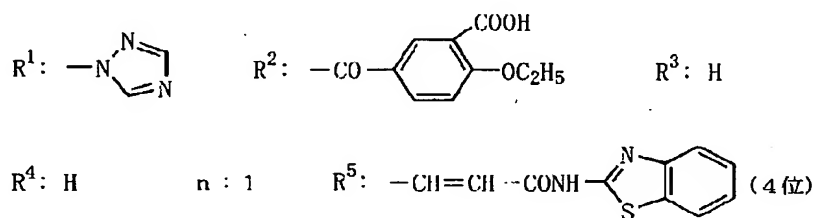
結晶形: 黄色粉末状

融点: 205-206℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 47



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 293-294℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

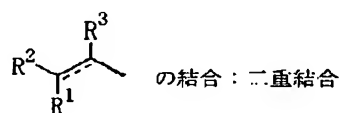
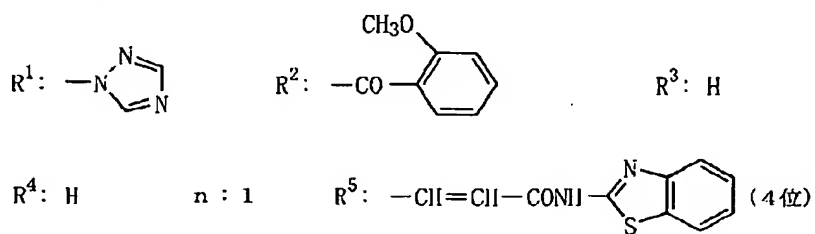
形態: 遊離

【2832】

【表50】



No. 48



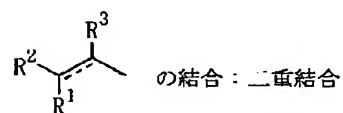
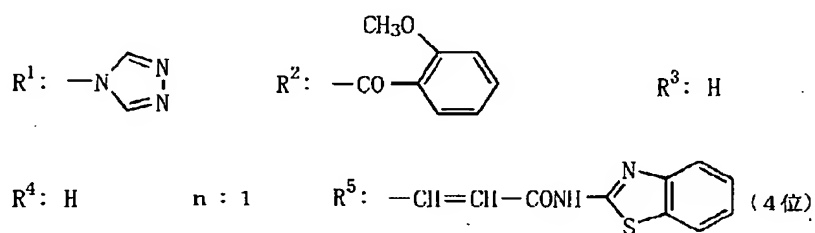
結晶形：黄色粉末状

融点：256.5-258℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド    メタノール

形態：遊離

No. 49



結晶形：黄色粉末状

融点：311-312.5℃

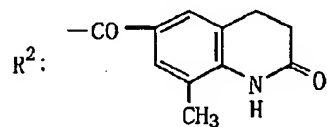
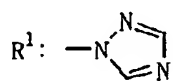
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2833】

【表51】

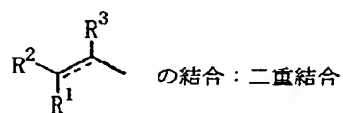
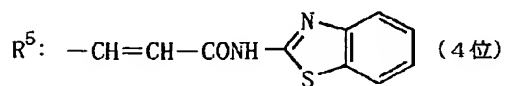
No. 50



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



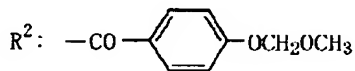
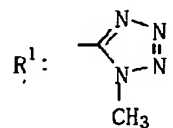
結晶形: 黄色粉末状

融点: 300℃以上

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

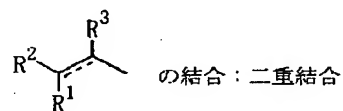
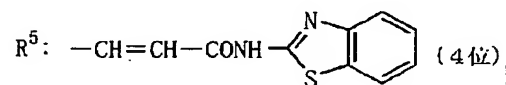
No. 51



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 183-185℃

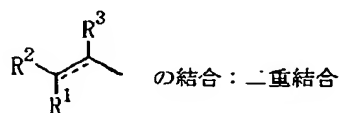
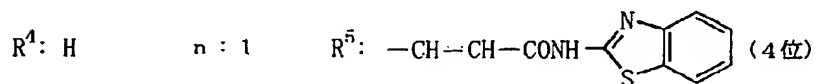
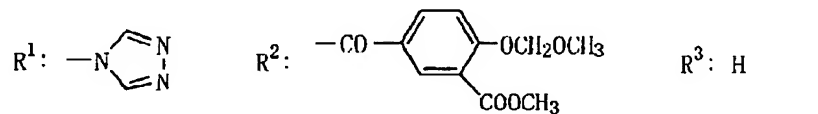
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-酢酸エチル

形態: 遊離

【2834】

【表52】

No. 52



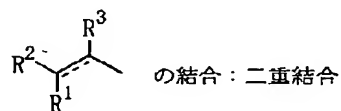
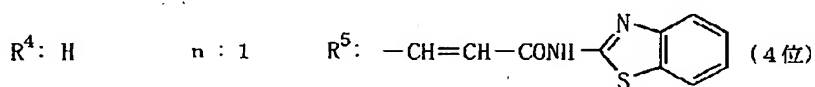
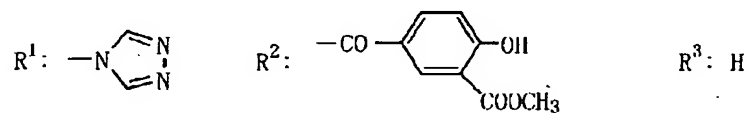
結晶形: 黄色粉末状

融点: 243.5-245℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 53



結晶形: 黄色粉末状

融点: 263-265℃

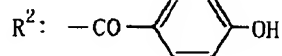
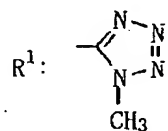
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2835】

【表53】

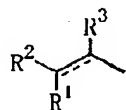
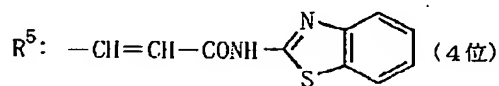
No. 54



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

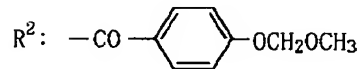
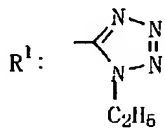
結晶形：淡黄色粉末状

融点：233.5-235℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

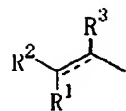
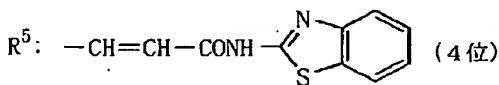
No. 55



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色針状

融点：189-191℃

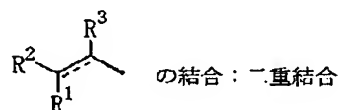
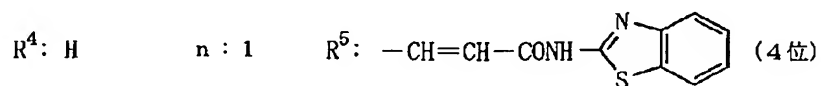
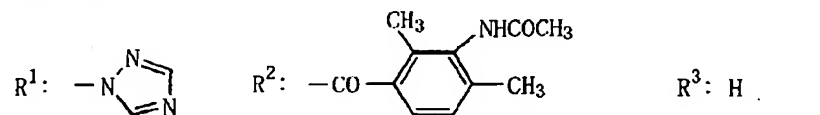
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2836】

【表54】

No. 56



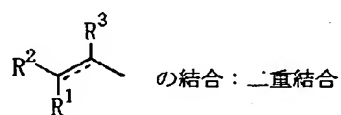
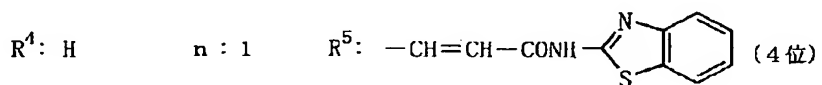
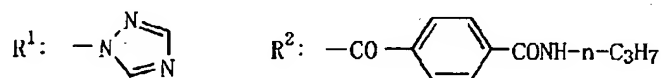
結晶形: 黄色粉末状

融点: 294-295℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

No. 57



$R^3$ : H

結晶形: 黄色粉末状

融点: 274-275℃

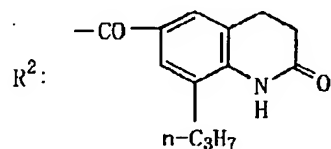
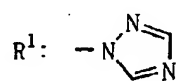
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2837】

【表55】

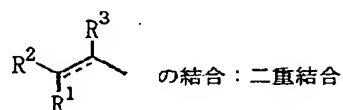
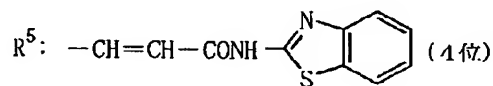
No. 58



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



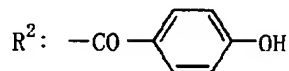
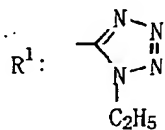
結晶形：黄色粉末状

融点：229-231.5℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

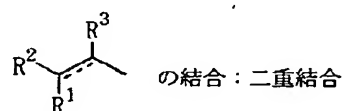
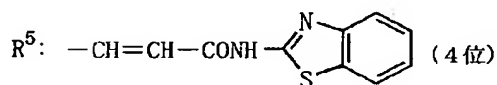
No. 59



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



結晶形：淡黄色粉末状

融点：169.5-171℃

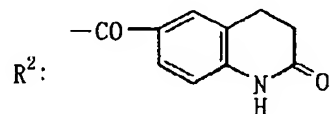
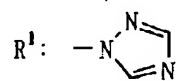
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2838】

【表56】

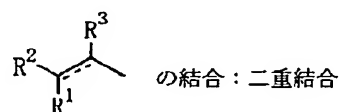
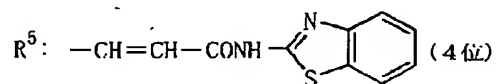
No. 60



$R^3: H$

$R^4: H$

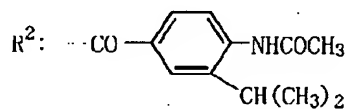
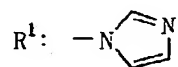
$n: 1$



NMR (1)

結晶形: 黄色粉末状

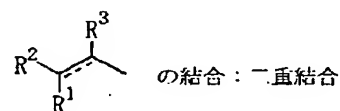
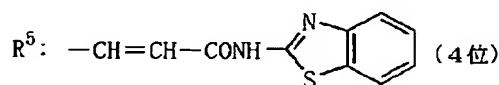
No. 61



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

融点: 283-285℃

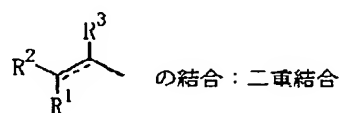
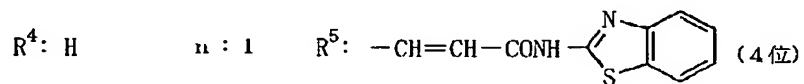
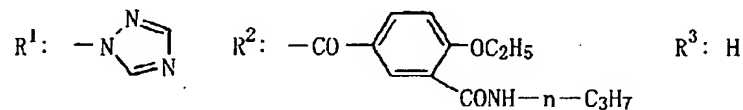
再結晶溶媒: エタノール-ジクロロメタン

形態: 遊離

【2839】

【表57】

No. 62



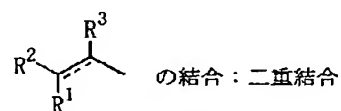
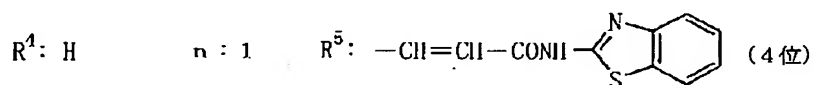
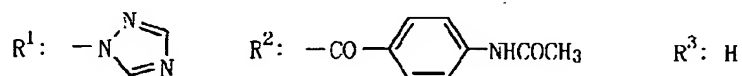
結晶形: 黄色粉末状

融点: 245-246.5℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 63



結晶形: 黄色粉末状

融点: 172-174℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

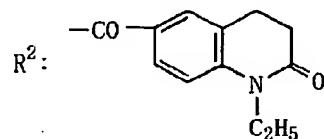
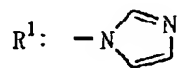
形態: 遊離

【2840】

【表58】



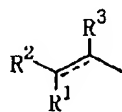
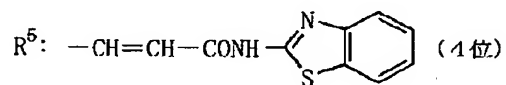
No. 64



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

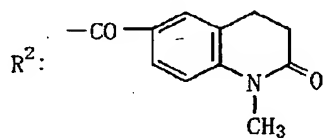
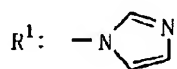


の結合: 二重結合

NMR (2)

結晶形: 黄色不定形

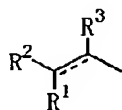
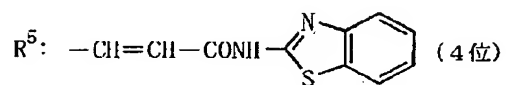
No. 65



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

NMR (3)

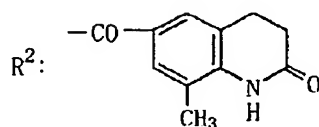
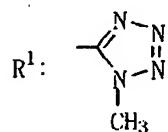
結晶形: 黄色粉末状

【2841】

【表59】



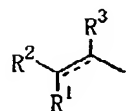
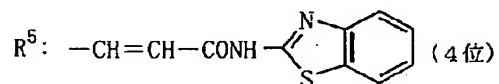
No. 68



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

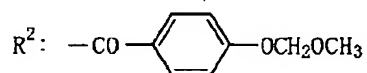
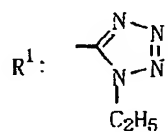
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 300℃以上

形態: 遊離

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-1, 2-ジクロロエタン-メタノール

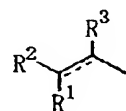
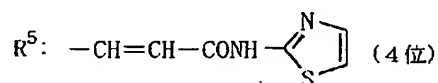
No. 69



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 201-202℃

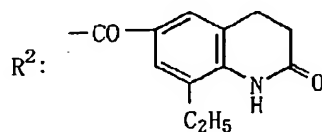
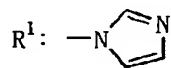
再結晶溶媒: ベンゼン

形態: 遊離

【2843】

【表61】

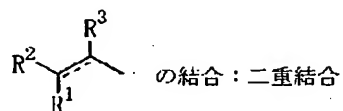
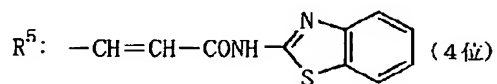
No. 70



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



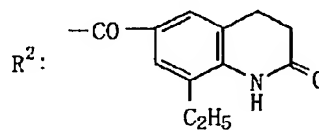
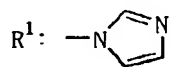
結晶形: 黄色粉末状

融点: 266-269℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態: 遊離

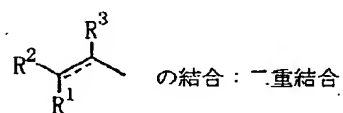
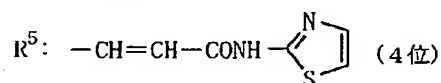
No. 72



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 黄色粉末状

融点: 169-172℃

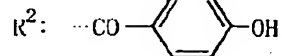
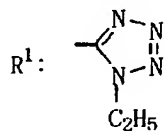
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態: 遊離

【2844】

【表62】

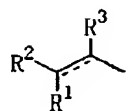
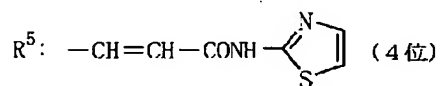
No. 73



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

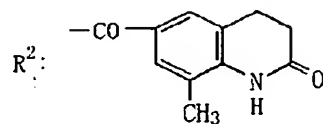
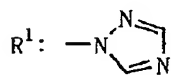
結晶形：淡黄色粉末状

融点：217-219℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態：遊離

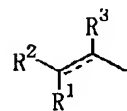
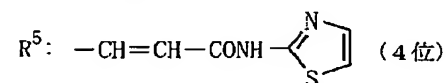
No. 74



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：264-266℃

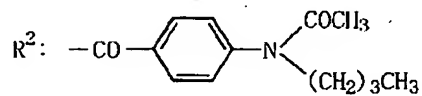
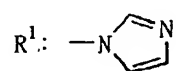
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態：遊離

【2845】

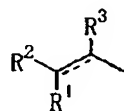
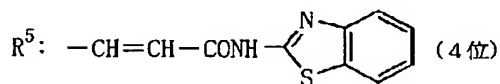
【表63】

No. 75



$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: H$

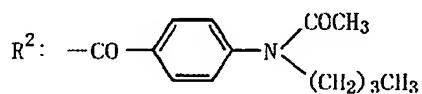
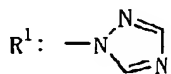
結晶形：黄色粉末状

融点：140-142℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

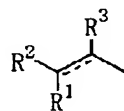
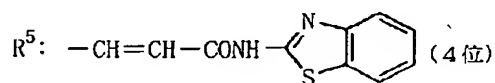
形態：遊離

No. 76



$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: H$

結晶形：黄色粉末状

融点：202-203℃

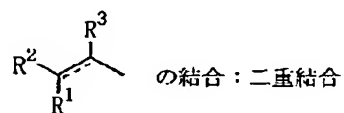
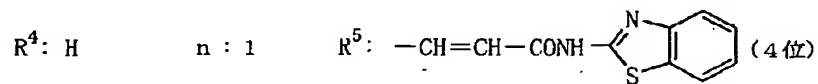
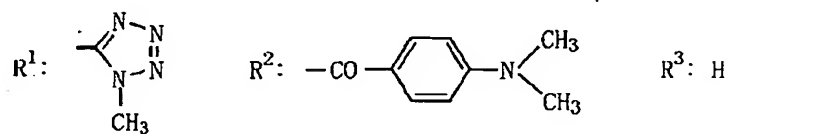
再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

形態：遊離

【2846】

【表64】

No. 77



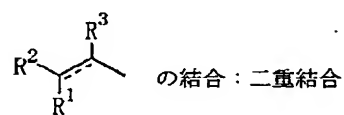
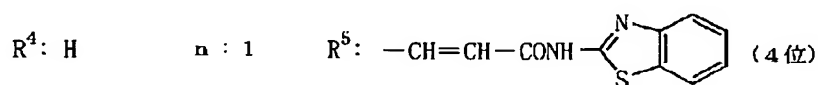
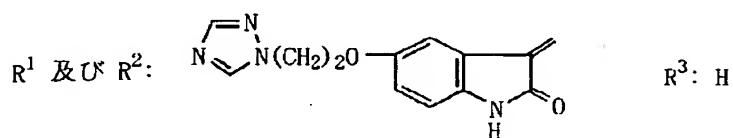
結晶形: 黄色粉末状

融点: 263-265℃

再結晶溶媒: ベンゼン

形態: 遊離

No. 78



結晶形: 褐色粉末状

融点: 259-262℃

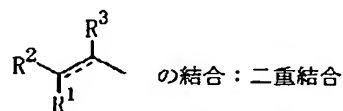
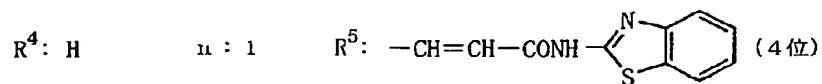
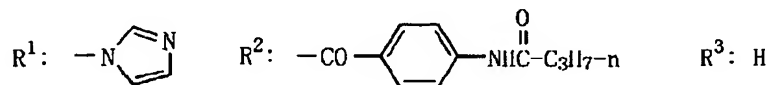
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

【2847】

【表65】

No. 79



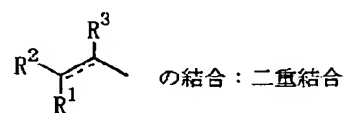
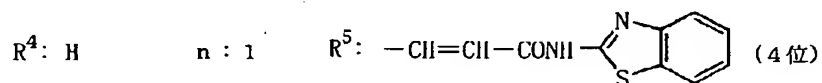
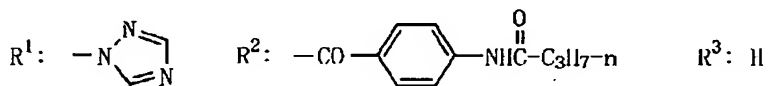
結晶形: 黄色粉末状

融点: 283-284℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 80



結晶形: 黄色粉末状

融点: 273-274℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

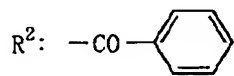
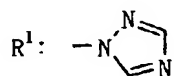
形態: 遊離

【2848】

【表66】



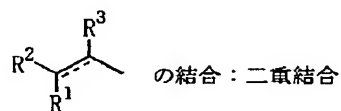
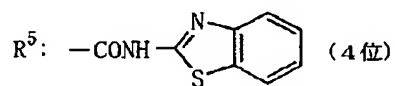
No. 81



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



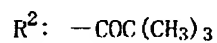
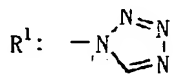
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 237.5 - 238℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

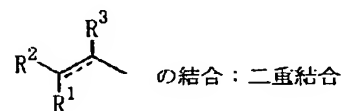
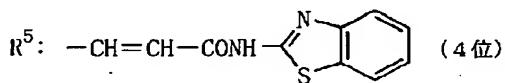
No. 82



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 黄色粉末状

融点: 220℃ (分解)

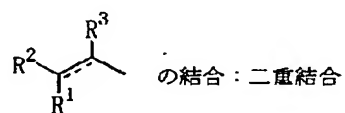
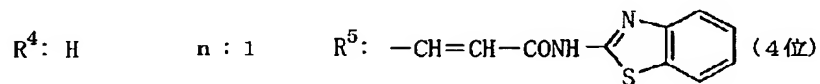
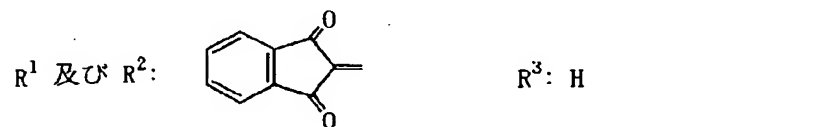
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2849】

【表67】

No. 83



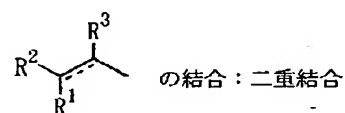
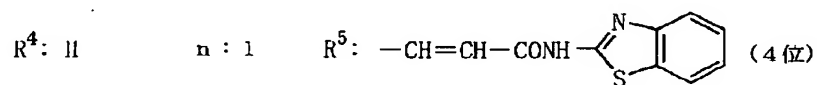
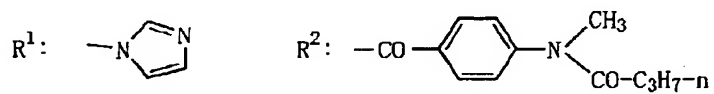
結晶形: 黄色粉末状

融点: 300℃以上

再結晶溶媒: トリフルオロ酢酸

形態: 遊離

No. 84



$R^3$ : H

結晶形: 黄色粉末状

融点: 229-230℃

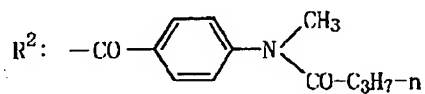
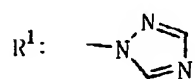
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド・メタノール

形態: 遊離

【2850】

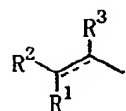
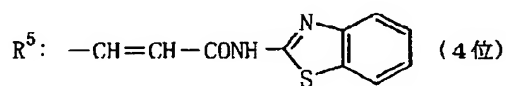
【表68】

No. 85



$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: \text{H}$

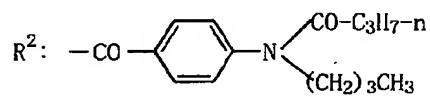
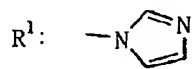
結晶形：黄色粉末状

融点：212-213℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

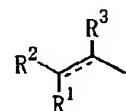
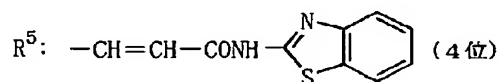
形態：遊離

No. 86



$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: \text{H}$

結晶形：黄色粉末状

融点：178.5-179.5℃

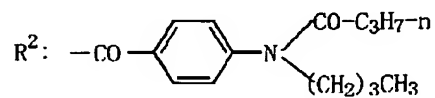
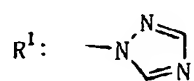
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

形態：遊離

【2851】

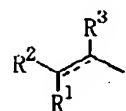
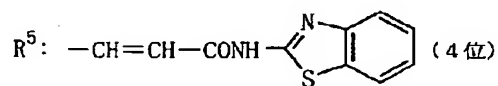
【表69】

No. 87



$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: \text{H}$

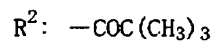
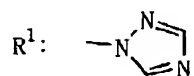
結晶形：黄色粉末状

融点：129.5－131℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド－メタノール

形態：遊離

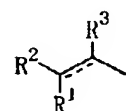
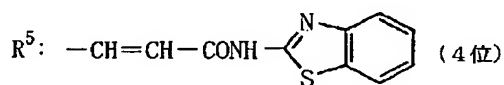
No. 88



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：245.5－247℃

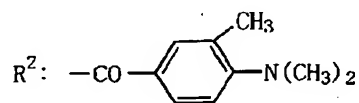
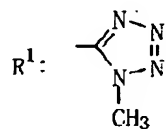
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド－メタノール

形態：遊離

【2852】

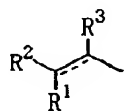
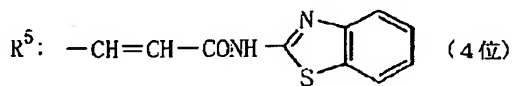
【表70】

No. 89



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合：二重結合

$R^3$ : H

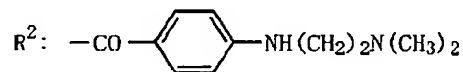
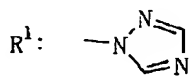
結晶形：橙色粉末状

融点：197-200℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-ジエチルエーテル

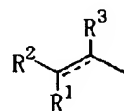
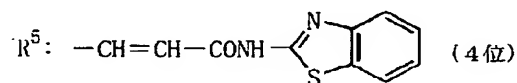
形態：遊離

No. 90



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合：二重結合

$R^3$ : H

結晶形：黄色粉末状

融点：152-153℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

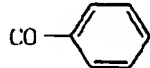
形態：遊離

【2853】

【表71】

No. 91

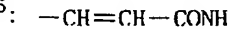
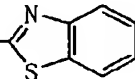
R<sup>1</sup>: -CN

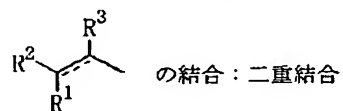
R<sup>2</sup>: 

R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1

R<sup>5</sup>: -CONH- (4位)



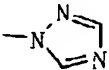
結晶形：淡黄色粉末状

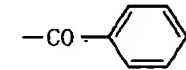
融点：264-267℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

形態：遊離

No. 92

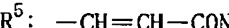
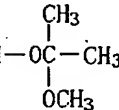
R<sup>1</sup>: 

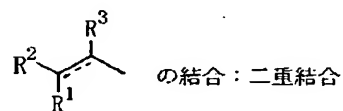
R<sup>2</sup>: 

R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1

R<sup>5</sup>: -CONH- (4位)



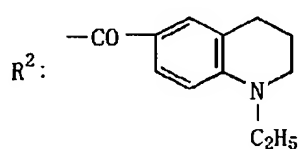
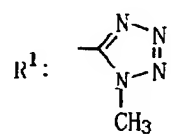
NMR (4)

結晶形：黄色粉末状

【2854】

【表72】

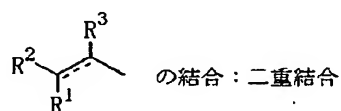
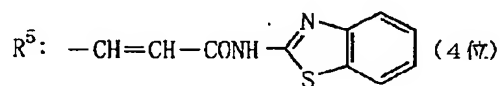
No. 93



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



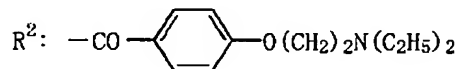
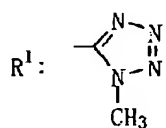
結晶形: 橙色粉末状

融点: 135-138℃

再結晶溶媒: 酢酸エチル-ジエチルエーテル

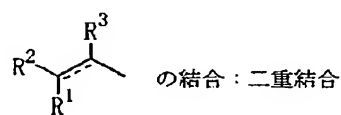
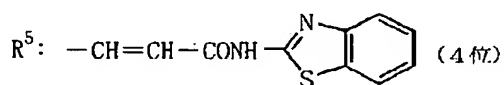
形態: 遊離

No. 94



$R^4$ : H

$n$ : 1



$R^3$ : H

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 108-110℃

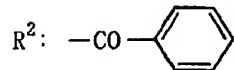
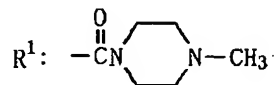
再結晶溶媒: 酢酸エチル-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2855】

【表73】

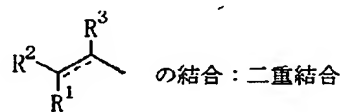
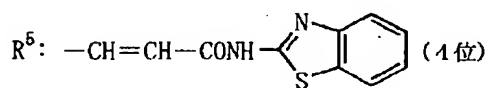
No. 95



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



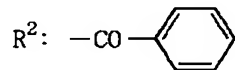
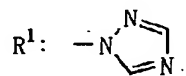
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 135-138℃

再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

形態: 遊離

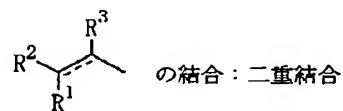
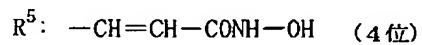
No. 96



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



結晶形: 白色粉末状

融点: 168.5-170.5℃

再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

【2856】

【表74】



No. 97

$R^1$ :  $-\text{CH}_2\text{COOH}$

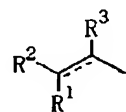
$R^2$ :  $-\text{CO}-\text{C}_6\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4\text{N} \text{ (1位)}$



の結合: 二重結合

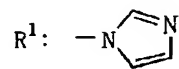
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 280-283℃

形態: 遊離

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-酢酸エチル-メタノール

No. 98



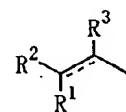
$R^2$ :  $-\text{CO}-\text{C}_6\text{H}_2(\text{OCH}_2\text{OCH}_3)_2$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-\text{C}_6\text{H}_4\text{N} \text{ (4位)}$



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 215-216℃

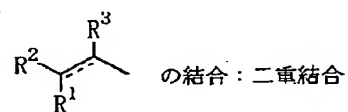
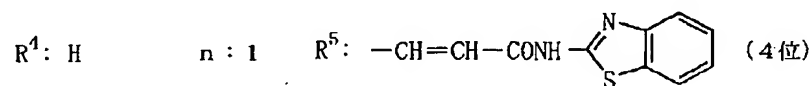
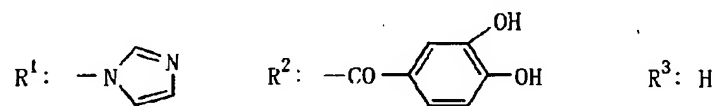
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2857】

【表75】

No. 99



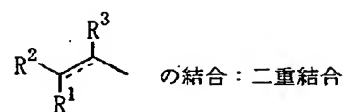
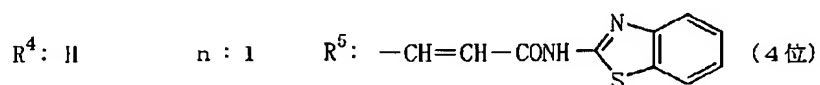
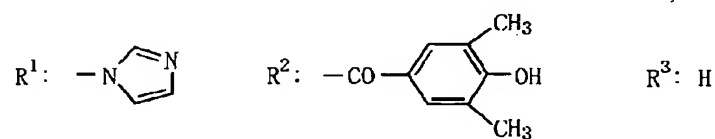
結晶形: 黄色粉末状

融点: 267-269℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 100



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 154-156℃

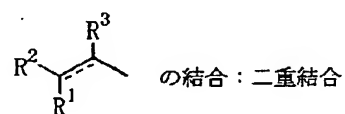
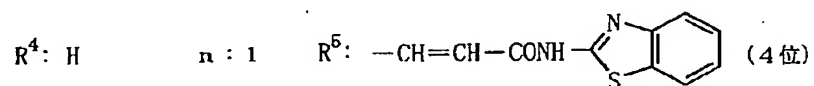
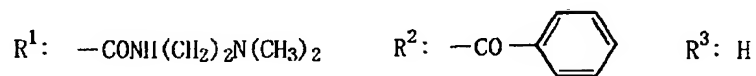
再結晶溶媒: メタノール-クロロホルム

形態: 遊離

【2858】

【表76】

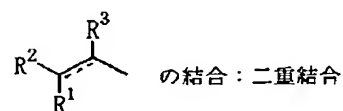
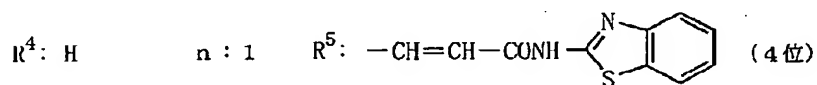
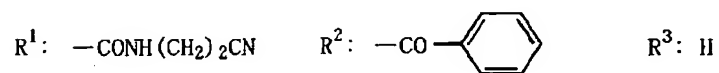
No. 101



結晶形：淡黄色粉末状     融点：163-165.5℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン     形態：遊離

No. 102



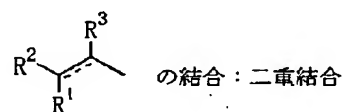
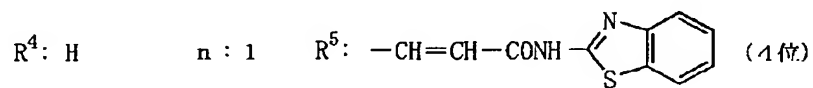
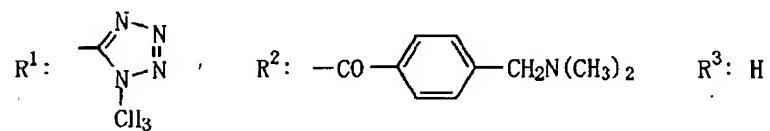
結晶形：淡黄色粉末状     融点：238-239℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン     形態：遊離

【2859】

【表77】

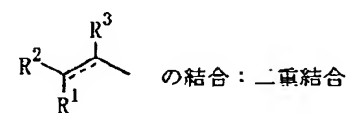
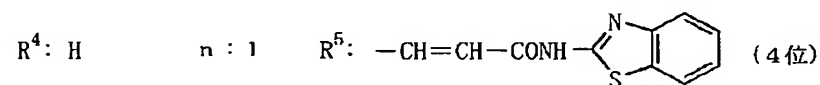
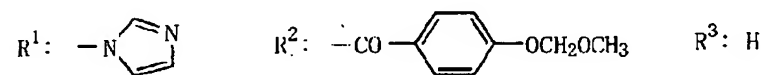
No. 103



結晶形: 淡黄色粉末状 融点: 193-195°C

再結晶溶媒: 酢酸エチル-ジエチルエーテル 形態: 遊離

No. 104

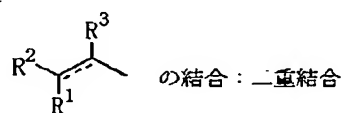
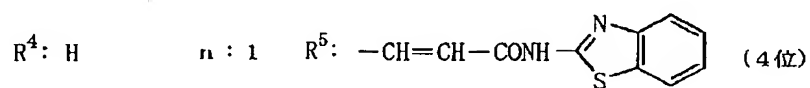
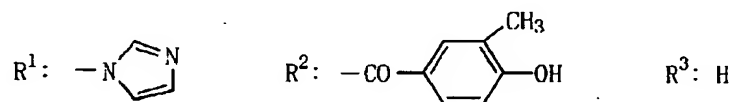


NMR (6) 結晶形: 赤色粉末状

【2860】

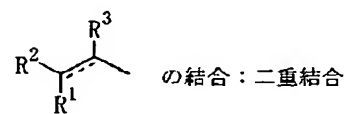
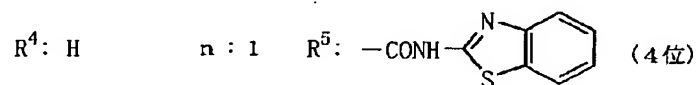
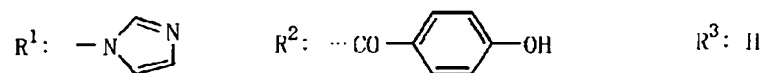
【表78】

No. 105



NMR (7)      結晶形: 黄色粉末状

No. 106

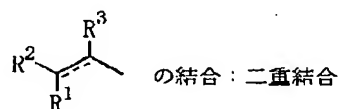
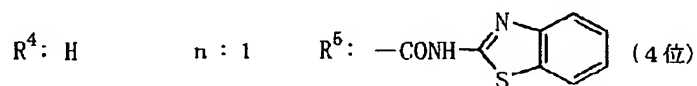
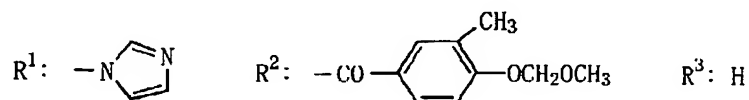


NMR (8)      結晶形: 黄色粉末状

【2861】

【表79】

No. 107



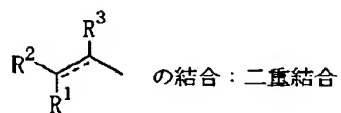
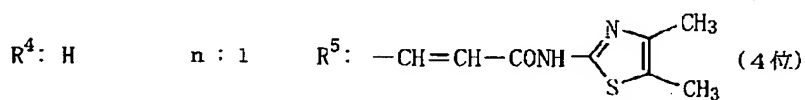
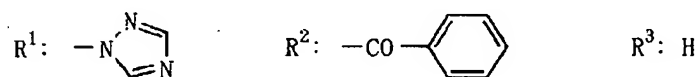
結晶形: 黄色粉末状

融点: 229.5-231.5℃

再結晶溶媒: ジクロロメタン-メタノール-酢酸エチル

形態: 遊離

No. 108



結晶形: 黄色粉末状

融点: 168-170℃

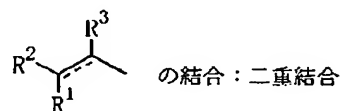
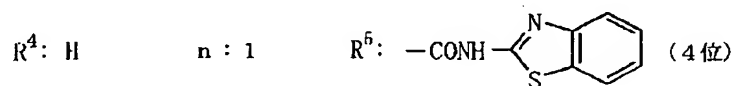
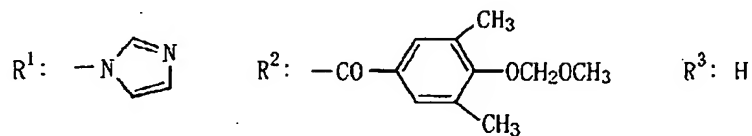
再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2862】

【表80】

No. 109



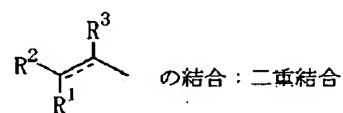
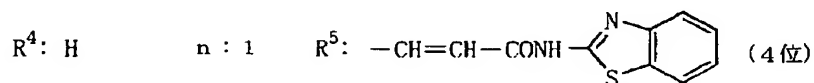
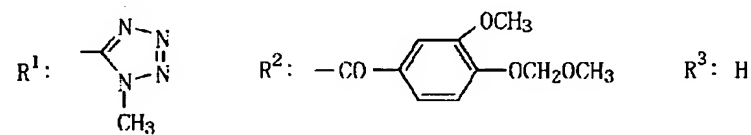
結晶形: 黄色粉末状

融点: 204-205℃

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

No. 110



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 190.5-192℃

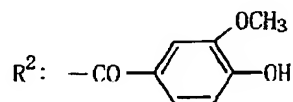
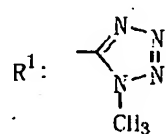
再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

形態: 遊離

【2863】

【表81】

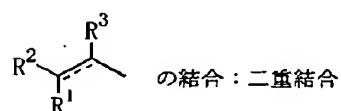
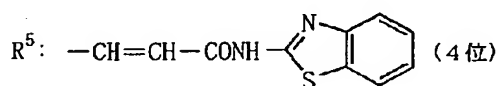
No. 111



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



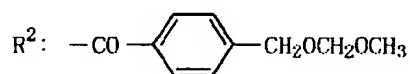
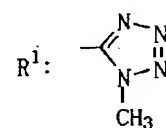
結晶形：淡黄色粉末状

融点：228-230℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

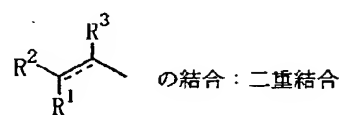
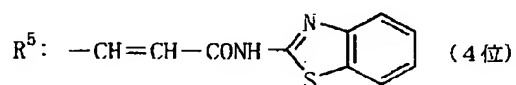
No. 112



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



結晶形：淡黄色粉末状

融点：195-198℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

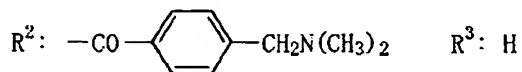
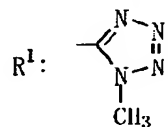
形態：遊離

【2864】

【表82】



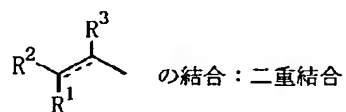
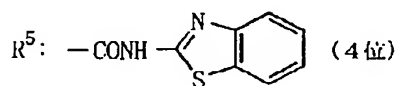
No. 113



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



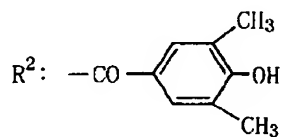
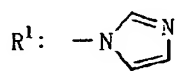
結晶形：淡黄色粉末状

融点：161-163℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

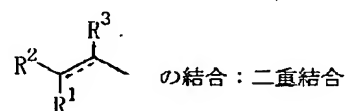
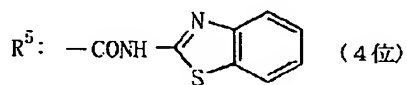
No. 114



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



結晶形：黄色粉末状

融点：249-250℃

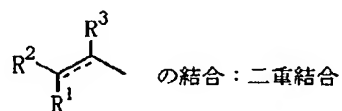
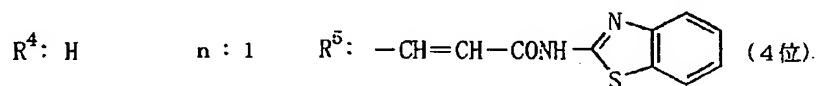
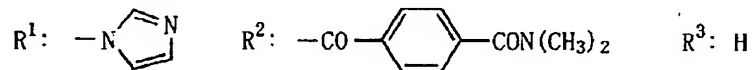
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2865】

【表83】

No. 115



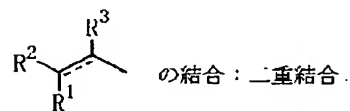
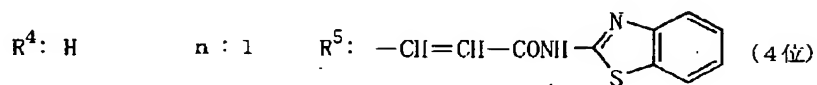
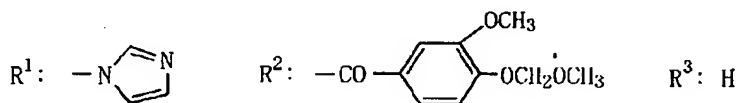
結晶形: 黄色粉末状

融点: 262-262.5℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 116



結晶形: 黄色粉末状

融点: 228.5-229.5℃

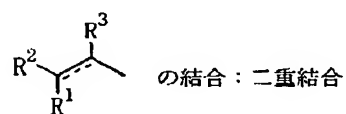
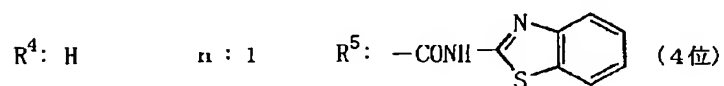
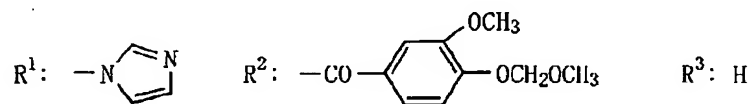
再結晶溶媒: ジクロロメタン-メタノール

形態: 遊離

【2866】

【表84】

No. 117



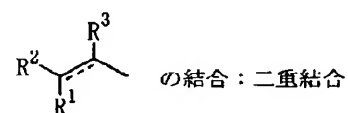
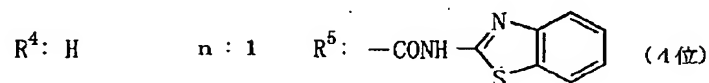
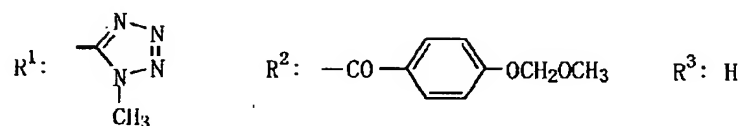
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 222-222.5℃

再結晶溶媒: 酢酸エチル

形態: 遊離

No. 118



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 197-198℃

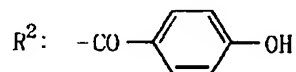
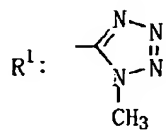
再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

形態: 遊離

【2867】

【表85】

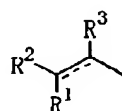
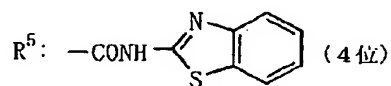
No. 119



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

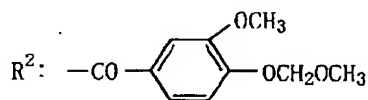
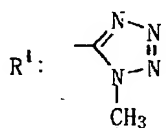
結晶形：淡黄色粉末状

融点：247-250℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態：遊離

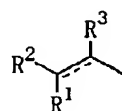
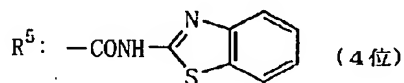
No. 120



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色不定形

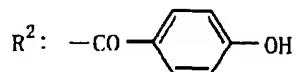
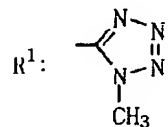
NMR (9)

形態：遊離

【2868】

【表86】

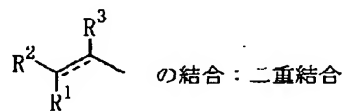
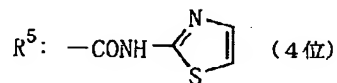
No. 121



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

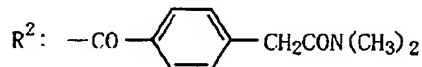
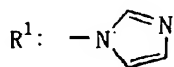
n : 1



結晶形 : 淡黄色不定形

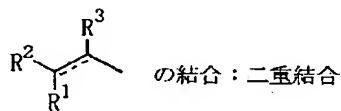
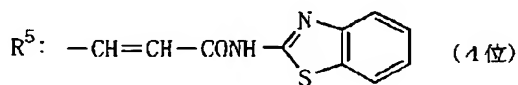
NMR (10)

No. 122



R<sup>4</sup>: H

n : 1



R<sup>3</sup>: H

結晶形 : 黄色粉末状

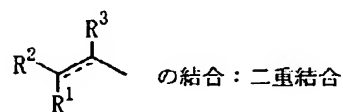
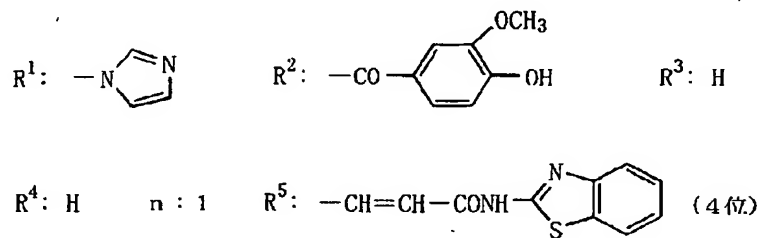
NMR (11)

再結晶溶媒 : ジメチルホルムアミド・メタノール

【2869】

【表87】

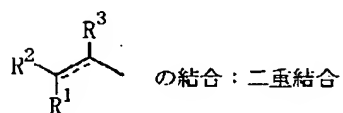
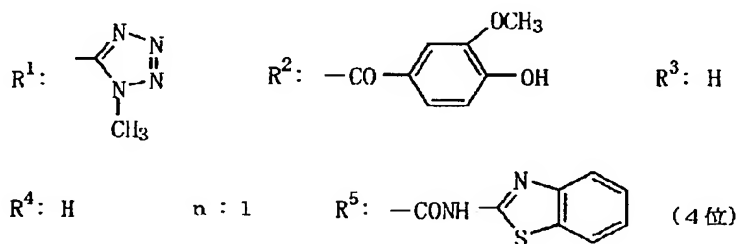
No. 123



結晶形：黄色粉末状     融点：283-285.5℃     形態：遊離

再結晶溶媒：クロロホルム-メタノール-ジエチルエーテル

No. 124



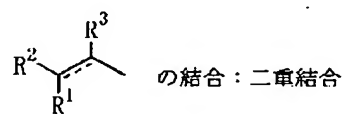
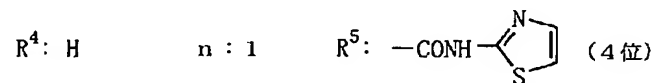
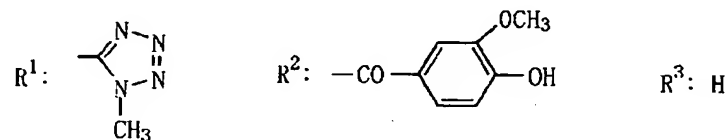
結晶形：淡黄色不定形     NMR (12)

形態：遊離

【2870】

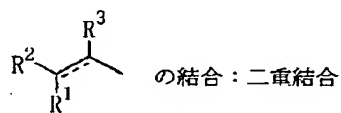
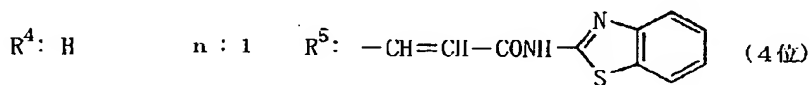
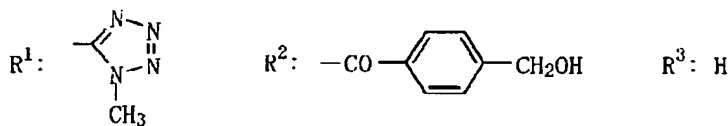
【表88】

No. 125



結晶形: 淡黄色不定形      NMR (13)      形態: 遊離

No. 126



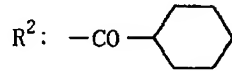
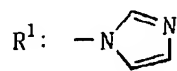
結晶形: 淡黄色粉末状      融点: 246.5-248℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール-水      形態: 遊離

【2871】

【表89】

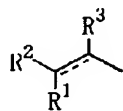
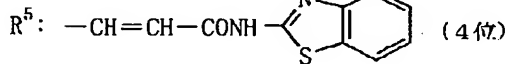
No. 127



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

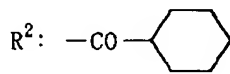
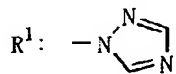
結晶形：黄色粉末状

融点：262-264℃

再結晶溶媒：トルエン

形態：遊離

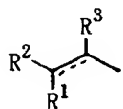
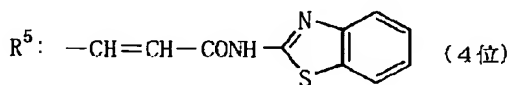
No. 128



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：221-222℃

再結晶溶媒：トルエン

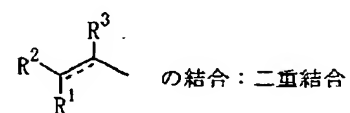
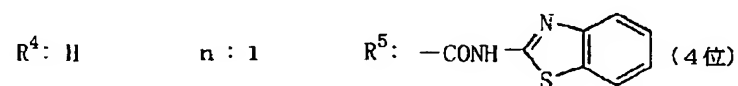
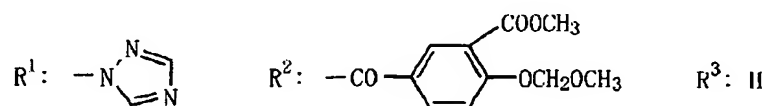
形態：遊離

【2872】

【表90】



No. 129



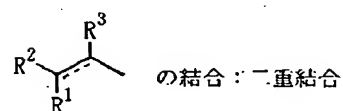
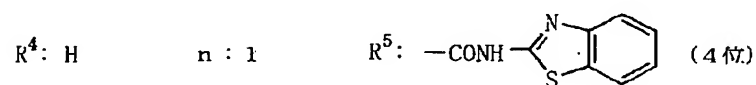
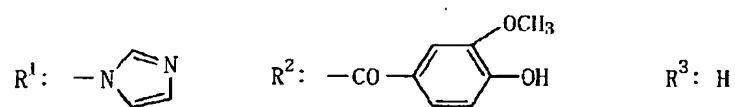
結晶形: 黄色粉末状

融点: 249-250℃

再結晶溶媒: トルエン

形態: 遊離

No. 130



NMR (14)

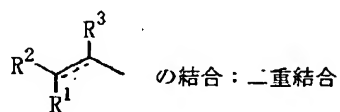
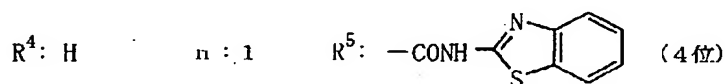
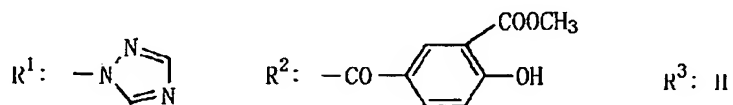
形態: 遊離

結晶形: 黄色粉末状

【2873】

【表91】

No. 131



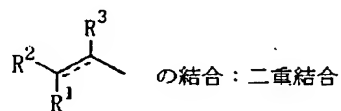
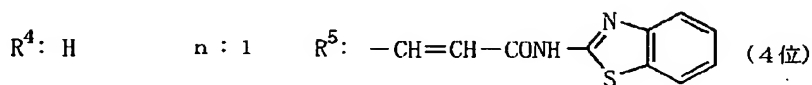
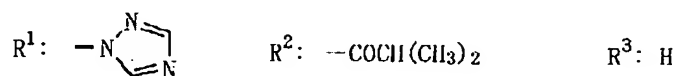
結晶形: 黄色粉末状

融点: 255-256.5℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド・メタノール

形態: 遊離

No. 132



結晶形: 黄色粉末状

融点: 236-237.5℃

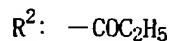
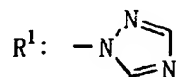
再結晶溶媒: トルエン

形態: 遊離

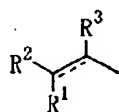
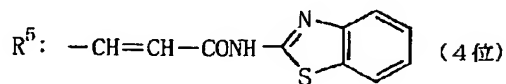
【2874】

【表92】

No. 133



$n$ : 1



の結合: 二重結合

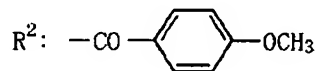
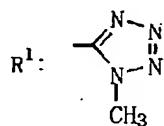
結晶形: 黄色粉末状

融点:  $227-228^\circ\text{C}$

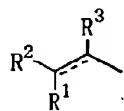
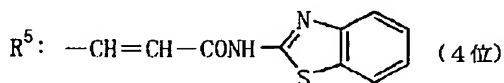
再結晶溶媒: トルエン

形態: 遊離

No. 134



$n$ : 1



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $243-244^\circ\text{C}$

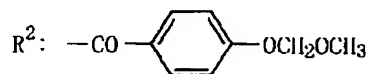
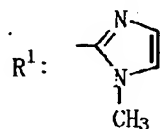
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-水

形態: 遊離

【2875】

【表93】

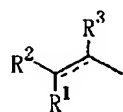
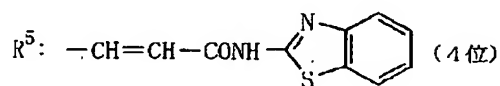
No. 135



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合：二重結合

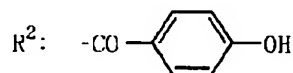
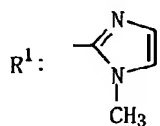
結晶形：黄色粉末状

融点：237-243℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

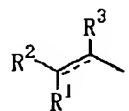
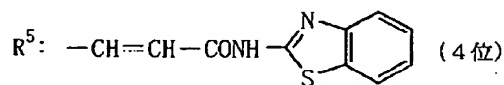
No. 136



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：205-215℃ (分解)

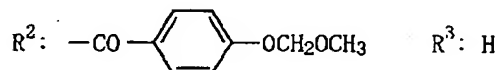
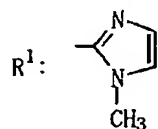
再結晶溶媒：メタノール-水

形態：塩酸塩

【2876】

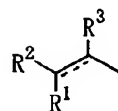
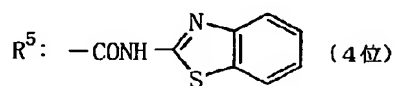
【表94】

No. 137



R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

NMR (15)

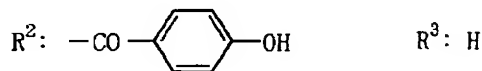
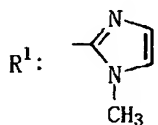
結晶形：黄色粉末状

融点：236.5-238℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール-水

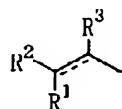
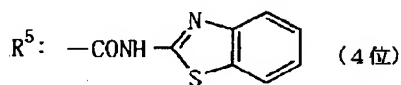
形態：遊離

No. 138



R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

結晶形：白色粉末状

融点：235-236℃

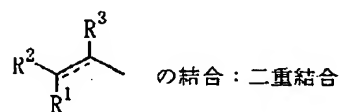
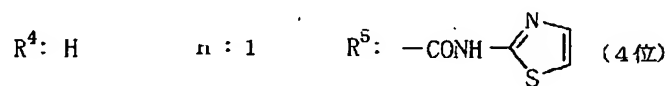
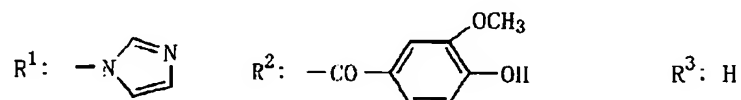
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態：遊離

【2877】

【表95】

No. 139



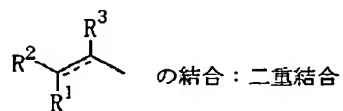
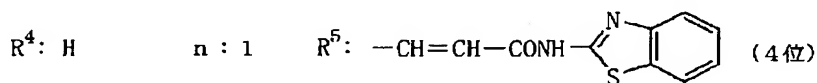
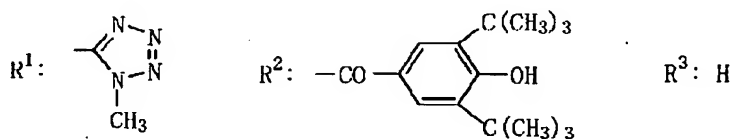
結晶形: 黄色粉末状

融点: 231-232℃

再結晶溶媒: メタノール-水

形態: 遊離

No. 140



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 161-164℃

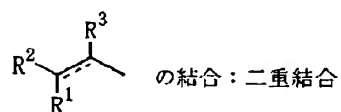
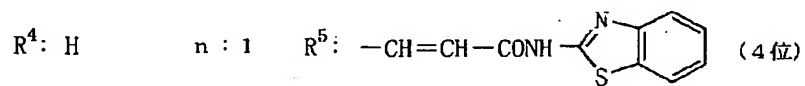
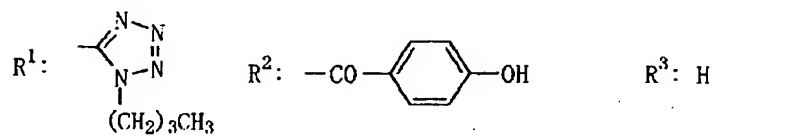
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-水

形態: 遊離

【2878】

【表96】

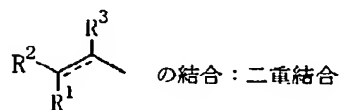
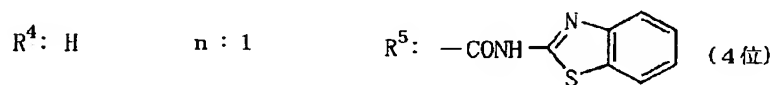
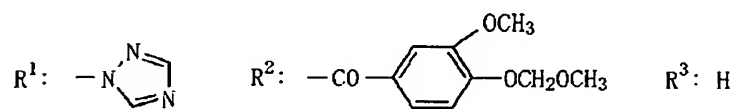
No. 141



結晶形：淡黄色不定形

NMR (16)

No. 142



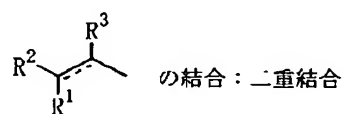
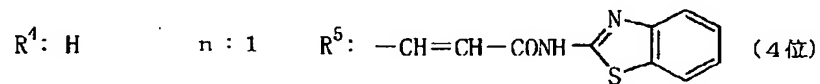
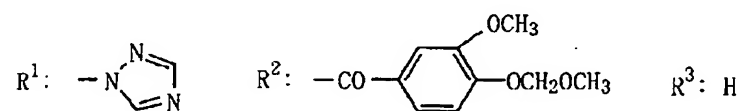
NMR (17)

結晶形：白色粉末状

【2879】

【表97】

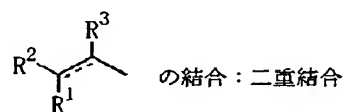
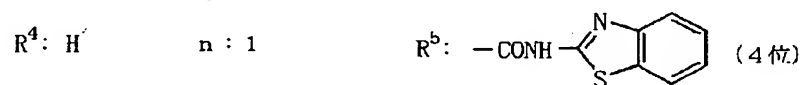
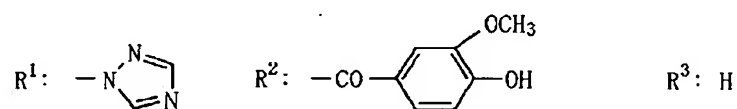
No. 143



NMR (18)

結晶形: 黄色粉末状

No. 144



NMR (19)

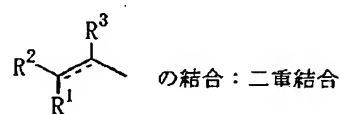
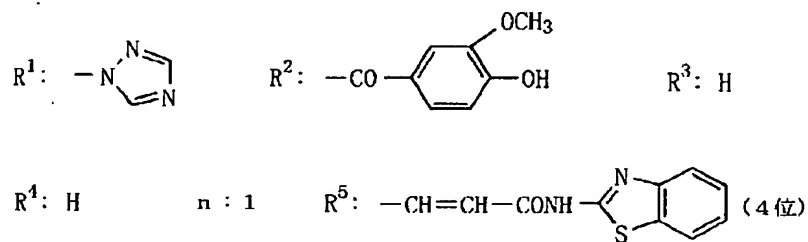
結晶形: 黄色粉末状

【2880】

【表98】



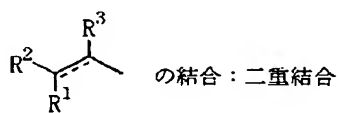
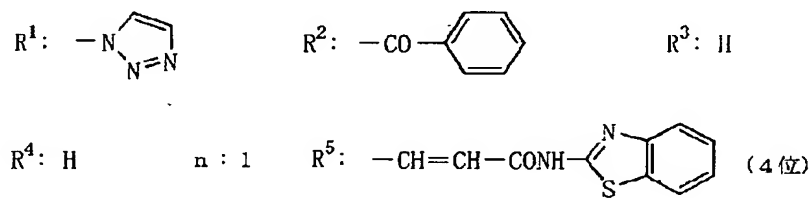
No. 145



NMR (20)

結晶形：黄色粉末状

No. 146



結晶形：黄色粉末状

融点：243.5—245℃

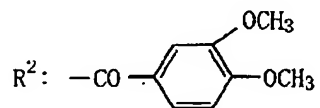
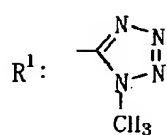
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド—メタノール

形態：遊離

【2881】

【表99】

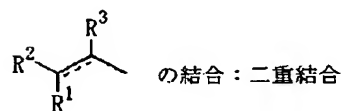
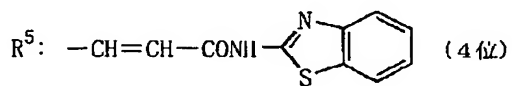
No. 147



$R^3$ : II

$R^4$ : H

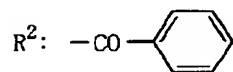
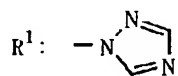
$n$ : 1



結晶形: 淡黄色不定形

NMR (21)

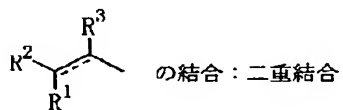
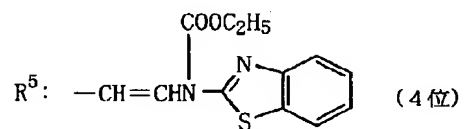
No. 148



$R^3$ : II

$R^4$ : H

$n$ : 1



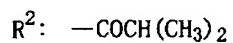
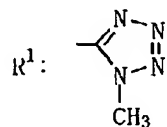
結晶形: 淡黄色不定形

NMR (22)

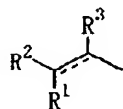
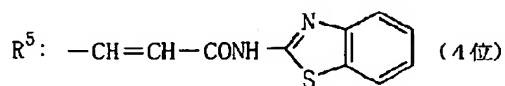
【2882】

【表100】

No. 149



$n$ : 1



の結合: 二重結合

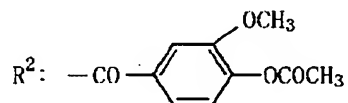
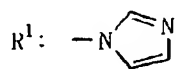
結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $265-267^\circ\text{C}$

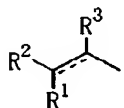
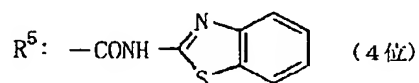
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-水

形態: 遊離

No. 150



$n$ : 1



の結合: 二重結合

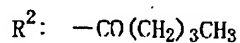
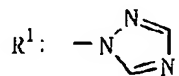
NMR (23)

結晶形: 黄色粉末状

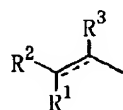
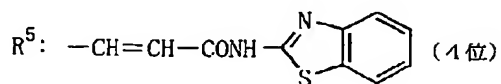
【2883】

【表101】

No. 151



n : 1



の結合：二重結合

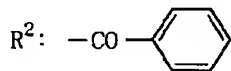
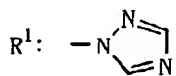
結晶形：淡黄色粉末状

融点：131-133℃

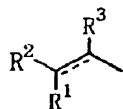
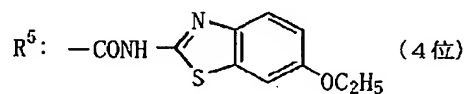
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

No. 152



n : 1



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：128-130℃

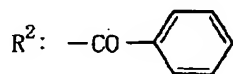
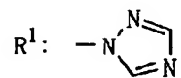
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2884】

【表102】

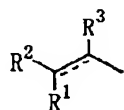
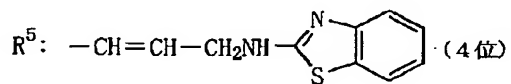
No. 153



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$

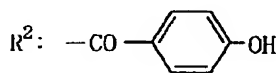
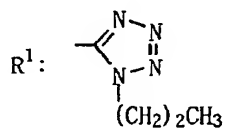


の結合：二重結合

結晶形：黄色不定形

NMR (24)

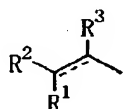
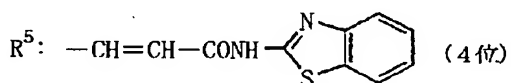
No. 154



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：159-161℃

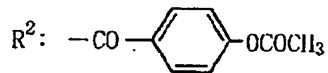
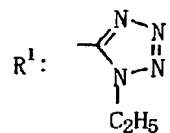
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-水

形態：遊離

【2885】

【表103】

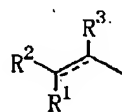
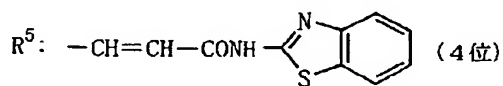
No. 155



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

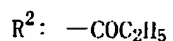
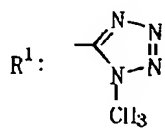


の結合: 二重結合

NMR (25)

結晶形: 黄色粉末状

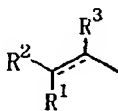
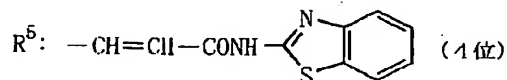
No. 156



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 254-256℃

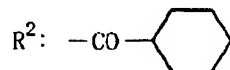
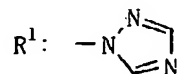
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2886】

【表104】

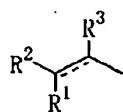
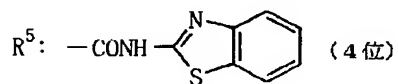
No. 157



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

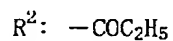
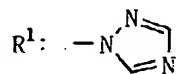
結晶形：白色粉末状

融点：141--142℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

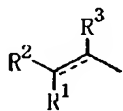
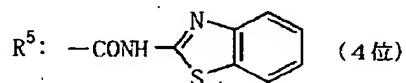
No. 158



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：118-120℃

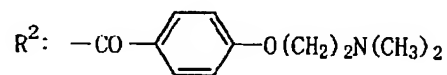
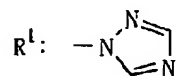
再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

形態：遊離

【2887】

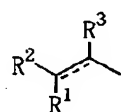
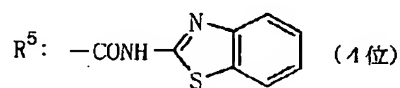
【表105】

No. 159



$R^4: H$

$n: 1$



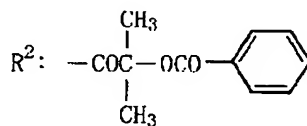
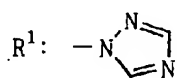
の結合: 二重結合

$R^3: H$

NMR (26)

結晶形: 白色粉末状

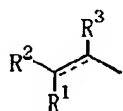
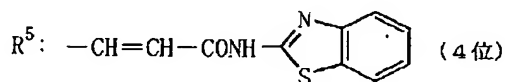
No. 160



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点: 195-197°C

再結晶溶媒: トルエン

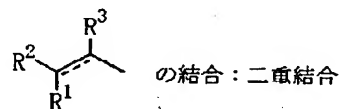
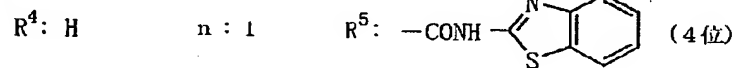
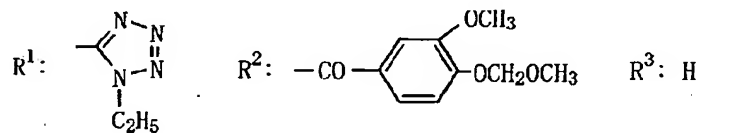
形態: 遊離

【2888】

【表106】



No. 161

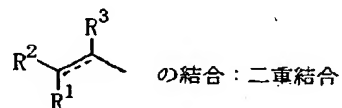
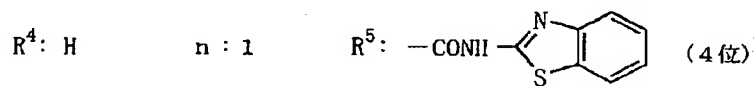
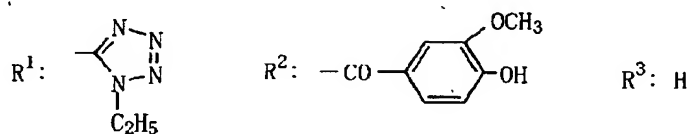


結晶形: 淡黄色不定形

NMR (27)

形態: 遊離

No. 162



結晶形: 淡黄色不定形

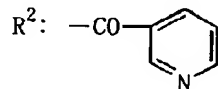
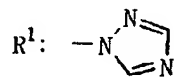
NMR (28)

形態: 遊離

【2889】

【表107】

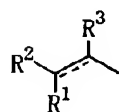
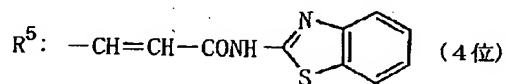
No. 163



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

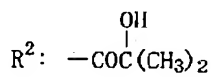
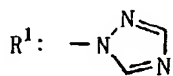
結晶形：黄色粉末状

融点：250-251℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

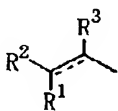
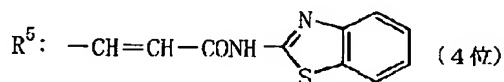
No. 164



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：230-231℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

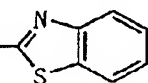
形態：遊離

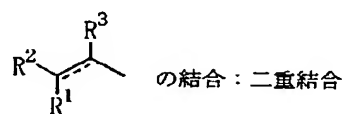
【2890】

【表108】

No. 165

$R^1$ :  $-\text{CONH}(\text{CH}_2)_3\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$      $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$      $R^3$ : H

$R^4$ : H     $n$ : 1     $R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$   (4位)



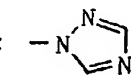

結晶形: 淡黄色粉末状

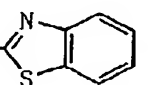
融点: 200.5-202℃

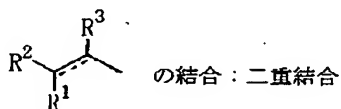
再結晶溶媒: ジクロロメタン-n-ヘキサン

形態: 遊離

No. 166

$R^1$ :      $R^2$ :  $-\text{CO}-$       $R^3$ : H

$R^4$ : H     $n$ : 1     $R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$   (4位)



結晶形: 黄色粉末状

融点: 255-257℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

【2891】

【表109】

No. 167

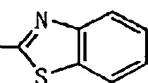
$R^1$ :  $-\text{CONHCl}_3$

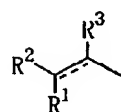
$R^2$ :  $-\text{COCH}_3$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$   (4位)




の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状 融点:  $285-287^\circ\text{C}$  (分解) 形態: 遊離

再結晶溶媒: 1, 2-ジクロロエタン-メタノール-n-ヘキサン

No. 168

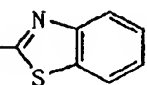
$R^1$ :  $-\text{CON}$  

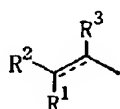
$R^2$ :  $-\text{COCH}_3$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$   (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状 融点:  $220-222.5^\circ\text{C}$  形態: 遊離

再結晶溶媒: 1, 2-ジクロロエタン-メタノール-n-ヘキサン

【2892】

【表110】

No. 169

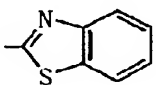
$R^1$ :  $-\text{CONH}_2$

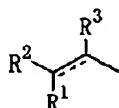
$R^2$ :  $-\text{COCH}_3$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$   (4位)



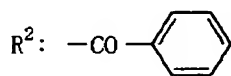
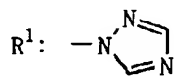
の結合: 二重結合

形態: 遊離

結晶形: 淡黄色粉末状 融点:  $262-265^\circ\text{C}$  (分解)

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-ジクロロメタン-メタノール

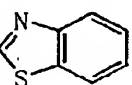
No. 170

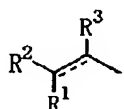


$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}_2\text{CONH}-$   (4位)



の結合: 二重結合

NMR (72)

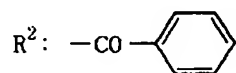
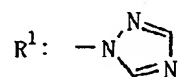
結晶形: 黄色粉末状 融点:  $105-110^\circ\text{C}$  形態: 遊離

再結晶溶媒: メタノール-ジエチルエーテル-n-ヘキサン

【2893】

【表111】

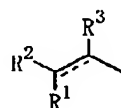
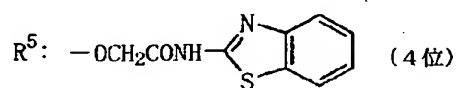
No. 171



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

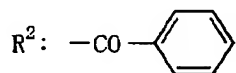
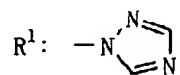
結晶形：黄色粉末状

融点：131-134℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

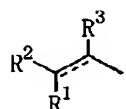
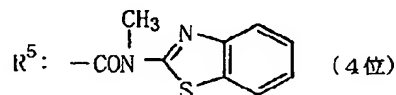
No. 172



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：244-245℃

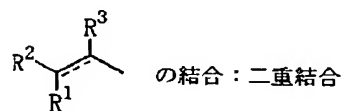
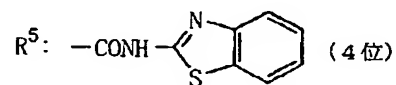
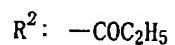
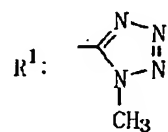
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

形態：遊離

【2894】

【表112】

No. 173

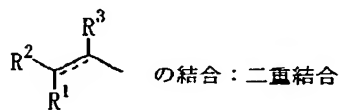
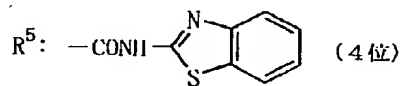
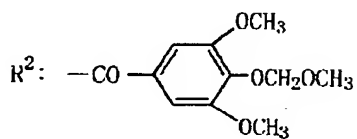
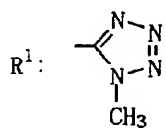


結晶形: 淡黄色不定形

NMR (29)

形態: 遊離

No. 174



結晶形: 淡黄色不定形

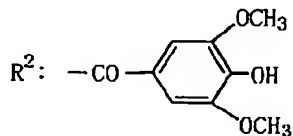
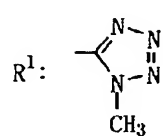
NMR (30)

形態: 遊離

【2895】

【表113】

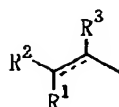
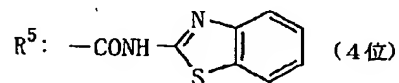
No. 175



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



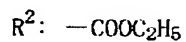
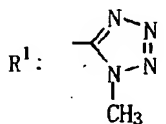
の結合：二重結合

結晶形：淡黄色不定形

NMR (31)

形態：遊離

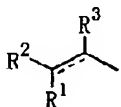
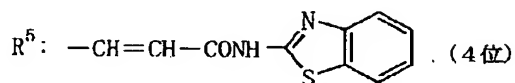
No. 176



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：265-266℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-メタノール

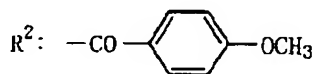
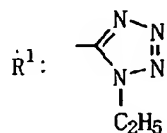
形態：遊離

【2896】

【表114】



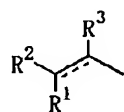
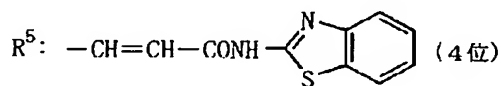
No. 177



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

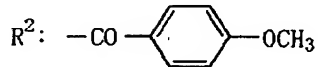
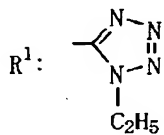
結晶形：黄色粉末状

融点：206.5–207.5℃

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド–メタノール

形態：遊離

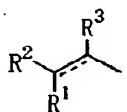
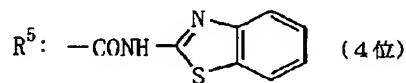
No. 178



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：117.5–119.5℃

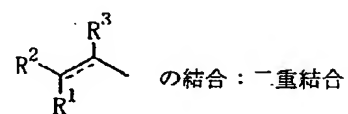
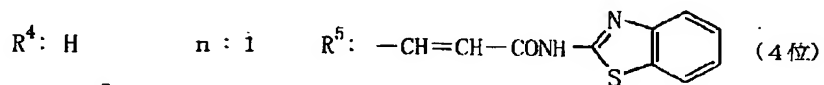
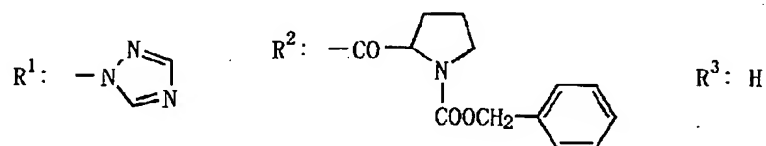
形態：遊離

再結晶溶媒：ジクロロメタン–ジエチルエーテル–n–ヘキサン

【2897】

【表115】

No. 179



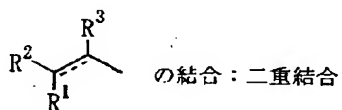
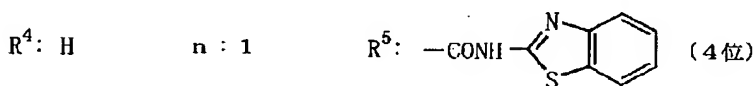
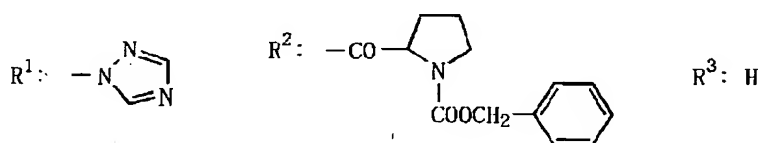
結晶形: 黄色粉末状

融点: 157-158℃

再結晶溶媒: ベンゼン

形態: 遊離

No. 180



結晶形: 黄色不定形

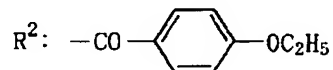
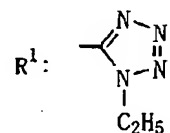
NMR (32)

形態: 遊離

【2898】

【表116】

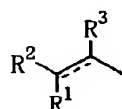
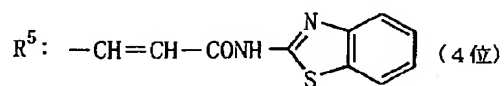
No. 181



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

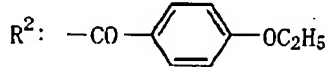
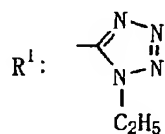
結晶形：黄色粉末状

融点：184-185℃

再結晶溶媒：ジクロロメタン-ジエチルエーテル

形態：遊離

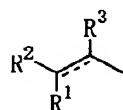
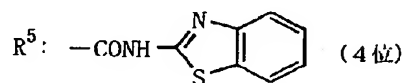
No. 182



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：188-189.5℃

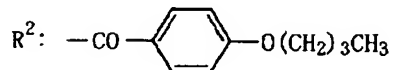
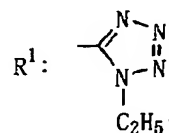
再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

【2899】

【表117】

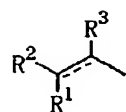
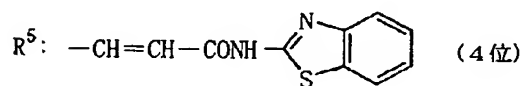
No. 183



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

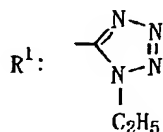
結晶形：黄色粉末状

融点：170.5-171℃

再結晶溶媒：ジクロロメタン-メタノール

形態：遊離

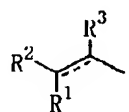
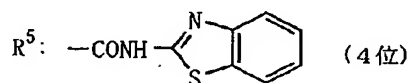
No. 184



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

結晶形：白色粉末状

融点：181-181.5℃

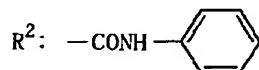
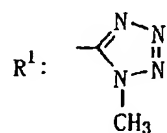
再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

【2900】

【表118】

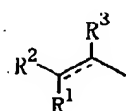
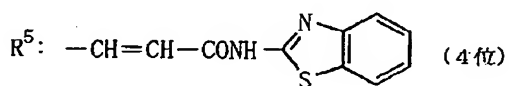
No. 185



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合：二重結合

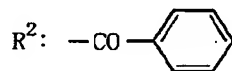
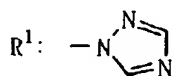
結晶形：淡黄色粉末状

融点：300℃以上

再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド・メタノール

形態：遊離

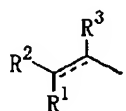
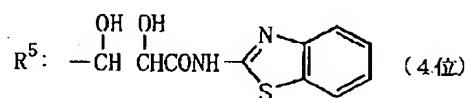
No. 186



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合：二重結合

結晶形：白色粉末状

融点：180-195℃

再結晶溶媒：エタノール・水

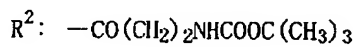
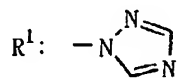
NMR (33)

形態：遊離

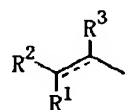
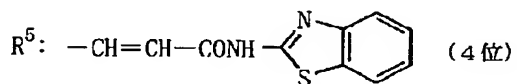
【2901】

【表119】

No. 187



$n: 1$



の結合：二重結合

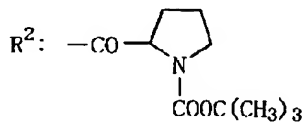
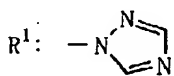
結晶形：黄色粉末状

融点：187-190℃

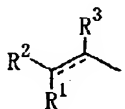
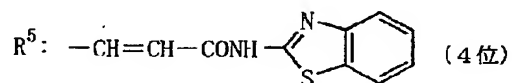
再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

形態：遊離

No. 188



$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：黄色粉末状

融点：135-138℃

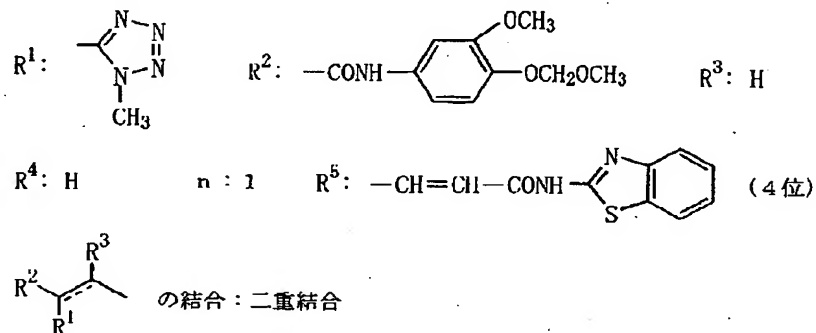
再結晶溶媒：ジエチルエーテル

形態：遊離

【2902】

【表120】

No. 189



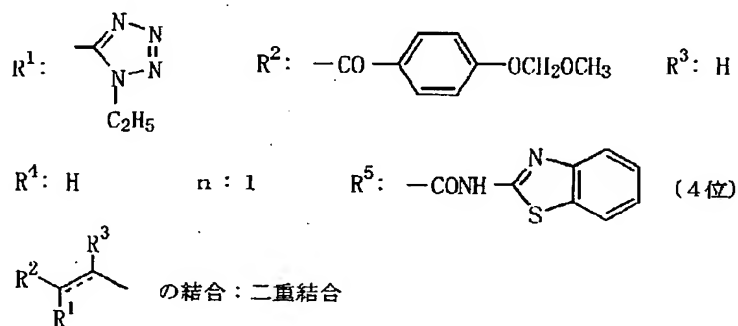
結晶形: 橙色粉末状

融点: 251-253℃

再結晶溶媒: 酢酸エチル- $n$ -ヘキサン

形態: 遊離

No. 190



結晶形: 黄色粉末状

融点: 168-169℃

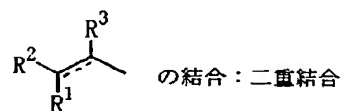
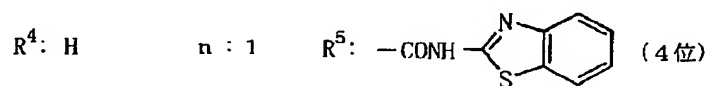
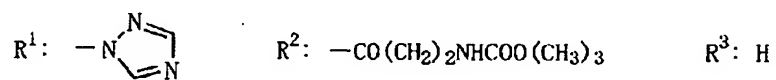
再結晶溶媒: エタノール

形態: 遊離

【2903】

【表121】

No. 191

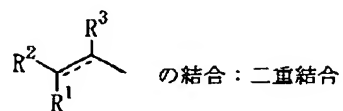
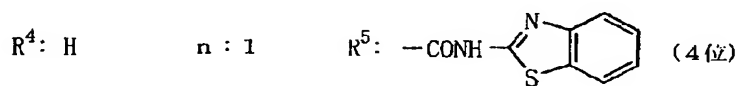
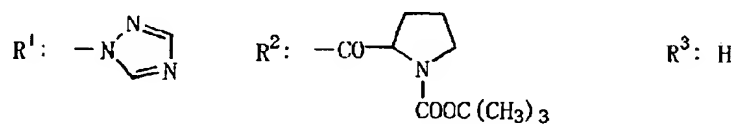


結晶形: 淡黄色不定形

NMR (34)

形態: 遊離

No. 192



結晶形: 淡黄色不定形

NMR (35)

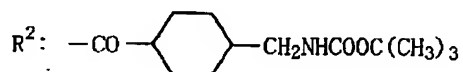
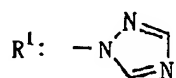
形態: 遊離

【2904】

【表122】

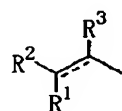
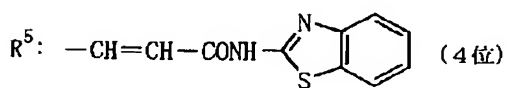


No. 193



$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: H$

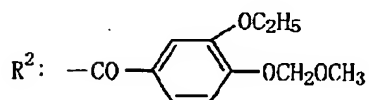
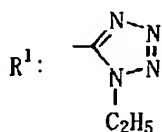
結晶形：淡黄色粉末状

融点：208-209℃

再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

形態：遊離

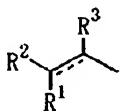
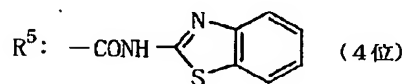
No. 194



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色不定形

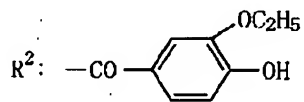
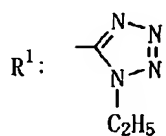
NMR (36)

形態：遊離

【2905】

【表123】

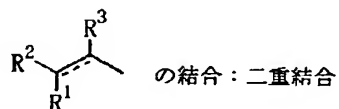
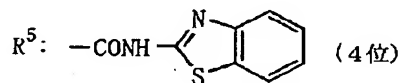
No. 195



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

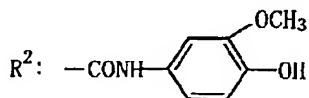
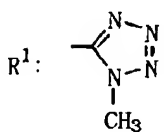


結晶形: 淡黄色不定形

NMR (37)

形態: 遊離

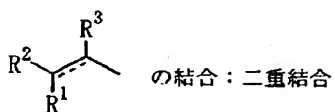
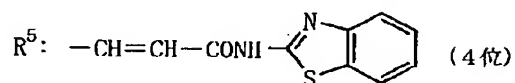
No. 196



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 橙色粉末状

融点: 178-180℃

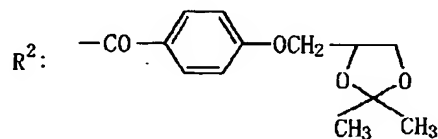
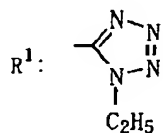
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-水

形態: 遊離

【2906】

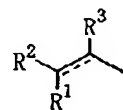
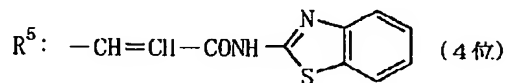
【表124】

No. 197



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

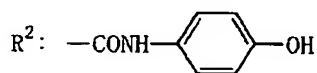
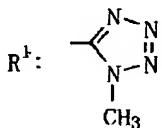
$R^3$ : H

NMR (38)

形態: 遊離

結晶形: 黄色粉末状

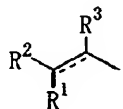
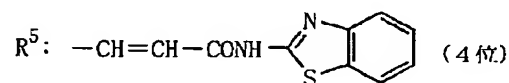
No. 198



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 183-185℃

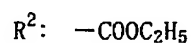
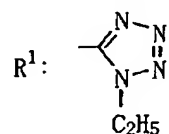
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール-水

形態: 遊離

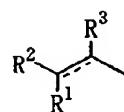
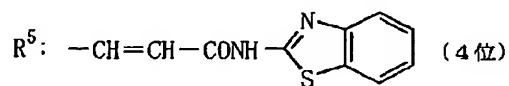
【2907】

【表125】

No. 199



$n$ : 1



の結合: 二重結合

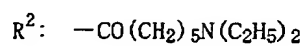
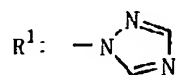
結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $266-268^\circ\text{C}$

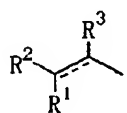
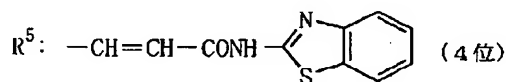
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

No. 200



$n$ : 1



の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点:  $148-151^\circ\text{C}$

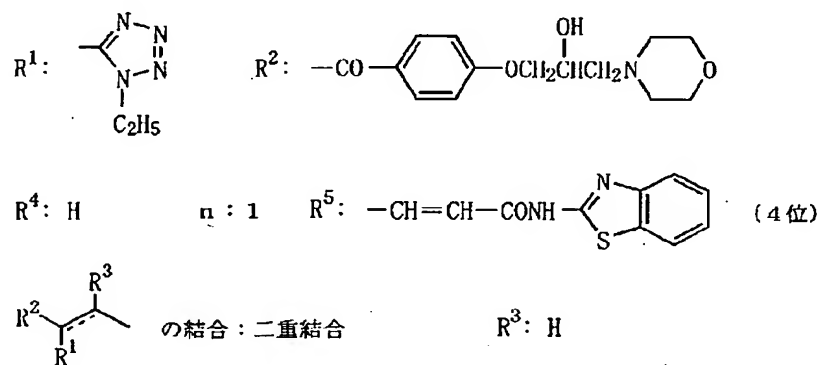
再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2908】

【表126】

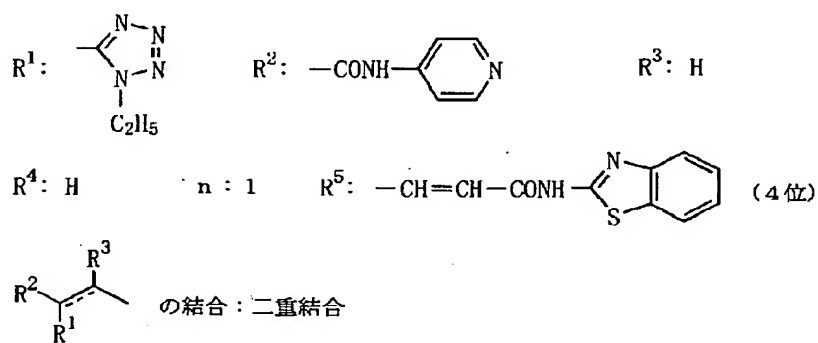
No. 201



NMR (39)

結晶形: 黄色粉末状

No. 202



結晶形: 黄色粉末状

融点: 285-287℃ (分解)

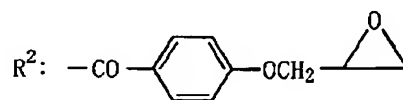
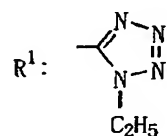
再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-エタノール

形態: 遊離

【2909】

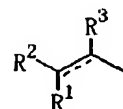
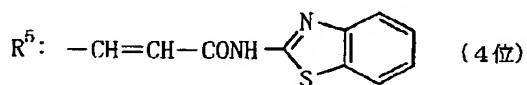
【表127】

No. 203



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

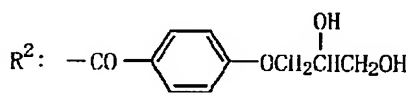
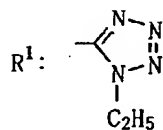
$R^3$ : H

NMR (40)

形態: 遊離

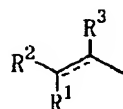
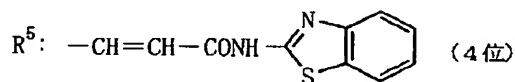
結晶形: 黄色粉末状

No. 204



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

$R^3$ : H

NMR (41)

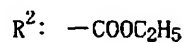
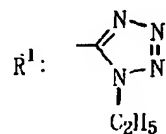
形態: 遊離

結晶形: 黄色粉末状

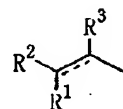
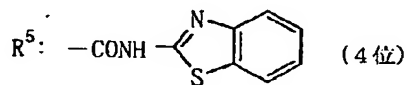
【2910】

【表128】

No. 205



$n: 1$



の結合: 二重結合

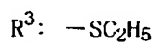
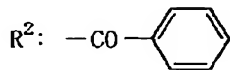
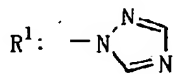
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 196-197℃

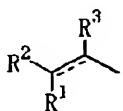
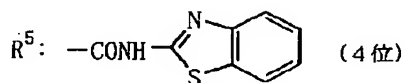
再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

形態: 遊離

No. 206



$n: 1$



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点: 158-161℃

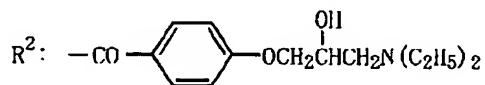
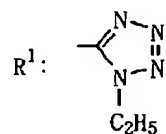
再結晶溶媒: 酢酸エチル-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2911】

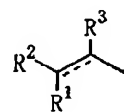
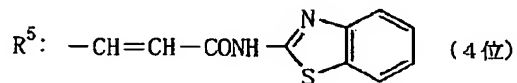
【表129】

No. 207



$R^4$ : H

$n$ : 1



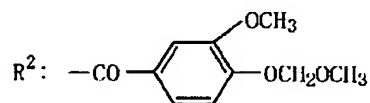
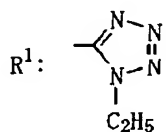
の結合: 二重結合

$R^3$ : H

NMR (42)

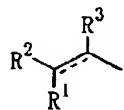
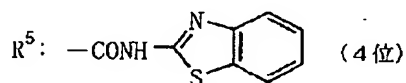
結晶形: 淡黄色粉末状

No. 208



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 一重結合

$R^3$ :  $-SC_2H_5$

結晶形: 淡黄色不定形

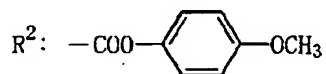
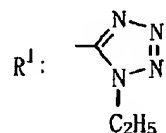
NMR (43)

【2912】

【表130】

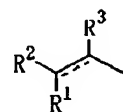
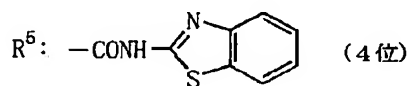


No. 209



$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

$R^3: \text{H}$

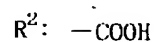
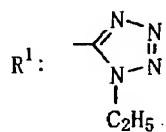
結晶形：淡黄色粉末状

融点：234-236℃

再結晶溶媒：酢酸エチル

形態：遊離

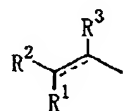
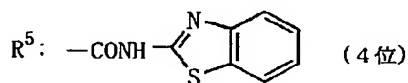
No. 210



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：白色粉末状

融点：266-267℃ (分解)

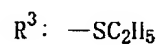
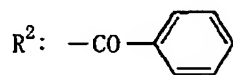
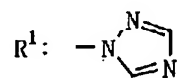
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-水

形態：遊離

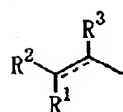
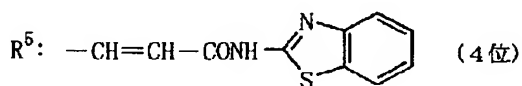
【2913】

【表131】

No. 211



$n: 1$



の結合: 重結合

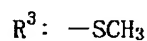
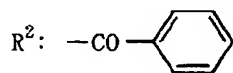
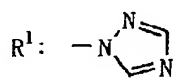
結晶形: 白色粉末状

融点: 214-216℃

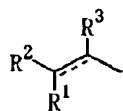
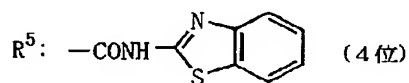
再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

No. 212



$n: 1$



の結合: 一重結合

結晶形: 白色粉末状

融点: 213-215℃

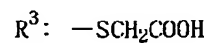
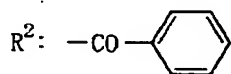
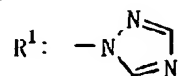
形態: 遊離

再結晶溶媒: メタノール-クロロホルム-ジエチルエーテル

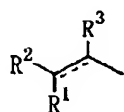
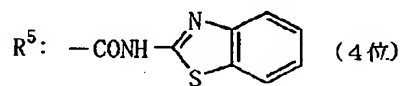
【2914】

【表132】

No. 213



n : 1



の結合：一重結合

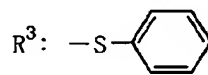
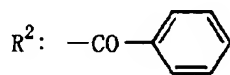
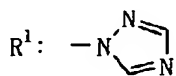
結晶形：白色粉末状

融点：207-208℃

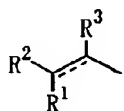
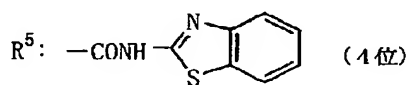
形態：遊離

再結晶溶媒：メタノール-クロロホルム-ジエチルエーテル

No. 214



n : 1



の結合：一重結合

結晶形：白色粉末状

融点：176-178℃

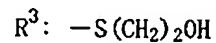
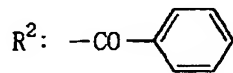
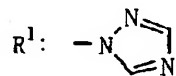
形態：遊離

再結晶溶媒：メタノール-クロロホルム-ジエチルエーテル

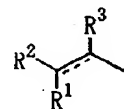
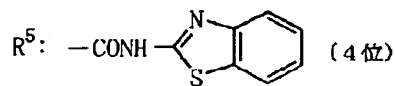
【2915】

【表133】

No. 215



$n: 1$



の結合：一重結合

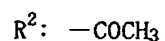
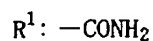
結晶形：白色粉末状

融点：140-143℃

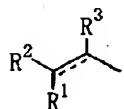
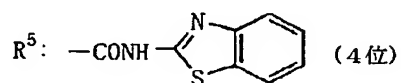
形態：遊離

再結晶溶媒：メタノール-クロロホルム-ジエチルエーテル

No. 216



$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：279-280℃ (分解)

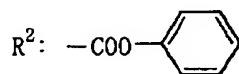
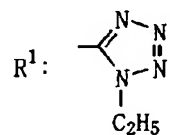
再結晶溶媒：ジメチルホルムアミド-ジクロロメタン

形態：遊離

【2916】

【表134】

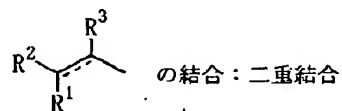
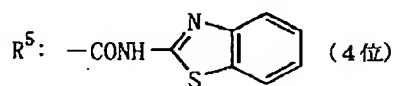
No. 217



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



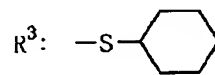
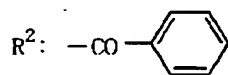
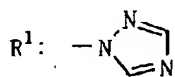
結晶形：淡黄色粉末状

融点：223-225℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

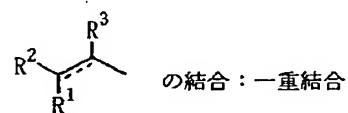
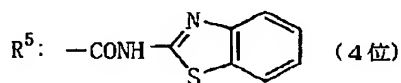
形態：遊離

No. 218



R<sup>4</sup>: H

n : 1



結晶形：白色粉末状

融点：194-195℃

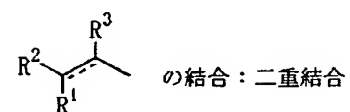
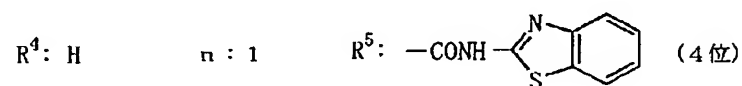
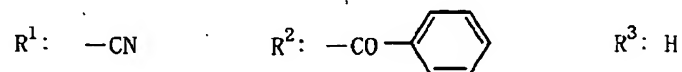
再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

【2917】

【表135】

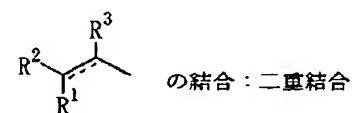
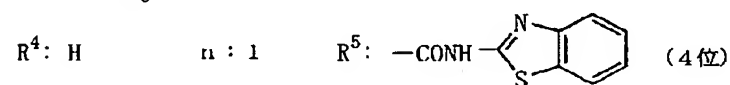
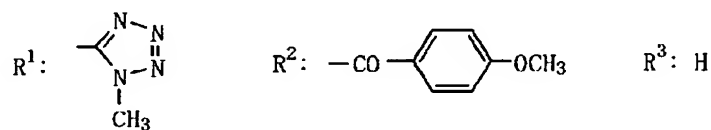
No. 219



結晶形: 黄色粉末状      融点: 235-237℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール      形態: 遊離

No. 220



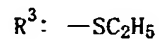
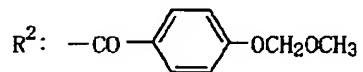
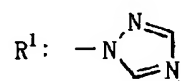
結晶形: 白色粉末状      融点: 177-179℃

再結晶溶媒: 酢酸エチル-*n*-ヘキサン      形態: 遊離

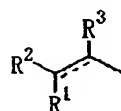
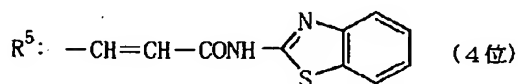
【2918】

【表136】

No. 221



$n: 1$



の結合: 重結合

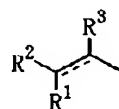
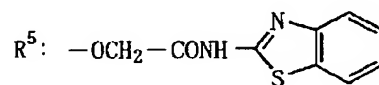
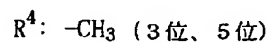
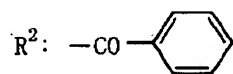
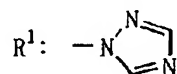
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 195-197℃

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

No. 222



の結合: 二重結合

$n: 2$

結晶形: 白色粉末状

融点: 181-182℃

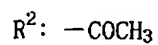
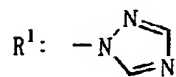
再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

形態: 遊離

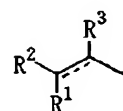
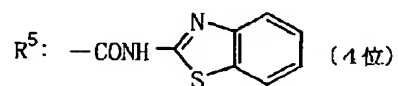
【2919】

【表137】

No. 223



$n: 1$



の結合：二重結合

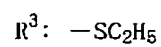
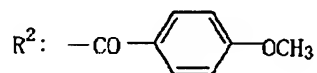
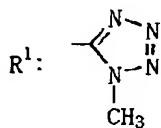
結晶形：白色粉末状

融点：230—231℃

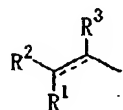
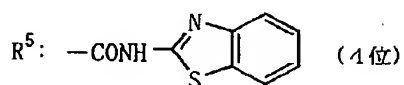
再結晶溶媒：トルエン

形態：遊離

No. 224



$n: 1$



の結合：一重結合

結晶形：淡黄色不定形

NMR (44)

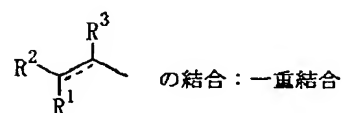
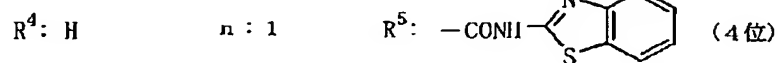
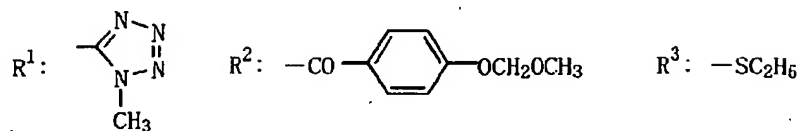
形態：遊離

【2920】

【表138】

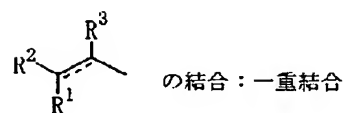
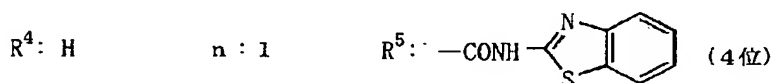
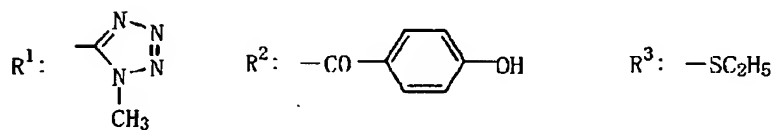


No. 225



結晶形: 淡黄色不定形      NMR (45)      形態: 遊離

No. 226

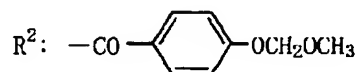
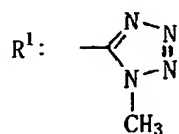


結晶形: 淡黄色不定形      NMR (46)      形態: 遊離

【2921】

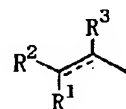
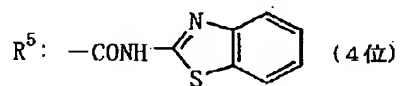
【表139】

No. 227

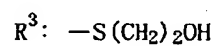


$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：一重結合

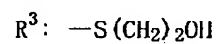
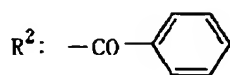
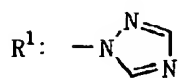


結晶形：淡黄色不定形

NMR (47)

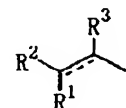
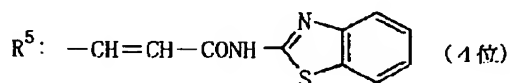
形態：遊離

No. 228



$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：一重結合

結晶形：淡黄色不定形

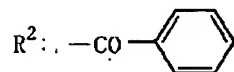
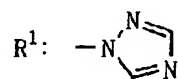
NMR (48)

形態：遊離

【2922】

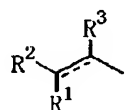
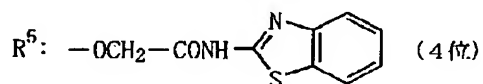
【表140】

No. 229



$R^3: H$

$R^4: OCH_3$  (3位, 5位)



の結合: 二重結合

$n: 2$

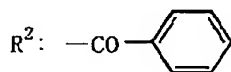
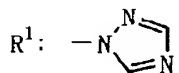
結晶形: 淡黄色プリズム状

融点:  $235-236^\circ C$

再結晶溶媒: 酢酸エチル-n-ヘキサン

形態: 遊離

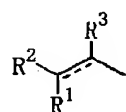
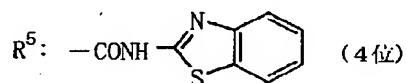
No. 230



$R^3: -SCOCH_3$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 一重結合

結晶形: 白色粉末状

融点:  $181-184^\circ C$

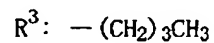
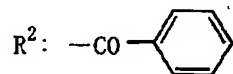
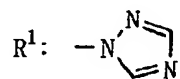
再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

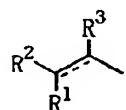
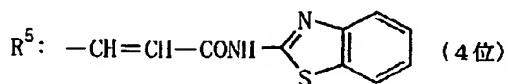
【2923】

【表141】

No. 231



$n: 1$



の結合：一重結合

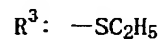
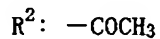
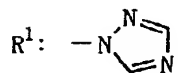
結晶形：白色粉末状

融点：108-111℃

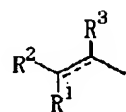
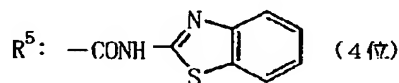
再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

No. 232



$n: 1$



の結合：一重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：185-188℃

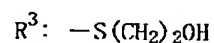
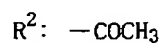
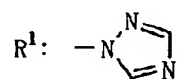
形態：遊離

再結晶溶媒：クロロホルム-メタノール-ジエチルエーテル

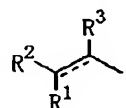
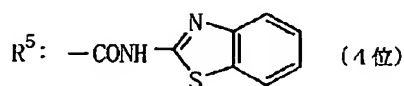
【2924】

【表142】

No. 233



$n: 1$



の結合：一重結合

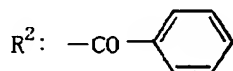
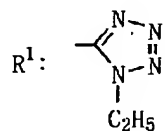
結晶形：淡黄色粉末状

融点：212-214℃

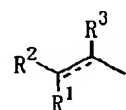
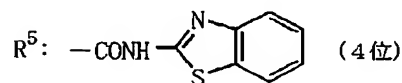
形態：遊離

再結晶溶媒：クロロホルム-メタノール-ジエチルエーテル

No. 234



$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：白色粉末状

融点：199-200.5℃

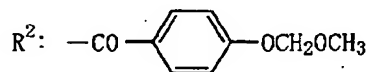
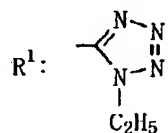
再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

【2925】

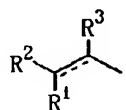
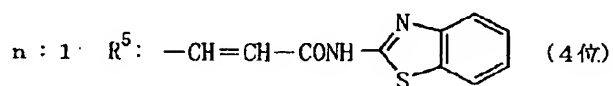
【表143】

No. 235



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 一重結合

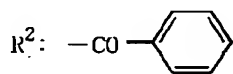
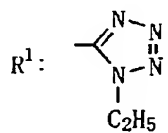
$R^3$ :  $-\text{SC}_2\text{H}_5$

結晶形: 淡黄色不定形

NMR (49)

形態: 遊離

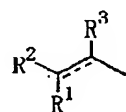
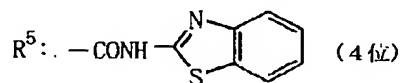
No. 236



$R^3$ :  $-\text{SC}_2\text{H}_5$

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 一重結合

結晶形: 白色粉末状

融点: 188.5-190℃

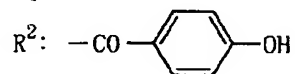
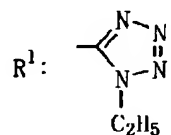
再結晶溶媒: 酢酸エチル-ジイソプロピルエーテル

形態: 遊離

【2926】

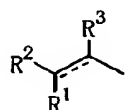
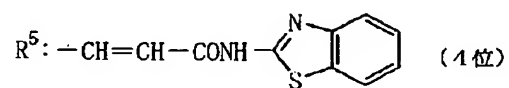
【表144】

No. 237



R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：一重結合

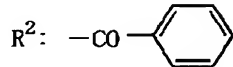
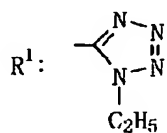
R<sup>3</sup>: -SC<sub>2</sub>H<sub>5</sub>

結晶形：淡黄色不定形

NMR (50)

形態：遊離

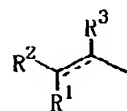
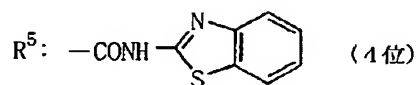
No. 238



R<sup>3</sup>: -S(CH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>OH

R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：一重結合

結晶形：淡黄色不定形

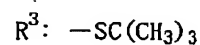
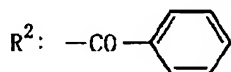
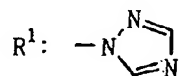
NMR (51)

形態：遊離

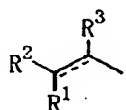
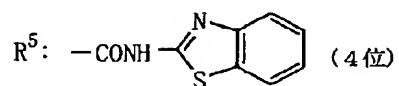
【2927】

【表145】

No. 239



$n: 1$



の結合：一重結合

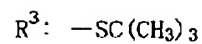
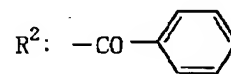
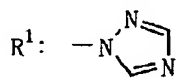
結晶形：白色粉末状

融点：226-227℃

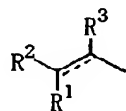
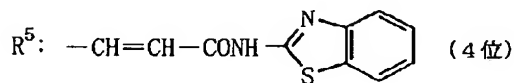
再結晶溶媒：酢酸エチル-ジエチルエーテル

形態：遊離

No. 240



$n: 1$



の結合：一重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：219-221℃

形態：遊離

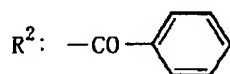
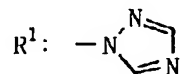
再結晶溶媒：メタノール-クロロホルム-ジエチルエーテル

【2928】

【表146】

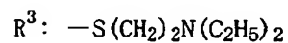
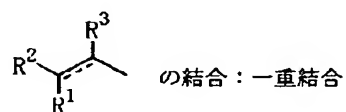
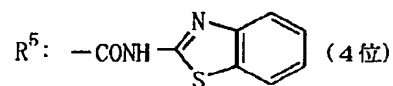


No. 241



$R^4$ : H

$n$ : 1

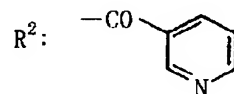
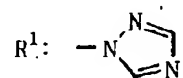


結晶形: 無色不定形

NMR (52)

形態: 塩酸塩

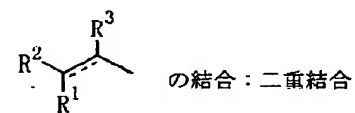
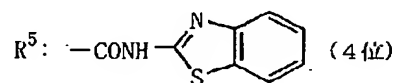
No. 242



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 白色板状

融点: 129-133℃

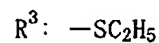
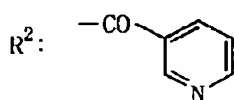
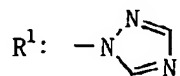
再結晶溶媒: メタノール

形態: 遊離

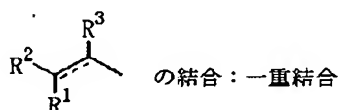
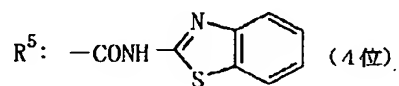
【2929】

【表147】

No. 243



$n : 1$



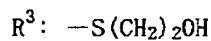
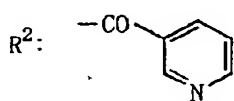
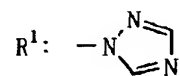
結晶形: 白色粉末状

融点:  $122-123^\circ\text{C}$

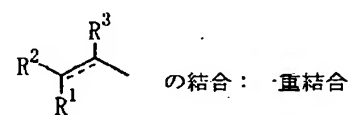
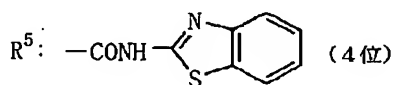
再結晶溶媒: ジエチルエーテル- $n$ -ヘキサン

形態: 遊離

No. 244



$n : 1$



結晶形: 白色粉末状

融点:  $123-125^\circ\text{C}$

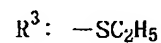
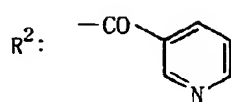
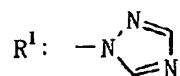
再結晶溶媒: 酢酸エチル-ジエチルエーテル

形態: 遊離

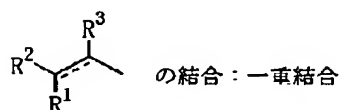
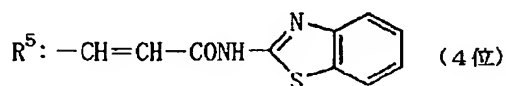
【2930】

【表148】

No. 245



$n$ : 1



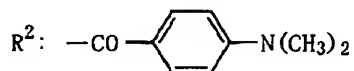
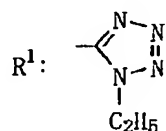
結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $191-192^\circ\text{C}$

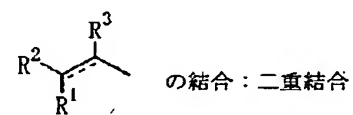
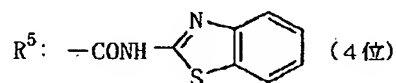
再結晶溶媒: 酢酸エチル

形態: 遊離

No. 246



$n$ : 1



結晶形: 橙色粉末状

融点:  $206-208^\circ\text{C}$

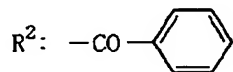
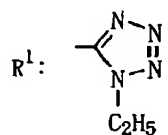
再結晶溶媒: 酢酸エチル- $n$ -ヘキサン

形態: 遊離

【2931】

【表149】

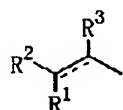
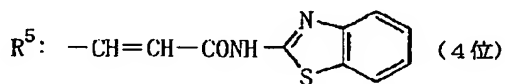
No. 247



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

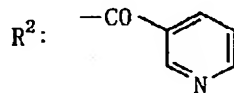
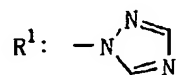
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 222-223.5℃

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド・メタノール

形態: 遊離

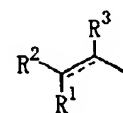
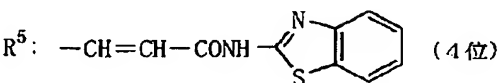
No. 248



$R^3$ :  $-S(CH_2)_2OH$

$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 182-185℃

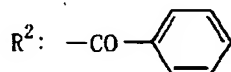
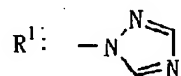
再結晶溶媒: 酢酸エチル・ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2932】

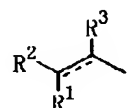
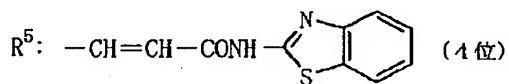
【表150】

No. 249

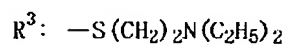


$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 一重結合



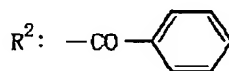
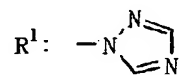
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 110-112°C

再結晶溶媒: メタノール

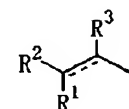
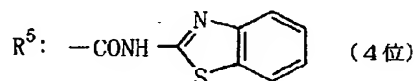
形態: 塩酸塩

No. 250

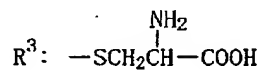


$R^4: H$

$n: 1$



の結合: 一重結合



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 189-191°C

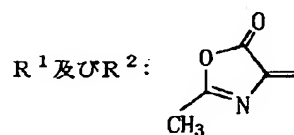
再結晶溶媒: メタノール

形態: 塩酸塩

【2933】

【表151】

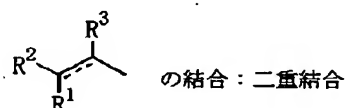
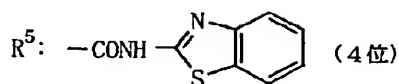
No. 251



$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



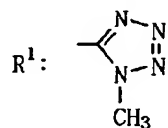
結晶形: 黄色粉末状

融点: 238℃ (分解)

再結晶溶媒: ジメチルホルムアミド-メタノール

形態: 遊離

No. 252

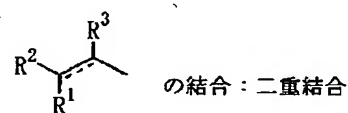
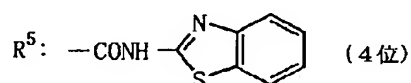


$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1



結晶形: 黄色粉末状

NMR (53)

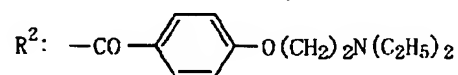
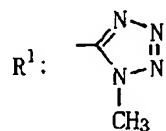
再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2934】

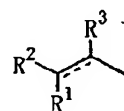
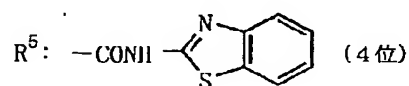
【表152】

No. 253



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 二重結合

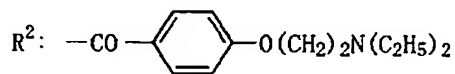
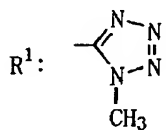
$R^3$ : H

結晶形: 淡黄色不定形

NMR (54)

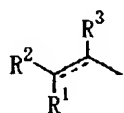
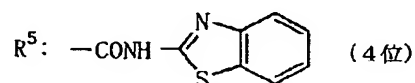
形態: 遊離

No. 254



$R^4$ : H

$n$ : 1



の結合: 一重結合

$R^3$ :  $-SC_2H_5$

結晶形: 淡黄色不定形

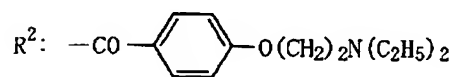
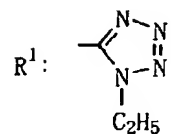
NMR (55)

形態: 塩酸塩

【2935】

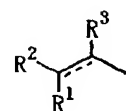
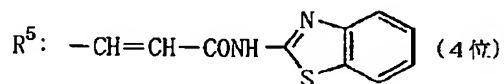
【表153】

No. 255



R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

R<sup>3</sup>: H

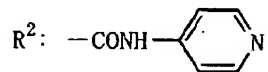
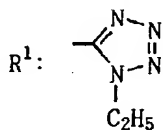
結晶形：淡黄色粉末状

融点：147-149℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

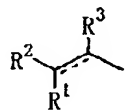
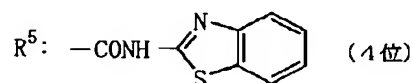
No. 256



R<sup>3</sup>: H

R<sup>4</sup>: H

n : 1



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色不定形

NMR (56)

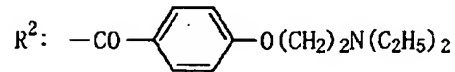
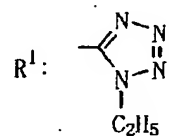
形態：遊離

【2936】

【表154】

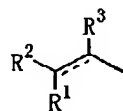
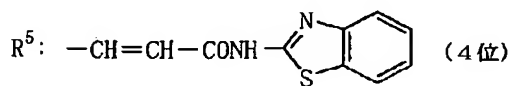


No. 257

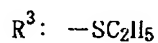


$R^4$ : H

n : 1



の結合：一重結合

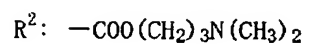
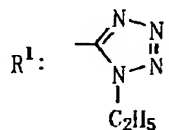


結晶形：淡黄色不定形

NMR (57)

形態：遊離

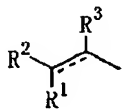
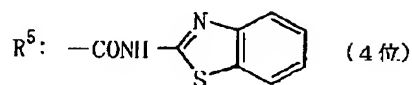
No. 258



$R^3$ : H

$R^4$ : H

n : 1



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色不定形

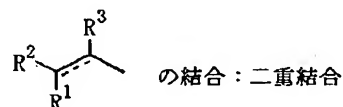
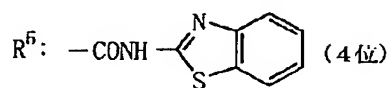
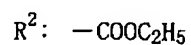
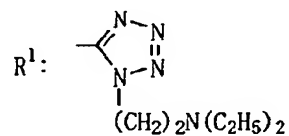
NMR (58)

形態：遊離

【2937】

【表155】

No. 259



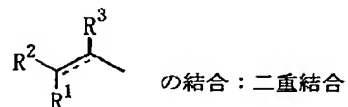
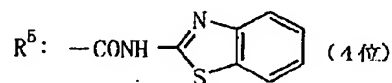
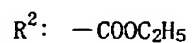
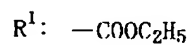
結晶形：白色粉末状

融点：144.5-146℃

再結晶溶媒：酢酸エチル

形態：遊離

No. 260



結晶形：白色粉末状

融点：180.5-181℃

再結晶溶媒：エタノール

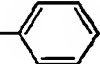
形態：遊離

【2938】

【表156】

No. 261

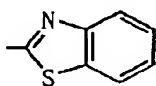
$R^1$ : H

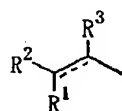
$R^2$ :  $-\text{CO}-$ 

$R^3$ :  $-\text{CN}$

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CONH}-$  (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点: 300℃以上

再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 遊離

No. 262

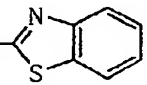
$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

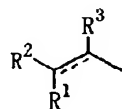
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$  (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点: 201-204℃

再結晶溶媒: エタノール

形態: 遊離

【2939】

【表157】

No. 263

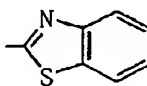
$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

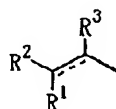
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ :  $-\text{SC}_2\text{H}_5$

$R^4$ : H

$n : 1$

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}-$   (4位)



の結合：一重結合

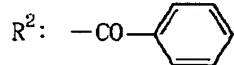
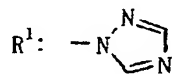
結晶形：淡黄色粉末状

融点：194-195℃

再結晶溶媒：酢酸エチル-n-ヘキサン

形態：遊離

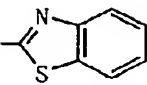
No. 264

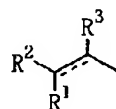


$R^3$ : H

$n : 1$

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-$   (4位)



の結合：二重結合

結晶形：黄色不定形

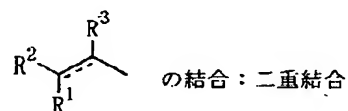
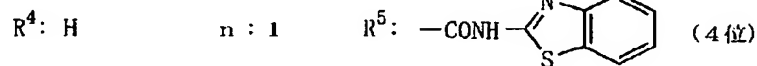
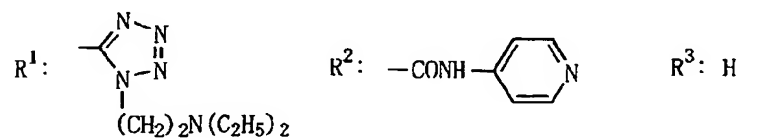
NMR (59)

形態：塩酸塩

【2940】

【表158】

No. 265

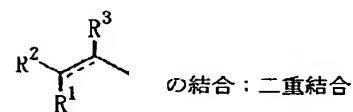
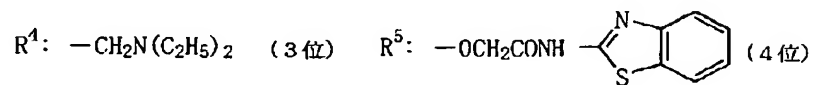
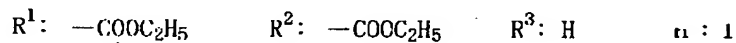


結晶形: 淡黄色不定形

NMR (60)

形態: 遊離

No. 266



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 128-130°C

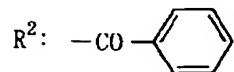
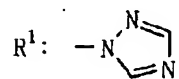
再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 塩酸塩

【2941】

【表159】

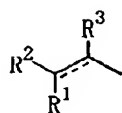
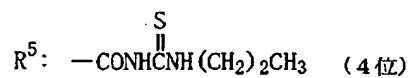
No. 267



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

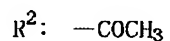
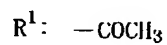
結晶形：淡黄色粉末状

融点：189—192℃

再結晶溶媒：クロロホルム—メタノール

形態：遊離

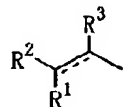
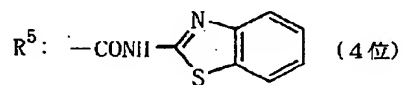
No. 268



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：188—189℃

再結晶溶媒：クロロホルム—ジエチルエーテル

形態：遊離

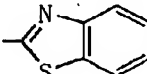
【2942】

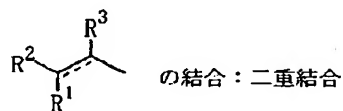
【表160】

No. 269

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ | \quad | \\ \text{---} \quad \text{---} \\ | \quad | \\ \text{N}-\text{CH}_3 \end{array}$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



結晶形: 淡黄色粉末状

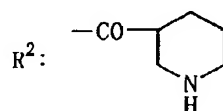
融点:  $154-157^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 2塩酸塩

No. 270

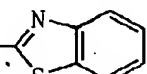
$R^1$ : H

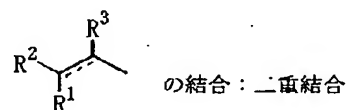


$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CONH}$   (4位)



結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $273-274^\circ\text{C}$

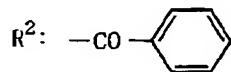
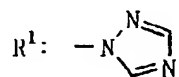
再結晶溶媒: メタノール

形態: 塩酸塩

【2943】

【表161】

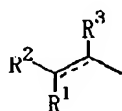
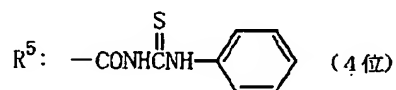
No. 271



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

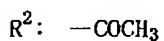
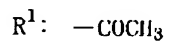
結晶形：淡黄色粉末状

融点：168-171℃

再結晶溶媒：ベンゼン

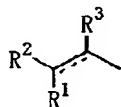
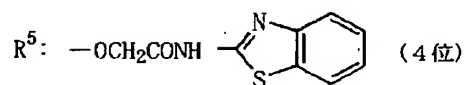
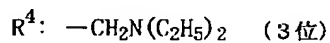
形態：遊離

No. 272



$R^3: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：173-175℃

形態：塩酸塩

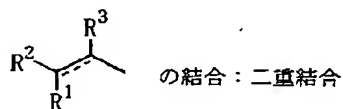
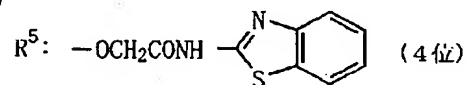
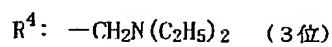
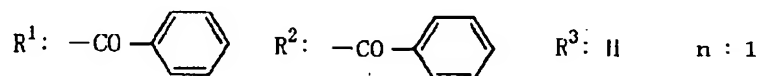
再結晶溶媒：酢酸エチル-ジエチルエーテル-エタノール

【2944】

【表162】



No. 273

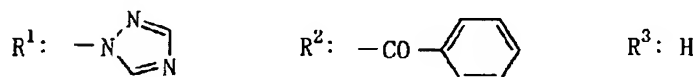


結晶形: 淡黄色粉末状

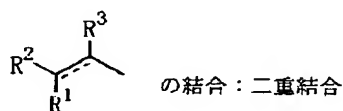
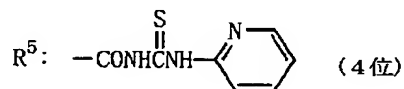
NMR (61)

形態: 塩酸塩

No. 274



$n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 167-168.5°C

再結晶溶媒: 酢酸エチル-*n*-ヘキサン

形態: 遊離

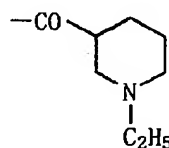
【2945】

【表163】

No. 275

R<sup>1</sup>: H

R<sup>2</sup>:

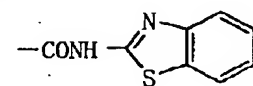


R<sup>3</sup>: H

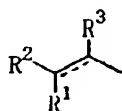
R<sup>4</sup>: H

n: 1

R<sup>5</sup>:



(4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 175-177℃

再結晶溶媒: エタノール

形態: 遊離

No. 276

R<sup>1</sup>: -COCH<sub>3</sub>

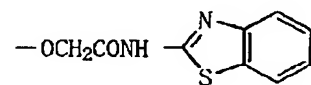
R<sup>2</sup>: -COCH<sub>3</sub>

R<sup>3</sup>: H

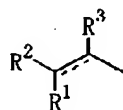
n: 1

R<sup>4</sup>: -(CH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>N(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>2</sub> (3位)

R<sup>5</sup>:



(4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点: 203-204℃

再結晶溶媒: エタノール-ジエチルエーテル-水

形態: 塩酸塩

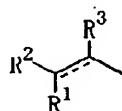
【2946】

【表164】

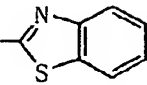
No. 277

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N} \begin{cases} (\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \\ (\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \end{cases}$  (3位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形：白色粉末状

融点：128-130℃

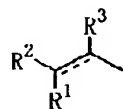
再結晶溶媒：エタノール

形態：2塩酸塩

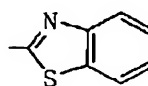
No. 278

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_2\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ \text{ } \end{array} \text{N}-\text{CH}_3$  (3位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形：白色粉末状

融点：177-180℃

再結晶溶媒：エタノール-ジエチルエーテル-水

形態：2塩酸塩

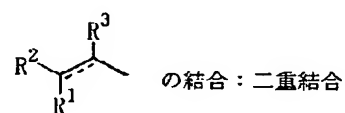
【2947】

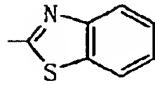
【表165】

No. 279

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N} \begin{cases} (\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \\ (\text{CH}_2)_3\text{CH}_3 \end{cases}$  (3位)



$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

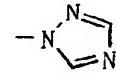
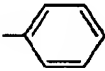
結晶形：白色粉末状

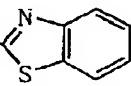
融点：178—179℃

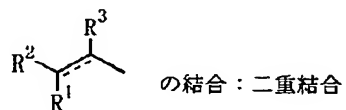
再結晶溶媒：エタノール

形態：塩酸塩

No. 280

$R^1$ :        $R^2$ :  $-\text{CO}$         $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_3$  (3位)       $R^5$ :  $-\text{N} \begin{cases} \text{CH}_3 \\ \text{CH}_2\text{CONH} \end{cases}$   (4位)



結晶形：黄色不定形

NMR (62)

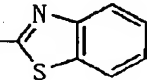
形態：遊離

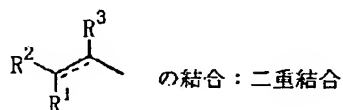
【2948】

【表166】

No. 281

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{OH}$  (3位)       $R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



結晶形：淡黄色粉末状


融点：168-170℃

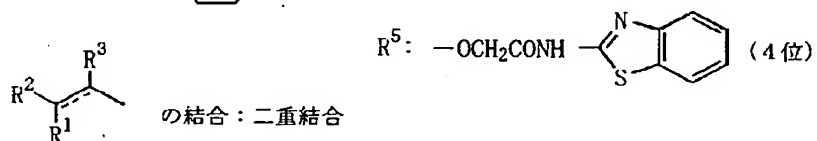
再結晶溶媒：エタノール-水

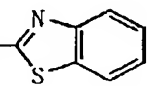
形態：遊離

No. 282

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N}$    $\text{N}-\text{CH}_3$  (3位)



$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形：白色粉末状

融点：215-217℃

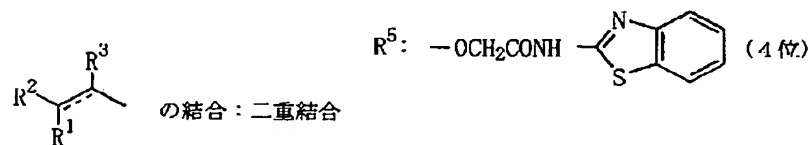
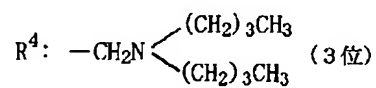
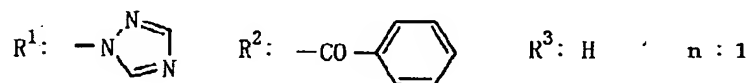
再結晶溶媒：エタノール-水

形態：2塩酸塩

【2949】

【表167】

No. 283

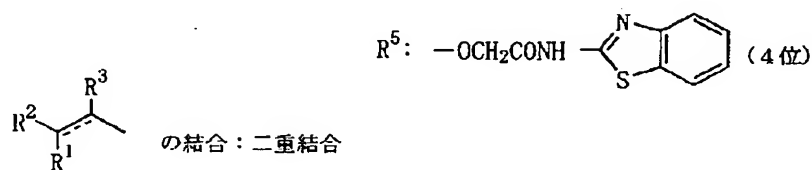
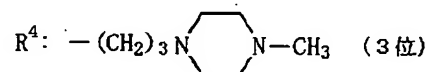
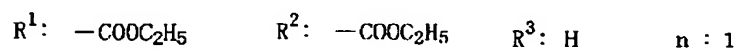


結晶形：黄色不定形

NMR (63)

形態：遊離

No. 284



結晶形：淡黄色粉末状

融点：208-210℃

再結晶溶媒：エタノール-水

形態：2塩酸塩

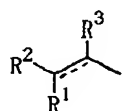
【2950】

【表168】

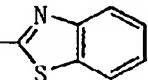
No. 285

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N} \begin{cases} \text{CH}_3 \\ (\text{CH}_2)_2\text{N}(\text{CH}_3)_2 \end{cases}$  (3位)



の結合: 二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形: 淡黄色粉末状


融点: 223-226℃

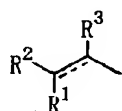
再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 2塩酸塩

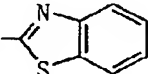
No. 286

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N} \begin{cases} \text{CH}_3 \\ (\text{CH}_2)_2 \end{cases}$   (3位)



の結合: 二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形: 白色粉末状

融点: 130-132℃

形態: 3塩酸塩


再結晶溶媒: エタノール-ジクロロメタン-ジエチルエーテル-水

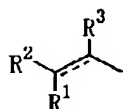
【2951】

【表169】

No. 287

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$      $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$      $R^3$ : H     $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)     $R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



の結合: 二重結合


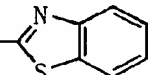
NMR (64)

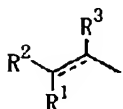
形態: 2塩酸塩

結晶形: 黄色粉末状

No. 288

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$      $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$      $R^3$ : H     $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}$   (3位)     $R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点:  $172-174^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 2塩酸塩

【2952】

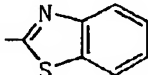
【表170】

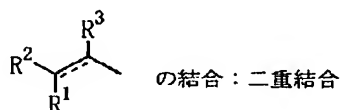


No. 289

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_5\text{CONH}$   (4位)




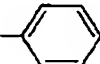
結晶形：淡黄色板状

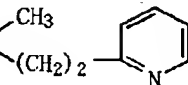
融点：164-166℃

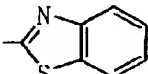
再結晶溶媒：エタノール

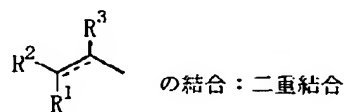
形態：遊離

No. 290

$R^1$ :        $R^2$ :  $-\text{CO}-$         $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N}$   (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



結晶形：淡黄色不定形

NMR (65)

形態：遊離

【2953】

【表171】

No. 291

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{CH}_2\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ \diagdown \quad \diagup \end{array} \text{N}-\text{CH}_3$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{CONH}-\begin{array}{c} \text{N} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{S} \end{array} \text{C}_6\text{H}_4$  (4位)

$\begin{array}{c} R^3 \\ \diagup \quad \diagdown \\ R^2 \quad R^1 \end{array}$  の結合: 二重結合

結晶形: 黄色粉末状

融点:  $142-144^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール

形態: 2塩酸塩

No. 292

$R^1$ :  $-\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ \diagdown \quad \diagup \end{array} \text{N}$        $R^2$ :  $-\text{CO}-\text{C}_6\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ \diagdown \quad \diagup \end{array} \text{N}-\text{CH}_3$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}-\begin{array}{c} \text{N} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{S} \end{array} \text{C}_6\text{H}_4$  (4位)

$\begin{array}{c} R^3 \\ \diagup \quad \diagdown \\ R^2 \quad R^1 \end{array}$  の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $206-209^\circ\text{C}$

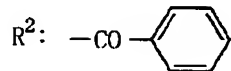
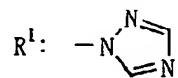
再結晶溶媒: エタノール-ジエチルエーテル-水

形態: 3塩酸塩

【2954】

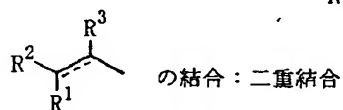
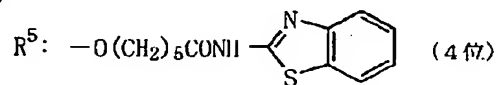
【表172】

No. 293



$R^3: H \quad n: 1$

$R^4: -CH_2N(C_2H_5)_2 \quad (3 \text{ 位})$



結晶形: 黄色不定形

NMR (66)

形態: 遊離

No. 294

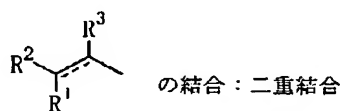
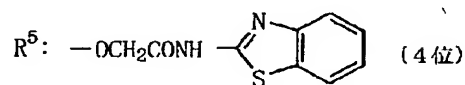
$R^1: -COOC_2H_5$

$R^2: -COOC_2H_5$

$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



結晶形: 白色鱗片状

融点: 183-184.5°C

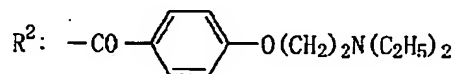
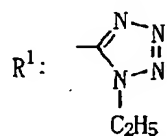
再結晶溶媒: エタノール

形態: 遊離

【2955】

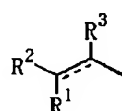
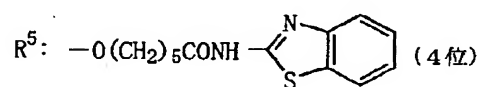
【表173】

No. 295



$R^3: \text{H}$

$R^4: -\text{CH}_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)  $n: 1$



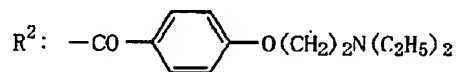
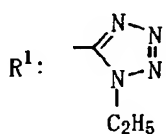
の結合：二重結合

結晶形：黄色不定形

NMR (67)

形態：遊離

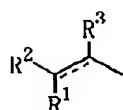
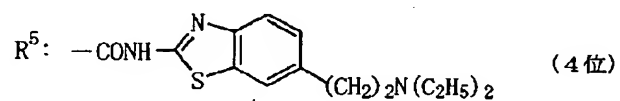
No. 296



$R^3: \text{H}$

$R^4: \text{H}$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色不定形

NMR (68)

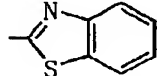
形態：6塩酸塩

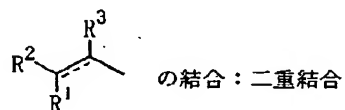
【2956】

【表174】

No. 297

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{OCH}_3$  (3位)       $R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



結晶形：白色針状

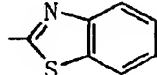
融点：136-137℃

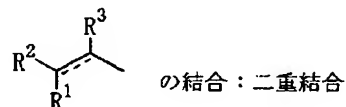
再結晶溶媒：エタノール

形態：遊離

No. 298

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{OCH}_3$  (3位)       $R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



結晶形：黄色粉末状

融点：140-141℃

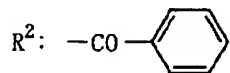
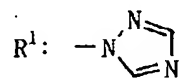
再結晶溶媒：エタノール

形態：遊離

【2957】

【表175】

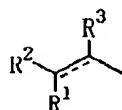
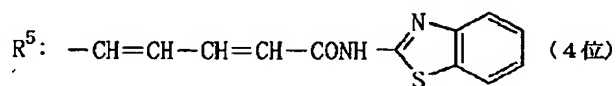
No. 299



$R^3: H$

$R^4: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

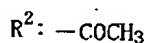
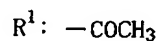
結晶形：淡黄色粉末状

融点：159-162℃

再結晶溶媒：クロロホルム-ジエチルエーテル

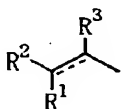
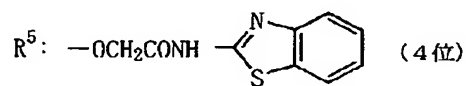
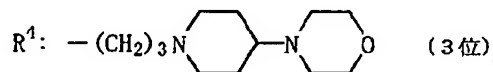
形態：遊離

No. 300



$R^3: H$

$n: 1$



の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：233-235℃

再結晶溶媒：エタノール-水

形態：3塩酸塩

【2958】

【表176】

No. 301

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n : 1$

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ \text{---} \quad \text{---} \\ \diagdown \quad \diagup \end{array} \text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH} \begin{array}{c} \text{N} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{---} \quad \text{---} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{S} \end{array}$  (4位)

$\begin{array}{c} R^3 \\ \diagup \quad \diagdown \\ R^2 \quad \text{C} = \text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ R^1 \end{array}$  の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：242-244℃

再結晶溶媒：エタノール-水

形態：3塩酸塩

No. 302

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n : 1$

$R^4$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (2位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH} \begin{array}{c} \text{N} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{---} \quad \text{---} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{S} \end{array}$  (4位)

$\begin{array}{c} R^3 \\ \diagup \quad \diagdown \\ R^2 \quad \text{C} = \text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ R^1 \end{array}$  の結合：二重結合

結晶形：淡黄色粉末状

融点：123-125℃

再結晶溶媒：メタノール-ジエチルエーテル

形態：3塩酸塩

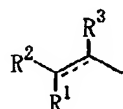
【2959】

【表177】

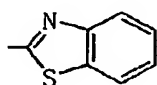
No. 303

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_2\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (2位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

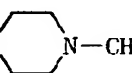
結晶形：淡黄色粉末状

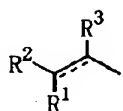
融点：191-193℃

再結晶溶媒：エタノール-ジエチルエーテル      形態：2塩酸塩

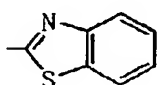
No. 304

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCl}$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_3\text{N}$    $\text{N}-\text{CH}_3$  (2位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形：ベージュ色不定形

NMR (69)

形態：4塩酸塩

【2960】

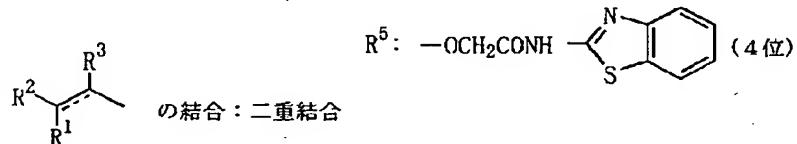
【表178】



No. 305

$R^1$ :  $-\text{CO}(\text{CH}_2)_2\text{CH}_3$        $R^2$ :  $-\text{CO}(\text{CH}_2)_2\text{CH}_3$        $R^3$ : H

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N} \begin{array}{c} \diagup \quad \diagdown \\ | \quad | \\ \text{N} \quad \text{N} \end{array} \text{---CH}_3$  (3位)       $n$ : 1



結晶形: 白色粉末状

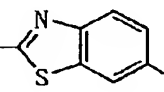
融点:  $188-192.5^\circ\text{C}$

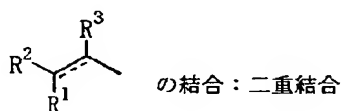
再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 3塩酸塩

No. 306

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H

$R^4$ : H       $n$ : 1       $R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $154-155^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2961】

【表179】

No. 307

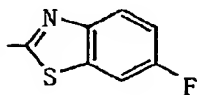
$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

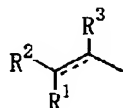
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $158-159^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

No. 308

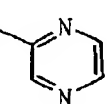
$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

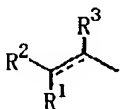
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $134-135^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

【2962】

【表180】

No. 309

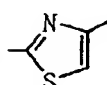
$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

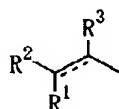
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点: 112-113°C

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

No. 310

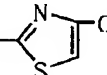
$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

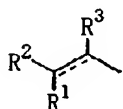
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点: 113-114°C

再結晶溶媒: ジエチルエーテル-n-ヘキサン

形態: 遊離

【2963】

【表181】

No. 311

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

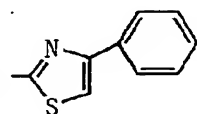
$R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

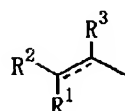
$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$



(4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点:  $119-120^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル

形態: 遊離

No. 312

$R^1$ :  $-\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$

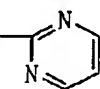
$R^2$ :  $-\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$

$R^3$ : H

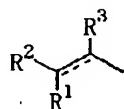
$R^4$ : H

$n$ : 1

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$



(4位)



の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

融点:  $156-157^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: クロロホルム-ジエチルエーテル


形態: 遊離

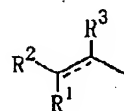
【2964】

【表182】

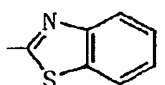
No. 313

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_3\text{N}$   (2位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形：ベージュ色粉末状

融点：194-196℃

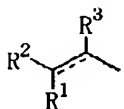
再結晶溶媒：メタノール-ジエチルエーテル

形態：2.5塩酸塩

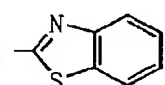
No. 314

$R^1$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{COOC}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_4\text{N}$    $\text{N}-\text{CH}_3$  (3位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形：白色粉末状

融点：160-164℃

再結晶溶媒：エタノール

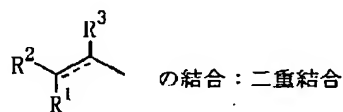
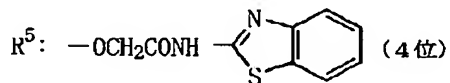
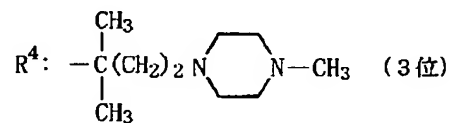
形態：3塩酸塩

【2965】

【表183】

No. 315

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1



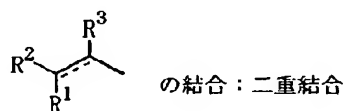
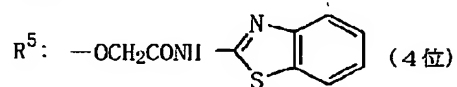
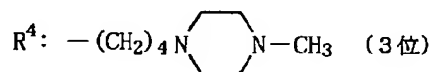
結晶形: 白色針状      融点:  $205-210^\circ\text{C}$       形態: 3塩酸塩

再結晶溶媒: エタノール-水

NMR (73)

No. 316

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1



結晶形: 白色粉末状

融点:  $177.5-182^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 3塩酸塩

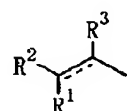
【2966】

【表184】

No. 317

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-\text{O}(\text{CH}_2)_2 \text{N} \begin{array}{c} \diagup \diagdown \\ \diagdown \diagup \end{array} \text{N}-\text{CH}_3$  (2位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$  (4位)

結晶形：淡黄色粉末状

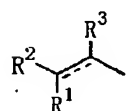
融点：166-168℃

再結晶溶媒：メタノール-ジエチルエーテル      形態：4塩酸塩

No. 318

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3 \text{N} \begin{array}{c} \diagup \diagdown \\ \diagdown \diagup \end{array} \text{CH}_2-\text{N} \begin{array}{c} \diagup \diagdown \\ \diagdown \diagup \end{array}$  (3位)



の結合：二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$  (4位)

結晶形：淡黄色粉末状

融点：142-145℃

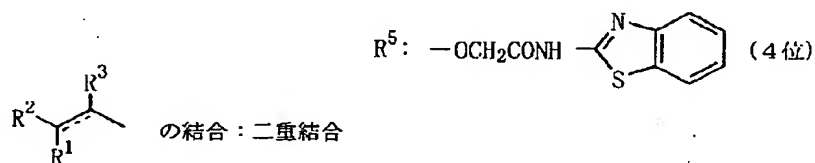
再結晶溶媒：エタノール-ジエチルエーテル-水      形態：3塩酸塩

【2967】

【表185】

No. 319

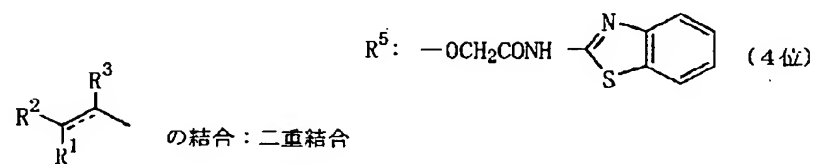
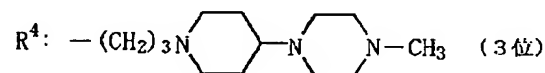
$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1



結晶形: 淡黄色粉末状      NMR (70)      形態: 3 塩酸塩

No. 320

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n : 1



結晶形: 淡黄色粉末状      融点: 191-194℃

再結晶溶媒: エタノール-ジエチルエーテル-水      形態: 4 塩酸塩

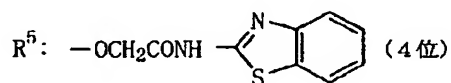
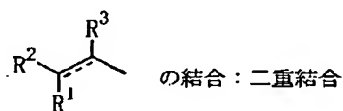
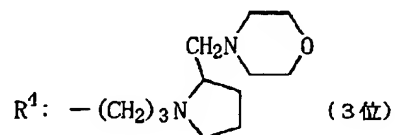
【2968】

【表186】



No. 321

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $146-149^\circ\text{C}$

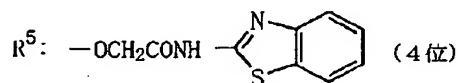
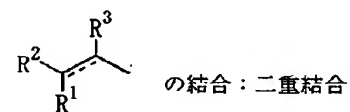
再結晶溶媒: エタノール

形態: 2塩酸塩

No. 322

$R^1$ :  $-\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_4\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)



結晶形: 黄色粉末状

融点:  $83.5-85.5^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール

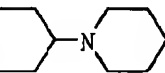
形態: 塩酸塩

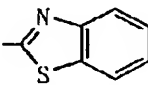
【2969】

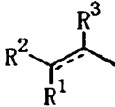
【表187】

No. 323

$R^1$ :  $-\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$        $R^2$ :  $-\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_4\text{N}$   (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

 の結合: 二重結合

結晶形: 白色粉末状

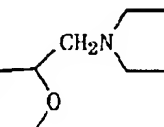
融点:  $188-192.5^\circ\text{C}$

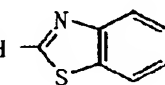
再結晶溶媒: エタノール

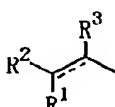
形態: 3 塩酸塩

No. 324

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N}$   (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

 の結合: 二重結合

結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $229-232^\circ\text{C}$

形態: 2 塩酸塩

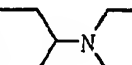
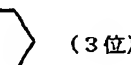
再結晶溶媒: エタノール-ジエチルエーテル-水

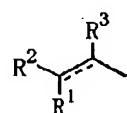
【2970】

【表188】

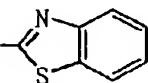
No. 325

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n: 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_4\text{N}$    $-(\text{CH}_2)_4\text{N}$   (3位)



の結合: 二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形: 白色粉末状


融点: 199.5-204.2℃

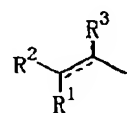
再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 3塩酸塩

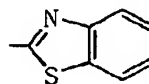
No. 326

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n: 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_3\text{N}$    $\text{N}-\text{CH}_3$  (3位)



の結合: 二重結合

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)

結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 208-212℃ (分解)

再結晶溶媒: エタノール-水

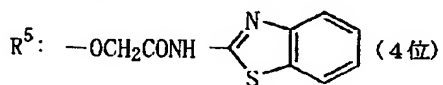
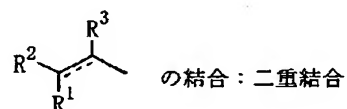
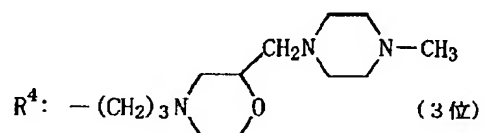
形態: 2塩酸塩

【2971】

【表189】

No. 327

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状

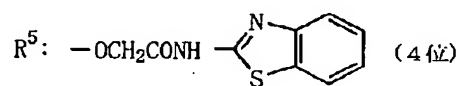
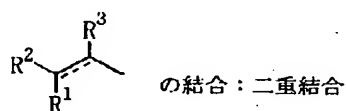
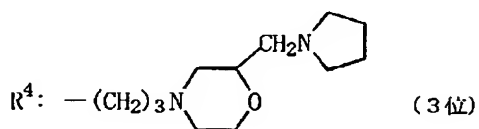
融点:  $172-174^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 4塩酸塩

No. 328

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H       $n$ : 1



結晶形: 淡黄色粉末状

融点:  $245-248^\circ\text{C}$

再結晶溶媒: エタノール-水

形態: 2塩酸塩

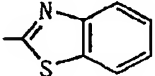
【2972】

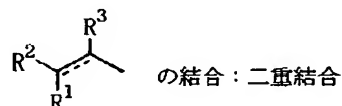
【表190】

No. 329

$R^1$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^2$ :  $-\text{COCH}_3$        $R^3$ : H      n: 1

$R^4$ :  $-(\text{CH}_2)_4\text{N}(\text{C}_2\text{H}_5)_2$  (3位)

$R^5$ :  $-\text{OCH}_2\text{CONH}$   (4位)



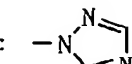
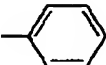
結晶形: 淡黄色粉末状

融点: 90-93.5°C

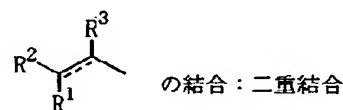
再結晶溶媒: エタノール-水-ジエチルエーテル

形態: 塩酸塩

No. 330

$R^1$ :        $R^2$ :  $-\text{CO}-$         $R^3$ : H

$R^4$ : H      n: 1       $R^5$ :  $-\text{COOH}$  (4位)



結晶形: 黄色粉末状

NMR (71)

形態: 遊離

【2973】表26~表190に記載の各化合物のNMRスペクトルは、以下の通りである。

【2974】(1)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.48-2.55 (2H, m)、2.9-3.1 (2H, m)、6.92-7.07 (4H, m)、7.25-7.50 (2H, m)、7.59-7.79 (7H, m)、7.99 (1H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、8.29 (1H, s)、8.71 (1H, s)、10.51 (1H, s)、12.65 (1H, s)。

【2975】(2)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm

m: 1.21-1.31 (3H, m)、2.6-2.8 (2H, m)、2.8-3.05 (2H, m)、3.85-4.2 (2H, m)、6.65 (1H, d,  $J=15.6\text{Hz}$ )、6.85-7.15 (4H, m)、7.15-7.75 (9H, m)、7.75-8.10 (4H, m)。

【2976】(3)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.65-2.8 (2H, m)、2.85-3.05 (2H, m)、3.39 (3H, s)、6.65 (1H, d,  $J=16.5\text{Hz}$ )、6.8-7.1 (3H,

m)、7.2-7.65 (10H, m)、7.75-8.0 (3H, m)。

【2977】(4)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.31 (6H, s)、3.24 (3H, s)、6.62 (1H, d,  $J=16\text{Hz}$ )、7.0 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.44 (1H, d,  $J=16\text{Hz}$ )、7.51-7.69 (5H, m)、7.78 (3H, dd,  $J=8.4\text{Hz}$ ,  $J=6.8\text{Hz}$ )、8.29 (1H, s)、8.74 (1H, s)、10.65 (1H, s)。

【2978】(6)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.50 (3H, s)、5.25 (2H, s)、6.88 (1H, s)、7.04-7.19 (5H, m)、7.26-7.57 (5.5H, m)、7.74-7.95 (5.5H, m)。

【2979】(7)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.203 (3H, s)、6.97-7.05 (2H, m)、7.20-7.60 (4H, m)、7.65-7.90 (8H, m)、8.0 (1H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、9.0-9.05 (1H, br)、10.6 (1H, s)、12.7 (1H, s)。

【2980】(8)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 6.8 (1H, d,  $J=9\text{Hz}$ )、7.02 (2H, d,  $J=8.6\text{Hz}$ )、7.21 (2H, d,  $J=8.3\text{Hz}$ )、7.35-8.0 (8H, m)、8.24 (2H, d,  $J=8.3\text{Hz}$ )、9.23 (1H, s)。

【2981】(9)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.54 (3H, s)、3.83 (3H, s)、3.93 (3H, s)、5.34 (2H, s)、7.00-7.62 (9H, m)、7.73-8.04 (4H, m)。

【2982】(10)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.78 (3H, s)、6.95 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.22 (2H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、7.29 (1H, d,  $J=3.4\text{Hz}$ )、7.56 (1H, d,  $J=3.4\text{Hz}$ )、7.86 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.98 (1H, s)、8.01 (2H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、10.61 (1H, s)、12.70 (1H, s)。

【2983】(11)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.85 (3H, s)、3.03 (3H, s)、3.80 (2H, s)、6.96 (1H, d,  $J=16.5\text{Hz}$ )、7.03 (2H, d,  $J=9\text{Hz}$ )、7.1-7.85 (14H, m)、7.99 (1H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、12.63 (1H, s)。

【2984】(12)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.79 (3H, s)、3.84 (3H, s)、6.76-8.15 (12H, m)、10.30 (1H, s)、12.87 (1H, br s)。

【2985】(13)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.79 (3H, s)、3.84 (3H, s)、6.66-8.13 (10H, m)、10.31 (1H, s)、12.63 (1H, br s)。

【2986】(14)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.8 (3H, s)、6.75-7.8 (12H, m)、7.9-8.1 (3H, m)、10.17 (1H, s)、12.8-13.0 (1H, br)。

【2987】(15)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ +DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.32 (3H, s)、3.50 (3H, s)、5.26 (2H, s)、7.0-7.2 (6H, m)、7.25-7.5 (2H, m)、7.58 (1H, s)、7.75-7.9 (4H, m)、8.10 (2H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、12.54 (1H, br)。

【2988】(16)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 0.56-0.95 (3H, m)、0.95-1.36 (2H, m)、1.36-1.94 (2H, m)、3.96-4.53 (2H, m)、6.62-8.12 (15H, m)、10.60 (1H, s)、12.66 (1H, s)。

【2989】(17)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.46 (1.4H, s)、3.54 (1.6H, s)、3.92 (1.4H, s)、3.93 (1.6H, s)、5.25 (0.87H, s)、5.33 (1.13H, s)、7.0-7.7 (10H, m)、7.85-7.80 [全3H, 7.85 (d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、7.91 (d,  $J=8.5\text{Hz}$ )], 8.08-8.26 [全2H, 8.08 (s), 8.15 (s), 8.17 (s), 8.26 (s)]。

【2990】(18)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.40 (3H, s)、3.82 (3H, s)、5.29 (2H, s)、6.96 (1H, d,  $J=16\text{Hz}$ )、7.07 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.2 (1H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.3-7.5 (5H, m)、7.61 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.71-7.76 (2H, m)、7.99 (1H, d,  $J=7.8\text{Hz}$ )、8.3 (1H, s)、8.73 (1H, s)、12.6 (1H, s)。

【2991】(19)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.79 (s)、3.81 (s) [全3H]、6.77 (0.6H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、6.91 (0.6H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.16 (0.6H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.25-7.60 (5.5H, m)、7.7 (2H, d,  $J=13.6\text{Hz}$ )、8.0-8.15 (3H, m)、8.15 (0.5H, s)、8.27 (0.5H, s)、8.71 (0.4H, s)、9.12 (0.54H, s)、10.2 (0.53H, s)、10.38 (0.5H, s)、12.7-13.0 (1H, br)。

【2992】(20)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.79 (s)、3.80 (s) [全3H]、6.75-7.07、7.26-7.78 [全13H, m]、8.0 (1H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、8.14 (0.2H, s)、8.29 (0.8H, s)、8.71 (0.8H, s)、9.11 (0.2H, s)、10-10.5 (1H, br)、12.64 (1H, s)。

【2993】(21)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.81 (3H, s)、3.83 (3H, s)、3.89 (3H, s)、6.90-7.24 (4H, m)、7.24-7.88 (8H, m)、7.95-8.09 (2H, m)、12.67 (1H, s)。

【2994】(22)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.36 (3H, m)、4.39 (2H, m)、5.00 (2H, m)、6.2-8.3 (18H, m)。

【2995】(23)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.30 (3H, s)、3.82 (3H, s)、7.1-7.35 (3H, m)、7.35-7.60 (6H, m)、7.60-7.85 (3H, m)、7.90-8.10 (3H, m)。

【2996】(24)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 4.26 (2H, d,  $J=6\text{Hz}$ )、5.52 (1H, br)、6.40 (1H, dt,  $J=16\text{Hz}$ ,  $J=6\text{Hz}$ )、6.58 (1H, d,  $J=16\text{Hz}$ )、6.85 (2H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、7.0-7.7 (10H, m)、7.81 (2H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、8.16 (1H, s)、8.20 (1H, s)。

【2997】(25)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.37, 1.47 [全3H, 1.37 (t,  $J=6\text{Hz}$ ), 1.47 (t,  $J=6\text{Hz}$ )], 2.29, 2.36 [全3H, 2.29 (s), 2.36 (s)], 4.11, 4.3 [全2H, 4.11 (q,  $J=6\text{Hz}$ ), 4.3 (q,  $J=6\text{Hz}$ )], 6.67, 6.96, 7.3-7.5, 7.7-8.1 [全16H, m, 6.67 (d,  $J=12\text{Hz}$ ), 6.96 (d,  $J=7\text{Hz}$ )]。

【2998】(26)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 2.17 (6H, s)、2.6 (2H, t,  $J=5.6\text{Hz}$ )、4.1 (2H, t,  $J=5.6\text{Hz}$ )、6.9 (2H, d,  $J=8.8\text{Hz}$ )、7.25-7.50 (4H, m)、7.65-7.8 (2H, m)、7.87 (2H, d,  $J=8.8\text{Hz}$ )、7.97-8.04 (3H, m)、8.15 (1H, s)、9.18 (1H, s)、12.2-13.5 (1H, br)。

【2999】(27)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.37 (3H, t,  $J=7.3\text{Hz}$ )、3.56 (3H, s)、3.93 (3H, s)、4.13 (2H, q,  $J=7.3\text{Hz}$ )、5.34 (2H, s)、

7.03-8.22 (13H, m)。

【3000】(28)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.05-1.60 (3H, m)、3.72-4.00 (3H, m)、4.05-4.67 (2H, m)、6.75-8.80 (12H, m)、10.31 (1H, brs)、12.70 (1H, brs)。

【3001】(29)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.14 (3H, t,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.71 (2H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、3.72 (3H, s)、6.90-8.10 (9H, m)。

【3002】(30)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.61 (3H, s)、3.82 (3H, s)、3.86 (6H, s)、5.23 (2H, s)、7.03-7.47 (5H, m)、7.13 (2H, s)、7.77-8.03 (4H, m)。

【3003】(31)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 3.72 (3H, s)、3.80 (3H, s)、3.83 (3H, s)、7.18 (1H, s)、7.20 (1H, s)、7.23-7.63 (4H, m)、7.73-8.20 (5H, m)、9.64 (1H, brs)。

【3004】(32)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.70-2.20 (3H, m)、2.20-2.45 (1H, m)、3.48 (2H, q,  $J=6.5\text{Hz}$ )、5.06 (1H, d,  $J=14.8\text{Hz}$ )、5.20-5.32 (1H, m)、7.10 (1H, dd,  $J=8.6\text{Hz}$ ,  $J=10.8\text{Hz}$ )、7.23-7.60 (7H, m)、7.78 (1H, d,  $J=8.2\text{Hz}$ )、8.04 (3H, t,  $J=7.8\text{Hz}$ )、8.30-8.41 (3H, m)、12.95 (1H, s)。

【3005】(33)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 4.34 (1H, dd,  $J=3\text{Hz}$ ,  $J=7\text{Hz}$ )、5.00 (1H, dd,  $J=3\text{Hz}$ ,  $J=7\text{Hz}$ )、5.60 (1H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、5.69 (1H, d,  $J=7\text{Hz}$ )、6.90 (1H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、7.25-8.1 (14H, m)、8.08, 8.27 (1H, s)、8.70, 9.16 (1H, s)、11.84 (1H, br)。

【3006】(34)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.37 (9H, s)、2.99 (2H, t,  $J=6.0\text{Hz}$ )、3.25 (2H, t,  $J=6.0\text{Hz}$ )、6.80-6.97 (1H, br)、7.11 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.30-7.40 (1H, m)、7.40-7.53 (1H, m)、7.78 (1H, d,  $J=7.6\text{Hz}$ )、8.03 (3H, t,  $J=6.2\text{Hz}$ )、8.19 (1H, s)、8.31 (1H, s)、8.60 (1H, s)、12.93 (1H, s)。

【3007】(35)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$

ppm: 1.32, 1.44 (9H, 各s)、1.65-2.10, 2.15-2.45 (全4H, m)、3.39 (2H, t, J=7.0Hz)、5.08-5.22, 5.32-5.40 (全1H, m)、7.11 (2H, d, J=8.4Hz)、7.29-7.40 (1H, m)、7.40-7.53 (1H, m)、7.78 (1H, d, J=8.0Hz)、8.04 (3H, t, J=8.4Hz)、8.30-8.42 (2H, m)、8.65 (1H, d, J=4.8Hz)、12.95 (1H, s)。

【3008】(36)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.20-1.56 (6H, m)、3.54 (3H, s)、4.03-4.23 (4H, m)、5.32 (2H, m)、7.00-8.00 (13H, m)。

【3009】(37)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.31-1.55 (6H, m)、4.06-4.43 (4H, m)、6.75-8.11 (12H, m)。

【3010】(38)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.37 (3H, t, J=7.4Hz)、1.41 (3H, s)、1.48 (3H, s)、3.89-4.24 (6H, m)、4.4-4.6 (1H, m)、6.56 (1H, d, J=15.6Hz)、6.88 (2H, d, J=8.4Hz)、7.0 (2H, d, J=8.8Hz)、7.17 (2H, d, J=8Hz)、7.35-7.55 (2H, m)、7.67 (1H, s)、7.71-7.79 (2H, m)、7.89-8.0 (3H, m)。

【3011】(39)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.37 (3H, t, J=7.4Hz)、2.4-2.7 (6H, m)、3.7-3.85 (4H, m)、4.05-4.25 (5H, m)、6.56 (1H, d, J=15.6Hz)、6.9 (2H, d, J=8.5Hz)、7.0 (2H, d, J=8.8Hz)、7.2-7.26 (3H, m)、7.35-7.55 (2H, m)、7.68-7.80 (2H, m)、7.92 (3H, d, J=8.8Hz)、11.6-12.0 (1H, br)。

【3012】(40)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.37 (3H, t, J=7.2Hz)、2.75-2.85 (1H, m)、2.95-3.0 (1H, m)、3.35-3.5 (1H, m)、3.95-4.15 (1H, m)、4.13 (2H, q, J=7.2Hz)、4.3-4.45 (1H, m)、6.65 (1H, d, J=13.5Hz)、6.9 (2H, d, J=8.2Hz)、7.02 (2H, d, J=8.8Hz)、7.2 (2H, d, J=8.2Hz)、7.35-7.55 (2H, m)、7.68-7.8 (3H, m)、7.92 (3H, d, J=8.8Hz)、11.9-12.0 (1H, br)。

【3013】(41)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.21 (3H, t, J=7.2Hz)、3.4-3.55 (2H, m)、3.75-4.2 (5H, m)、6.98 (1H, d, J=15.8Hz)、7.10-7.16 (4H, m)、7.3 (1H, t, J=7.2Hz)、7.44 (1H, t, J=7.0Hz)、7.62 (2H, d, J=8.2Hz)、7.71-7.78 (2H, m)、7.89-8.01 (4H, m)、12.3-13.0 (1H, br)。

【3014】(42)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.09 (6H, t, J=7.2Hz)、1.36 (3H, t, J=7.2Hz)、2.4-3.85 (7H, m)、3.7-4.25 (5H, m)、6.59 (1H, d, J=15.5Hz)、6.89 (2H, d, J=8.5Hz)、6.92 (2H, d, J=9Hz)、7.2 (2H, d, J=8.5Hz)、7.3-7.5 (3H, m)、7.65-7.85 (3H, m)、7.89-8.0 (3H, m)。

【3015】(43)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.96-1.43 (3H+0.5 $\times$ 3H, m)、1.60 (0.5 $\times$ 3H, t, J=7.2Hz)、2.10-2.42 (2H, m)、3.44 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.49 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.83 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.93 (0.5 $\times$ 3H, s)、4.02-4.31 (2H, m)、4.98 (1H, d, J=11.4Hz)、5.24 (0.5 $\times$ 2H, s)、5.30 (0.5 $\times$ 2H, s)、5.67 (0.5 $\times$ 1H, d, J=11.4Hz)、5.70 (0.5 $\times$ 1H, d, J=11.4Hz)、6.98-8.19 (11H, m)、11.68 (1H, br s)。

【3016】(44)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.04-1.14 (3H, m)、2.12-2.43 (2H, m)、3.81 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.88 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.90 (0.5 $\times$ 3H, s)、4.24 (0.5 $\times$ 3H, s)、4.96 (0.5 $\times$ 1H, d, J=11.3Hz)、5.02 (0.5 $\times$ 1H, d, J=11.3Hz)、5.75 (0.5 $\times$ 1H, d, J=11.3Hz)、5.78 (0.5 $\times$ 1H, d, J=11.3Hz)、6.82 (0.5 $\times$ 2H, d, J=9.0Hz)、6.96 (0.5 $\times$ 2H, d, J=9.0Hz)、7.20-7.65 (5H, m)、7.80-8.03 (4H, m)、8.14 (1H, d, J=9.0Hz)、11.47 (1H, br s)。

【3017】(45)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.07 (0.5 $\times$ 3H, t, J=7.3Hz)、1.10 (0.5 $\times$ 3H, t, J=7.3Hz)、2.05-2.44 (2H, m)、3.41 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.47 (0.5 $\times$ 3H, s)、3.89



(0.5×3H, s)、4.23 (0.5×3H, s)、4.96 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.01 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.17 (0.5×2H, s)、5.24 (0.5×2H, s)、5.75 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.78 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、6.97 (0.5×2H, d, J=8.9Hz)、7.10 (0.5×2H, d, J=8.9Hz)、7.16-7.37 (3H, m)、7.40 (0.5×2H, d, J=8.3Hz)、7.53 (0.5×2H, d, J=8.3Hz)、7.87-8.03 (4H, m)、8.13 (1H, d, J=9.0Hz)、11.82 (1H, brs)。

【3018】(46) <sup>1</sup>H-NMR (DMSO-d<sub>6</sub>) δ ppm: 0.93 (0.5×3H, t, J=7.4Hz)、1.03 (0.5×3H, t, J=7.4Hz)、2.10-2.55 (2H, m)、3.96 (0.5×3H, s)、4.40 (0.5×3H, s)、4.86 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、4.95 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、6.10 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、6.14 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、6.79 (0.5×2H, d, J=8.7Hz)、6.94 (0.5×2H, d, J=8.7Hz)、7.22-8.28 (11H, m)、10.70 (1H, brs)。

【3019】(47) <sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ ppm: 2.42, 2.58 (各1.5H, 3H, t, J=5.6Hz)、3.41, 3.44 (各1.5H, 3H, s)、3.53-3.84 (2H, m)、3.87, 4.21 (各1.5H, 3H, s)、5.09 (0.5H, d, J=11.3Hz)、5.16、5.23 (各1H, s)、5.24 (0.5H, d, J=11.7Hz)、5.78 (0.5H, d, J=11.7Hz)、5.86 (0.5H, d, J=11.3Hz)、6.95 (1H, d, J=9.0Hz)、7.08 (1H, d, J=9.0Hz)、7.20-7.64 (5H, m)、7.79-8.00 (4H, m)、8.13 (1H, d, J=9.0Hz)。

【3020】(48) <sup>1</sup>H-NMR (DMSO-d<sub>6</sub>) δ ppm: 2.18-2.40 (1H, m)、2.45-2.70 (1H, m)、3.20-3.50 (3H, m)、4.77 (1H, q, J=4.6Hz)、4.97 (1H, t, J=12.2Hz)、6.85-7.15 (2H, m)、7.20-7.85 (10H, m)、7.90-8.10, 8.20-8.37 (全4H, m)、8.66, 8.96 (1H, 各s)、12.59 (1H, s)。

【3021】(49) <sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ ppm: 1.07 (0.5×3H, t, J=7.4Hz)、

1.12 (0.5×3H, t, J=7.4Hz)、1.34 (0.5×3H, t, J=7.3Hz)、1.61 (0.5×3H, t, J=7.3Hz)、2.12-2.43 (2H, m)、3.40 (0.5×3H, s)、3.47 (0.5×3H, s)、4.13-4.65 (2H, m)、4.93 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、4.96 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.16 (0.5×2H, s)、5.24 (0.5×2H, s)、5.77 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.82 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、6.56 (0.5×1H, d, J=15.6Hz)、6.60 (0.5×1H, d, J=15.6Hz)、6.97 (0.5×2H, d, J=9.0Hz)、7.11 (0.5×2H, d, J=9.0Hz)、7.20-8.04 (10H, m)、8.20 (1H, d, J=8.9Hz)、12.13 (1H, brs)。

【3022】(50) <sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ ppm: 1.07 (0.5×3H, t, J=7.3Hz)、1.10 (0.5×3H, t, J=7.3Hz)、1.34 (0.5×3H, t, J=7.4Hz)、1.61 (0.5×3H, t, J=7.4Hz)、2.23 (0.5×2H, q, J=7.3Hz)、2.38 (0.5×2H, q, J=7.3Hz)、4.13-4.68 (2H, m)、4.94 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、4.97 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.73 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、5.78 (0.5×1H, d, J=11.2Hz)、6.55 (0.5×1H, d, J=15.6Hz)、6.61 (0.5×1H, d, J=15.6Hz)、6.80 (0.5×2H, d, J=8.7Hz)、6.93 (0.5×2H, d, J=8.7Hz)、7.16-8.16 (12H, m)、10.02 (1H, s)。

【3023】(51) <sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ ppm: 1.26 (0.5×3H, t, J=7.2Hz)、1.27 (0.5×3H, t, J=7.2Hz)、2.36-2.67 (2H, m)、3.57-3.83 (2H, m)、4.12 (2H, q, J=7.2Hz)、5.12 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、5.20 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、5.72 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、5.75 (0.5×1H, d, J=11.4Hz)、7.23-8.23 (13H, m)。

【3024】(52) <sup>1</sup>H-NMR (DMSO-d<sub>6</sub>) δ ppm: 1.05-1.30 (6H, m)、2.55-3.40 (9H, m)、5.11 (1H, t, J=11.4Hz)、7.05-8.35 (14H, m)、8.68, 9.04 (1H, 各s)、9.90-10.30 (1H, br)、12.40-13.20 (1H,

br)。

【3025】(53)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.28 (3H, t,  $J=7.0\text{Hz}$ )、2.37 (3H, s)、4.32 (2H, q,  $J=7.0\text{Hz}$ )、7.12 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.28-7.40 (1H, m)、7.42-7.53 (1H, m)、7.78 (1H, d,  $J=7.6\text{Hz}$ )、7.95-8.15 (3H, m)、8.42 (1H, s)、12.99 (1H, s)。

【3026】(54)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.09 (6H, t,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.67 (4H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.92 (2H, t,  $J=6.1\text{Hz}$ )、3.82 (3H, s)、4.14 (2H, t,  $J=6.1\text{Hz}$ )、6.99 (2H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )、7.12 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.26-7.60 (3H, m)、7.71 (1H, s)、7.80-8.00 (5H, m)。

【3027】(55)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 0.88-1.12 (3H, m)、1.12-1.37 (6H, m)、2.08-2.54 (2H, m)、3.00-3.33 (4H, m)、3.37-3.63 (2H, m)、3.86-4.64 (5H, m)、4.87 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.4\text{Hz}$ )、4.96 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.4\text{Hz}$ )、6.18 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.4\text{Hz}$ )、6.24 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.4\text{Hz}$ )、7.04 (0.5 $\times$ 2H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )、7.18 (0.5 $\times$ 2H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )、7.27-7.56 (2H, m)、7.67-8.22 (7H, m)、8.28 (1H, d,  $J=9.0\text{Hz}$ )、10.43 (1H, br s)。

【3028】(56)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.22 (3H, t,  $J=7.3\text{Hz}$ )、4.13 (2H, q,  $J=7.3\text{Hz}$ )、7.19 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.34 (1H, t,  $J=7.5\text{Hz}$ )、7.47 (1H, t,  $J=7.5\text{Hz}$ )、7.69 (2H, d,  $J=6.2\text{Hz}$ )、7.78 (1H, d,  $J=7.5\text{Hz}$ )、8.02 (1H, d,  $J=7.5\text{Hz}$ )、8.08 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、8.29 (1H, s)、8.52 (2H, d,  $J=6.2\text{Hz}$ )、10.88 (1H, s)、12.97 (1H, br s)。

【3029】(57)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.96-1.21 (9H, m)、1.21-1.44 (3H, m)、2.17-2.47 (2H, m)、2.58 (0.5 $\times$ 4H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.63 (0.5 $\times$ 4H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.82 (0.5 $\times$ 2H, t,  $J=6.1\text{Hz}$ )、2.88 (0.5 $\times$ 2H, t,  $J=6.1\text{Hz}$ )、4.02 (0.5 $\times$ 2H, t,  $J=6.1\text{Hz}$ )、4.10

(0.5 $\times$ 2H, t,  $J=6.1\text{Hz}$ )、4.18-4.63 (2H, m)、4.92 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.3\text{Hz}$ )、4.96 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.3\text{Hz}$ )、5.77 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.3\text{Hz}$ )、5.86 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.3\text{Hz}$ )、6.56 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.3\text{Hz}$ )、6.61 (0.5 $\times$ 1H, d,  $J=11.3\text{Hz}$ )、6.82 (0.5 $\times$ 2H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )、6.96 (0.5 $\times$ 2H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )、7.15-7.51 (5H, m)、7.67-8.05 (5H, m)、8.21 (1H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )。

【3030】(58)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 1.34 (3H, t,  $J=7.3\text{Hz}$ )、1.82 (2H, quint,  $J=6.9\text{Hz}$ )、2.24 (6H, s)、2.32 (2H, t,  $J=6.9\text{Hz}$ )、4.08 (2H, q,  $J=7.3\text{Hz}$ )、4.30 (2H, t,  $J=6.9\text{Hz}$ )、7.05 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、7.25-7.46 (3H, m)、7.83-7.93 (1H, m)、7.91 (2H, d,  $J=8.4\text{Hz}$ )、8.24 (1H, s)。

【3031】(59)  $^1\text{H}$ -NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  ppm: 1.10-1.58 (6H, m)、2.80-3.26 (4H, m)、4.26 (2H, s)、5.13 (2H, s)、6.82-8.18 (13H, m)、8.33 (1H, s)、8.80 (1H, s)。

【3032】(60)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.68 (6H, t,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.28 (4H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.64 (2H, t,  $J=6.2\text{Hz}$ )、3.68 (2H, t,  $J=6.2\text{Hz}$ )、7.06 (2H, d,  $J=8.3\text{Hz}$ )、7.26-7.64 (5H, m)、7.82-7.96 (1H, m)、7.96 (2H, d,  $J=8.3\text{Hz}$ )、8.33 (1H, s)、8.46-8.62 (2H, m)、9.09 (1H, s)。

【3033】(61) (フリー体のデータ)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.97 (6H, t,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.76 (4H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、3.55 (2H, s)、4.87 (2H, s)、6.83 (1H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、7.24-7.59 (11H, m)、7.71-7.87 (4H, m)、7.97 (2H, d,  $J=8.0\text{Hz}$ )、10.12 (1H, br)。

【3034】(62)  $^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.32 (3H, s)、2.84 (3H, s)、3.81 (3H, s)、6.71 (1H, dd,  $J=2\text{Hz}$ ,  $J=8.5\text{Hz}$ )、6.80 (1H, d,  $J=2\text{Hz}$ )、7.02 (1H, d,  $J=8.5\text{Hz}$ )、7.25-7.7 (6H, m)、7.75-7.9 (4H, m)、8.0-8.3 (2H, m)、10.15 (1

H, br)。

【3035】(63)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.79 (6H, t,  $J=7.2\text{Hz}$ )、1.12-1.35 (4H, m)、1.42-1.64 (4H, m)、2.66-2.83 (4H, m)、3.58 (2H, s)、4.90 (2H, s)、6.66-6.75 (1H, m)、6.81-7.00 (2H, m)、7.22-7.35 (1H, m)、7.35-7.68 (5H, m)、7.71-7.86 (4H, m)、8.19 (1H, s)、8.23 (1H, s)、8.33-9.53 (1H, m)。

【3036】(64)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 1.19-1.31 (12H, m)、2.9-3.3 (4H, m)、4.17-4.34 (6H, m)、5.06 (2H, s)、7.16-7.24 (2H, m)、7.57 (1H, d,  $J=8.6\text{Hz}$ )、7.63 (1H, s)、7.71 (1H, s)、7.85-8.02 (2H, m)、8.36 (1H, d,  $J=4.6\text{Hz}$ )、9.8-10.0 (1H, m)、11.22 (1H, s)。

【3037】(65)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 2.42 (3H, s)、3.08-3.27 (4H, m)、3.59 (2H, s)、4.88 (2H, s)、6.67-6.74 (1H, m)、6.74-7.16 (4H, m)、7.28-7.69 (6H, m)、7.69-7.94 (4H, m)、8.18 (1H, s)、8.21 (1H, s)、8.39-8.48 (1H, m)。

【3038】(66)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.94 (6H, t,  $J=7.1\text{Hz}$ )、1.40-1.97 (6H, m)、2.43 (4H, q,  $J=7.1\text{Hz}$ )、2.40-2.60 (2H, m)、3.43 (2H, s)、3.95 (2H, t,  $J=1.9\text{Hz}$ )、6.61-6.72 (2H, m)、7.05-7.12 (1H, m)、7.25-7.67 (6H, m)、7.71-7.89 (4H, m)、8.17 (1H, s)、8.21 (1H, s)。

【3039】(67)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.95-1.18 (12H, m)、1.32 (3H, t,  $J=7.3\text{Hz}$ )、1.40-1.61 (2H, m)、1.68-1.90 (4H, m)、2.41-2.60 (6H, m)、2.63 (4H, q,  $J=7.2\text{Hz}$ )、2.90 (2H, t,  $J=6.2\text{Hz}$ )、3.49 (2H, s)、3.89 (2H, t,  $J=6.0\text{Hz}$ )、4.01-4.21 (4H, m)、6.62-6.90 (2H, m)、6.95 (2H, d,  $J=8.9\text{Hz}$ )、7.08-7.15 (1H, m)、7.17-7.49 (2H, m)、7.67-7.77 (2H, m)、7.77-7.94 (3H, m)。

【3040】(68)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 1.15-1.40 (18H, m)、3.00-3.65、4.05-5.00 (全18H, m)、7.05-7.30、7.35-7.65、7.65-8.15 (全13H, m)、10.50-10.90 (2H, br)。

【3041】(69)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 2.22 (3H, s)、2.42 (3H, s)、2.12-2.46 (2H, m)、2.84 (3H, s)、3.25-4.60 (12H, m)、5.04 (2H, s)、6.65 (1H, dd,  $J=8.7\text{Hz}$ ,  $J=2.0\text{Hz}$ )、6.81 (1H, d,  $J=2.0\text{Hz}$ )、7.16 (1H, d,  $J=8.7\text{Hz}$ )、7.32 (1H, t,  $J=7.4\text{Hz}$ )、7.45 (1H, t,  $J=7.4\text{Hz}$ )、7.75 (1H, s)、7.77 (1H, d,  $J=7.4\text{Hz}$ )、7.99 (1H, d,  $J=7.4\text{Hz}$ )、12.10 (1H, br s)。

【3042】(70) (フリー体のデータ)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 0.48-2.11 (5H, m)、2.22 (1H, q,  $J=8.5\text{Hz}$ )、2.30 (3H, s)、2.38-2.54 (4H, m)、2.58-3.08 (8H, m)、3.08-3.33 (2H, m)、3.52 (1H, dd,  $J=5.4\text{Hz}$ ,  $J=14.6\text{Hz}$ )、4.73 (2H, s)、6.60-6.78 (3H, m)、6.80 (1H, d,  $J=9.2\text{Hz}$ )、7.13-7.47 (7H, m)、7.74 (1H, d,  $J=8.7\text{Hz}$ )、7.83 (1H, d,  $J=6.8\text{Hz}$ )。

【3043】(71)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 7.36-7.49 (4H, m)、7.59-7.64 (1H, m)、7.77-7.89 (5H, m)、8.14 (1H, s)、9.22 (1H, s)。

【3044】(72)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  ppm: 3.82 (2H, s)、6.93 (2H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、7.23 (2H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、7.3-7.9 (10H, m)、8.19 (3H, d,  $J=8\text{Hz}$ )、10.03 (1H, s)。

【3045】(73)  $^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-d}_6$ )  $\delta$  ppm: 1.39 (6H, s)、2.27 (3H, s)、2.40 (3H, s)、2.70-3.03 (2H, m)、2.75 (3H, br s)、3.03-3.90 (10H, m)、5.15 (2H, s)、7.02 (1H, d,  $J=4.8\text{Hz}$ )、7.27-7.52 (4H, m)、7.65 (1H, s)、7.72-7.84 (1H, m)、7.95-8.04 (1H, m)。

#### 【3046】薬理試験

以下の薬理試験に用いた供試化合物は次の通りである。

【3047】供試化合物1: 2-(4-[2-ベンゾイルル-2-(1, 2, 4-トリアゾール-1-イル)-1

ーエチルチオエチル] ベンゾイルアミノ) ベンゾチアゾール

供試化合物 2 : 2 - { 4 - ( 2 , 2 - ジアセチルピニル ) - 2 - [ 3 - ( 4 - メチル - 1 - ピペラジニル ) プロピル ] フェノキシメチルカルボニルアミノ } ベンゾチアゾール・3 塩酸塩。

【3048】(1) プロテインキナーゼC (PKC) 阻害作用

PKC活性の測定法

ラット脳可溶性分画を用いたPKCの精製は、Kikkawaらの方法[Ushio Kikkawa, Yoshimi Takai, Ryoji Minakuchi, Shinichi Inohara, and Yasutomi Nishizuka: The Journal of Biological Chemistry vol 257, No. 22, pp 13341-13348 (1982)]に従って行った。PKC活性は、20mM トリス塩酸緩衝液 (pH 7.5)、200μg/ml 仔牛胸腺由来のH1ヒストン、10μM [ $\gamma$ -<sup>32</sup>P] アデノシントリホスフェート (ATP)、5mM 酢酸マグネシウム、8μg/ml ホスファチジルセリン、2μg/ml ジアシルグリセロール及び0.3mM Ca<sup>2+</sup>の存在下で、[ $\gamma$ -<sup>32</sup>P] ATPから仔牛胸腺由来のH1ヒストンへの放射活性の転移により測定した。供試化合物は、ジメチルホルムアミドに溶解し、最終濃度が0.8%となるようにアッセイ系に加えた。30℃で30分間インキュベーションし、25%トリクロ酢酸を加えて反応を停止し、酸不溶タンパクを吸引ろ過によりニトロセルロース膜上に補足した。<sup>32</sup>Pの放射活性を

シンチレーションカウンターで測定した。結果を表191に示す。

【3049】

【表191】

供試化合物	PKC阻害作用 ID <sub>50</sub> 値 (μm)
1	0.4
2	0.07

【3050】(2) ラット腎臓虚血再灌流モデル

SD雄性ラットの右腎臓を摘出し、左腎動脈を一定時間クランプして再灌流することにより腎臓虚血再灌流モデル作成し、本発明化合物の効果を検討した。

【3051】供試化合物1は、虚血24時間前、3時間前及び再灌流24時間後に10mg/kg及び100mg/kgの用量で経口投与した。48時間後に尾静脈より静脈血を採取し、血中クレアチニン及び尿素窒素量を求めた。その結果、血中クレアチニンがコントロール群6.13±0.86、供試化合物1の10mg/kg投与群が2.36±0.31、供試化合物1の100mg/kg投与群が3.06±0.88、尿素窒素量がコントロール群216.3±26.0、供試化合物1の10mg/kg投与群が109.8±18.7、供試化合物1の100mg/kg投与群が110.8±27.1であった。

【3052】供試化合物1の投与により、血中クレアチニン及び尿素窒素量を有意に抑制した。

フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>

C07D 277/82

403/12

417/12

417/14

521/00

// A61K 31/425

識別記号

AAB

AAM

ABA

ABF

ABG

ABN

ADD

ADU

FI

C07D 277/82

403/12

417/12

417/14

521/00

A61K 31/425

AAB

AAM

ABA

ABF

ABG

ABN

ADD

ADU

(72) 発明者 中矢 賢治

徳島県徳島市川内町上別宮北48番地

(72) 発明者 竹村 勲

徳島県鳴門市撫養町斎田字見白6番地の3

(72) 発明者 篠原 友一  
徳島県鳴門市撫養町小桑島字前浜140番地

(72) 発明者 棚田 喜久  
徳島県鳴門市撫養町斎田字東発19番 3

(72) 発明者 山内 孝仁  
徳島県板野郡北島町鯛浜字原92番地 1

(72) 発明者 北野 和良  
徳島県鳴門市大麻町檜字西山田 1 番53

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**